

クラス		受験番号	
出席番号		氏 名	

2012年度 第3回 全統マーク模試
学習の手引き【解答・解説集】

国語・地理歴史・公民

【2012年10月実施】

• 国 語	1
• 地理歴史	
世界史B	30
日本史B	40
地 理B	49
• 公 民	
現代社会	62
倫 理	73
政治・経済	85
倫理, 政治・経済	95

本冊子の解答・採点基準をもとに自己採点を行ってください。「自己採点シート」は学習の手引き〈英語〉編冊子の巻末にありますのでご利用ください。

河合塾

【国語】

【解答・採点基準】

(200点満点)

第3問 自己採点小計	第3問					第2問					第1問					番号題 設問 番解 号答 正解 配点 自己採点															
	問6	問5	問4	問3	問2	問1					問6	問5	問4	問3	問2	問1					問6	問5	問4	問3	問2	問1					番号題 設問 番解 号答 正解 配点 自己採点
	(ウ)	(イ)	(ア)			(ウ)	(イ)	(ア)			(ウ)	(イ)	(ア)		(ウ)	(イ)	(ア)			(ウ)	(イ)	(ア)		(ウ)	(イ)	(ア)		(ウ)	(イ)	(ア)	
	27	26	25	24	23	22	21	20			19	18	17	16	15	14	13	12	11		10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
	③	②	⑤	②	①	④	③	①			⑥	②	②	①	③	④	⑤	②	①		②	⑤	③	③	②	②	③	⑤	①	④	
(50)	8	8	7	7	5	5	5	5	(50)	5	5	8	8	8	8	7	3	3	3	(50)	8	8	8	8	8	2	2	2	2	2	

第4問 自己採点合計	第4問							番号題 設問 番解 号答 正解 配点 自己採点	
	問7	問6	問5	問4	問3	問2	問1 (2) (1)		
	35	34	33	32	31	30	29	28	
	②	⑤	②	③	①	④	⑤	②	
(200)	(50)	9	8	6	7	5	7	4	4

※の正解は順序を問わない。

【解説】

第1問 現代文

【出典】

岡田暁生「文学・芸術は生きる希望を与えてくれるか?」(吉岡洋、岡田暁生編『文学・芸術は何のためにあるのか?』東信堂、二〇〇九年三月)のほぼ全文。設問の都合上、省略した箇所がある。

岡田暁生(おかだ・あけお)は、一九六〇年生まれの音楽学者。専門は近代西洋音楽史。『オペラの運命』でサントリーアルプス賞、『音樂の聴き方』で吉田秀和賞を受賞。他に『ピアニストになりたい!』『西洋音楽史ー「クラシック」の黄昏』『クラシック音樂』はいつ終わったのか?などの著作がある。

【本文解説】

たとえば音楽を聴いて、あるいは本を読んで、ぞつと/orするほど心も身体も揺さぶられた経験はないだろうか。「文学・芸術は生きる希望を与えてくれるか?」という問題に対して、筆者はそうした「全身が総毛立つような」危うい芸術体験こそが、人間を希望に満ちた新たな生へと導くという結論を提示している。途中やや読みづらいところもあるので、結論に至る筋道をしっかり読みとつてもらいたい。

本文は十二の形式段落からなるが、便宜上三つに分けて、内容を確認していこう。

I 芸術の三つの役割 (第1段落～第4段落)

一般に芸術の「役目」について抱かれているイメージには、三つの典型的な考え方があるといふ。つまり、**i** 「娯楽としての芸術」、**ii** 「芸術の「教化する力」」、**iii** 「感動としての芸術」である。筆者が人間の「生きる希望」に結びつくと考えるのは、三つ目の「感動としての芸術」なのだが、まずは順に内容を整理していこう。

i 「娯楽としての芸術」は、芸術を「豊かで快適な暮らしのシンボル」と見なす考え方である(第1段落)。筆者によれば、高級ブランド品のように「経済的特権性」を表すような芸術は、豊かな人々にしか恩恵を与える、人間全般に及ぼすような「普遍的な力」を持つことはない(第4段落)。だとすれば、「娯楽としての芸術」は「生きる希望」と結びつかないだろう。

ii 「芸術を「教化する力」と考えるのは、「人を叱咤し、啓蒙し、より高きところに導く」という、倫理的な芸術理解」である(第1段落)。だが、筆者はこの「教化する力」にも疑いを抱く。芸術によって人間が高められるというのは、「きれい」と「どことなく

疑わしい」と。たとえば、学校の音楽の時間や運動会のダンスを思い出してみてほしい。「立派な人間」や「皆と協調できる人間」といった人間像を押しつけられるように感じて、息苦しくなった人は少なくないはずだ。これは、人々に特定のあり方を強要する力、そして、それを受け容れない者を「いい子」や「よき市民」から排除する力が働いていることを意味する。ここで、芸術は「倫理的特権性」の象徴になる。つまり、「教化する」という「きれいごと」を建前にしつつ、実際には芸術が人間を特定の社会規範に基づいて選別する役目を果たしてしまっているのだ。(以上、第4段落)ならば、これもやはり「普遍的な力」を持つはずがなく、人間に「生きる希望」を与えることはないだろう。

iii 「感動としての芸術」というのは、「芸術は人々の輪を作り出し、人を励まし、明日を生きる勇気を与えてくれる」といったイメージであり、これは「生きる希望」という話題と素直に結びつくものだろう(第1段落)。たしかに今日、「感動」に安易に身をゆだねてしまうと、大企業の市場戦略や、下手をすると権力による国民統制の罠にはまってしまう危険がある(第2段落)。だが、それでも筆者は「極めて稀なこと」であっても、芸術が「人の生を凄まじい力で揺さぶることは、絶対に否定できない」と言う(第3段落)。「感動としての芸術」こそが「生きる希望」に結びつくのだ。この点については、IIで詳しく論じられることがある。

II 「藝術の三つの役割」

① 「娯楽としての芸術」

・経済的豊かさの象徴であり

・普遍的な力を持ちえない

② 「芸術の「教化する力」」

・表向きは教育や啓蒙だが

・じつは特定のあり方を強要する

③ 「感動としての芸術」

・感動や癒しを与える手軽な商品であるだけでなく

・まれに人の生を凄まじい力で揺さぶる

II 「自己滅却」と結びつく危うい芸術体験 (第5段落～第9段落)

ここで筆者は、自分自身の芸術体験を語りつつ、「感動としての芸術」の「危うい」魅力を明らかにしようとする。じつはそれは「自己滅却」の衝動と結びついているのである。

感動が巨大産業となっている今日、巷には感動や癒

しを与えてくれる「激励芸術」が溢れている。しかし、こうしたお手軽な快樂を享受している限り、それは「無害化された飼い慣らされた」芸術体験にすぎない。筆者にとって、芸術が与える眞の感動とは「極めてきな臭い、『危ない』もの」なのである。(以上、第5段落)

このことに気づいたのは、『サロメ』というオペラを初めて見たときであつたという。筆者は、舞台上で繰り広げられる「狂氣」をはらんだ「煽情的」(＝感情や欲望をあおりたてるさま)な光景に衝撃を受け、それが音楽の巨大な感動と結びついていることを知り、それまで信じていた芸術の持つ「倫理的な力」という概念を完全に打ち碎かれたのだ。以来、「芸術がもたらす究極の感動」は「自分の中の何かが瓦解すること」ではないかと考えるようになった。(以上、第6段落)これは、芸術が自己崩壊と結びつくという直感である。

私たちは、つねに自己を脅かす他者を排除し、自己不利にならぬよう立ちまわろうとする。人間の生は基本的に「自己保存」の営みなのだ。だが、そうして自己を守っていると、しだいに分厚い「自我」で覆われて外界から閉ざされ、息が詰まってしまう。そのとき、「自我」を切り裂いて「他者と合一したい、大いなる宇宙と一体化し、その中で消え去りたい」という暴力的な衝動が生まれる。これは、「自己保存」とは正反対の衝動、つまり「自己滅却」の衝動である。それは「愛」と呼んでもよいものである。(以上、第7段落)

こうした人間の自己を投げ出すような愛の衝動を受けとめてきたのが、他者と合一する「性」や神と合一する「宗教」であった。ところが、近代になると宗教が力を失い、性も抑圧されてしまう。そこで、その役割を代行するようになつたのが芸術の感動なのである。その意味で、芸術が「エロス」や「神」と緊密に結びつくのは当然なのだ。(以上、第8段落)

したがつて、現代の娯楽産業が「手軽なパック商品」として提供する芸術は、シェーンベルクの言う現代人の失った神へのノスタルジーをほんの一瞬満たしてくれるかもしれないが、所詮それは飼い慣らされた芸術にすぎず、眞の意味での芸術体験にはなり得ない。ときに「僕倆」のように訪れる究極の芸術体験とは、「全身が総毛立つ」ような背徳的とも言える「危うい」体験なのである。(以上、第9段落)

危うい芸術体験

・「自己保存」による自我の閉塞を開拓するためには、他者や世界と合一しようとする「自己滅却」の衝

動を

- ・近代以前は「性」や「宗教」が満たしてきた
・近代以降は「芸術」が満たす

III 芸術による死と再生が与える「生きる希望」(第10段落～最終段落)

それでは、「自己滅却」と結びついた危うい芸術の感動が、どのようにして「生きる希望」と結びつくのか。ここでは、その筋道が明らかにされている。

第10段落冒頭の一文、「究極の芸術体験とはそもそも、より大いなる生のために我が身を滅ぼすことで極彩色の宇宙を一瞬幻視し、それと一体になる至福を予感しながら破滅していくことだ」に着目してほしい。

簡単に言うと、これは「芸術のもたらす感動は、自己を滅却し世界と一体化する喜びだ」ということである。ところが、筆者はこのように「書く」ことを「とりわけ今日、二重の意味において」躊躇すると言う。その二つの理由を確認しよう。

理由一。これは、「芸術のもたらす感動」について「言葉」で書くことがためらわれる理由である。そもそも芸術の「感動」というのは「身体的」なものなので、言葉によつてその身体的な感覚を伝えることは「ほとんど不可能」である。たとえばサーフィンをしたことのない人に、波に乗るときの独特の快感を言葉で伝えることは難しい。自分の感覚を忠実に言葉で表現しようとするほど、伝えたいことから遠ざかつていく。それなのに、経験のある人との間では、「あの波の感じ」といったシンプルな言葉でわかり合える。このように、筆者は芸術の感動を「言葉」で語ることの限界を感じているのである。(以上、第10段落)

理由二。これは、「自己滅却」を肯定的な文脈で用いることがためらわれる理由である。「とりわけ今日」すなわち現代において、「大いなるもののための自己滅却」といった言葉は、「現実の政治世界で毎日のように起きている悲劇の数々」を連想させる。たとえば、自らの命とひきかえに行われるテロ行為はこうした「悲劇」の一つであろう。こうしたもののが連想される以上、筆者は「どんなことがあつても、『自己滅却』の安易な称揚だけは、絶対にしてはなるまい」と言う。

だが同時に筆者は次のように言う。こうした悲劇的な「自己滅却の衝動」の「暴発」は、そもそも近代において人々が「自己滅却」を過剰に恐れたことに由来するのではないか、と。近代は個や自己の確立が重んじられる時代である。近代人は「自己滅却」を過剰に

恐れるあまり、「自己保存」へと追い込まれ、それゆえに抑圧された「自己滅却の衝動」が突如として暴発してしまうのではないか。そして、そうした「自己滅却」の悲劇的な発露を見た人々は、よけいに「自己滅却」を恐れて「自己保存」へと駆り立てられる。これまさしく「悪循環」である。

もちろん「自己滅却」を安易に称揚してはならないが、こうした事情がある限り、「自己滅却」を過剰に恐れることも避けねばなるまい。こうして筆者は、第10段落冒頭で書くことをためらっていた「芸術のもたらす感動は、自己を滅却し世界と一体化する喜びだ」を再び記すことになる。「芸術の創作や受容」の中に、まちがいなく「自己滅却」が潜んでいるのである。

(以上、第11段落)

だが、現実世界での「自己滅却」とは異なり、芸術における「自己滅却」によって本当に「命を落とすことは、まずない」。たしかに芸術体験は「死の儀礼」なのだが、それを通して私たちは「再び蘇る」。しかもその時、「過去の自分」が「崩落」し、「自分の身体が、心が、隣人たちが、社会が、それまでとはまるで違つて見えてくる」。このように、芸術の感動が人間に「死」と新たな「生」を与えるとすれば、そこにこそ「芸術の与える生きる希望」があると言えるのではないか。筆者はこれが「言葉でもつて伝えることの出来る限界」だとしめくくつている。(以上、最終段落)

――**芸術の与える生きる希望**――

- ・身体的な芸術体験を言葉で伝えることは難しいし
- ・現実世界の「自己滅却」を安易に称揚してはならないが

←

- ・芸術体験の「自己滅却」が新たな生をもたらすといふことまでは言える

【設問解説】

問1 漢字の問題

(A)は、「芸術作品などを見たり聞いたり読んだりして、そのよさを味わう」という意味の「鑑賞」。

①「優勝」、②「招集」(召集)、③「肖像」、④「賞金」、⑤「相性」で、④が正解。

(A)は、「傷のない完璧な皮膚」という意味の「完膚」。①「髪膚」(=髪の毛と皮膚、からだ)、②「凡夫」(=平凡な人、普通の人、凡人)、③「新譜」、④「妊娠」、⑤「切符」で、①が正解。ちなみに、「完膚なきまで」は「傷のないところがないほど徹底的に」という意味。また「身体髪膚」は、

「からだ全体」という意味で、「孝經」(=儒教經典)の一つで、孔子がその門人に孝道について述べたものを記録したものといわれる)の「身体髪膚これを父母に愛くあえて毀傷せざるは孝の始めなり(=人の身体はすべて父母から恵まれたものだから、傷つけないようにするのが孝行の始めである)」というくだりが有名である。

(B)は、「すべきことをしないでおく、なまける」という意味の「怠」。①「撤退」(=陣地や拠点を引き払つて退くこと)、②「失態」(=失敗して体面を失うこと)、③「対向」(=互いに向き合うこと)、④「忍耐」、⑤「怠慢」(=なまけて当然なすべきことをしないこと)で、⑤が正解。

(C)は、「物事に今までにない新しさを感じられるさま」という意味の「新鮮」。①「琴線」(=琴の糸)、②「專心」(=心を一つのことに集中すること)、③「鮮烈」(=鮮やかではつきりしていること)、④「悪銭」(=悪いことをして手に入れた金)、⑤「纖細」で、③が正解。なお、「琴線に触れる」は「良いものや素晴らしいものに触れて、感謝を受けること」という意味の成句。「悪銭身につかず」は「盗みや賭け事で得た金は、無駄に使われてすぐなくなる」という意味である。

(D)は、「呼び起こす」という意味の「喚起」。①「二環」(=全体のつながりの中の一部)、②「召喚」(=とくに裁判所が被告人や証人などを呼び出すこと)、③「等閑」(=物事を軽くみて、いいかげんに扱うこと)、④「換骨」、⑤「肝胆」(=心中)で、②が正解。ちなみに、「換骨奪胎」は「先人の詩文の着想などを用いて、新味を加えて独自の作品にすること」という意味。また「肝胆相照らす」は「心の底まで打ち明けて親しくつきあうこと」という意味。

問2 「教化する力」についての筆者の考え方を確認する問題

本文冒頭で、芸術の「役目」に「三つのステレオタイプな考え方」があるとされているが、その二つ目が「教化する力」である。この設問では、筆者がこの「教化する力」についてどのように考えているか、が問われている。【本文解説】Iの[正]でまとめていたように、筆者が「教化する力」について論じているのは、傍線部Aの直後と第4段落である。この内容を整理しよう。

まず大切なのは、筆者が「教化する力」を「どことなく疑わしいきれいごと」だとしている点だ。たとえば、学校の音楽鑑賞の時間に私たちは「息苦し

さ」を感じる。これは、表向きは「人を叱咤し、啓蒙し、より高きところに導く」という「倫理的」なイメージが掲げられてはいるものの、実際には芸術が「立派な人間」や「皆と協調できる人間」といった特定のあり方を人々に「強要」するからにはならない。芸術が倫理規範を受け容れる「いい子」「よき市民」を選別するのだ。筆者によれば、一般に抱かれているような「教化する力」という「きれい」な建前の「背後」に、そうした芸術の「倫理的特権性」が「隠れている」のである。

以上の内容を整理すると、次のようになる。

〔教化する力〕は

- a 表向きは芸術によって人間性を高めるという倫理的なイメージだが
- b じつは人々に特定のあり方を強要する

〔教化する力〕は

- a 表向きは芸術によって人間性を高めるという倫理的なイメージだが
- b じつは人々に特定のあり方を強要する

これらをふまえた②が正解である。

①は、「人々を癒し相互に結びつけ」が第1段落や第5段落に書かれている「感動としての芸術」の説明であり、ここで問われている「教化する力」の説明になっていない。また、「各自が他人と異なる自分を発見することを促す」は本文のどこにも書かれていない内容。

③は、「芸術が与える洗練された悦楽を倫理的な力と結びつけ」が誤り。傍線部直後に「芸術は洗練された快楽などではなく」と書かれている。

④はややまぎらわしいが、「よき市民」であることの要請が「芸術による啓蒙」という目的を果たす「方策（＝手段）」だという点がbに該当せず、誤り。第4段落によれば、「人々を教え導くもの」という「きれいごと」の「背後」に「倫理的特権性」が「隠れている」。つまり、「芸術による啓蒙」というのは建前で、「教化する力」としての芸術的目的は、むしろ人々に特定のあり方を強要し、「よき市民」を選別することなのである。

⑤は、「人の生を強く揺さぶり真の感動を与える」が誤り。これは第2段落に書かれている「感動としての芸術」についての説明である。

問3 「感動としての芸術」についての筆者の考え方を確認する問題

この設問では、芸術の「役目」の「三つのステレオタイプな考え方」のうち、一つ目の「娯楽としての芸術」と三つ目の「感動としての芸術」について問われている（【本文解説】Iの①とII参照）。傍線部では、「感動としての芸術」は「安逸な（＝気楽な）消費をされる」と「娯楽としての芸術」と「紙

一重（＝きわめてわずかな違い）になる」とされており。つまり、娯楽に消費される「感動としての芸術」と「娯楽としての芸術」の「共通点」を考えばよい。

まず、「こうした安逸な消費」は、直前に書かれているように、感動や癒しを与えてくれる「激励芸術」を「香氣」に消費することを指す。第9段落の内容と結びつけると、「激励芸術」は「現代の娛樂産業」が「提供」する「手軽なパック商品」である。このとき「感動としての芸術」は「無害化され飼い慣らされたもの」になってしまい（傍線部直後）。

次に、「娯楽としての芸術」は、芸術が高級ブランド品のように「豊かで快適な暮らしのシンボル」となることである（第1段落）。第4段落の内容と結びつけると、「経済的特権性」を表す芸術は、豊かな人々にだけ恩恵を与えるのだから、人間全般に及ぼす「普遍的な力」を持つことはない。

では、娯楽に消費される「感動としての芸術」と「娯楽としての芸術」の「共通点」は何か。それは、大きくとらえると、筆者が否定的な評価を下している点である。筆者によれば、これらはいずれも「生きる希望」につながるような本来の「芸術が与える感動」をもたらさない。「自己滅却」をともなう「極めてきな臭い、『危ない』芸術体験にはなりえない」というのである。

以上をまとめると、傍線部の意味内容は次のようになる。

〔感動としての芸術〕についての筆者の考え方を確認する問題

- a 商品化された芸術によって娯楽に感動を得ることでは
- b 芸術を経済的な豊かさのシンボルとすることと同じように
- c 芸術の本来の力を知り得ない（否定的な評価しかできない）

これらを過不足なくふまえた③が正解である。

①は、「芸術が与える感動」が「そもそも（＝本来）」「人々を励まし勇気づけること」にほかならないとしている点が根本的に誤っている。傍線部直後にも書かれているように、このような「無害化され飼い慣らされた」感動だけが「芸術が与える感動」のすべてではない。したがって、「現代の娯楽産業がさまざまに提供する芸術の悦楽」と同じだという後半の内容も誤りである。

②は、「芸術における商業主義の専横（＝好き勝手に振る舞うこと）を容認することにつながりかねない」が本文のどこにも書かれていない内容。筆者

は、芸術において商業主義が好き勝手に振る舞つて
いるといったことを論じているわけではない。

④はまぎらわしいが、cがないので傍線部の内容
の説明にならない。先に見たように、気楽に消費さ
れる「感動としての芸術」と「娯楽としての芸術」
の「共通点」が筆者による否定的な評価であること

を説明する必要があるのだが、この選択肢では、芸
術が「人々に感動を与えるものである」ことも「豊
かで快適な暮らしの象徴にもなりうる」ことも否定
的にとらえられていない。かろうじて両者を結びつ
けるのは「文化産業の発達により芸術が無害化され
つつある」という内容だが、これは「感動としての
芸術」とは関わりがないが、「娯楽としての芸術」
とは直接関わりがないので、「共通点」とは言えない
のである。正解の③とよく見比べてみてほしい。

⑤は、「倫理的特権性を失つてしまい」が誤り。
「倫理的特権性」を持つのは、「感動としての芸術」
ではなく「教化する力」としての芸術である。

問4 芸術と性や宗教との関係を確認する問題

傍線部の「エロス」が性を、「神」が宗教を指す
ことはすぐわかるだろう。傍線部は「芸術が性や宗
教と結びつくのは偶然ではない（＝結びつくのは必
然）」という意味。つまりこの設問では、単純に言
えば「なぜ芸術は性や宗教と結びついてしまうの
か」が問われているのである。したがって、問3と
同様芸術と性や宗教との「共通点」を考えればよ
い。傍線部直前の内容に沿つて整理していくこう。

第7段落によると、人間の日常の生の基本は「自
己保存」である。だが、他者を排除して守られた自
己は、世界から隔離され、やがて閉塞してしまう。
すると、「他者と合一したい、大いなる宇宙と一体化
し、その中で消え去りたい」という激しい「自己
滅却」の衝動が生まれる。

そして、この「自己滅却」の衝動が芸術と性や宗
教を結びつけるのだ。傍線部直前に着目してほし
い。筆者によれば、古来、この衝動を満たしてきた
のが、他者と合一する性や、神と合一する宗教であ
つた。宗教が力を失い、性も抑圧された近代におい
て、その役割を代行するのが芸術なのである。自己
が崩壊するような凄まじい芸術の感動が「自己滅
却」の衝動を満たすというのである。つまり、「共
通点」は「自己滅却」の衝動を満たすという点な
である。この「共通点」があるから、傍線部のよう
に「芸術が性や宗教と緊密に結びつくのは当然だ」
と言えるのである。

以上の内容をまとめると、次のようになる。

a 自己保存による自我の閉塞を開き、世界と
合一したいという自己滅却の衝動

b 性や宗教がaを満たしてきた

c 芸術の感動もaを満たす

これらをすべてふまえていける③が正解である。

①は、芸術についての説明（c）がまったくない
ため傍線部の理由の説明にならない。aとbの内容
が含まれているだけに、十分注意してほしい。この
設問で問われているのは、「芸術が性や宗教と結び
ついてしまう」理由なのだから、芸術と性や宗教に
何らかの「共通点」があることを示す必要がある。
正解の③と比べてみれば、どちらが傍線部の理由の
説明としてより適切な内容かがはつきりするはず
だ。選択肢を比較吟味することも大切である。

②は、近代では芸術の感動だけでは自己滅却の衝
動を満たせないので、「性や宗教の再興が求められ
ている」という内容の選択肢だが、そうしたことは
本文のどこにも書かれていないので、不適当。

④は、①と同様に、芸術についての説明（c）が
まったくないので、不適当。

⑤は、「不斷に自己を保存しようとするわれわれ
の抑えがたい衝動」の部分が明らかに誤り。「自己
保存」ではなく、「自己滅却の衝動」である。

問5 芸術についての筆者の主張を確認する問題

傍線部の「これ」は、芸術によって過去の自己が
死に、新たな自己が再生する、という直前の内容を
指す。つまり、傍線部では「芸術による死と再生こ
そが生きる希望につながる」という筆者の信念が述
べられている。まずは次のことをおさえておこう。

d 芸術体験の自己滅却が自己の死と新たな生 (生きる希望)をもたらす

ただし、傍線部ではこのことが「言葉でもつて伝
えることの出来る限界」として示されているのであ
る。筆者がなぜ「言葉でもつて伝えることの出来る
限界」と言っているのか、というところまで掘り下
げて傍線部の意味内容をよく考えてみる必要があ
る。

【本文解説】のIIIで確認したように、じつは筆者
は第10段落冒頭で、芸術の「感動」が「自己滅却」
であるということを「書く」ことについて、「二重
の意味」でのためらいがあることを告白している。
一つ目は、言葉では伝えきれない「身体的」な芸術
の「感動」を言葉で書くことへのためらい（第10段
落）。二つ目は、現実世界での悲劇を連想させる

「自己滅却」という言葉で芸術の「感動」を説明することへのためらい（第11段落）。

このように整理してみると、傍線部の「言葉でもつて伝えることの出来る限界」という表現には、「身体的な芸術体験は言葉で伝えることが難しい」という一つ目のためらいをふまえつつ、「それでもここまででは言葉で伝えることが出来る」というぎりぎりの「限界」といったニュアンスが含まれていることがわかるだろう。

a 身体的な芸術体験を言葉で表現することは難しい

では、なぜ筆者はそうした信念をあえてぎりぎりまで書こうとするのか。これは二つ目のためらいに関わる点である。筆者は第11段落で、現実世界では「自己滅却」の衝動が悲劇的な形で暴発しており、安易に「自己滅却」を称揚してはならない、と述べる。

b 現実世界での自己滅却を安易に称揚してはならない

それでも筆者が最終的に傍線部で芸術の感動を「自己滅却」と結びつけて語るのは、近代以降の「自己滅却」への過剰な恐れこそが「自己滅却」の衝動の暴発を招いたと考えるからである。

c 近代では、自己滅却への過剰な恐れが自己滅却への欲求の過激な発露を招く

「自己保存」に躍起になる近代人は、「自己滅却」の衝動が抑圧されて突如として暴発してしまう。だから、まして性や宗教が力を失った近代において、「自己滅却」の衝動を抱える「心の闇を引き受け」、その衝動を「爆発させ」てくれる「芸術が与える感動」はきわめて重要である。だから、筆者は「芸術による死と再生こそが生きる希望につながる」という信念をぎりぎりの「限界」まで書きたいのである。

e (a・bであるが、cだから) dということまではぎりぎり言葉で表現することが出来る

以上のa～eをすべてふまえた⑤が正解である。①は、まず「芸術体験の本質を言葉で語ることは無意味」が誤り。第10段落によれば、身体的な芸術体験を言葉で伝えることは「ほとんど不可能」だと言われているだけであって、決して「無意味」ではない。むしろ筆者は意味があると思うからこそ書いているのである。また、最後の「自己滅却の衝動の

暴発が避けられる」という内容はdをふまえておらず、傍線部の「芸術の与える生きる希望」という内容に結びつかないので、不適切な説明である。

②は、「芸術における自己の死と再生というテーマをさらに深く掘り下げていく必要がある」が積極的すぎる表現になっていて、「言葉でもつて伝えることの出来る限界」の「へぎりぎり限界」のニュアンス(e)から外れている。

③は、逆に「どんなに言葉を尽くしても空回りするばかり」が消極的すぎて、傍線部の「言葉でもつて伝えることの出来る限界」の「へここまでは言える」のニュアンス(e)から外れている。

問6 本文の論の進め方を確認する問題

【本文解説】のI「芸術の三つの役割」、II「自己滅却」と結びつく危うい芸術体験、III「芸術による死と再生が与える「生きる希望」」の区分に沿つて、本文全体の論の展開を確認しよう。

まず本文のIで、一般に芸術の「役目」について抱かれている典型的な三つのイメージとして「娯楽としての芸術」、芸術の「教化する力」、「感動としての芸術」が紹介される。筆者は、小学校の音楽鑑賞の時間にベートーヴェンを聴かされたとか、年末に歌われる《第九》といった具体例を引き合いに出しつつ、三つのイメージについて検討を加えていく。ここでは、「娯楽としての芸術」と「教化する力」は人間に「生きる希望」を与えるような「普遍的な力」を持ちえないとされた。

本文のIIでは、《サロメ》を舞台で見たという筆者の体験に基づいて、「感動としての芸術」には「自己滅却の衝動」と結びついた「危ない」魅力があることが明らかにされる。それは、娯楽産業によって無害化された安易な癒しや感動とはまったく異なるものである。ここでは、「自己滅却」は他者や世界との合一への衝動であり、それが「自己保存」という人間の本質的営為に由来することや、近代以前は性や宗教がその受け皿となってきたことなども述べられている。

最後に本文のⅢで、芸術の感動が「自己滅却」という死と、そこからの新たな再生をもたらすこと、そしてそれこそが「生きる希望」につながる、という結論が示される。その結論の提示までには、そうした言明に際しての「二重の意味」でのためらいも書かれている。

以上の内容に最も即している②が正解である。
①は「近代人に特有の自己保存の當為」が誤り。「自己保存の當為」は「近代人に特有の」ものではない。第7・8段落によると、外敵から身を守るといた「自己保存」はいつの時代も人間の日常であり、それに由来する「自己滅却の衝動」を近代以前は性や宗教が受け止めてきたのである。

③は、「感動としての芸術による癒しや励ましが生きる勇気や希望を与えると述べ」が誤り。第9段落に書かれているように、「癒しや励まし」は商品化された芸術によって簡単に手に入るものであり、「生きる勇気や希望」を与えるような本来の芸術の感動ではない。

④は、まず、芸術の役割をめぐつて「筆者独自の新たな分類を提示した」という点が誤り。また、本文には「芸術作品の価値は享受する側の自我のありようによって異なる」といった結論は示されていない。

⑤は、「芸術体験が人類全体の生を更新する」が誤り。芸術が「人類全体の生」を再生させるという内容は本文に書かれていらない。第10段落に基づけば、芸術体験は個人の「身体的」な体験と考えるべきであろう。なお、娯楽・教育・感動という三つの芸術の役割について「それぞれの長所と短所を挙げながら」も不適切である。「娯楽としての芸術」にはとくに「長所」は挙げられていない。

第2問 現代文

【出典】

伊藤たかみ「サツチの風」（誰かと暮らすということ）二〇〇九年十月角川書店刊所収 初出「野性時代」二〇〇八年一月号）の後半部。途中省略した箇所がある。

『誰かと暮らすということ』は、レンタルビデオ店『グレープ』とつながりのある複数の男女が、互いの距離を縮めていく過程などを、細やかに描いた連作短編集である。

伊藤たかみは一九七一年、兵庫県生まれの小説家。一九九五年、大学在籍中に「助手席にて、グルグル・ダンスを踊つて」で文藝賞を受賞。二〇〇〇年『ミカ！』で、小学館児童出版文化賞を受賞。二〇〇六年『ぎぶそん』で坪田譲治文学賞、「八月の路上に捨てる」で芥川賞を受賞。その後も、『指輪をはめたい』、『雪の華』、『ドライブイン蒲生』、『フラミンゴの家』、『海峡の南』、『そのころ、白旗アパートでは』、『お別れの、そのあとで』など、多くの作品を発表している。

【本文解説】

本文は、健一と幸子が交際はじめるきっかけとなつたバーベキュー大会での出来事を描いた前半部と、食器洗浄機の据え付けが終わり、幸子が帰ってきてからの二人のやりとりを描いた後半部で構成されている。

ただし、本文は二カ所の空行で三つの部分に分かれているので、それに即して本文を簡単に見ていく（Ⅰの部分が前半部、ⅡとⅢの部分が後半部にある）。

I 健一がバーベキュー大会での出来事を回想する場面（冒頭～76行目）

リード文に示されているとおり、本文は、健一が、食器洗浄機の据え付け工事を見ながら、過去の回想にふける場面から始まっている。

健一は、三十歳になつたとき、銀行の出世コースから外れ、今後どうするか悩んでいた。そのとき、銀行内で作った自転車サークルの「合宿」で近くにある逗子の海に行くことになつた。この「合宿」には、サークルのメンバーがよく利用するサイクリショップの「令嬢」である幸子も参加していた。「令嬢」と言つても、幸子は日に焼けていつも手を自転車の油で汚して働いているような気兼ねのいらない娘であり、健一にとって「自然にしゃげてみせる」（9行目）ことができるほど、親しみのもてる「かわいい子」であつた。健一は、海岸でバーベキューをする企画を取り仕切

つたが、逗子の海岸ではバーベキューが禁止された。逗子の支店でずっと働いていたのに、健一はそうした決まりがあることを知らなかつた。銀行の近所にある浜に来ることさえ初めてだつた。それほど仕事に忙殺されていたのだ。にもかかわらず出世コースから外されてしまつたことに怒りが湧いたが、それも長続きせず、企画に失敗した自分のふがいなさの方が心に残つた。

海岸から外れた河口付近で一応バーベキューはできたものの、周囲はホームレスたちのビニールシートでできた家が並んでいて、陽当たりも悪い。健一は子供連れもいる参加メンバーに対し悪いと思うだけでなく、食うや食わざの生活をしているはずのホームレスたちのそばでバーベキューをすることにも気が引ける。健一はホームレスたちが自分たちに背を向けているのは、自分たちへの怒りを意味すると考えたが、幸子は逆に、彼らが自分たちに迷惑をかけないようにしているだけだと考える。そして「中途半端」(42行目)な気弱さや優しさはよくないと言つて、ワインやウイスキー、それに余った食材などを持つてホームレスたちの方に突き進み、その中で一番立派そうな家を選び、酒と食べ物を差し出す。ホームレスの怒りを恐れる健一の意に反して、男は素直に受け取り、笑顔でバーベキューの後始末のアドバイスまでしてくれる。

鉄板のところに戻ると、健一は幸子の大胆さをたたえ、幸子は健一に「中途半端なのはつて一番いけない」、「勇気も優しさも、勝負どころで氣前よく使わない」と(57行目)と語る。健一は、それを聞いているうちに、突然「銀行はやはり辞めたほうがいいのかもしれない」と思う。そして、中途半端な状況を脱して店でも始めようかと思うが、転職してうまくいく保証はない。ここで自分の選択がうまくいくような、いい「風」が吹いているのかどうか、それを確かめるべく、健一は幸子に交際を申し込む。幸子はうろたえ、怒り、はにかみながらも、それを拒絕しなかつた。健一は自分にとつて好ましい「風」を実感した。

II 食器洗浄機の工事が終了し、幸子が帰宅する場面

(78~99行目)

食器洗浄機を取り付けた中年男は「いい部屋ですねえ」とつぶやく。リビングを眺め回して語ったこの言葉は、散らかった部屋への皮肉ではなく、窓からの眺望を褒めた言葉だった。健一は窓からの眺望に興味がなく「素っ気なく」応対した。リード文に示されており、男は、作業のぎこちなさから見て、転職して日が浅いと思われる。昔マンション(の部屋)を持っていたという男にどういう事情があつたのか、売り

上げ不振に陥った『グレープ』の資金繰りに苦労する健一にとって、それは他人事ではなく興味のわくところであったが、以前のことを訊くのも悪い気がした。そこに夫婦げんかで出て行つて以来、約二週間ぶりに幸子が家に帰ってきた。幸子は「食洗機届くの忘れてた!」(90行目)と言い、早速食器を入れて試してみる。健一は中年男を玄関まで見送つた。

III 食洗機を二人でのぞき込み、健一が店を畳む決心をする場面

(101行目~本文末)

幸子は食洗機を、事前によく調べて買ったと言う。そして「何かをごまかすように」家にいても暇だから、家の時間は節約して外で働くこと言う。おそらく幸子は、『グレープ』の売り上げ不振を知つていて、それに配慮して働きに出ることを決意したのだろう。健一もそうしたことを見ながら、「わざと気づかないふりをした」(11行目)。今まで「幸子を心配させたくない」と思つて、売り上げ不振を黙つていたのだが、それも「中途半端な優しさ」に過ぎなかつたのかもしれない反省する。

そんな中、健一は店を畳む決心をする。いろいろ苦難も待ち受けているだろうが、幸子がいるかぎり、「何だってやれる」と思う。調子に乗つて新しい掃除機の購入を提案すると、幸子から時間の節約にならない以上、「無駄遣いは駄目だ」(121行目)とはねつけられる。健一にとって、幸子の言動は「シビアで、気まぐれで、読みづら」、それにうまく対応することは何よりも難しいが、その言動やそこにある幸子の思いを捉えようと「あくせくすること」が心地よく、そうするうちに、健一にとつて正しい道筋が得られるようだ。

【設問解説】

問1 語句の意味を答える問題

例年、大学入試センター試験の小説問題では、三つの語句について「本文中ににおける意味として最も適当なもの」を選ばせる設問を出題している。「本文における意味」と指定されはいるが、本当に本文の文脈を根拠に解答を選ぶ場合は非常に少ない。過去のセンター試験の問1は、ほとんどの場合、辞書的な意味を問う知識問題になつてているので、傍縁部前後の文脈だけを頼りに解答を選ぶべきではない。問われている語句の日常的な用法を思い浮かべるなどして、その語句の本来の辞書的な意味に即した解答を選ぶことが大切である。ただし、傍縁部の語が多義語の場合には、その語のもつ辞書的な意味の中から文脈に適合するものを選ぶことが必要になる。

(ア)の「闇の山」とは、「なし得る限度・精一杯・せいぜい」という意味の語句なので、正解は①にならぬ。他は語義に反する。文脈に振り回されて④などにしないこと。

(イ)の「潮時」は、「物事をするのにちょうどよい時期・好機」を意味する語なので、正解は②になる。文脈上の意味を加味したとしても、傍線部は「ビデオショップを脅むにちょうどよい時期」を意味する。積極的に「勝負」する局面ではなく、撤退するのにもちょうどよい時期だと述べている部分なので①は不可。③や④は語義から外れる。⑤も「ちょうどよい時期」という語義から外れる。

(ウ)の「一蹴」は、「相手の申し出、要求などを問題にしないではねつけること」を意味する語。

したがって正解は⑤になる。「歯牙にもかけず」は「問題にしないで」という意味の表現である。①や②や③は「はねつける」「拒絶する」という語義に反する。④は「小馬鹿にして」が不適当。まったく問題にしないではねつける態度は「小馬鹿」にする態度とは異なる。

問2 健一の気落ちした心情について答える問題

傍線部Aの「駄目だな俺は。へこんだよ」という言葉は、直接的には、直後に示されるとおり「一人でバーベキュー大会（＝合宿）を取り仕切ったが、禁止されている浜辺でのバーベキュー企画するなどの不手際があつて、日当たりの悪い河口でバーベキューをするために陥り「みんなに迷惑かけ」てくじけた」ということを意味する。しかしそれもこの企画は、銀行での出世コースから弾かれ、銀行を辞めるか否かで「悶々と」（5行目）迷つている時に、だからこそ「出世コースから外れてしまった自分の力」（12行目）を再確認したいという願望もあつてか、自ら志願して取り仕切つたものであつた。

そうすると、傍線部Aに示された心情とは「仕事で認められなかつた苦悩に、さらに自ら取り仕切つたバーベキュー大会の企画の不手際への落胆が加わつて「駄目だな俺は」と氣落ちしている心情」だと考えられる。

以上から、ポイントは以下のようになる。

- a 仕事で認められなくてどうするか悩んでいた
b aの状況の下、バーベキュー大会を一人で準備した
c ところが、不手際から皆に迷惑をかけたことに気落ちしている

したがって、正解は以上の三点を押さえた④にならぬ。「悄然としている」は「しおれて元気がない・しょんぼりする」という意味でcに合致する。

他の選択肢については以下のとおり。

①は「ふがいない自分を何とか立て直そうとしている」という部分が不適当である。たしかに後の文脈を読むと「何とか立て直そう」としていると判断することもできるが、この設問は、「この時」の健一の心情を問題にしている。少なくとも傍線部Aの段階ではまだ意气消沈しているだけであり、まだ「立て直そう」とする段階に至つてないので、不正解である。小説の問題では、登場人物の心情が時間と共に推移していくので、傍線部の時点の心情を、安易に後の時点の心情と結びつけることは許されない。これを選んだ諸君は、その点に注意しよう。

②は前半の内容が不適当である。「レジャー」は別として、「仕事」を「一生懸命がんばればがんばるほど空回り」しているとは書かれていないし、出世コースから弾かれた原因が仕事の空回りにあるということも、どこにも書かれていない。また「これからどうしていけばいいのかわからず」に暮れている」というのも不適当である。傍線部はバーベキュー大会の企画に不手際があつたため落ち込んでいるのであり、今後のことを考えて「途方に暮れて」いるわけではない。

③は「一生懸命やつたつもりでも実績が伴わなかつた以上、仕事で認められなかつたのも当然である」という部分が不適当である。少なくとも仕事の「実績」がふるわなかつたとはどこにも書かれていない。それに傍線部の「落胆」は、主にバーベキュー大会の企画の不手際に対するものであり、仕事のことが中心ではない。

⑤は、「バーベキューの準備にも身が入らず」が明らかに不適当である。むしろ11行目（13行目に示される）とおり、「自分の力」を「再確認」しようという意識もあってか、「コンロやキャンプ用の椅子を借りたり、食材やコーケスの用意をしたり」とすべて一人で身を入れてがんばつたのである。決してバーベキューの準備が「中途半端」だったわけではない。

問3 幸子の言葉に込められた心情を答える問題

傍線部は、「中途半端」な気弱さや優しさがよくないと述べている箇所だが、これだけでは、気弱さを徹底すべきなのか、逆に徹底的に強気になるべきなのか、また優しさを徹底すべきなのか、逆に徹底的に厳しくなるべきなのかがよくわからない。そこ

で、幸子の傍線部前後の言動に注目する。そうすると、傍線部は、57行目の「男が中途半端なのって一番いけないんだよ。勇気も優しさも、勝負どころで氣前よく使わないと。そうしないと、ぐじぐじするだけで何もできなくなるもん」につながる表現であることが明らかになる。すなわち傍線部は、②の前半のように「徹底的に氣弱になれ」という意味ではないし、逆に①の後半のように「優しさを捨てて厳しくなれ」という意味でもなく、「時には「氣弱」さを脱却して、優しさに徹して勇気をもつた行動に出よう」ということを主張したものである。

具体的には、自分たちに背を向けるホームレスの人々について「無言の圧力」(37行目)を自分たちに向けているととらえ、弱気になるだけの健一に対しても「逆でしよう。あの人たちは、私たちに迷惑かけないようにあつちむいてるんじゃないの?」(38行目)と述べ、傍線部直後でホームレスの人々に食材や酒を振る舞い、健一の予想に反して彼らが怒りもせずに受け取った事実に明らかとなおり、「弱気になり、変に気を回すだけで何もしない」よりも、「優しくするなら相手のことをよく見極めて、勇気をもって行動に出るべきだ」ということを言おうとしたと考えられる。

以上から、ポイントは以下のようになる。

- a (消極的な) 気弱さを脱却して勇気をもつべきだ
- b (優しさを) 相手を気遣った行動であらわすべきだ

正解は以上の二点を押さえた⑧になる。「消極的になるよりも……勇気が必要だ」がa、「相手のことをよく見極めたうえで積極的に行動に打つて出る」がbに該当する。
①は、先ほど見たとおり、「仕事に対しても他人に対する徹底的に手厳しい強気な態度で臨むべきだ」がbに反している。
②も、先ほど見たとおり、「氣弱なら徹底的に気弱さを貫き」がaに反している。「自分のことを考えずに相手のことを最優先に考え」も極端すぎる。自己犠牲的になれと言っているわけではない(現に幸子は「誰も飲もうとしなかつたウイスキー」や「余った食材」を持って行ったのであり、自分たちのことを考えずにすべてをホームレスに与えたわけではない)。

④は、「自分の主体的な意志を徹底的に貫き、相手のことより自分のことを考えて大胆に行動すべき

だ」がbに反している。余った食材などをホームレスに与える幸子の行動や57行目の「勇気も優しさも、勝負どころで氣前よく使わないと」という言葉と矛盾する。

⑤は、「時には、相手の思惑など気にせずに切り込んでいく度胸も必要だ」がbに反している。逆に、幸子は「相手の事情を見極め、相手を気遣う優しさが必要だ」と考えていると思われる。

問4 中年男の様子を見ている健一の心情を答える問題

問われているのは、傍線部の中年男の様子を「見ている健一の心情」であることに注意すること。中年男が「遠い目をした」のは、直後にあるとおり、散らかった健一のリビングを透かして「かつて彼が持っていたという一室」を思い出しているからだと思われる。ここで、健一と中年男のやりとりを整理しよう。

まず78行目で、中年男が「いい部屋ですね」とつぶやいたわけだが、それは「窓から、都厅も東京タワーも六本木ヒルズも、まとめて見え」るという部屋の見晴らしの良さに対してであり、「散らかってリビング」への皮肉を込めたものではないと思われる。景色に興味のない健一は、「素っ気なく」(81行目)受け答えしたが、昔(マンションの部屋)「持つてた」という中年男が、「遠い目」で昔の部屋を思い浮かべる様子に、「失礼ですが、以前は何を?」と「訊きたかったが、何か悪いような気がして戸惑っている」(87行目)。以上が、傍線部前後のやりとりである。

ここで中年男の過去に健一が興味を持つのは、リード文に示されていたとおり「転職して日が浅いと見える」中年男の姿が、「売り上げ不振に陥った『グレープ』の資金繰りに苦労する健一」にとって「他人事」ではなく、自分も店やマンションの部屋を手放して転職する可能性があるからである。

以上から、ポイントは以下のようになる。

- a 部屋の見晴らしの良さをほめる中年男の言葉を受けて
- b 転職して間もないと思われる男の境遇は他人事とは思えない
- c 昔所有していた部屋の思い出に浸っているらしい男の事情を知りたいと思いながら訊くのも悪い気がして戸惑っている

正解は、以上のポイントを押さえた①になる。

「部屋の見晴らしの良さをほめる中年男の言葉は軽く受け流した」は、81行目の「素つ気なく答える」健一の姿に適合する。《逡巡》(=決断がつかないでためらうこと)はcの〈戸惑う〉さまに適合する。

②は、「乱雑な部屋を『いい部屋だ』という中年男の皮肉に対しても、少し苛立つて素つ気なく応対した」が不適当である。健一が「素つ気なく」応対したのは、中年男がほめる部屋からの景色に興味がなかったからである。決して「皮肉」への「苛立」ちによるものではない(そもそも健一は、中年男のほめ言葉を「皮肉」と受け取ってはいない)。

③は、まず「乱雑な部屋への皮肉が込められている」が②と同様に不適当である。さらに「部屋の見晴らしの良さを喜んでいた幸子のことも気にかかり始めている」も不適当。この直後の幸子の帰宅を、88行目で「驚いたことに」と表現しているように、意外な(=まったく想定していない)出来事としてとらえているので、傍線部の時点で幸子のことを気に掛けているとは思えない。

④も、「食洗機が届いたということは、そろそろ幸子が帰ってきてもいい頃だと思い、気もそぞろになつている」が、③と同じ理由で不適当である。

⑤は「ここよりももつといい部屋に住んでいた過去への思いに浸つていると思われる」という部分が不適当である。中年男の方が、健一よりも「もつといい部屋に住んでいた」という内容は本文にない。

問5 最後の場面での健一の心情を答える問題

おず、傍線部の「この風」が122行目の「幸子の風」を指している点を押さえ。したがつてこの設問では、「幸子の風」に「あおられる」ことが「心地」よい」とはどういうことかが問われている。ここで「幸子の風」の「風」とは、本文の文脈では、66行目の「俺に吹いている風」、76行目の「あ、風は吹いてるんだ」などの表現から「自分を好ましい方向に導いてくれるもの(=好ましい運勢や成り行き)」を意味する点にも注意しよう。その上で、118行目の「幸子こそ健一の風だった。これが吹いていれる限りは、何だってやれる。」という表現や、122～124行目の「幸子の風はシビアで、気まぐれで、読みづらかった。けれど再確認した。このかわいい風を捉えようとあくせくする」と、男というのはようやく正しくなれるようだ。世界も社会も人生も戦争も年金も、ありとあらゆる問題より、この風を乗りこなすほうが難しい。」という表現に注目する。

そうすると、傍線部の「幸子の」風にあおられる」という表現は、単に幸子と共に暮らして幸子の

「シビアで、気まぐれ」な風に吹かれるがままという状態を意味するものではなく(何もしないで風に吹かれたままだと、幸子の勢いに吹き飛ばされたり、幸子が出て行つてしまつたりするので)、「幸子の風にあおられながらそれをうまく捉えて乗りこなす」ことを意味するものである。

そして「幸子の風を乗りこなす」ことが、右の118行目や122行目以下の表現から「シビアで、気まぐれ」な幸子の意志を読み取りつつ幸子とのやりとりに「あくせく」する(=「この風にあおられる」としてやれる)ことで、「何だつてやれる」という勇気も湧いてくるし、「店を畳む決心」などの将来的な決断に関して、自分が正しい方向に導かれる(=まさに好ましい方向に導く「風」として機能する)といふことが明らかになる。こうした事態全体が、健一にとつて「心地」よいことなのである。

以上を整理すると、以下のポイントが導かれる。

- a 幸子の意志を読み取ることは何よりも難しい
- b しかし、幸子とのやりとりによって、将来的な正しい決断に導かれる
- c それが心地よい

正解は以上の三点を押さえた②になる。「放胆」とは「大胆で思い切りがいい」ことを意味し、バーベキュー大会での「大胆」(55行目)な言動などから幸子の人物像として妥当な表現である。「好ましく」という表現はcに適合し、「適切なことに思える」という表現がbの「正しい決断に導かれる」に適合している。

①は、まず前半の「彼女の指示に従つて将来的な決断を下してきた」という部分が不適当である。銀行をやめる決断や『グレープ』を畳む決断などは、幸子の指示によるものではなく、健一自身が下したものである。さらに後半の「いつも自分にとつて満足のゆく好ましい事態がもたらされてきた」という部分も不適当。銀行をやめて始めたレンタルビデオ店が最終的に経営不振に陥つたことは「満足のゆく好ましい事態」とは言えない。(幸子の風に吹かれる)ことは、個々の局面で、健一にとつて「心地」よく「正し」い決断をしていくことを可能にするが、「満足のゆく」結果が常にもたらされるというわけではない。

③は、「思慮深さに欠ける」という部分が不適当である。幸子は「気まぐれ」で「大胆」ではある

が、無節操で無謀な行動をとる人物ではない。バーベキュー大会でホームレスが背を向けていることを

「の人たちは、私たちに迷惑かけないようにあつちむいてるんじゃない」とからえて「一番立派そうな家を選んで」食材を提供し、食洗機も「しっかりと調べ」（106行目）で導入するなど、それなりの思慮深さは見られる。

④は、「幸子と一緒に生活しているという事実」が幸せだという趣旨の選択肢だが、これだけでは傍線部の「風にあおられる」ことの説明にならないので、不適当である。つまり、a・bに該当する内容がなく、「風=いい方向に導くもの」という内容も、「幸子の風（=幸子の意図や行動）を読む・乗りこなす」という内容も欠けている。

⑤は、「人生的な問題」について「かかわっている暇がなく」なるという部分が不適当である。そうではなくて幸子の風にあおられることで、「人生的な問題」にかかる決断を「正しく」行うことができるのである。

問6 文章中の指定された表現について、その特徴を検証する問題

①と②は、本文の前半部と後半部の表現の特徴を大きく括り、③～⑥は本文の特定の部分を引用したうえで、その表現の特徴を問題にしている。いずれにしても、それぞれの選択肢で指摘された内容や表現の特徴が、本文の内容や表現と合致しているか、ていねいにチェックしていく必要がある。順番に見ていく。

①は、本文の前半部が「客観的な立場から冷静に叙述」しているという点が不適当である。Iの部分は、健一が昔を回想する場面であるが、8行目で幸子のことを「かわいい子だ」とからえたり、49行目で「今にも男が怒り出すのではないか」と思うなど、あくまで当時の「健一」に寄り添う視点で、健一の「主觀」を交えて描かれている。つまり、この小説は、前半も後半も「健一」という人物に「寄り添う視点」から、その「主觀」を交えて語られていくという点で、一貫しているのである。

②は、まずIの部分で「バーベキュー大会での幸子とのやりとりの末に、幸子に「好きだ」と告白して交際を申し込み、幸子がそれを拒絶しなかつたことから「風は吹いてる」と確信して、銀行をやめて転職する決心がついたわけだから、「バーベキュー大会での出来事を契機に転職を決意した」ことも、その「決断が、(告白が拒絶されなかつたこと)で、幸子との縛を強く実感する健一の心情と結びつ

いて下されている」ことも、本文内容に適合する。また、IIIの部分で「食洗機の据え付けの際に店を畳む決心をした」のは、「幸子こそ健一の風だった。これが吹いている限りは、何だってやれる」（118行目）と考えたからであり、これも「幸子との縛を強く実感する健一の心情と結びついて下されている」ことに変わりはない。したがって、これが一つ目の正解になる。

③は、まず21行目の「ささやく風」という表現について、「風」がまるで人であるかのように「ささやく」と表現しているわけだから、たしかに擬人法（=人でないものを人になぞらえて表現する技法）に該当する。しかし、66行目の「俺に吹いている風」という表現は、「風が自分に向かって吹いている」ことを指摘しているだけで、「風」を人になぞらえているわけではなく、擬人法とは言えない。したがって不適当である。

④は、「今後も中途半端な生き方からの脱却が最大の課題となる」と断定する根拠が本文にないで、不適当である。122～124行目の表現を見ると、「あらゆる問題よりも、幸子の風を捉えようとあくせくすることは難しいが、それが自分が正しくなる手立てである」という内容があるので、健一にとって、中途半端な生き方からの脱却よりも、幸子の風をうまく乗りこなすことの方が重大な課題だと思われる。

⑤は、「戻つてくる気まずさを回避するために、わざと食洗機が届く頃合いを見計らって家に戻る」という彼女なりの配慮が隠されている」という部分が、不適当である。「気まずさを回避」するためには、帰る時間を見計らうといった、幸子の周到な配慮を決定的に根拠づける内容は本文にない。さらに、幸子が帰ってきたのは食洗機の据え付け工事が終わつた後であり、「食洗機が届く頃合い」ではない点も不適当。

幸子の気持ちをあれこれと邪推してこれを選んだ諸君もいるかもしれないが、大学入試センター試験の小説問題では本文に書いてない内容を勝手に妄想したり深読みしたりする」とは許されないので、注意しよう。

⑥の「107行目の『何かをぐまかすように』」は、111行目に示されるところより『グレープ』の売り上げ不振を知りながらそれをごまかして「食洗機で少しは時間の節約ができるので外に働きに出よう」と語っていることを意味する。つまり、幸子は、健一が幸子に余計な心配をかけないよう、あえて店の経営状態が悪いことを隠す配慮をしていたことに気づいて

いて、自分も働きに出ようと決意したわけだが、
「店の経営状態が悪いから働きに出る」ということ

を健一に悟られないようにごまかして、健一に余計な心理的負担をかけまいと気づかっているのである。

以上からたしかに、「107行目の『何かをごまかすように』」という幸子の態度は、健一が「店の経

営状態に関して気を遣つてること」に幸子が「気づいていて」、そのうえで、健一に余計な負担をかけないよう「思いやっているさま」を表していると言える。

次に、「111行目の『わざと気づかないふりをした』という表現」だが、これは、働きに出ることを決心した理由を「私だけ家にいるの暇だから」と言う幸子に対して、健一が「幸子が店の経営不振を知つていてそれを気づかっているからこそ、働きに出ようとした」と解釈するのが妥当だろう。したがって、111行目の『わざと気づかないふりをした』という健一の振舞いも、たしかに幸子が「店の経営状態に関して気を遣つてていること」に気づいていて、そのうえで、とやかく言わずに幸子の決意を尊重して「思いやっているさま」を表していると言える。これが二つ目の正解である。

第3問 古文

【出典】
『苔の衣』

成立年代

鎌倉時代中期

ジャンル

擬古物語

作者

未詳

内容

春・夏・秋・冬の四巻からなる。主人公である苔衣の大将を中心として、親子三代にわたる家族関係や恋愛の葛藤などを描いた物語である。

関白の若君である苔衣の中納言（のちの苔衣の大将）は、ある夜、西院の姫君を垣間見て以来、西院の姫君を恋い慕うようになる。（以上、春の巻）

苔衣の中納言は、念願がかなつて西院の姫君と結婚し、二人の間には若君と姫君が生まれ、大納言に昇進して大将も兼ね、幸せに暮らした。（以上、夏の巻）

三条帝の父の冷泉院は、姫宮を苔衣の大将に降嫁させることを望む。苔衣の大将がそれを受け入れがたく思つて、妻である西院の姫君は病で亡くなる。さらに冷泉院からは姫宮降嫁の強い要請があつたため、苔衣の大将は密かに家を出て、仏道修行の日々を送る。苔衣の大将が行方不明となり、両親を始め多くの人々は嘆き悲しんだ。（以上、秋の巻）

ある時、苔衣の大将の姫君（苔衣の姫君）は、物の怪に取り憑かれて意識不明となる。取り憑いた物の怪の正体は、苔衣の姫君に恋慕しつつ死んだ三条帝の二の宮（春宮の弟）である兵部卿宮の靈であつた。夢で「子を救え」とお告げを受けた苔衣の大将が、苔衣の姫君の病床で加持祈禱を行つたところ、苔衣の姫君は回復する。苔衣の大将は、素性を知られないようにして退出したが、後に残された和歌を見て、苔衣の姫君は、それが実は父であつたと知って涙にむせぶ。（以上、冬の巻）

本文は、今井源衛校訂訳『中世王朝物語全集7 苔の衣』（笠間書院）によつた。但し、表記は、大学入試センター試験にならつて改めている。

【本文解説】

問題文として出題した文章は、冬の巻の一節である。物語の中では、苔衣の大将を中心とした親子三代にわたるメインストーリーからは少し外れた部分で、

兵部卿宮の恋の相手の一人であった住吉の姫君（以下、「姫君」と記す）が身を隠す場面である。姫君の父は、姫君の母への愛情が薄れ、姫君が生まれた後はすっかり疎遠になってしまった。姫君は母のもとで育つが、その母亡きあとは、母の叔母である対の君に引き取られた。対の君は、式部卿宮の邸に女房として仕えており、姫君は対の君とともに式部卿宮邸で暮らしていた。兵部卿宮は、式部卿宮の娘と氣乗りのしない結婚をし、正妻として通っていたが、ある時、式部卿宮邸で姫君を見かけて気に入り、こつそりと姫君のもとにも通うようになる。そして、姫君は兵部卿宮の子を懐妊するが、それを知った正妻側の人々は姫君や対の君をあしままに言うようになる。姫君は、自分だけではなく対の君までも悪口を言われ冷遇されているのを知つてつらく思い、いつたん、乳母の実家に退出した。そこにも兵部卿宮は通つて来たが、姫君は、このままでは周囲の人々に迷惑をかけることになると思い、乳母の姉が尼となつて住吉に住んでいたので、その人のもとに身を隠すことを決意する。本文は、兵部卿宮が訪れた翌朝、姫君が身を隠す準備をする場面から始まつてゐる。

第一段落

夜が明けて、姫君が道具などを片付ける場面である。たまつてしまつた書き損じの手紙などを泣く泣く破り捨て、わが身のつらい境遇を思い、悲しい気持ちを和歌に詠む。第一段落では、動作の主体が示されないが、リード文の内容を参考にすれば、一連の動作の主体が姫君で、「この暮れぞかし」が、姫君が身を隠す時を示していること、その準備として物を片付けていることが読み取れるであろう。

第二段落

第二段落は、兵部卿宮の描写から始まる。兵部卿宮は、姫君のもとから自邸に戻つても、姫君の心細そうだった様子が気に掛かり、再び夕暮れに姫君のもとへ行こうと思う。しかし、春宮のもとで管弦の遊びがあつて時間がとれず、また、母后が、兵部卿宮の夜歩きを気がかりに思つていて、今日明日は外出しないようと言つたこともあり、出かけることができず、姫君に手紙を送るのみであった。

兵部卿宮と姫君との和歌の内容は、問5の【設問解説】も参照してほしいが、このとき兵部卿宮は姫君の決意を知らず、「明日を逢ふ瀬と思ふ」とあるように、翌日はまた姫君と逢えることを前提として、今夜逢えない悲しみを詠んでいる。それに対しても、姫君は、この日の夕暮れに身を隠すことを決意しており、兵部卿宮にはもう逢えないという思いをこめて、「明日の逢ふ瀬を誰か待つべき」と詠む。しかし、兵部卿宮は、

和歌にこめられた姫君の真意をくみ取ることはできない。「明日の逢瀬を誰が待つことができようか」という返歌を、恋歌一般に見られる切り返しだと思い、ただ、姫君の筆跡を親しみ深くいとしく思うだけであった。

第三段落

この段落のはじめにある「さても対の君に……思ひ嘆き給はん」は、誰の心情であるか明示されていない。しかし、その中の「対の君に今一度……対面なくてやみぬるよ」「行方なくなして」という部分は、身を隠そうとしている姫君の行動を指しており、また、この姫君の動作に尊敬語が用いられていないことや、姫君の決意を他の多くの人が知つているとは思えないことから、これは姫君の心中部であると判断できる。第三段落では、12行目から20行目にかけて姫君の胸中が語られており、その部分を、(注)も参考にして丁寧に読み取ることが、読解の鍵となる(姫君の心中については問4の【設問解説】も参照してほしい)。

まず「さても対の君に……思ひ嘆き給はん」で、姫君は、自分が身を隠すことで、対の君がどんなに嘆くだろうとつらく思う。また、「いと若び……つましく思したる」とあるのは、幼くか弱い心で気が引けるという姫君の胸中を説明したものである。さらに、「かばかりわづらはしげなる……かたはらいたくて」とあるのは、正妻側の人々が自分と兵部卿宮との関係を不愉快に感じていることで、身の置き所もなくいたまれなく思つてゐる姫君の胸中を説明したものである。「かばかりわづらはしげなることども」が何を指すのか、この部分だけからではわかりにくいが、「誰も誰も」が、(注4)にあるように「兵部卿宮の正妻側の人々」を指しているのだから、兵部卿宮が姫君のもとに通うことと、正妻側の人々が不愉快を感じていることを指すと考えられよう。それに対していたまもなく思つた姫君は「見えぬ山路」に赴くことを思い立つ。これは(注5)にあるように古歌を踏まえた表現である。この古歌の大意は「世の中のつらい目に遭わないですむ山奥へ入ろう(=出家しよう)」と思うにつけて、恋しく思う人が自分の行動を束縛するものであつたことよ」ということだから、姫君が決心したのは、「つらい目に遭うことのない山奥へ行く」、すなわち「出家する」ことである。そして、自分は、このまま俗世で生きるかのある身ではないと思ひ、あたりに侍女などがいないすきを見計らつて、震える手で髪を切り、和歌を詠むのである。

ところで、出家をするにあたつては、男性も女性も髪型や服装を変え、師となる僧から出家者として守るべき戒律を受ける(=受戒)のだが、髪については、

男性は髪を切つて剃髮した。女性は、背丈にあまるほどの髪を、肩ぐらの長さに切りそろえた（これを「尼削ぎ」という）。これらのことから、「頭おろす」（御髪おろす）「髪切る」などの表現は、出家を意味するものとして使われる。あわせて覚えておこう。この場面で姫君は自ら髪を切り、尼削ぎ姿になるのだが、戒律を受けるのは、本文よりしばらく後のことである。

第四段落

迎えの車が来て、姫君と小太夫が車に乗り込んで家を後にする場面である。つらい日々を過ごした家も、「これで最後だ」と思うと悲しく、その思いを和歌に詠んで帳の紐に結びつけると、姫君はちょっと物語で行くふりをして家を出たのであった。

本文はここで終わっているが、住吉に身を隠した姫君は、そこで男子を出産し、受戒して正式に出家した後、死去する。

【全文解釈】

すっかり夜が明けてしまうと、（姫君は）「身を隠すのは）この夕暮れだよ」と思いなさって、道具などを片付けなさる。何となくたまつてしまつたいくつかの反故紙を、こうして置いておくようなのもみつともないちがいないので、泣く泣く破り捨てなさるということ（詠んだ歌）。

かき集めたその筆跡を見るたびに、（身の）置き所もなく悲しさが増すことだ。

兵部卿宮は、（姫君のもとから）お帰りになつても、（姫君の）心細そうな様子がお心にかかりなさつて、（今日の夕方にも（姫君のもとへ）人目を忍んで行こう」と思いなさるうちに、春宮の御所で管弦のお遊びがあるはずだということで（姫君のもとへ行く）時間ががないのでとても残念だ。また、「今日明日は、春宮の御所にいらっしゃってください」と言って、このようなお忍びの出歩きなどをなさるのを、（兵部卿宮の母である）後の宮がとても気がかりな様子でいらっしゃるので、無理にもおいでになることはおできにならないのだろう、（兵部卿宮は姫君に）お手紙だけをお送りになる。昨夜の様子などを愛情細やかに（書い）て、

明日を逢瀬と思うにつけても、（明日まで逢えない）夜の隔て（が悲しく、そのため流す涙）にわが身も浮いてしまいそうだ。
あちら（＝姫君のもと）では、お手紙をご覧になるにつけても、ますますはなはだしく流れる涙である。ほんとうに気分までとても悪いので、

宵の間に（泣いて涙の川に）流れていつてしま

うならば、明日の逢瀬をいつたい誰が待つことができようか、いや、誰もできはしない。
と（兵部卿宮への返事を）書いて出した。兵部卿宮は、見たこともないほどすばらしい文字ではないけれど、親しみ深くしみじみと胸を打つ様子で、ただ思つたことを書き流したのだと見える筆の動きなどを、「きっと（このように）書いているのだろうよ」と（姫君に）向かい合いなさる気持ちがして、ついしみじみいとしくお思いになる。

日も暮れるので、（姫君は）「それにしても対の君にもう一度ゆっくり対面することもなくて終わってしまうことだよ。（対の君は私を）たいそういとしい者だとかわいがってくださったのに、（私が）行方をくらましてどんなに思い嘆きなさるだろう」とつらく思うが、とても幼くか弱い心で物事をたいそう気が引けることで（兵部卿宮の正妻側の人々は）誰も誰も不快に思つていらつしやるので、ひたすらに身の置き所がなくいたたまれなくて、これほど（自分を）思うはずの人々をも振り捨てて、「つらい目に遭わない山奥へ行きたい（＝出家したい）」と決心なさるのであつた。「どのようであるにしてもつらいわが身を今までと同じ様子で生きながらえたら、思いがけず情けない様子でさすらうこともあるだらうか。いやもう、（私を）思つてがめなさつてゐる方（＝正妻側の人々）にも『このことのために死んでしまつたのだなあ』と聞かれ申し上げよう。今はどのようにも（俗世間にいて）かいのあるはずの身ではない」と思うようになりなさるにつけてもますます悲しく、小太夫もちよつとしたものなどを片付けるということで、あたりにしつかりした人もいないので、そつと帳の中にすへり入つて、髪を前にかき寄せてぞ覽になると、しなやかで慣れ親しんだ手触りで（髪の一本一本の）筋はきわだつている。そう（＝出家を決意している）とはいふもののやはり人知れず悲しくて、しばらく顔に手を押し当てるは、（なかなか）はさみも（手に）取ることができなさらないが（自分が髪を切ろうとするのを）人が見つけるようなことが恐ろしいので、ぶるぶる震えながら髪をすこり切つておしまいになつた。枕のところにある硯の箱の蓋に（切つた髪を）入れて、その色紙の紙に、

浮いた海藻だけが見える者を潛いで離れ、漁師の小舟に急いで乗つたことだ（＝つらい目にばかり遭う俗世を漕ぎ離れ、急いで尼となつてしまつことだ）。

「（牛車が）迎えに来た」と聞きなさるので、ますます心が落ち着かなくて、書き終えると（いうこと）も

なくて、(色紙の紙を)押しやりなさつた。「それならば、すっかり夜がふけませんうちに、早くお出になつてくださいよ」と言いながら、小太夫もたいそうしみじみと悲しいと思う。「いつもより特に(愛情)細やかに語りなさつた今朝の(兵部卿宮の)お姿にもお別れしてしまうことよ」と、やはり悲しくて(迎えの牛車に)すっかり乗つてしまふこともおできにならない。つらい(ことがあつた)馴れ親しんだ家も、「今は(これで最後だ)」と思いなさると、目ばかりがどまつて、

つらい(思いをした)けれど、(一方で)悲しいのは、これで最後だと思って住み馴れた家を出て行くことであつたよ。

と書きつけて、帳の紐に結びつけなさる。邸にいる人々には、ほんのちよつとどこかへお参りしなさるということを(小太夫に)言わせなさるので、(邸の人々が)驚くこともない。ちよつとした櫛の箱一つだけを携えて、そのまま(姫君と一緒に)小太夫だけが乗つた。

【設問解説】

問1 短語句の解釈の問題

センター試験の古文の問1は、例年、短語句の解釈を問う問題が三問出題される。古語の意味と文法事項に注意して解釈をするのは言うまでもないが、より適切な古語の意味を文脈から判断しなくてはならない。問題を解くにあたっては、古語の辞書的な意味と文脈との両面をよく考える必要があり、普段の学習においても、このことに注意して解釈するよう心がけることが重要である。

(ア) をこがましかりぬべければ

「をこがましかり／ぬ／べけれ／ば」と分解される。重要語は「をこがまし」である。

1 愚かなようすだ。みつともない。
2 さしだがましい。

選択肢のうち、この意味に該当するのは①「みつともない」、②「愚かな」、④「さしだがましい」である。次に「ぬ」は、シク活用形容詞「をこがまし」の連用形「をこがましかり」に接続しているので、完了・強意の助動詞「ぬ」の終止形である。よつて②「愚かなことではない」と、「ぬ」を打消で訳すのは不適切である。「べけれ」は、助動詞「べし」の已然形で、「ぬべし」と続いているところなので、「ぬ」は強意の用法である。「べし」を当然と考えて、「ぬべし」を①「～にちがいない」と訳す

のは問題ないが、④「～と思われる」と訳すのは、「べし」を正しく訳出しておらず、ふさわしくない。また、文脈を見てみると、ここは姫君が身を隠そうと決意をして物を片付けていて、たまつた反故紙を、このままにしておくようなことも「をこがましぬべければ」泣く泣く破り捨てるという内容である。反故紙とは不用になった紙のことで、それを残すことが「みつともない」ので破り捨てるときれるのは文脈に合うが、「さしだがましい」での破り捨てるというのでは文脈に合わない。よつて、①が正解である。

(イ) 目も及ばぬ文字やうなどにこそあらね
「目／も／及ば／ぬ／文字／やう／など／に／こそあらね／あら／ね」と分解される。「ぬ」は、巴行四段活用動詞「及ぶ」の未然形「及ば」に接続しているので、打消の助動詞「ず」の連体形である。この「目も及ばず」は、慣用的な表現である。

目も及ばず(連語)
(正規できないほど)たいそう美しい。非常に立派だ。

選択肢のうち、この部分を正しく訳しているのは、③「見たこともないほどすばらしい」しかない。④「目が釘付けになるほど見事な」は、賞讃である点は正しいが、「目が釘付けになるほど」が語義に合わない。もつとも、この表現を覚えていないても、文法の知識で判断することもできる。「にこそあらね」の部分について、「に」は、非活用語である副助詞「など」に接続し、下にラ行変格活用動詞「あり」を伴つて「～で」と訳せるので、断定の助動詞「なり」の連用形、「こそ」は強意の係助詞で、その結びの語は、打消の助動詞「ず」の已然形「ぬ」である。よつて、「文字である」と肯定で訳している①・②・④は不適切である。また、結びの語の「ぬ」で文が終止せず、さらに下に文が続いていることに注意しなくてはならない。このようになつている場合は、逆接の意味で下の文に続く場合が多い。よつて、「にこそあらね」で「～ではないけれど」と訳すので、「ので」となつてている④・⑥は、不適切である。これによつても正解は③と決まる。文脈を確認すると、ここは兵部卿宮が姫君の手紙を見た感想の部分で、「見たこともないほどすばらしい文字ではないけれど、親しみ深くしみじみと胸を打つ様子で」という内容なので、文脈上も逆接がふさわしい。

(ウ) あからさまにものへ参り給ふ
「あからさまに／もの／へ／参り／給ふ」と分解

される。重要語は「あからさまに」である。

あからさまなり（ナリ活用形容動詞）

1 ついちょっと。ほんのしばらく。一時的に。

2 （下に打消の語を伴つて）かりそめにも。

ほんのちょっとも。

選択肢のうち、「あからさまなり」を正しく訳しているものは、④「ほんのちょっと」とのみで、これで正解は決まる。しかし、念のためにほかの部分も確認しておこう。「参り」はヲ行四段活用動詞「参る」の連用形で、ここでは「参上する」「お参りする」の連用形で、ここで「参上する」「お参りする」の連用形で、ここでは「参上する」「お参りする」。参詣するなどの意の謙譲語。「給ふ」は「参る」という動詞の直下にあるので、補助動詞である。「給ふ」が補助動詞の場合は尊敬（四段活用）と謙譲（下二段活用）とがあるが、この「給ふ」は直下に「よし」という名詞があるので連体形で、連体形が「給ふ」となるのは四段活用であるから尊敬の補助動詞である。よって、「参り給ふ」は「お参りしなさる」と訳す。「もの」は漠然と事物を指す言い方で、ここは直後に「参り給ふ」と続くから、「ある場所」の意。直訳すると「ほんのちょっとある場所へお参りしなさる」となる。文脈を確認すると、ここは姫君が邸を出て身を隠そうと決意し、そのために手配した牛車が到着した場面である。その際に、邸にいる人々には、「ちょっとある場所へお参りしなさる」と人を介して言わせたので、邸の人々は、姫君が出かけても驚くことはなかったというのである。

以上の点から、④は、「参る」「給ふ」も正しく訳されている上、文脈にも合つており、正解として問題ない。

問2 文法問題

センター試験の古文の問2は、例年、文法問題が出題されるが、近年の本試験では、次に示すように、助動詞・助詞を中心とした付属語の識別問題が出題されている。

「に」の識別

10年 「なり」の識別
11年 「れ」「せ」「ね」の識別
12年 「れ」「なり」「に」「る」の識別

今回はそれにならつて識別を問うた。文法については、語の識別はもちろんのこと、助動詞や助詞を中心に、敬語も含めて基本的事項をしっかりとおさえています。

a 「に」の識別

「に」の識別

1 完了・強意の助動詞「ぬ」の連用形

※ 連用形に接続し、直下に助動詞「き」

「けり」「けむ」「たり」が続く。

2 断定の助動詞「なり」の連用形

※ 体言・連体形・助詞・副詞などに接続する。

※ 下に補助動詞の「あり」「おはす」「侍り」「候ふ」などを伴うことが多い。

※ 「うで」と訳せる。

3 格助詞

※ 体言・連体形に接続する。

4 接続助詞

※ 連体形に接続し、前後の文をつなぐ働きをする。

5 ナ行変格活用動詞の連用形活用語尾

※ 「死に」「往(去)に」の二語。

6 ナリ活用形容動詞の連用形活用語尾

※ 「あはれに」「いたづらに」など。

7 副詞の一部

※ 「いかに」「げに」「さらに」など。

a の「に」は、四段活用動詞「積もる」の連用形「積もり」に接続しており、直下に助動詞「けり」があるので、前記1の完了の助動詞「ぬ」の連用形である。選択肢には「完了」「断定」しかないのだが、ここでは前記1・2以外は考える必要はないが、「に」の識別方法は必ず覚えておこう。

b 「なり」の識別

1 断定の助動詞「なり」

※ 体言・連体形・助詞・副詞などに接続する。

2 伝聞・推定の助動詞「なり」

※ 終止形に接続。ただし、ヲ変型の活用をする語には、連体形に接続する。

3 ラ行四段活用動詞「なる」

4 ナリ活用形容動詞の活用語尾

ここは「涙」という体言に接続しているので、前記1の断定の助動詞「なり」の終止形である。

c 「る」の識別

1 自発・可能・受身・尊敬の助動詞「る」の終止形

※ 四段活用動詞・ナ行変格活用動詞・ラ行

変格活用動詞の未然形（＝いづれも語尾が

ア段音）に接続する。

2 完了・存続の助動詞「り」の連体形

※ サ行変格活用動詞の未然形・四段活用動詞の已然形（＝いづれも語尾がエ段音）に接続する。

3 活用語の一部

※ 「見ゆる」「高かる」「あはれる」「ける」など。

c の選択肢は、「完了の助動詞」か「動詞の一部」となっているので、どちらであるかを考えよう。「る」の上には「給へ」とある。これは動詞「給ふ」で、「給ふ」は問1(a)の【設問解説】でも述べたように、四段活用の場合と下二段活用の場合とがある。四段活用の場合 語尾は「は／ひ／ふ／ふ／へ／へ」と活用し、下二段活用の場合 語尾は「へ／へ／（ふ）／ふる／ふれ／〇」と活用する。すなわち、「給ふ」は、四段活用にも下二段活用にも「給へる」という活用形はない。よって、「る」は動詞の一部ではなく、完了の助動詞である。

d 「けれ」の識別

1 過去の助動詞「けり」の已然形

* 連用形に接続する。

2 形容詞の已然形の一部

d の「けれ」の上には、「恐ろし」とある。「恐ろしけれ」を「恐ろし」と「けれ」に分けると、「けれ」が過去の助動詞「けり」の已然形、「恐ろし」はシク活用形容詞「恐ろし」の終止形ということになる。しかし、助動詞「けり」は連用形に接続するのだから、接続に矛盾があり、この分け方は誤つているとわかる。ここは、「恐ろしけれ」で一語であり、「けれ」は、シク活用形容詞「恐ろし」の已然形の一部である。

以上、a～dを正しく説明しているのは、①である。

問3 理由説明の問題

説明問題であつても、まずは傍線部を正確に説くことが大切である。「御文ばかりぞ遣はす」の「文」は「手紙・書物・漢学・漢詩」などの意味がある名詞で、ここでは「手紙」の意である。「ばかり」は「ただ」の意の副助詞、「遣はす」はここでは「送る」の尊敬語で、「お送りになる・おやりになる」の意のサ行四段活用動詞だから、傍線部は「お手紙だけをお送りになる」と訳すことができる。そのよ

うにした理由を考えるために、兵部卿宮が登場する第二段落の冒頭から内容を確認していこう。

まず、(注1)にあるように、兵部卿宮は前夜に姫君のもとを訪れており、第二段落は兵部卿宮が邸に帰った後の場面である。ここで兵部卿宮の気のかかっている「心細くなる有様」とは、前夜に逢つた姫君の様子を指すと考えられる。姫君のことが気にかかる「この暮れにも紛れ行かん（＝今日の夕方にも姫君のもとへ人目を忍んで行こう）」と思つてゐるのである。結局、「御文ばかりぞ遣はす」ことで終わってしまった理由は、傍線部の前にある「春宮の御方に……え強ひてもおはせぬるべし」の箇所に示されている。そこに述べられた内容をまとめるべく、次の通りである。

I 春宮の御方に御遊びあるべしとて隙なければいと口惜し

「遊び」は「管弦の遊び」の意の名詞、「隙」はここでは「時間のゆとり」の意の名詞、「口惜し」は「残念だ」の意のシク活用形容詞である。春宮の御所で管弦の遊びがあるはずだということで時間がないのでも残念だ」という意味であるが、兵部卿宮は、この直前で姫君のもとへ行こうと思つているのだから、「口惜し」は、管弦の遊びのために姫君のもとへ行く時間がとれないことに対する心情であるとわかる。

II 「今日明日、坊に居給ふべし」とて、かやうの御忍び歩きなどし給ふを、后の宮のいと後ろめたげにものし給へば

「かやうの御忍び歩き」とは、兵部卿宮が密かに夜に出歩いていることを指す。高貴な身分である兵部卿宮の、そのような夜の外出に対し、母后は「後ろめたげにものし給へば（＝気がかりな様子でいらっしゃるので）」だからこそ、「今日明日、坊に居給ふべし（＝今日明日は、春宮の御所にいらっしゃってください）」と言つる。

III え強ひてもおはせぬなるべし

この「ぬ」は、サ行変格活用動詞「おはす」の未然形「おはせ」に接続しているので、打消の助動詞「ず」の連体形であり、「え」は「え（）打消」で不可能を表す。「なる」は断定の助動詞「なり」の連体形、「べし」は推量の助動詞「べし」の終止形で、無理にもおいでになることはおできにならないのだろう」の意である。つまり、兵部卿宮は、前記のI・IIの事情で姫君のもとに行くことができなかつたために手紙だけを送つたのである。

では、選択肢の内容を検討しよう。

①は、まず「姫君が何か言いたそそうだった」とあ

るのが不適切。本文には、兵部卿宮が姫君の様子を気がかりに思った、という内容があるだけで、「姫君が何か言いたそうだった」ということは書かれていない。また、「正妻をないがしろにしていると母后にとがめられ」も不適切。前記のIIで示したように、母后が気がかりに思っていたのは、兵部卿宮のひそかな夜歩きであり、それは女性のもとに通うことも含まれているだろうが、「正妻をないがしろにしている」と母后が言つたとまでは本文に書かれていない。

②は、「春宮の催す管弦の遊びに参加せねばならず」が前記のIに、「また「母后が自分のひそかな外出をひどく心配に思つてゐる」が前記のIIに該当する。また、「姫君のもとに行くに行けなくなつたから」という説明も前記のIIIに該当し、正しい。②が正解である。

③は、手紙を送つた直接の理由が「前夜も訪れたので、今夜は姫君に手紙を送るだけでもかまわないだらうと思った」となつていてのが不適切。前記のIIIの訳を踏まえた説明としても正しくないし、兵部卿宮が「手紙を送るだけでもかまわない」と思ったという記述は本文にない。さらに、前記のIIの内容に全く触れられていない。

④は、前記のIの内容が説明されていないし、「姫君との恋を快く思わない母后」も不適切。母后が兵部卿宮と姫君との恋に不満を抱いているとまでは本文に書かれていません。また、「春宮の催す管弦の遊びにかこつけ」とあるが、母后は、兵部卿宮の夜の忍び歩きを心配して、今日明日は春宮の御所にいるように言つただけで、管弦の遊びにかこつけてはいらない。

⑤は、「管弦の遊びの準備をするのに手間取り」が不適切。前記のIで見たように、兵部卿宮は管弦の遊びに参加することで姫君のもとへ行く時間を失つたのであり、管弦の遊びの準備に手間取つたといふ記述は本文にはない。また、「自分が邸にいるかどうか、母后が見張つていた」も不適切。前記のIIで見たように、母后は春宮の御所にいるように言つてはいるが、見張つていたとまでは書かれていな

問4 心情説明の問題

問3と同じく、まず傍線部の訳を確認しよう。

「削ぎ」はガ行四段活用動詞「削ぐ」の連用形で、「髪を切り落とす」の意。「はて」はタ行下二段活用動詞「はつ」の連用形で、ここは動詞の連用形に接続して、「すっかり／＼する」の意を表す。「給ひ」は

四段活用なので尊敬の補助動詞、「つ」は完了の助動詞で、傍線部の訳は「髪をすっかり切つておしまになつた」となる。本問は、姫君がこのような行為をするに至る心情を問う問題であるが、「適当でないもの」を選ぶ設問であることに留意したい。

姫君の心情を確認するためには、傍線部に至る第三段落の内容を丁寧に読んでいくことが求められる。第三段落で、姫君が髪を切るに至るまでを、姫君の心情にそつてまとると、次のようになる。

I 対の君への思い（12行目～13行目）

「やでも対の君に……いかに思ひ嘆き給はん」と心苦しけれど

「対の君」は、リード文にあるように、姫君の母の叔母にあたり、母を亡くした姫君を引き取つていつ一度会うこともなく、身を隠そうとしていることがわかる。姫君の胸中を示す「いとかなしきものにし給ひつる」「いかに思ひ嘆き給はん」の部分に、尊敬の補助動詞「給ふ」が使われているから、これらの部分の主語は、姫君ではなく、対の君であるとわかる。対の君は自分をとてもかわいがつて下さったのに、自分が身を隠すと、どんなに嘆きなさるだろう、と姫君はつらく思つてゐるのである。

II 自分の現状への思い（13行目～14行目）

「いと若びあえかなる心にて……かたはらいたくて

姫君は、物事に對して「いたくつましく（＝とても気が引ける）」と思つてゐる。「誰も誰も思しむつかりたる」とは、兵部卿宮が正妻をさしおいて姫君のもとに通うことを、正妻側の人々が皆、不愉快なことだと思つてゐるということである。そのため

に、姫君は「一筋に置き所なくかたはらいたく（＝

ひたすらに身の置き所がなくいたたまれなく）」思

う。

III 姫君の決意（14行目～17行目）

「かばかり思ふべき人々をもふり捨て、……思しなるにつけてもいどどかなしく

姫君は、自分を思つてくれる人も捨てて、「見えぬ山路」へ行こう、すなわち出家をしようと決心する。さらに、「いかならんにつけても」以下に、姫君の心中表現が続く。「憂き身」とは、姫君のつらい身の上を指し、「同じさまにて長らへば」とは、姫君がそれまでと同じ状況、すなわち身を隠さずに生きながらえるならば、の意。その状況のまま生きるとなると、結局は思いもかけず情けない様子ですらうこともあるか、と思うのである。「思ひとがめ給へるあたり」とは、姫君のことを不愉快に思

つてゐる兵部卿宮の正妻側の人々のことで、その人たちにも「このことのために死んでしまったのだなあ」と聞かれようと思い、自分はこのまま俗世で生きるかいのある身ではないと思う。

IV 姫君の行動（髪を切る）〈17行田～20行田〉

小太夫もはかなきものなど……削あはせて給ひつ
姫君は、あたりに小太夫など「はかばかしき人（＝しつかりした人）」がいない隙に、帳の中に入つて、自分の髪を見る。やはり悲しくて、しばらくは

はさみを手に取ることもできないが、「人見つけんが恐ろしけれ」と思つて、震える手で髪を切る。人が見つけると、髪を切ることをとめられるだろうから、そうなるといけない、と思つてゐるのである。以上を踏まえて選択肢を検討していこう。

①は、前記のIの内容に該当する。「別れを告げないまま姿を消したら」は、本文の「今一度心のどかに対面なくてやみぬるよ」「行方なくなして」の説明にあたる。また、本文の「いかに思ひ嘆き給はん（＝どんなに思い嘆きなさるだろう）」は、姫君が突然姿を消すことで対の君がどんなに思い嘆くだろう、ということだから、「対の君を悲しませる」とになるだろう」と同様の意である。

②は、前記のIIの内容に該当する。「正妻側の人々から不愉快な存在だと思われている」は、本文の「誰も誰も思ひしむつかりたる」の説明にあたり、「ひたすらいたたまれずどうしようもなかつた」は、本文の「一筋に置き所なくかたはらいたなくて」の説明にあたる。

③は、前記のIIIの内容に該当する。「俗世間で暮らしていくとすれば」は、本文の「同じさまにて長らへば」の説明にあたり、「不本意な様子でみじめにやまよぎことになるかもしけない」は、本文の「心より外にものはかなきさまであすらふることもやあらん」の説明にあたる。また、姫君はこのよううに考へて「いどかなしく」思うのだから、姫君が「悲観した」というのも正しい。

④は、前記のIVの内容に該当する。「今なら髪を切ることができると思つた」に直接該当する本文はないが、あたりに「はかばかしき人」がない時に、そつと帳の中に入つて髪を切ろうとしているし、「人見つけんが恐ろしければ」とあるように、誰かに見つけられることを気にしていることを考へると、姫君が「まわりに人がいない時でないと髪は切れない」、すなわち「まわりに人がいない今なら髪を切ることができる」と考へたと見てよい。

⑤は、姫君が自分の髪を見ている場面だから、前記のIVにあたる部分だが、本文には「髪を搔き越し

問5 和歌の説明問題

11年のセンター本試験では和歌が出題されなかつたが、12年は本文に和歌が三首含まれており、三首すべてが設問にとりあげられた。'01年以降、和歌が出題されなかつたのは、'08年と'11年のみであるから、和歌の読解力を養うことは必須である。

和歌の読解においては、まず、和歌が詠まれるに至つたいきさつを、和歌が出てくるまでの本文を丁寧に読んで押さえが必要がある。それを確認したうえで、和歌の説解に入ろう。まず句切れを確認し、文法や古語の意味に注意をして逐語訳をする。そして、誰がどのような経緯で詠んだものかということも考え合わせて、必要に応じて語（主語や目的語、比喩内容など）を補つて解釈する。また、和歌には修辞（掛詞・縁語・序詞・枕詞）が用いられることが多いので、修辞についても、文脈を考慮に入れながら慎重に考察することが必要である。

では、それぞれの和歌が詠まれるに至つたいきさつと、和歌そのものの内容、そして選択肢を検討していこう。

Aの歌は、兵部卿宮が、姫君のもとへ行きたいけれども行くことができないので、姫君に送つた歌である。「飛鳥川／明日を逢ふ瀬と／思ふにも／夜の隔てに／身を浮きぬべき」と句に分けられ、句切れはない。「飛鳥川」は現在の奈良県を流れる川で、昔は流路がたびたび変わつたところから、定めない世のたとえに用いられた。また、「あすか」という音から、「明日」を導く枕詞としても用いられた。「ぬべき」の「ぬ」は完了・強意の助動詞「ぬ」の終止形、「べき」は推量の助動詞「べし」の連体形で、第二句以降を逐語訳すると、「明日を逢瀬思うにつけても、夜の隔てに身が浮いてしまいそうだ」となる。この歌は、兵部卿宮が姫君のもとに行けない状況で詠んだものだから、「夜の隔て」とは、「姫君と逢えない今夜一晩の隔て」ということである。「身が浮く」は、「（飛鳥）川」「瀬」などの語から「川に身が浮く」と考へることができるが、ここは実際に飛鳥川まで行つた場面ではないし、姫君に逢いたくとも逢えないつらい状況であることを考へ

て見給ふに、たをたをとなつかしき手当たりにて筋なんげざやかなる」とあるから、姫君が髪を見て感じているのは、「つらかった兵部卿宮との日々ではなく、慣れ親しんだ髪の手触りや、髪の一筋一筋の紛れずきわだつ様子である。よつて、姫君の心情の説明として不適切である。

以上のことから、⑤が正解である。

る」と、悲しみの涙が流れて川のようになり、そこに

自分の身も浮く、という誇張表現を見るべきである。

また、「身ぞ浮き」の「浮き」は「憂き」との掛詞と考えられる。よって、この第二句以降の解釈は、「明日を逢瀬と思うにつけても、明日まで逢えない夜の隔てが悲しく、そのために流す涙にわが身も浮いてしまいそうだ」となる。ところで、初句の「飛鳥川」を「定めない世のたとえ」を意味する地名と捉えて、「二人の仲がどうなるかわからない」と解釈すると、第二句以降の内容どうまくながらない。よって、この「飛鳥川」は単に「明日」を導く枕詞と見るべきである。なお、Aの歌では、「川」「瀬」「浮き」が縁語となつていて、縁語とは、一首の歌の中に、意味上密接に関連し合うようなことばをいくつも意識的に用いて飾りとする修辞法である。

Bの歌は、Aの歌に対する姫君の返歌である。「宵の間に／流れはてなば／飛鳥川／明日の逢ふ瀬を／誰か待つべき」と句に分けられ、句切れはなし。Aへの返歌であるから、Aの語句を踏まえたものになつており、「飛鳥川」もAと同様に、「明日」を導く枕詞と見てよい。この歌は、姫君が身を隠そうとしている、まさにその日に詠まれたものであるから、姫君にとって兵部卿宮との翌日の逢瀬はもうかなわない。その状況を踏まえると、「誰か待つべき」の「か」は反語と考えるのがよい。「なば」の「な」は、完了・強意の助動詞「ぬ」の未然形で、「ば」は未然形に接続しているので順接仮定条件を表す。よつて、逐語訳すると「宵の間にすつかり流れてしまつたならば明日の逢瀬を誰が待つことができるだろうか、いや、誰もできない」となる。Aの歌で、兵部卿宮が、悲しみの涙が川となつてそこに身も浮きそうだ、と詠んでいることを踏まえると、「流れ」は「泣かれ」との掛詞で、「宵の間につい泣いて涙を流して、その涙の川に流れていつてしまふならば」と解釈するのが適当である。姫君の本心としては、「自分は身を隠すのだから、明日はもう逢えない」という気持ちが込められている。

①は、「飛鳥川」という語の説明自体は間違いではないが、A・Bの和歌の中では「定めない世のたとえとして用いられ」ではない。また、兵部卿宮は翌日の逢瀬を期待しており、姫君は次の逢瀬はないと思つてゐるのだから、「姫君と兵部卿宮が、自分たちの仲はどうなつていくのか、無常なこの世ではわからないと思つてゐる」という説明は不適切である。

②は、兵部卿宮の気持ちの説明として正しく、縁

語の説明も正しい。よつて、これが正解である。

③は、「流れ」「泣かれ」という掛詞の説明は正しいが、姫君の心情の説明は前述した内容と違つている。「誰か待つべき」は、誰も待つことができないという意味なので、「いつかまた逢瀬がかなう日を待とう」という期待が詠まれているわけではない。

Cの歌は姫君が出家の決意をし、髪を切った後に詠んだものである。「浮き海布のみ／見ゆる渚を／漕ぎ離れ／海人の小舟に／急ぎ乗りぬる」と句に分けられ、句切れはない。逐語訳すると、「浮いている海藻だけが見える渚を漕ぎ離れ、漁師の小舟に急いで乗つた」となる。しかし、このままでは、姫君が髪を切つた後に詠んだ歌としては、内容がそぐわない。姫君は出家の決意をして髪を切つた、すなわち尼になろうとしているのだから、「海人」に「尼」が掛けられていると考えられる。また、姫君が出家を思い立つたのは、兵部卿宮とのことでつらい目に遭つてゐるためである。そこから、「浮き海布」には「憂き目」が掛けられていると考えられ、それらを踏まえると、「つらい目にばかり遭うこの俗世を離れ、急いで尼となつた」という気持ちが込められていることがわかる。この和歌の「浮き」「海布」「海人」は縁語となつていて、「海人」は縁語となつていて、「海人」と「尼」との掛詞の説明は正しい。

しかし、「渚」に「無き」が掛けられていると考えることはできない。掛詞は、原則として掛けられた二つの意味を訳に反映させるので、もし「渚」に「無き」が掛かっているとすると、一方の意味は「憂き目のみ見ゆる無きさを漕ぎ離れ」で、「つらい目にばかり遭うことのない所を離れて」などと訳すことになつてしまい、これではこの場面の状況と逆になる。

Dの歌は姫君がいよいよ邸を出て身を隠すために牛車に乗る場面で詠んだものある。「憂きながら／かなしきものは／限りとて／馴れにし里を／出づるなりけり」と句に分けられ、句切れはない。逐語訳をすると、「つらいけれど悲しいのは、最後だといつて住み馴れた家を出て行くことであつたよ」となる。直前の本文に「憂き古里」とあることから、「憂きながら」は、「この家ではつらいことがあつたけれど」との意と考えればよい。つらいこともあつたその住み馴れた家も、これが最後だと思つて出て行くのは悲しい、という内容の和歌である。

⑤は、姫君がDの歌で「馴染みのある家を出て行くのは悲しい」と詠んでゐるので、「もうこれまで暮らしには戻れなくなるという姫君の嘆き」は読

み取れよう。しかし、「『憂きながらかなしきものは』は『限り』を導く序詞」という説明が不適切である。序詞とは、ある語を導く修飾句で、多くは七音節以上である。ある語を導くという点は枕詞と似ているが、序詞は詠者によって自由に創作される点が大きく異なる。序詞が語を導くパターンは、次の三通りである。

序詞（傍線部が序詞、波線部が導かれる言葉）

1

比喩表現で導く

吉野川岩波高く行く水のはやくぞ人を思ひ

そめてし

※「吉野川を波高く流れていく水のようにはやい」という比喩から、「はやく」を導く。

2 掛詞で導く

風吹けば沖つ白波たつ山夜半にや君が一

人越ゆらむ

※「たつ」が、波が「立つ」と、地名の「竜田山」の「たつ」との掛詞で、「たつた山」を導く。

3 同音で導く

ほととゑす鳴くや五月のあやめ草文目もし

らぬ恋もするかな

※「あやめ草」の「あやめ」と同音の「文目」を導く。

問6 文章の表現の特徴と内容、文学史についての説明問題

表現に関する問題は、センター試験の古文で近年連続して出題されている。この手の設問では、表現のみを問うのではなく、あわせて本文の内容も問う場合が多い。また、文学史をからめて問う場合もある。このような問題では、表現や文学史の説明として明らかに間違っているものや、本文の内容と異なった説明になっているものを見極め、消去法で選択肢を選んでいくといよい。

まず、本文が作品としてどのような物語の流れをくむものかを考えよう。この本文は、兵部卿宮と姫

君との悲恋が、和歌を交えて描かれているのだから、①「歌物語」や②・③「作り物語」の流れをくむとは言えるが、過去の実在の人物の事績や出来事などを述べる「歴史物語」の流れをくむとは言いがたいので、④・⑤は不適切である。次に、文学史の説明の部分を検討しよう。①は、『蜻蛉日記』の作者の説明は正しいが、これは平安時代に成立した日記であるから、「鎌倉時代に成立した」という説明は誤りである。②は、『枕草子』の作者の説明は正しいが、これは平安時代に成立した隨筆であるから、「鎌倉時代に成立した」という説明は誤りである。③～⑤は、『十六夜日記』・「とはずがたり」・『方丈記』の作者、成立時代とともに説明は正しい。ここまで検討で、正解は③と見当が付くが、本文の表現の特徴と内容の説明の部分も確認しておこう。

①は、「姫君と兵部卿宮との間に交わされた和歌に、この物語の主題である、一夫多妻の時代における女の苦悩が示されている」の部分が不適切である。兵部卿宮はAの歌で、姫君のもとへ行けない悲しみを詠み、姫君はBの歌で兵部卿宮との逢瀬は期待できないと詠む。確かに姫君の苦しみの原因は正妻の存在にあるのだが、この和歌のやりとりにそれが直接詠まれているわけではないので、これらの歌に「一夫多妻の時代における女の苦悩」が示されているとは言えない。

②は、姫君と侍女である小太夫に着目すると「身分差による厳密な敬語の使い分けがなされている」という説明は正しい。「作り物語の流れをくみ」も正しいが、文学史が誤りである。

③は、「形容詞・形容動詞が多用される」という説明は正しい。選択肢に示されている「口惜し」「あはれに」「かなしく」のほかにも「心苦しけれ」「つづましく」「かたはらいたく」「憂き」など、心情を表す形容詞が多く用され、細かい心情描写がなされている。また、古歌を踏まえているという説明も正しい。

④は、主人公以外の人々の思惑が、「それぞれの立場からの発言によって表される」が不適切。和歌を含めて、本文で発言が記されているのは、姫君と兵部卿宮のほかは、母后と小太夫のみである。対の君や春宮は、その呼称が出てくるのみで、発言はしていない。

⑤は、挙げられた例のうち「やをら帳の中へすべり入りて」を「人物の行動を中心とした叙事的」なものとすることはできるが、「思しむつかりたる」は心情を表しているのだから、「叙事的」とは言え

ない。また、本文 자체も細かい心情描写が連綿と続く長い文で綴られる傾向があるので、「簡潔な文体で記される」とも言いがたい。

以上のことから、③が正解である。

第4問 漢文

【出典】羅大經「鶴林玉露」全十八巻。羅大經（生没年不詳）は、宋の人で廬陵（江西省吉安市）の出身。字は景綸。宝慶二年（一二二六）に官吏登用試験に合格し、容州（広西省容県）の司法官の属官となる。その後、朝廷で起こった事件に巻き込まれて辞職し、二度と仕官することなく、隠棲して一生を終えた。『鶴林玉露』は、羅大經が淳祐八年（一二四八）に書いた序文によれば、鶴林（＝僧寺）で日々友人と語り合った内容を筆録させたものという。本書に載せる話題は、詩句などの解釈から、逸話、伝説にまで及ぶ。他の書物に見えない史実を多く記録しており、当時を知る貴重な歴史資料となつていて。甲乙丙の三編に分かれ、各編は六巻からなる。本文は、甲編・卷二から採つた。

【本文解説】

本文は、献上品をめぐる四題の逸話によって構成されているが、中心は、秦檜が、その夫人に「高級魚の子魚」として「大衆魚の青魚」を献上させたという逸話である。その秦檜の逸話を語るために、劉義康・元載・呂夷簡（＝呂許公）の逸話が採りあげられている。

第一段落では、南朝宋の文帝の時代に権勢を誇った劉義康の逸話が紹介されている。文帝が「今年のみかんは形と味が例年のものより劣る」と嘆くと、劉義康は自分の所に贈られてきたみかんを献上した。すると劉義康が献上したみかんは、皇帝のもとに贈られたみかんよりも上等なものであつたため、かえつて皇帝の不興を買い、官職や地位を取りあげられてしまつた。

第二段落では、唐の代宗に仕えて専横な振る舞いの多かつた元載の逸話である。元載は路嗣恭からガラス皿を贈られたが、そのガラス皿は路嗣恭が代宗に贈つたものよりも大きかった。このために元載は処刑されてしまったのである。

第三段落では、呂夷簡が「高級な淮白魚を多く献上しようとはしなかつた」という逸話を採りあげている。

第四段落では、秦檜の逸話が採りあげられる。顯仁太后が「近頃大きな子魚が非常に少ない」と秦檜夫人に向かつて嘆くと、秦檜夫人は「私の家に大きな子魚がありますので、百尾進呈いたします」と答えた。夫人からその話を聞いた秦檜は、このままでは劉義康のように皇帝の不興を買つてしまふと考え、「子魚に似た大衆魚の青魚を百尾進呈する」という計略を実行す

る。この計略によつて、秦檜夫人は「高級魚の子魚と大衆魚の青魚の区別もつかない愚か者」と頤仁太后的嘲笑を受けるが、これはすべて秦檜の計算通りであつて、秦檜は自分の夫人を「愚か者」と偽ることによつて、皇帝の一族から不興を買うことを回避し、秦檜自身の身を守つたのである。

筆者はこのように献上品に関する逸話を並べて紹介することで、秦檜が如何に狡猾な人物であったかを際立たせたのである。

【書き下し文】

宋の文帝の時、司徒の義康頤仁太后の權を總ぶ。四方に饋贈するに、皆上品を以て義康に薦めて、而して次品を以て供御す。上嘗て冬月に柑を啖ひ、其の形味並びに劣るを嘆く。義康曰はく、「今年の柑殊に佳なる者有り」と。人をして東府へ還りて柑を取らしむれば、供御する者より大なること二寸なり。上寝く平らかな能はずして、義康旋つて罪を以て廻せらる。唐の代宗李泌に謂ひて曰はく、「路嗣恭琉璃の盤の九寸なるを献ず。乃ち徑の尺なる者を以て元載に遺る。其の至るを須ちて之を議せん」と。泌の一言に頼りて、嗣恭罪を免れて、而して元載竟に誅せらる。呂許公肯へて多くは淮白魚を進めず。蓋し此に懲るればなり。

秦檜の夫人、常に禁中に入る。頤仁太后言ふ、「近日子魚の大なる者絶えて少なし」と。夫人対へて曰はく、「妾の家に之有り、當に百尾を以て進むべし」と。帰りて櫛に告ぐれば、櫛其の失言を咎む。其の館の客と謀りて、青魚百尾を進む。頤仁掌を拊ちて笑ひて曰はく、「我這の婆子村なりと道へり、果して然り」と。蓋し青魚は子魚に似て非なり。特だ差大なるのみ。此を観れば、賊檜の姦見るべし。

【全文解釈】

南朝宋の文帝の時、司徒の劉義康は政治権力を独り占めしていた。天下の人々が品物を贈る場合、誰もが最上の品を劉義康に贈り、二番目の品を皇帝に献上した。文帝がある冬にみかんを食べ、その形と味がどちらも（例年のものより）劣ると溜め息をついた。（すると）劉義康が言つた、「今年のみかんにとりわけ良い物がござります」と。人をやつて自分の職場からみかんを取つてこさせると、（そのみかんは）皇帝に献上されたものよりも三寸も大きかった。文帝は次第に平静でいられなくなり、劉義康は（献上品を贈つたことで）逆に罪を得て官職や地位をとりあげられた。

唐の代宗が李泌に言つた、「路嗣恭は（直径が）九寸のガラス皿を（私に）献上し、そして直径が一尺のガラス皿を元載に贈つた。路嗣恭と元載の二人が到着

するのを待つて、このことについてよく議論するようにな」と。（彼等の処罰は）李泌の一言によつて、嗣恭は罪に問われず、元載はとうとう死刑に処せられた。

呂許公は高級魚の淮白魚を多く献上しようとはしなかつた。おそらくこの（劉義康や元載の）事例を心配し（て配慮し）たのだろう。

秦檜の夫人は、いつも宮中に出入りしていた。頤仁太后が言つた、「近頃大きな子魚が極めてまれだ」と。（秦檜の）夫人がお答えして言つた、「私の家にございまますので、百尾進呈いたしましよう」と。（夫人が）帰宅して秦檜に伝えると、秦檜は夫人の失言を叱責した。（秦檜は）屋敷にいる食客と相談し、百尾の青魚を（頤仁太后に）進呈した。頤仁太后は手を叩いて笑つて言つた、「私はこの女を田舎者だと思っていたが、やはり考へていたとおり（大衆魚の青魚を高級魚の白魚と勘違いしている田舎者）であった」と。思うに、青魚は子魚に似て非なるものだ。（青魚の方が）たゞ少し大きいだけなのだ。このことから、不忠な臣下である秦檜の狡猾さが分かるのだ。

【重要語・基本句形】

(1) 重要語
みな・すべて 以レ A → A を → する
これまでに・以前に かかつて
ともに・みな かかつて
とりわけ かかつて
できない かまつ
そこで・やつと・かえつて・なんと かまつ
――を必要とする (条件が揃うのを 待つ)

結局・とうとう

思うに（～だらう）

たいそう・きわめて

すくない

若い

女性の一人称

やはり・思つたとおり

すこしづばかり

できる

形)

する

（使役形）

させる

（使役形）

させる

しようとしない〔否定形〕
当然——（ス）——べきだ・きっと——するに
ちがない・——するつもりだ〔再読〕

特——耳——（ス）——ただ——だけだ〔限定形〕

文字——（スル）——は活用語の未然形、（ス）は活用語の終止形、（スル）は活用語の連体形を、それぞれ表す。

※（セ）は活用語の未然形、（ス）は活用語の終止形、（スル）は活用語の連体形を、それぞれ表す。

【設問解説】

問1 語の意味の問題

(1) 「殊」は【重要語】に示したように、「ことに」と読んで「とりわけ」の意味になる。したがつて、正解は②である。

ちなみに、①「ますます」の意味になる語には「益」・「愈」などがある。③「ちょうど」の意味を表す語としては「方」などがある。④「すっかり」の意味に近い語としては「尽」があり、「すっかり・全部・みな」などの意味になる。⑤「もとより」に対応する語には「固」（もちろん・もともと）「素」（もともと・普段から）「故」（以前から・昔から）などがある。この機会に覚えてほしい。

(2) 「絶少」は【重要語】に示したように、「絶」は「たえて」と読んで「たいそう・きわめて」の意味になり、下にある「少」を修飾している。「少」は「すくなし」と読んで「すくない」の意味になる。「希少」などの熟語を念頭に置くと分かりやすいだろう。よって「絶」と「少」を合わせた「絶少」は、「きわめてすくない」という意味になる。この意味に合致する選択肢は⑤しかない。したがつて、正解は⑤である。

問2 収り点の付け方と書き下し文の問題
まず【基本句形】に示した「遣レム A ————— (A にシマス) させル」または「遣レム A ————— (A を派遣シマス) てシマスさせる」という使役形に注意して、それぞれの選択肢が傍線部Aの前半部「遣人還東府取柑」をどのように書き下しているか確認する。
①「人をして」・「還さしむ」と使役形をしっかりと書き下している点は正しいが、「東府に取る柑」とする部分が誤りである。傍線部は「取柑」の語順になつていることに注意してほしい。「取」を「取る」と動詞で読む場合、下の「柑」は「取る」の目的語になる。よって、「取柑」の語順では「柑を取る」としか読めない。

②「人の東府に還して柑を取るに遣はしむれば」

は、「人の」とする点と「遣はしむ」とする点が誤りである。「人」はここでは使役の対象となり、「A (A に)」に該当する。したがつて「A」には「Aをして」と送り仮名をつけなければならないから、「人をして」となるはずである。また「遣」は「遣レム A —————」の場合には、「遣む」「つかひシテ A —————」の場合には、「Aを遣はして」と書き下し、「遣はしむ」とはならないことに注意したい。

③「人を遣はして東府の取る柑を還さしむれば」は、「人を遣はして」の部分は良いが、選択肢①と同様に「東府の取る柑」とする点が誤りである。

④「人をして東府に還りて柑を取らしむれば」は、使役形の用法としても正しく、また「取柑」の部分も正しく書き下している。

⑤「人を遣はして東府に還りて柑を取らば」は、「人を遣はして」との部分は良いが、「柑を取らば」とする点が誤りである。【基本句形】に「遣レム A —————」とあるように「人を遣はして」と読む場合には句末に「しむ」をつけ、「柑を取らしむ」と書き下す必要がある。

傍線部Aの前半部「遣人還東府取柑」を検討すると、正しく書き下しているのは選択肢④しかないとがわかる。したがつて、正解は④である。

念のため傍線部Aの後半部「大供御者三寸」を確認する。選択肢には二通りの書き下しがあり、「大なること供御する者より三寸なり」は「(劉義康が取つてこさせたみかんが) 大きいことは皇帝に献上されたものよりも三寸であった」と訳せて、「供御する者より大なること三寸なり」は「(劉義康が取つてこさせたみかんは) 皇帝に献上されたものよりも三寸も大きかつた」と訳せる。どちらの書き下しでも意味としては同じであるが、「献上されたものより大きい」と、比較の意味になるのだから、「供御者」から「大」に返つていなければ不自然であり、「大なること供御する者より三寸なり」と読んでいる①、③、⑤は適当でない。

傍線部Aは、「(劉義康が) 人をやつて自分の職場からみかんを取つてこさせると、(そのみかんは)皇帝に献上されたものよりも三寸も大きかつた」と訳すことができる。

問3 空欄補充の問題

まず「義康旋ツイチ 以レム X 廃」の空欄Xに選択肢①～⑤の語を当てはめ、意味が通じるかを確認する。「廢」は「しりぞけられる・官職や地位をとりあげられる」という意味であるが、選択肢②「功」・③「恩」・④「賞」のようなプラス評価の意味を持つ語

では、②「功績によってしりぞけられる」・③「恩恵によってしりぞけられる」・④「賞賛によつてしりぞけられる」などとなつて意味が通じない。①「罪」や⑤「偽」のような語ならば、①「罪科によつてしまりぞけられる」、⑥「嘘をつくことによつてしまりぞけられる」となつて文脈に合致しない。したがつて、正解は①である。

次に「嗣恭免レテX」の空欄Xに選択肢①「罪」と⑤「偽」を当てはめてみる。「免」は「のがれる」という意味である。①「罪科をのがれる」は文脈に合致し、⑥「嘘をつくことをのがれる」では文脈に合致しない。したがつて、正解は①である。

問4 解釈の問題

【基本句形】に示した「不_ダ肯_{アハチ}——」(——する)とを承知しない。——しようとしない」という否定形に注意して、傍線部Bを訳すと「呂許公は淮白魚を数多く献上しようとした」となる。この訳に合致するのは、選択肢③「呂許公は淮白魚を数多く献上しようとはしなかつた」しかない。したがつて、正解は③である。

①「少しも献上しようとはしなかつた」は、「一匹も献上しない」ということであり、傍線部の内容とは明らかに異なっている。②「強いて数多く献上しようとした」は、「一匹でも多くの魚を献上しようとする」ことであるから、傍線部の内容とはまったく反対方向の内容になつてゐる。④「思い切つてすべて献上しようとした」も選択肢②と同様に、傍線部とは逆方向の解釈となつていて誤りである。⑤「それほど多くは献上できなかつた」は、やや紛らわしいが、直後の「蓋_{シルレバニ}此也」(おそらくこの事例を心配したのだろう)という内容をふまえると、呂許公は「それほど多くは献上できなかつた」つまり「数多く献上することが不可能であった」ではなく、考えがあつて故意に「淮白魚を少ししか献上しなかつた」のである。よつて、選択肢⑥も誤りということになる。

問5 書き下し文の問題

傍線部Cに「当」の字があるが、「当」には【基本句形】に示したように「當_ダ——」(当然——すべきだ・きっと——するにちがない)——するつもりだ」という再読文字の場合と、「あたる」と読んで「該当する・相当する」などの意味を持つ動詞の場合とがあることに注意する。まず選択肢のなかで、「当る」と書き下している選択肢①と③を確認する。

①「百尾を以て進むに当るべし」は、「当」を「進むべし」と書き下している。「進む」は良いしかし「進むべし」と書き下している。「進む」は良いしかし

ても、「べし」が不要である。再読文字の「當_ダ——」と混同されており適当でない。③「百尾を以て進むに当るか」は、「当るか」と疑問文になっているが、原則として疑問詞や疑問文にはならないので不適当である。次に「当」を再読文字としている選択肢②・④・⑤を確認する。

④「当に百尾を以て進めんとす」は、「進めんとす」とあるのが誤りである。【基本句形】に示したように、「当」を再読文字で読む場合には「当に——(す)べし」と書き下す決まりである。再読文字「將_{マサニ}——」(さへ)——(いまにも)——しようとする」と混同しないように注意したい。⑤「当に百尾を以て進むべけんや」は、「べけんや」と反語文になつてゐるが、反語も原則として疑問詞や反語を表す助詞がなければ反語文にはならないので不適当である。残るのは選択肢②だが、「当に百尾を以て進むべし」と、再読文字「当」の書き下しとして正しく読めており、また「私の家に大きな子魚が_ダさりますので、百尾を進呈いたしましよう」と記せて、前後の文脈にも合致する。したがつて正解は②である。

問6 理由説明の問題

傍線部Dに至るまでの本文の流れを確認する。まず顯仁太后が「近頃大きな子魚が極めてまれだ」と嘆き、それに対して秦檜夫人が「私の家に大きな子魚がござりますので、百尾進呈いたしましよう」と発言する。秦檜夫人が帰宅して子魚を顯仁太后に進呈することを秦檜に告げると、秦檜は「檜咎_{カム}其失言」(秦檜は夫人の失言を叱責した)とあるように夫人を叱りつけたのである。なぜなら秦檜は第一段落の「劉義康」のように官職や地位をとりあげられたり、第二段落の「元載」のように死刑になるのではないかとかと危惧したからである。そこで秦檜は「進_ム青魚百尾」(子魚に似た大衆魚の青魚を百尾進呈する)という行動に出で、秦檜夫人を「高級魚の子魚と大衆魚の青魚の区別もつかない愚か者」と裝い、顯仁太后の嘲笑を受けさせることで、自分の身を守ることに成功したのである。以上のことを踏まえ、それぞれの選択肢を確認する。

①「顯仁太后自身が、高級魚の子魚と大衆魚の青魚とを混同していたことを気づき、おかしかったから」は、「高級魚の子魚と大衆魚の青魚とを混同していた」のを「顯仁太后自身」としているのが誤り。本文中で「高級魚の子魚と大衆魚の青魚とを混同していた」と顯仁太后が考えたのは「秦檜の夫

人」である。

②「顕仁太后自身が、高級魚を贈られて初めて秦檜の夫人を誤解していたことに気づき、自分を恥じたから」は、「顕仁太后自身が、高級魚を贈られて」とあるのが誤り。「顕仁太后」が「秦檜の夫人」から贈られたのは「大衆魚の青魚」である。

③「秦檜の夫人が、自分の独り言の真意を理解して高級魚を送り届けてくれたのでありがたいと思ったから」は、「高級魚を送り届けてくれた」とあるのが誤り。「秦檜の夫人」が贈ったのは、「大衆魚の青魚」である。また「自分の独り言の真意」とあるが、本文中では述べられていない内容である。

④「秦檜の夫人が、大衆魚の青魚として贈つてくれたものが実は高級魚だったのでうれしかったから」は、「大衆魚の青魚として贈つてくれた」とあるのが誤り。「秦檜の夫人」は「高級魚の子魚」として「大衆魚の青魚」を贈つたのである。

⑤「秦檜の夫人が、大衆魚の青魚を高級魚の子魚と勘違いしているのだと思い、愚か者だと確信したから」は、「秦檜の夫人が、高級魚の子魚として大衆魚の青魚」を贈つたという事実を正しく述べておらず、また魚を受け取つた後に顕仁太后が言つた「我道^{アリ}這婆子村^{ナドンチ}」果然^(私はこの女を田舎者だと思っていたが、やはり考えていたとおりであった)」といふ発言の内容とも合致する。したがつて正解は⑤である。

問7 本文の内容と構成に関する問題

【本文解説】に述べたように、第一段落・第二段落では、献上品の扱いに失敗し、地位や官職を失つた劉義康と、そして命までも失つてしまつた元載の逸話を取りあげ、第三段落では「蓋^{カシル}懲^{レバニ}此也^(おそらくこの事例を心配したのだろう)」と筆者が評するよう、「高級魚の淮白魚を多く献上しようとはしなかつた」呂許公の逸話を取りあげる。

そして第四段落で、秦檜の逸話を紹介する。顕仁太后に対して秦檜夫人が「私の家に大きな子魚がござりますので、百尾進呈いたしましょ」と答えたため、秦檜は高級魚の子魚を百尾進呈しなければならなくなつた。このまま高級魚を百尾進呈したのは、劉義康のように失脚し元載のように処刑される恐れがあると考え、「子魚に似た大衆魚の青魚を百尾進呈」するという行動に出た。これによつて秦檜夫人は「高級魚の子魚と大衆魚の青魚の区別もつかない愚か者」と顕仁太后の嘲笑を受けることになる。だが、これは秦檜の思惑どおりであつて、秦檜は自分の夫人を「愚か者」と偽ることによつて、皇

帝の一族から不興を買うことを回避し、秦檜自身の身を守ろうとしたのである。筆者はこのように献上品に関する逸話を並べることで、「観^{レバ}此、賊檜之姦可見^(このことから、不忠な臣下である秦檜の狡猾さが分かるのだ)」とあるように、秦檜の人物の狡猾さを際立たせようとしている。

以上の内容を踏まえて選択肢を検討すると、この内容に合致するのは、②「献上品にまつわる逸話を第一・第二段落で紹介した上^(上)で、それに憧れた呂許公の行動を第三段落に示し、第四段落ではこれらの事例を顧慮せずに献上品を贈つた秦檜の行動を述べ、秦檜がいかに愚かな人物であったかを強調する構成となつていて」は、呂許公の行動を劉義康や元載に「憧れた」としている点が大きな誤りである。劉義康や元載を真似ては地位や命を失うことになりかねないのだから、「憧れた」などと表現することはできない。また「これらの事例を顧慮せずに献上品を贈つた」と「秦檜がいかに愚かな人物であつたかを強調」という点も本文の内容とは異なつていて。

③「献上品にまつわる逸話を第一・第二段落で紹介してから、それと同じ過ちを犯した呂許公について第三段落で触れ、第四段落では献上品を贈る際に呂許公とは対照的に過ちを犯さなかつた秦檜について述べ、秦檜の聰明さを称賛する構成となつていて」は、呂許公を劉義康や元載と「同じ過ちを犯した」とする点が誤りである。また「秦檜の聰明さを称賛する」とあるが、本文で發揮されている秦檜の知恵は知恵でも「悪知恵」に属するものであり、「聰明さ」とするには不適当であり、筆者は秦檜を称賛しているわけではない。

④「献上品にまつわる逸話を第一・第二段落で紹介しながら、それを嫌つてまつたく異なつた対応をした呂許公の事例を第三段落あげ、第四段落では献上品を出し惜しこ秦檜^(秦檜)や「秦檜の物欲の強さを批判する構成となつていて」は、「献上品を出し惜しこ秦檜^(秦檜)や「秦檜の物欲の強さを批判する」のように高級魚の子魚を顕仁太后に進呈しなかつた理由を「吝嗇^{リシヤク}・けち」「強欲」といった秦檜の性格によるものだとしている点が誤りである。秦檜が高級魚を進呈しなかつた理由はただ一つ、自身の身を守るためにある。

⑤「献上品にまつわる逸話を第一・第二段落で紹介し、それを真似て同様の振る舞いをした呂許公の事例を第三段落で示し、第四段落では要求があるまで献上品を贈ろうとしなかった秦檜について述べ、秦檜の慎重さを褒めたたえる構成となっている」は、呂許公の事例を、劉義康や元載を「真似て同様

の振る舞いをした」としている点が誤りである。また「要求があるまで献上品を贈ろうとしなかった」は、本文には無い内容であり、「秦檜の慎重さを褒めたたえる」というのも誤りである。したがって、正解は②である。

【地理歴史】

世界史 B

【解答・採点基準】

(100点満点)

問題番号	設問	解番 答号	正解	配点	自己採点
第1問	A	問1	1 ③	3	
		問2	2 ④	3	
		問3	3 ③	3	
	B	問4	4 ②	3	
		問5	5 ①	2	
		問6	6 ②	2	
	C	問7	7 ③	3	
		問8	8 ④	3	
		問9	9 ③	3	
第1問 自己採点小計		(25)			
第2問	A	問1	10 ③	3	
		問2	11 ④	2	
		問3	12 ①	3	
	B	問4	13 ②	3	
		問5	14 ①	3	
		問6	15 ③	2	
	C	問7	16 ②	3	
		問8	17 ②	3	
		問9	18 ⑥	3	
第2問 自己採点小計		(25)			
第3問	A	問1	19 ②	3	
		問2	20 ④	2	
		問3	21 ①	3	
	B	問4	22 ②	3	
		問5	23 ④	3	
		問6	24 ①	2	
	C	問7	25 ①	3	
		問8	26 ④	3	
		問9	27 ③	3	
第3問 自己採点小計		(25)			

問題番号	設問	解番 答号	正解	配点	自己採点
A	問1	28 ③	③	3	
	問2	29 ③	③	3	
	問3	30 ④	④	2	
B	問4	31 ③	③	3	
	問5	32 ②	②	3	
	問6	33 ④	④	3	
C	問7	34 ②	②	2	
	問8	35 ①	①	3	
	問9	36 ④	④	3	
第4問 自己採点小計				(25)	
自己採点合計				(100)	

【解説】

第1問 民衆の政治参加

【出題のねらい】

民衆の政治参加について、Aでは古代ローマを、Bではフランス革命を、Cでは産業革命以降を、それぞれ扱って出題した。

【設問別解説】

A

問1 1 ③

③イタリアの統一をめざした秘密結社カルボナリ(炭焼党)の蜂起がオーストリア軍によって鎮圧されると、マツィーニは1830年代に「青年イタリア」を組織した。その後、1848年のフランス二月革命の影響を受けて、翌年マツィーニはローマにローマ共和国の成立を宣言したが、フランスの介入で崩壊した。①アレクサンドロス(アレクサンダー)大王は、前4世紀後半にマケドニアから東方(ペルシア)遠征を開始し、アケメネス朝と戦って、その滅亡後、西アジアなどを支配下に置いた。彼は、マケドニアの西方にあるローマを支配していない。②ビザンツ様式のハギア(セント)=ソフィア聖堂は、ローマではなくビザンツ(東ローマ)帝国の都コンスタンティノープルに、6世紀のビザンツ皇帝ユスティニアヌス(大帝)が建てたものが有名である。④プロイセン=オーストリア(普墺)戦争ではなくプロイセン=フランス(普仏)戦争を機に、イタリア王国はローマ教皇領を占領した。19世紀後半、サルデーニャ(サルディニア)王国はイタリアの統一を進め、1861年のイタリア王国成立後、プロイセン=オーストリ

ア戦争を機にヴェネツィアを、プロイセン＝フランス戦争を機にローマ教皇領を併合した。

問2 [2] ④

④ア. 中世西ヨーロッパにおいて医学で有名な大学は、南イタリアのサレルノ大学である。イ. 社会契約説をとなえ『リヴァイアサン』を著したのは、16世紀から17世紀のイギリスの哲学者ホップズである。人々は「万人の万人に対する闘争」を避けるために、社会契約によって国家を成立させ、その時に個人の自然権はすべて国家に譲渡されるとして、国家権力の絶対性を主張した。①②ア. ポローニャ大学は北イタリアにあり、法学で有名であった。①③イ. ルソーは、18世紀のフランスで活躍した啓蒙思想家で、『人間不平等起源論』『社会契約論』などを著した。

問3 [3] ⑧

⑧ディオクレティアヌスは3世紀後半に軍人皇帝時代の混乱を收拾し、ドミナトゥス(専制君主政)を開始した。彼は皇帝崇拜を強制し、これを拒否するキリスト教徒の大迫害を行った。また、帝国を4つに分ける四分統治(四帝分治制・テトラルキア)を行った。①スバルタクスの反乱は、共和政末期の前1世紀前半に起き、オクタウ(ヴ)ィアヌス(アウグストゥス)ではなくポンペイウス・クラッススらが鎮圧した。その後、ポンペイウス・クラッスス・カエサル(シーザー)による第1回三頭政治、オクタウィアヌス・アントニウス・レビドゥスによる第2回三頭政治をへて、アクティウムの海戦に勝利したオクタウィアヌスが前27年に元老院からアウグストゥス(尊厳者)の尊称を受けられ、帝政が始まった。②ローマ帝国内の全自由民にローマ市民権を与えたのは、トラヤヌスではなく、3世紀前半のローマ皇帝カラカラである。ローマ市民権は、共和政末期の前1世紀前半に起きた同盟市戦争を機に、イタリア半島の全自由民に与えられていた。トラヤヌスは五賢帝の一人で、1世紀末から2世紀前半の治世において、ローマ帝国の領土は最大となった。④金印勅書(黄金文書)を発布したのは、4世紀前半のローマ皇帝コンスタンティヌス(1世)ではなく、14世紀の神聖ローマ皇帝カール4世である。金印勅書は7人の選帝侯に皇帝選出権を与えるもので、この結果、皇帝権は弱体化し、神聖ローマ帝国における領邦の分立が進展した。コンスタンティヌスはミラノ勅令でキリスト教を公認し、ニケア公会議を主宰し教義の統一をはかったほか、コンスタンティノープル(ビザンティウム)への遷都を行った。

B

問4 [4] ②

②中世西ヨーロッパの農奴は、領主裁判権に服するほか、領主に対して、直営地(領主直営地)における賦役(労働地代)の、保有地(農民保有地)における貢納(生産物地代)の義務があった。さらに教会への十分の一税なども課されていた。①古代アテネでは、前5世紀のペリクレス時代に成年男性市民による直接民主政が完成したが、この民主政は奴隸制を前提としたものであり、古代アテネで奴隸制が廃止されたことはない。③ロシアのロマノフ朝ではエカチェリーナ2世ではなくアレクサンドル2世が、1850年代のクリミア戦争の敗北によって自国の後進性を痛感し、1861年に農奴解放令を発布した。これは地主に有利で不十分な面もあったが、自由な労働力が生まれるきっかけとなり、ロシア資本主義進展の出発点となった。エカチェリーナ2世は、フランスの啓蒙思想家ヴォルテールと文通するなど啓蒙專制(絶対)君主として知られた18世紀後半のロシア皇帝。農民反乱であるブガチョフの反乱を機に反動化し、農奴制を強化した。④南北戦争勃発の契機となったのは、リンカン大統領の奴隸解放宣言ではなく、奴隸制拡大に反対するリンカンの大統領当選である。共和党のリンカン大統領は内外世論の支持を集めため、南北戦争中の1863年に奴隸解放宣言を出した。そして南北戦争後、奴隸制は正式に廃止されたが、黒人への差別は続いた。

問5 [5] ①

①清は、乾隆帝(高宗)時代の18世紀後半にヨーロッパ諸国との貿易港を広州1港に限定し、特許商人の組合である公行(コホン)に貿易を独占させた。自由貿易を要求するイギリスは、19世紀前半のアヘン戦争の結果、南京条約で上海など5港の開港と公行の廃止を清に認めさせた。②オスマン帝国のセリム1世がマムルーク朝を滅ぼしてエジプトを征服したのは、16世紀前半。これによってオスマン帝国はメッカ・メディナの保護権を手に入れ、スンナ派イスラーム世界の中心的存在となった。③ロシアでミハイル・ロマノフがロマノフ朝を開いたのは、17世紀前半。ロマノフ朝は第一次世界大戦中の1917年に勃発したロシア革命で崩壊するまで、約300年間ロシアを支配した。④プロイセン王国の首相ビスマルクが、ドイツの統一を軍事力で進めるため、軍備拡張政策である鉄血政策を推進したのは、19世紀後半のこと。デンマーク戦争・プロイセン＝オーストリア戦争をへて、プロイセン＝フランス戦争でフランス皇帝ナポレオン3世を破り、1871年にプロイセンを

中心とするドイツ帝国を樹立した。

問6 [6] ②

②フランス革命への干渉をはかるオーストリアに対する宣戦布告は、立法議会時代にジロンド派内閣が行った。国民議会が憲法制定議会と改称し、制定了1791年憲法にもとづいて成立した議会が、立法議会である。①革命暦(共和暦)は、国民議会の時代ではなく国民公会時代に、ジャコバン派が恐怖政治を行っていた1793年に制定された。③ヴァレンヌ逃亡事件は、ルイ16世とその家族がオーストリア領への逃亡を企てて失敗に終わった事件で、国民公会ではなく国民議会時代の1791年に起こった。④ナポレオン＝ボナパルトによるブリュメール18日のクーデタで倒されたのは、統領(執政)政府ではなく総裁政府である。1794年のテルミドール(9日)のクーデタでロベスピエールが処刑され、恐怖政治が終わったあと、1795年(共和国第3年)憲法にもとづき国民公会に代わって成立したのが総裁政府である。この総裁政府をナポレオンが1799年のブリュメール18日のクーデタで打倒し、統領政府を樹立して第一統領となった。

C

問7 [7] ③

③ア. イギリスでは、1832年の第1回選挙法改正で選挙権を得られなかった都市労働者が、人民憲章(ピープルズ＝チャーター)を掲げて男性普通選挙などを要求し、チャーティスト運動を行った。チャーティスト運動は、1848年のフランス二月革命の影響を受けて高揚したが、弾圧された。イ. マルクスとエンゲルスの著作は『共産党宣言』であり、19世紀

半ばに発表された。「万国の労働者よ、団結せよ」の言葉で知られる。①②ア. ナロードニキは人民主義者のことで、19世紀後半のロシアで「ヴ＝ナロード(人民の中へ)」をスローガンに社会改革をめざした。②④イ. 『諸国民の富(国富論)』は、イギリスのアダム＝スミスが18世紀後半に著した。アダム＝スミスは、自由放任主義を主張し、古典派(古典学派)経済学を開いた。

問8 [8] ④

④a 日本は、第一次世界大戦で日英同盟を理由に、ドイツ側ではなくイギリス・フランス・ロシアなどの連合国(協商国)側で参戦し、ドイツが支配していた山東半島の膠州湾と太平洋の南洋諸島を占領した。さらに山東半島でドイツが保持していた権益の譲渡などを内容とする二十一カ条要求を、中国の袁世凱政府に認めさせた。b アメリカ合衆国のウィルソン政権は、第一次世界大戦にさいして当初は中立を維持していたが、1918年のプレスト＝リトフスク条約によるロシアの戦線離脱ではなく、1917年のドイツの無制限潜水艦作戦を理由に連合国側で参戦した。ロシアは、1917年の十一月革命(ロシア暦十月革命)でロシアにソヴィエト政権が成立すると、翌年のプレスト＝リトフスク条約で戦争から離脱した。

問9 [9] ③

③ムスタファ＝ケマル(ケマル＝パシャ)は、エジプトのワフド党を結成したのではなくトルコ革命の中心となった。ムスタファ＝ケマルは、第一次世界大戦でのオスマン帝国の敗戦後に侵入したギリシア軍を撃退したのち、1922年にスルタン制を廃止して

日露戦争に影響を受けた運動	中国 ベトナム インド iran トルコ	孫文が中国同盟会を結成 ファン＝ポイ＝チャウのドンズー(東遊)運動が高揚 国民会議派のカルカッタ大会4綱領 iran立憲革命 青年トルコ革命
第一次世界大戦後の運動	中国 朝鮮 ベトナム インドネシア インド iran トルコ エジプト	五・四運動→中国国民党の結成、中国共产党の結成→孫文が第1次国共合作 三・一運動(万歳事件) ホー＝チ＝ミンがインドシナ共产党を結成 インドネシア共产党の結成、スカルノがインドネシア国民党を結成 ガンディーが非暴力・不服従の運動を行う レザー＝ハーン(レザー＝シャー)がパフレヴィー朝を樹立 ムスタファ＝ケマル(ケマル＝パシャ)がトルコ共和国を樹立 ワフド党の独立運動の高揚

20世紀前半のアジアの民族運動

オスマン帝国を滅ぼした。翌年、連合国とローザンヌ条約を結んで主権を回復すると、トルコ共和国を樹立した。ワフド党は、第一次世界大戦後のエジプトで、イギリスからの独立運動の中心となった。①中国国民党の指導者であった孫文は、「連ソ・容共・扶助工農」の方針のもと、1924年に中国共産党との第1次国共合作を成立させた。②インド国民会議は、19世紀後半にイギリスがインドとイギリスの協調を求めて創設した。しかし、ヒンドゥー教徒とイスラーム教徒の民族運動の分断を目的としたベンガル分割令(カーボン法)に反発して1906年に開催された国民会議派のカルカッタ大会では、英貨排斥・スマーデーシ(国産品愛用)・スマラージ(自治獲得)・民族教育の4綱領を採択し、反英の態度を明確にした。④日本は1910年の韓国併合以降、朝鮮総督府を設置して武断政治を行った。これに反発した朝鮮の民衆は、ロシア革命やアメリカ合衆国大統領威尔ソンが提唱した十四カ条(十四カ条の平和原則)における民族自決に触発され、1919年に三・一運動(万歳事件)と呼ばれる独立運動を起こした。朝鮮総督府はこれを武力で鎮圧したのち、「文化政治」と呼ばれる懷柔策に転換した。20世紀前半のアジアの民族運動については、前ページの表を参照。



アジャンター石窟寺院の壁画

第2問 時の流れの把握

【出題のねらい】

時の流れの把握について、Aでは一日のなかの時の流れの把握を、Bでは太陽暦と太陰暦を、Cでは権力者による時の支配としての元号を、それぞれ扱って出題した。

【設問別解説】

A

問1 [10] ③

③ア. イグナティウス＝ロヨラは、16世紀前半にフランシスコ＝ザビエル(シャヴィエル)らとイエズス会(ジェズイット教団)を結成した。イエズス会は対抗(反)宗教改革で活躍し、アメリカ大陸やアジアなどでカトリックの海外布教につとめた。中国では、その布教方法をめぐって典礼問題が起こった。
イ. 『坤輿萬国全図』は、明末の中国を訪れたイエズス会宣教師マテオ＝リッチ(利瑪竇)によって製作された世界地図である。①②ア. モンテ＝コルヴィノは、元代の中国を訪れた修道士で、中国で初めてカトリックを布教した。②④イ. 『皇輿全覽圖』は、清代にイエズス会宣教師ブーヴェ(白進)らが製作した実測の中国地図である。

問2 [11] ④

④新バビロニア(カルデア)は、前6世紀にヘブライ人のユダ王国を滅ぼして、その住民を都バビロン



ボロブドゥール



ジンバブエ遺跡

へ強制連行した。これをバビロン捕囚という。①シユメール人が創始した文字は、神聖文字(ヒエログリフ)ではなく楔形文字である。神聖文字は古代エジプト人が創始した。②エジプト新王国は、ヒクソスの侵入で衰退したのではなく、成立後にヒクソスを追い出した。その後、「海の民」の侵入で衰退した。「海の民」は、前13世紀末から前12世紀初めにかけて東地中海一帯に進出した民族で、ヒッタイトを滅ぼし、エジプト新王国を衰退させた。ヒクソスは、中王国末期または中王国滅亡後のエジプトに侵入し、約1世紀にわたってエジプトを支配した民族である。③前7世紀に最初にオリエントを統一したのは、セム語系のアッカド人ではなくアッシリアである。アッカド人は、前24世紀頃にシユメール人の都市国家を征服して、メソポタミアに領域国家を形成した。

問3 [12] ①

①秦の始皇帝は、北方の騎馬遊牧民である匈奴の侵入に対抗するため長城(万里の長城)を修築した。②ヘレニズム時代にピトレマイオス朝の都アレクサンドリアで、アズハル学院ではなく、王立研究所のムセイオンにおいて自然科学の研究が進んだ。幾何学を大成したエウクレイデス(ユークリッド)や浮体の原理を発見したアルキメデスが学んだ。また地球の周囲の長さを測定したエラトステネスは、ムセイオンの館長をつとめたことがある。アズハル学院は、10世紀にシア派イスラーム王朝のファーティマ朝が都カイロに建てたマドラサ(学院)である。③ボロブドゥールではなく、インド西部のアジャンタ一石窟寺院に壁画が描かれ、その壁画の多くは純インド的なグプタ様式(美術)の代表とされる。ボロブドゥールは、8世紀から9世紀に成立したシャイレンドラ朝がジャワ島に造営した大乘仏教の建造物である。④西アフリカのニジェール川流域に位置するトンブクトゥは、モノモタバ王国ではなく、13世紀から15世紀のマリ王国や15世紀から16世紀のソンガイ王国の経済・文化の中心都市であった。モノモタバ王国は、11世紀頃からアフリカ南東部のザンベジ川流域を支配した王国である。この地域の繁栄は、壮大な石造遺跡であるジンバブエ遺跡からうかがうことができる。各建造物や絵画については、前ページの写真を参照。

B

問4 [13] ②

②前16世紀頃から前11世紀の殷は、現在存在が確認されている中国最古の王朝で、神意を占って政治を行っていた。この占いの結果を龜甲・獸骨に記録

するため使われた文字が甲骨文字である。①殷は、長江ではなく黄河の中・下流域を中心として栄えた。②儒家・法家などの諸子百家が出現したのは、春秋・戦国時代である。④郡県制を全国に施行したのは、殷ではなく、前3世紀に中国を統一した秦である。郡県制は、全国を郡に分け、その下に県を置き、中央から官吏を派遣して統治した中央集権的制度である。殷は、邑と呼ばれる都市国家の連合体であった。

問5 [14] ①

①マヤ文明(マヤの都市国家)は、中央アメリカのユカタン半島を中心に10世紀から13世紀に最盛期を迎えた古代アメリカ文明である。②マヤ文明などの古代アメリカ文明では、鉄器、牛や馬などの大型の家畜、車輪は利用されていなかった。③マチュピチュは、マヤ文明の都市ではなく、アンデス一帯で栄えたインカ帝国(文明)の都市である。下の写真を参照。④シモン=ボリバルは、クリオーリョと呼ばれる植民地生まれの白人で、マヤ文明など古代アメリカ文明をスペイン人が滅ぼしたあとに生まれており、19世紀前半にラテンアメリカの独立運動の中心となった。



マチュピチュ

問6 [15] ③

③a イギリスで第2次囲い込み(エンクロージャー)が進んで、穀物が増産されたのは、中世ではなく産業革命期であり、18世紀後半から19世紀初めが中心であった。中世ヨーロッパでは、11世紀頃から三圃制と重量有輪犁が普及して農業生産力が向上した。b 中世ヨーロッパの都市では、相互扶助や経済的利益を守るために商人ギルドが結成された。商人ギルドの中心的役割を果たしたのは大商人で、彼らは市政も独占した。これに不満な手工業者は別に同職ギルド(ツンフト)を結成して、商人ギルドと対立し、北ドイツなどでは市政参加を実現していった。

C

問7 [16] ②

② 8世紀前半、唐の玄宗の治世前半の安定期を、当時の元号から「開元の治」と呼ぶ。しかし、玄宗の治世後半には安史の乱が起こり、唐はしだいに衰退に向かった。①「貞觀の治」は、7世紀前半の唐の第2代太宗(李世民)の治世。この時代に、三省六部などの中央官制や、均田制・租庸調制・府兵制などの制度が整備され、中央集権的な律令国家体制が整った。③大化は日本初の元号で、7世紀半ばに用いられた。この時期の日本は唐の律令体制を導入し、内政改革が行われていた。これを大化の改新という。④康熙は清で用いられた元号で、この元号を用いた17世紀後半から18世紀前半の皇帝が、死後、康熙帝と呼ばれた。

問8 [17] ②

②前漢の武帝は前2世紀から前1世紀の皇帝で、匈奴を攻撃する一方、匈奴を挟み撃ちするための同盟を目的に大月氏に張騫を派遣し、汗血馬と呼ばれる名馬を獲得するため大宛(フェルガナ)に軍隊を派遣した。また、現在の広東・広西からベトナム北部を支配していた南越や、朝鮮半島の衛氏朝鮮も征服した。これらの積極的な対外政策の結果、財政難におちいったため、財政再建策が行われた。その一つが均輸法・平準法で、物価の安定がはかられた。このほかの財政再建策として、塩・鉄・酒の専売制の実施、五銖錢の鋳造がある。①西域都護に班超が起用されたのは、後漢の時代である。③租庸調制に代わって両税法が施行されたのは、唐代で、安史の乱後の8世紀後半のことである。両税法は、現住地で所有する土地・資産に応じて年2回徴税する税制である。④文治主義を採用して殿試を導入したのは、宋(北宋)の趙匡胤(太祖)である。殿試は皇帝が自ら行う科挙の最終試験で、これによって君主独裁体制が強化された。前漢の武帝時代には、推薦制の官吏任用制度である郷挙里選が導入された。

問9 [18] ⑥

⑥ c 明の第3代の永楽帝(成祖)は、15世紀前半に鄭和に南海諸国遠征を行わせた。この結果、印度洋沿岸や東南アジア諸国からの朝貢が増加した。b 15世紀半ばには、オイラト(瓦刺)のエセン(エセン=ハン)が明に侵入し、正統帝(英宗)を捕らえる土木の変が起きた。また、16世紀にはタタール(韃靼)のアルタン=ハンが北京を包囲した。a 16世紀末、豊臣秀吉の朝鮮侵略(壬辰・丁酉の倭乱)に対して、明は朝鮮王朝(李氏朝鮮・李朝)へ援軍を派遣した。この侵略は豊臣秀吉の死によって終結したが、明は財政難となった。

第3問 宗教や宗派の分裂

【出題のねらい】

宗教や宗派の分裂について、Aではユダヤ教とキリスト教の諸宗派や、キリスト教の新旧両派の対立を、Bではイスラーム教のスンナ派・シーア派などを、Cでは仏教の部派仏教と大乗仏教やヒンドゥー教の動きを、それぞれ扱って出題した。

【設問別解説】

A

問1 [19] ②

②モーセは、ヘブライ人の王国の全盛期を築いたのではなく「出エジプト」を指導した預言者。前13世紀頃にヘブライ人がエジプト新王国の圧政からモーセに率いられて脱出したとされる事件が、「出エジプト」である。前1000年頃にヘブライ人がパレスチナで建設した王国の全盛期の王は、ダヴィデとソロモン。①ユダヤ教は、ヤハウェ(ヤーヴェ)を唯一神とする一神教で、ヘブライ人だけが救われるという選民思想を特徴とする。③19世紀末のフランスで、ユダヤ系軍人ドレフュスに対する冤罪事件であるドレフュス事件が起こった。これを機に、ユダヤ人の祖国復帰運動であるシオニズム運動が高揚した。④第二次世界大戦後、ユダヤ人が建国したイスラエルは、4度の中東戦争をアラブ諸国と戦った。1960年代の第3次中東戦争(6日間戦争)で勝利したイスラエルは、シナイ半島・ガザ地区・ゴラン高原・ヨルダン川西岸を奪った。

問2 [20] ④

④ a 8世紀にビザンツ皇帝レオ(レオ)3世が発布した聖像禁止令は、ローマ=カトリック教会の支持を得たのではなく、ゲルマン人への布教に聖像を使用していたローマ=カトリック教会の反発をまねき、東西教会の分裂の一因となった。b セルジュク朝の攻撃に苦しんだビザンツ皇帝の救援要請を受けて、11世紀末にクレルモン宗教会議(公会議)で十字軍を提唱したローマ教皇は、レオ3世ではなくウルバヌス2世である。レオ3世は、聖像禁止令後、東西教会が対立するなか、800年にフランク王国のカール大帝(シャルルマーニュ)にローマ皇帝の帝冠を授けて西ローマ帝国を復活させたローマ教皇。これによってローマ=カトリック教会は、ビザンツ皇帝から事実上自立した。

問3 [21] ①

①マルティン=ルターは、ザクセン選帝侯フリードリヒの保護を受けて、『新約聖書』のドイツ語訳を行った。②16世紀前半にスイスのチューリヒで宗教改革運動を行ったのは、ウィクリフではなくツヴ

イングリ。イギリスのウィクリフは14世紀にローマ教会を批判した。③16世紀にカルヴァンが著したのは、『愚神礼賛』ではなく『キリスト教綱要』である。カルヴァンはこの書で、魂の救済はあらかじめ神によって定められているとする予定説をとなえた。『愚神礼賛』は、ネーデルラントの人文主義者(ヒューマニスト)であるエラスムスが16世紀に著した。④イギリスのテューダー朝のメアリ1世は、統一法を制定してイギリス国教会を確立したのではなく、カトリックを復活した。メアリ1世のあとを継いだエリザベス1世が、統一法を発布してイギリス国教会を確立した。

B

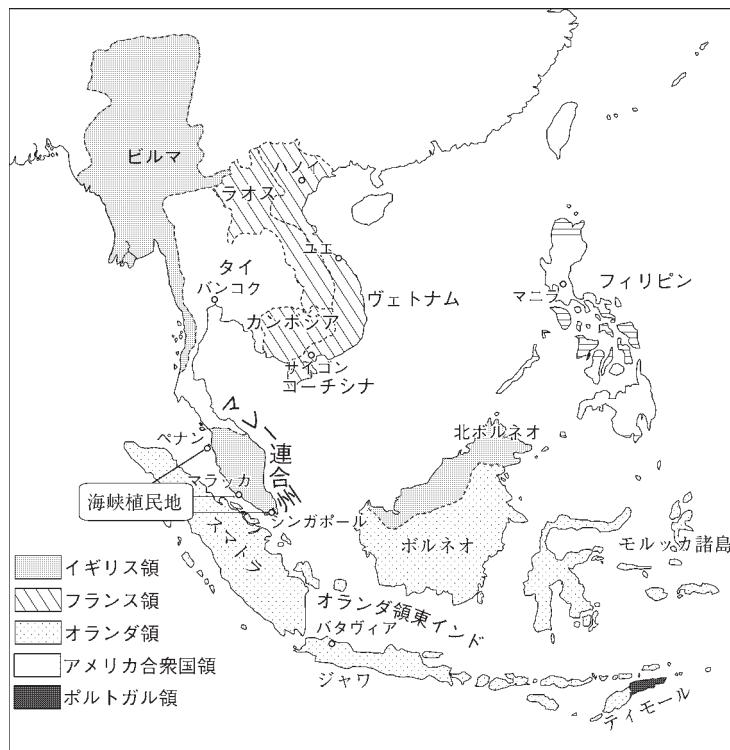
問4 [22] ②

②ア. 預言者ムハンマド(マホメット)の死後、信徒の選挙で選ばれたアブー=バクルからアリーまでの4人のカリフが正統カリフである。シーア派は、この第4代正統カリフのアリーとその子孫のみをムハンマドの真の後継者と考える。イ. 18世紀のアラビア半島で、ムハンマドの教えに戻ることを説いて復古主義運動を展開したのは、ワッハーブ派である。ワッハーブ派はアラビア半島の豪族サウード家と結んでワッハーブ王国(サウード王国)を建設し

た。③④ア. ムアーウィヤは、アリーの死後にウマイヤ朝を創始し、カリフの地位をウマイヤ家で世襲させた。①③イ. スーフィズムとは、神との合一をめざすイスラーム教の神秘主義のこと、スーフィズムを支持する人々は教団を組織して、アフリカ・インド・東南アジアなどに進出し、これらの地域にイスラーム教を広めていった。

問5 [23] ④

④オスマン帝国は、16世紀後半のレバントの海戦で、スペインなどを破ったのではなく、スペインなどに敗れた。スレイマン1世時代の16世紀前半のブルベザ海戦で、オスマン帝国はスペインなどを破って地中海の霸権を掌握した。①クルド人のサラディン(サラーフ=アッディーン)が建てたアイユーブ朝は、12世紀から13世紀にかけてエジプトを支配し、アジアの香辛料をイタリア商人などに仲介する貿易を保護して繁盛した。②11世紀、トゥグリル=ベクは、トルコ系のセルジューク朝を樹立したのち、バグダードに入城してブワイフ朝を倒し、アッバース朝のカリフから世俗君主の称号であるスルタンの称号を獲得した。その後セルジューク朝は、ブワイフ朝が行っていたイクター制を整備し、普及させた。イクター制とは、軍人に対して土地の徵税権



20世紀初頭の欧米諸国による東南アジアの植民地化

を与える制度である。③中央アジアのティムール朝(帝国)は、中央アジアのトルコ系遊牧民ウズベク人によって滅んだ。ウズベク人は中央アジアにブハラ(ボハラ)=ハン国・ヒヴァ=ハン国を建てた。

問6 [24] ①

① a b アフガーニーは、ヨーロッパ諸国のイスラーム世界への進出に対して、19世紀後半にパン=イスラーム主義を提唱した。パン=イスラーム主義とは、外国からの侵略に対抗するため、イスラーム教徒の団結をめざすもので、19世紀後半のイランのタバコ=ポイコット運動などに影響を与えた。

C

問7 [25] ①

① a イギリスは、ビルマ(ミャンマー)戦争をへて19世紀後半にコンバウン(アラウンパヤー)朝を滅ぼし、ビルマをインド帝国に併合した。一方、イギリスはペナン・マラッカ(ムラカ)・シンガポールからなる海峡植民地や、マレー半島南部のマレー連合州(マライ連邦)などを領有した。②④ フランスは、19世紀後半、保護国としていたベトナムの阮朝越南国とカンボジアをあわせてフランス領インドシナ連邦を形成し、のちにラオスを加えた。③④ b スマトラ島・ジャワ島・ボルネオ島南部などは、オランダの勢力範囲である。欧米諸国による東南アジアの植民地化については、前ページの地図を参照。

問8 [26] ④

④朝鮮半島の高麗では、仏教が保護され、仏教經典の集大成である大藏經が木版で刊行され、高麗版大藏經と呼ばれた。①中国に仏教が伝來したのは漢代とされるが、仏教が中国で普及するのは魏晋南北朝時代である。また淨土宗や禪宗は中国仏教として唐代に発達し、宋代になって淨土宗は庶民に、禪宗は士大夫に普及した。②仏団澄(ブドチング)は中央アジア出身の僧で、日本ではなく、五胡十六国時代の中国の華北で布教した。仏教は日本には朝鮮半島の百濟經由で6世紀に伝來したとされる。③チベットでは民間信仰と仏教が融合して、マニ教ではなくチベット仏教(ラマ教)が成立した。マニ教は、3世紀のササン朝ペルシアで、マニがゾロアスター教(抨火教)・仏教・キリスト教を融合して創始した宗教である。

問9 [27] ⑧

⑧17世紀のムガル皇帝シャー=ジャハーンは、愛妃の廟として、インド=イスラーム建築の代表とされるタージ=マハルを建設した。①北インドを支配したアフガニスタンのイスラーム王朝は、カラ=ハン朝ではなくゴール朝である。10世紀にアフガニス

タンに成立したトルコ系のガズナ朝は北インドに侵入し、インドのイスラーム化の道を開いた。さらに、12世紀にアフガニスタンに成立したゴール朝は北インドを支配した。カラ=ハン朝は、10世紀に中央アジアに成立したトルコ系イスラーム王朝で、イラン系のサーマーン朝を滅ぼし、中央アジアのトルコ化・イスラーム化を進めた。②奴隸王朝の都は、アグラではなくデリーである。13世紀、アイバクがインド最初のイスラーム王朝である奴隸王朝を建て、都を北インドのデリーに置いた。以後、ハルジー朝・トゥグルク朝・サイド朝・ロディー朝と、デリーを都とする王朝が続き、あわせてデリー=スルタン朝と呼ぶ。④ムガル皇帝アウラングゼーブは、ジズヤ(人頭税)を復活して、ヒンドゥー教徒との融和につとめたのでなく対立した。16世紀後半から17世紀初めのアクバルは、ヒンドゥー教徒に対する融和政策を行い、その一環として非イスラーム教徒に課されていたジズヤを廃止した。しかし、17世紀後半から18世紀初めのアウラングゼーブは、ジズヤを復活するなど強硬政策をとり、ヒンドゥー教徒などの反発をまねいた。

第4問 鉱物資源と人間

【出題のねらい】

鉱物資源と人間について、Aでは宝石として珍重されるダイヤモンドを、Bでは金を求める人々の移動を、Cでは鉱物資源の豊富な地域をめぐる紛争を、それぞれ扱って出題した。

【設問別解説】

A

問1 [28] ③

②③現在のベルギーからフランス北部の一部にあたるフランドル地方では、リューベックではなくブリュージュ・ガン(ヘント)などの都市が中世から毛織物業で繁栄し、羊毛生産がさかんであったイギリスと密接な経済的関係をもった。そのため、この地方をめぐる争いが14世紀から始まるイギリスとフランスとの百年戦争の一因となった。リューベックは北ドイツの都市で、中世にはハンザ同盟の盟主として北海・バルト海貿易で繁栄した。①ゲルマン人の一派である東ゴート人が王国を建てたのは、フランドル地方ではなくイタリア半島である。④フランドル派のブリューゲルはルネサンス期の16世紀に活躍した画家で、「夜警」を描いたのではなく農民の生活を多く描いた。「夜警」を描いたのは、バロック美術の画家で17世紀のオランダのレンブラント。

問2 [29] ③

③ b 前6世紀から前5世紀のダレイオス(ダリウス)1世は、アケメネス朝ペルシア最盛期の王。全土を州に分け、州の長官としてサトラップ(知事)を任命し、「王の目」「王の耳」を監察官として地方に派遣するなど中央集権化政策を進めた。また、新都ペルセポリスを造営した。a 3世紀のシャープール1世は、ササン朝ペルシアの王。東ではクシャーナ朝を事実上滅ぼし、西ではローマ帝国と戦って軍人皇帝ウ(ヴ)アレリアヌスを捕虜とした。c 16世紀後半から17世紀前半のアッバース1世は、サファヴィー朝最盛期の王。彼が造営した新都イスファハーンは、「世界の半分」と称されるほど繁栄した。

問3 [30] ④

④ ヴィクトリア女王時代のイギリスでは、19世紀後半に自由党と保守党による典型的な二大政党政治が展開した。そのうち自由党のグラッドストン内閣の時代には、教育法の制定によって初等教育を行う公立学校が増設され、労働組合法が制定されて、労働組合に法的地位が認められた。また、第3回選挙法改正によって農業労働者などにも選挙権が拡大した。① 権利の章典は、17世紀後半の名誉革命にさして議会が提出した権利の宣言を、ウィリアム3世・メリ 2世が受け入れ、法文化したものである。これによって、議会主権が確立した。② イベリア半島南端のジブラルタルは、大西洋と地中海をつなぐジブラルタル海峡に面しているため、軍事的・経済的要衝となっている。イギリスがスペインからジブラルタルを獲得したのは、18世紀前半のスペイン継承戦争の結果結ばれたユトレヒト条約によってである。このとき、イギリスはフランスから北アメ

リカのニューファンドランドなども獲得した。③ アイルランド自由国の成立をイギリスが承認したのは、第一次世界大戦後の1920年代。

B

問4 [31] ③

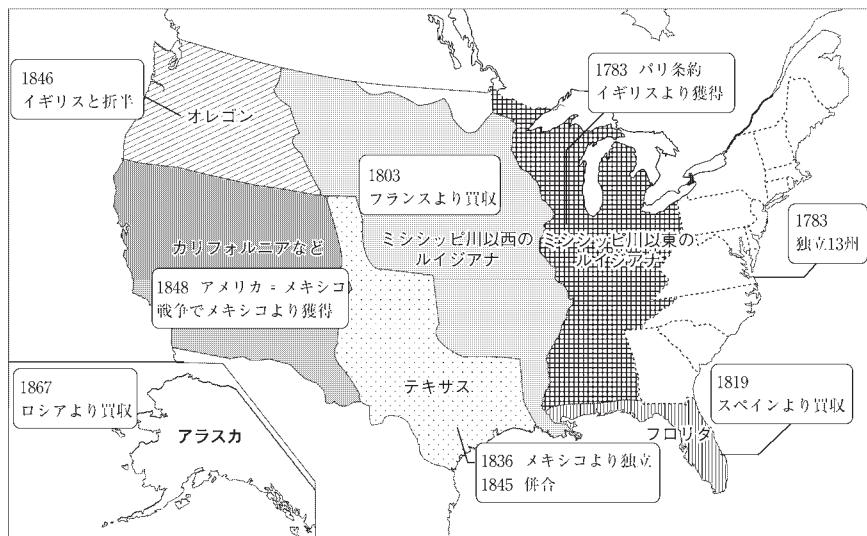
③ i. メキシコから独立していたテキサスをアメリカ合衆国は1845年に併合し、その境界をめぐってメキシコと対立したことから、1846年にアメリカ＝メキシコ戦争が勃発した。戦争に勝利したアメリカ合衆国は、1848年にメキシコからaのカリフォルニアなどを獲得した。直後にカリフォルニアで金鉱が発見され、ゴールドラッシュが起こって人口が急増し、西部開拓(西漸運動)が進んだ。② b はミシシッピ川以西のルイジアナで、ア. この地域をジェファソン大統領の時代の1803年にアメリカ合衆国がフランスのナポレオンから買収した。アメリカ合衆国の領土拡大については下の地図を参照。

問5 [32] ②

② a オーストラリアは18世紀後半にイギリスが領有を宣言し、19世紀になって牧羊業が発達した。さらに金鉱が発見されて人口が急増し、1901年にイギリスの自治領となった。b オーストラリアの先住民はマオリ人ではなくアボリジニーと呼ばれる。彼らはイギリス人の入植によって居住地を追われ、もち込まれた病気などによって人口が激減した。マオリ人はニュージーランドの先住民。

問6 [33] ④

④ 1894年、朝鮮王朝で起った甲午農民戦争(東学党の乱)をきっかけに日清戦争が勃発し、翌年に清は敗北して下関条約を結んだ。清は、下関条約で



アメリカ合衆国の領土拡大

朝鮮に対する宗主権を放棄したほか、遼東半島・台湾・澎湖諸島を日本に割譲した。なお、遼東半島はロシア・ドイツ・フランスの三国干渉によって清に返還された。①香港島をイギリスに割譲したのは、アロー戦争(第2次アヘン戦争)ではなくアヘン戦争の結果、1842年に結ばれた南京条約によってである。アロー戦争の結果、1860年に結ばれた北京条約では、九竜半島南部がイギリスに割譲された。②太平天国の乱の中心となった宗教結社である上帝会(挙上帝会)は、李鴻章ではなく洪秀全が指導した。李鴻章は、地主や地方官僚の編制した義勇軍である鄉勇の一つ淮軍(淮勇)を率いて太平天国の乱の鎮圧に活躍した。③曾国藩・李鴻章らによって1860年代から進められた洋務運動は、共和政樹立をめざすものではなく、「中体西用」にもとづいて、伝統的な中国の支配体制を維持したまま技術面の近代化をはかったものである。清仏戦争や日清戦争の敗北で洋務運動の限界が露呈すると、19世紀末に、光緒帝のもと康有為・梁啟超らが立憲君主政をめざす変法運動(変法自強)を行ったが、西太后ら保守派による戊戌の政変で挫折した。

C

問7 [34] ②

② b 1939年に独ソ不可侵条約が結ばれた直後、ヒトラー率いるナチス=ドイツはポーランドに侵攻して第二次世界大戦が勃発したが、1945年にドイツは無条件降伏した。20世紀の2度にわたる世界大戦でドイツとフランスが戦った背景には、アルザス・ロレーヌなど両国の国境地帯に、鉱物資源が豊富で工業が発達した地域が存在したこともあったため、第二次世界大戦後の1952年、西ドイツ・フランス・ベネルクス3国・イタリアの6カ国によって鉱物資源の共同管理などを約したヨーロッパ石炭鉄鋼共同体(ECSC)が発足した。ヨーロッパ石炭鉄鋼共同体は、1958年に発足したヨーロッパ経済共同体(EEC)・ヨーロッパ原子力共同体(EURATOM)と統合され、1967年にヨーロッパ共同体(EC)が発足した。東西ドイツが国際連合(国連)に同時に加盟した1973年にはイギリスなどがヨーロッパ共同体に加盟した。その後、ヨーロッパ共同体はさらに加盟国を増やし、マーストリヒト条約によって、より統合が

進んだヨーロッパ連合(EU)が1993年に発足した。

問8 [35] ①

①ア. マフディーはイスラーム世界で「救世主」を意味する。19世紀後半に起こったマフディーの反乱は、マフディーを称するムハンマド=アフマドが指導したスーサンの民族運動である。イギリスは苦戦の末にこれを鎮圧し、19世紀末にスーサンを支配下に入れた。イ. イギリスはエジプトのカイロとケープ植民地のケープタウンを結ぶアフリカ縦断政策をとっており、スーサン進出はその一環であった。一方、フランスはサハラ砂漠からアフリカ北東岸のジブチなどを結ぶアフリカ横断政策を進めていた。イギリス・フランス両軍は1898年、スーサン(現在の南スーサン)のファショダで対立するファショダ事件が起こったが、フランスが譲歩し、そのちイギリス・フランスは接近した。③④ア. パーブ教徒の乱は、19世紀半ばにカージャール朝支配下のiranで起こった反乱。③④イ. サライエヴォ事件は、1914年にボスニアの州都サライエヴォでオーストリア皇位継承者夫妻がセルビア人青年に暗殺された事件で、これが第一次世界大戦の引き金となった。

問9 [36] ④

④フィリピンは太平洋安全保障条約(ANZUS)ではなく1954年の東南アジア条約機構(SEATO)の結成に参加した。太平洋安全保障条約は、1951年にアメリカ合衆国・オーストラリア・ニュージーランドで結成された。太平洋安全保障条約・東南アジア条約機構はともに、冷戦期に結成された反共軍事同盟である。①マゼラン(マガリヤンイス)の艦隊は、南アメリカ南端を回ったのち、太平洋を横断してフィリピンに到達した。マゼランはフィリピンで死去したが、部下が世界周航を達成した。②19世紀後半のホセ=リサールは、スペインの支配に対抗したフィリピンの民族運動家で、民族意識の高揚につとめた。③1930年代にアメリカ合衆国大統領となったフランクリン=ルーズベルトは、恐慌対策としてニューディールを行った。また、外交政策も転換し、フィリピンの10年後の独立を約束したほか、ラテンアメリカとの関係を改善する善隣外交や、ソ連の承認などを行った。

●写真・図版提供

PPS通信社

日本史 B

【解答・採点基準】 (100点満点)

問題番号	設問	解 答 番 号	正解	配点	自己採点
第1問	A	問1	①	3	
		問2	②	3	
		問3	③	3	
	B	問4	④	3	
		問5	⑤	3	
		問6	⑥	3	
第1問 自己採点小計			(18)		
第2問	A	問1	⑦	2	
		問2	⑧	3	
		問3	⑨	3	
	B	問4	⑩	3	
		問5	⑪	3	
		問6	⑫	3	
		問7	⑬	3	
第2問 自己採点小計			(20)		
第3問	A	問1	⑭	3	
		問2	⑮	3	
	B	問3	⑯	3	
		問4	⑰	2	
	C	問5	⑱	3	
		問6	⑲	3	
		問7	⑳	3	
第3問 自己採点小計			(20)		
第4問	A	問1	⑲	3	
		問2	⑳	3	
	B	問3	㉑	3	
		問4	㉒	2	
	C	問5	㉓	3	
		問6	㉔	2	
		問7	㉕	2	
		問8	㉖	3	
第4問 自己採点小計			(21)		

問題番号	設問	解 答 番 号	正解	配点	自己採点	
第5問	A	問1	㉗	①	3	
		問2	㉘	④	3	
		問3	㉙	③	3	
	B	問4	㉚	②	2	
		問5	㉛	①	2	
	C	問6	㉜	④	3	
		問7	㉝	②	3	
		問8	㉞	③	2	
第5問 自己採点小計				(21)		
自己採点合計				(100)		

【解説】

第1問 琉球・沖縄の歴史

【出題のねらい】

本問は、先生と生徒の会話を通して、原始から近代にかけての沖縄の歴史を素材に基本的事項を問うたものである。センター試験の第1問は、このように通史的なテーマを扱うことが多い。この問題を通して、琉球・沖縄史対策だけでなく、通史的なテーマからの出題に慣れてもらいたい。

【設問別解説】

A ここでは原始から中世までの沖縄について問うた。

問1 ① ②

正しい組合せは②。空欄Aには、貝塚文化が入る。沖縄では、本州で本格的な水稻耕作が始まった弥生時代の時期から12世紀ころまで、畑作・漁労を中心とする食料採取の文化が続いた。この文化を貝塚(南島)文化とよんでいる。統繩文文化は、北海道で8世紀ころまで展開した農耕をともなわない文化のことである。空欄1には、尚巴志が入る。中山王尚巴志は、1429年に三山を統一して琉球王国を建国した。その後クーデターがあったが、尚氏を名乗る王統が明治初期の琉球処分まで続いた。李成桂は、14世紀末、高麗を滅ぼして朝鮮を建国した人物である。以下に前近代の琉球史について整理しておいたので、参考にしてほしい。

◆前近代の沖縄の歴史

12～15世紀

グスク(城)に拠った按司(豪族)が抗争

14世紀

中山・北山・南山の3王国が成立

それぞれが中国に朝貢

15世紀

琉球王国の成立(1429)

中山王尚巴志が三山を統一し建国

王府…首里

貿易港…那覇

東南アジアと明・日本・朝鮮を結ぶ中継貿易

『おもうそうし』編纂…琉球歌謡を集める

16世紀

ポルトガルの東アジア進出により琉球王国衰退

17世紀

島津家久(薩摩藩主)の琉球侵攻(1609)

薩摩藩の支配下におかれる

以後、幕府に使節を派遣

慶賀使(將軍の代替わりごと)

謝恩使(琉球国王の代替わりごと)

明(清)へも朝貢し、交易

⇒日中両属

問2 [2] ①

琉球王国の交易について問うた。誤っているのは①。生糸は、中国産のものが日本にもたらされた。同じ室町時代の日明貿易で、生糸が明からの輸入品だったことを思い出してほしい。②は正しい。東南アジアの産物(蘇木・香木など)が、琉球を通じて日本にもたらされた。ちなみに、この南海の産物は、日朝貿易における日本からの輸出品にもなった。③も正しい。那覇は、首里の外港で、明・日本・朝鮮・東南アジアを結ぶ国際貿易港として賑わった。④も正しい。16世紀半ば以降、ポルトガルが東アジアに進出し、中継貿易を展開した。16世紀半ばにポルトガル人が日本に鉄砲を伝え、南蛮貿易が始まったことを想起してもらいたい。ポルトガルの進出により、貿易の利益を奪われた琉球王国は衰退していくことになった。

問3 [3] ②

正解は②。これは人形淨瑠璃の絵である。人形淨瑠璃は、三味線の伴奏をとり入れた淨瑠璃と、操り人形とが結びついて発展した芸能であり、図版にも三味線が描かれている。元禄文化期には、近松門左衛門の脚本と竹本義太夫の義太夫節の組合せで大流行した。①は時宗の開祖一遍の踊念仏。③は華麗な

衣装で踊る風流踊り。④は北山文化期に観阿弥・世阿弥が大成した能(猿楽能)。

B ここでは近世から近代にかけての琉球と日本との関係を軸に問うた。

問4 [4] ③

薩摩藩による琉球侵攻とその支配について問うた。誤っているのは③。江戸幕府の將軍の代替わりごとに琉球から派遣される使節は、慶賀使である。ちなみに、琉球国王の代替わりに派遣される使節は謝恩使という。これらの琉球使節は、將軍が異国を従えていることの象徴として將軍権威を高めるのに利用された。なお、通信使は、將軍の代替わりなどに朝鮮から派遣される使節である。①・②はともに正しい。ただし、やや詳細な知識なので、判断は保留してもかまわない。④も正しい。19世紀前半の後期藩政改革では調所広郷が登用され、藩の負債を整理するとともに黒砂糖の専売強化や琉球貿易の拡大によって利益をあげた。この琉球貿易は、松前から長崎へ送られる物資を薩摩藩が買い上げ、琉球を通じて清国に売る密貿易であった。

問5 [5] ⑤

琉球処分について問うた。正しい配列は⑥。年代順に解説する。Ⅲ明治政府は、まず、1872年に琉球藩を設置し、琉球国王の尚泰を藩王として華族に列した。この措置に、琉球・清国は反発した。Ⅰこれより先の1871年に、琉球漁民が台湾に漂着し殺害される事件が起っていた。明治政府は琉球人を日本国民であると主張して清国に賠償を求めたが、清国が応じなかっため、1874年に台湾出兵を断行した。Ⅱその後、1879年、明治政府は琉球藩を廃し、沖縄県を設置した。これは軍隊・警察を琉球に派遣して断行された。以下に琉球・沖縄の近現代史をまとめておいたので、参考にしてほしい。

◆近現代の沖縄の歴史

〔琉球処分〕

- 1872 琉球藩を設置
尚泰を藩王とする
1874 台湾出兵
琉球漁民殺害事件(1871)を理由
1879 沖縄県を設置
清国への抗議→日清戦争で解消

〔日本統治下〕

- 「旧慣温存」策…旧来の人頭税などを継続
明治後期 謝花昇による参政権獲得運動
→府県制の実施(1909)
衆議院議員選挙法の施行(1912)

〔太平洋戦争〕

- 1945 米軍の沖縄上陸(4月 沖縄戦開始)
鉄血勤皇隊・ひめゆり隊
敗戦後、アメリカの直接軍政下
〔アメリカの統治と本土復帰〕
1951 サンフランシスコ平和条約調印
アメリカの沖縄統治を認める
その後 アメリカ軍政の下に琉球政府を設置
祖国復帰運動が高揚
1971 沖縄返還協定調印(佐藤栄作内閣)
1972 返還実現(「祖国復帰」)
米軍基地は存続

問6 [6] ②

正しいのは②。1889年に公布された最初の衆議院議員選挙法では、直接国税を15円以上納める満25歳以上の男子にのみ選挙権が与えられた。有資格者は地主などの富裕層で、その数は全人口の約1.1%だった。①は誤っている。衆議院議員選挙法は、大日本帝国憲法の発布と同時に公布された。その時の内閣は黒田清隆内閣である。③も誤っている。第2次山県有朋内閣は、1900年に選挙法を改正し、納税資格を15円以上から10円以上に引き下げた。なお、同内閣は、文官任用令の改正(1899年)や軍部大臣現役武官制の制定(1900年)などで、政党勢力の抑圧をはかったことにも注意。④も誤っている。原敬内閣の当時、納税資格の撤廃を要求する普通選挙運動が高揚していたが、原敬は普通選挙には冷淡であり、1919年に納税資格を3円に引き下げるにとどまった。

第2問 紀氏の興亡からみた古代

【出題のねらい】

本問では、古代の有力豪族である紀氏の歴史をテー

マとして、古代の政治・外交・文化について問うた。紀氏は、ヤマト政権から律令国家への変貌の中で、大伴氏などと同じく奈良時代の政界を生き残りながら、最後は藤原氏との競争に敗れた典型的古代豪族の一つである。もちろん、最後に登場する紀貫之を除けば、紀氏の具体的な人名やその業績について覚える必要はなく、設問は、基本的知識で十分解けるものになっている。

【設問別解説】

A ここでは、ヤマト政権の時代から奈良時代までを扱った。

問1 [7] ①

正しい組合せは①。空欄[A]には、臣が入る。「蘇我氏などと同じく」で判断したい。蘇我氏や葛城氏など大和の有力豪族は臣の姓をもつた。一方、特定の職能で政権に仕えた大伴氏や物部氏などは連の姓をもつた。空欄[I]には、藤原仲麻呂が入る。「道鏡排斥をはかって」で判断してほしい。仲麻呂は叔母の光明皇太后的支持を受け権力を握ったが、光明皇太后的死後、孝謙上皇の寵愛を受けた道鏡が台頭し、これに対抗するため反乱を起こしたが敗死した。一方、藤原広嗣は、橘諸兄政権で重用された吉備真備と玄昉の排斥を唱え、大宰府で反乱を起こした人物である。以下に奈良時代の政争・政変についてまとめておいたので、参考にしてほしい。

◆奈良時代の政争・政変

長屋王の変 (729年)

光明子立後に反対する左大臣長屋王を、藤原四子が策謀で自殺に追い込む。

藤原広嗣の乱 (740年)

藤原広嗣が、玄昉・吉備真備の排斥を求めて大宰府で反乱。

橘奈良麻呂の変 (757年)

藤原仲麻呂政権に対し、橘奈良麻呂がクーデターを計画し失敗。

藤原仲麻呂の乱 (764年)

藤原仲麻呂(恵美押勝)が道鏡を排斥するため挙兵し、敗死。

宇佐八幡宮神託事件 (769年)

道鏡が宇佐八幡宮の神託を利用して皇位をねらう。

問2 [8] ①

正しい組合せは①。Xは正しい。4世紀、倭は、鉄資源や先進技術などの摂取をもとめて朝鮮半島南部に進出した。その後、4世紀末から5世紀初めにかけて、南下政策を進める高句麗の好太王の軍と戦

ったことが、「高句麗好太王碑文」に記されている。Yも正しい。6世紀には新羅が強大化し、倭と深い関係をもつ伽耶に侵入をくりかえしていた。『日本書紀』によると、倭は朝鮮半島に軍を派遣し新羅と戦おうとしたが、筑紫国造磐井は敵国である新羅と結んで、軍隊の渡海を妨害しようとした。これが磐井の乱(527~528年)である。乱後、朝廷は磐井の領地に屯倉を設置するなどして、地方支配を強めた。

問3 [9] ④

律令貴族に関する設問である。誤っているのは④。貴族の子の特権として、成人すると一定の位階が与えられるのは蔭位の制である。官位相当の制は、位階に応じた官職に任命されるという制度である。①は正しい。律令官人のうち貴族とよばれるのは五位以上の位階をもつもので、六位以下の中・下級官人とでは待遇に大きな差があった。②も正しい。律令官人たちは位階や官職によって禄や封戸・田地が与えられた。そのうち位階によるものを位禄・位封・位田といい、官職によるものを職封・職田といった。③も正しい。貴族たちは犯罪を犯しても、位階を下げられたり、罰金を払ったりすることで死刑を免除されることがあった。

B ここでは、奈良時代末から平安時代中期までを扱った。

問4 [10] ③

正しい配列は③。年代順に解説しよう。II伊治皆麻呂は蝦夷出身だが律令政府に帰順していた。しかし、光仁天皇の時代に反乱を起こし、鎮守府のある多賀城を焼き打ちした。これがきっかけとなって、蝦夷が蜂起し、律令政府と蝦夷との長期間の戦闘がはじまった。I蝦夷征討のため、桓武天皇は坂上田村麻呂を征夷大将軍とし、大軍を派遣した。田村麻呂は蝦夷の首領阿弓流を降伏させるとともに、多賀城よりも北方に胆沢城を築き、ここに鎮守府を移した。III桓武天皇は蝦夷征討を停止したが、その後、嵯峨天皇の時代に再開され、文室綿麻呂が東北地方に遠征した。IIの「伊治皆麻呂」やIIIの「文室綿麻呂」は、センター試験では難度が高い人名だが、「桓武天皇の時代に坂上田村麻呂が征夷大将軍となり、胆沢城を築き鎮守府を多賀城から移した」という知識と「嵯峨天皇は、桓武天皇より後」ということを知りていれば正答を選ぶことができる。

問5 [11] ④

正しい組合せは④。空欄[W]には、応天門の変が入る。伴善男は、応天門放火に関わったとされて流罪となり、この事件を機に藤原良房が正式な摂政となった(866年)。承和の変(842年)は、橘逸勢と伴

健岑が失脚した事件である。空欄[W]には、醍醐(天皇)が入る。醍醐天皇の時代は、史書(『日本三代実録』)編纂・法典(延喜格式)編纂・班田などの国家事業が終焉し、律令体制が終焉を迎えた時期である。一方、最初の勅撰和歌集である『古今和歌集』が編纂されるなど、国風文化を象徴する新たな文化事業も開始された。村上天皇の時代には乾元大宝が鋳造され、これをもって皇朝十二銭の発行が終わった。

問6 [12] ①

遣唐使についての設問である。誤っているのは①。遣唐使の航路は、7世紀は朝鮮半島沿いの北路をとっていたが、8世紀以降、新羅との関係が悪化すると、東シナ海を横断する危険な南路・南島路をとった。②は正しい。8世紀以降、南路・南島路がとられるのにともなって遣唐使の船は4隻で派遣されることが多くなった。そのため「よつのふね」とよばれるようになった。ただし、この知識はやや詳細なので、判断を保留してもかまわない。③も正しい。最澄の弟子である円仁は、留学僧として承和年間(838年)の遣唐使に同行した。円仁は、中国の聖地を巡礼するとともに密教を学び、帰国後、天台宗の密教化に尽力した。なお、円仁が同行した838年の遣唐使が、実際に派遣された遣唐使の最後となつた。④も正しい。894年、菅原道真は、遣唐大使に任命されたが、道真は唐の衰退などを理由に遣唐使の派遣停止を建言した。宇多天皇は道真の意見をとりいれ、遣唐使を中止した。

問7 [13] ②

正しい組合せは②。Xは、『蜻蛉日記』の説明文。作者の右大将道綱の母は、藤原兼家の妻の一人だった。藤原兼家とは、道長の父である。一夫多妻制のもとでの結婚生活の苦悩などが書かれている。Yは、『枕草子』の説明文。「定子に仕えた女官」で、作者の清少納言を想起したい。なお、定子は藤原伊周の妹で、一条天皇の皇后となった。『源氏物語』を著した紫式部は、一条天皇の中宮彰子(道長の娘)に仕えた女官である。

第3問 中世の史書・軍記物

【出題のねらい】

本問は、院政期から室町時代の史書を通じ、当該期の政治・文化の概要を整理するための問題である。本問を通じて、当該期の政治・文化の重要なポイントをしつかりと確認してもらいたい。

【設問別解説】

A 平安時代中期から末期の史書の展開を通して、院

政期の政治・社会について問うた。

問1 [14] ③

院政期の政治・社会を問う問題である。誤っているのは③。強訴を行ったのは、春日神社の神木をかかげた興福寺(南都)の僧兵(奈良法師)や、日吉神社の神輿を担いた延暦寺(北嶺)の僧兵(山法師)らが有名である。法勝寺は、院政期に上皇・天皇によって建立された六勝寺の一つ。白河天皇が造営した寺院で、「国王の氏寺」とも称された壯麗な寺院であった。①は正しい。院宣や院庁下文は、院政を行う上皇の命令を伝える文書であり、ともにこの時期に国政に大きな影響力をもつようになっていた。②も正しい。受領らの中・下級貴族は、摂関政治期には摂関家におさえられていたが、院政期になると院の近臣となって勢力を拡大させた。④も正しい。院政期になると、上皇に対して荘園の寄進が進んだ。また、この時期には、一国の支配権を特定の個人に与え(その人物を知行国主という)、その国の公領からの租税収入を取得させる知行国制が定着するようになった。上皇は院の近臣や貴族を知行国主に任じるとともに、自らも知行国主となって公領を自己の経済基盤に取りこんでいった。

問2 [15] ①

院政期の政治・文化を問う基本的な問題である。正しい組合せは①。空欄[A]には、藤原通憲(信西)が入る。藤原通憲(信西)が官撰史書の編纂に着手したことを知っておく必要はない。鳥羽上皇と同じ時期の宮廷社会の人物であり、後白河院政下で起こった平治の乱(1159年)で死亡したことを知つてれば特定できる。なお、藤原清衡は、後三年合戦後に平泉を拠点に奥州藤原氏の繁栄を築いた人物である。空欄[I]には、『大鏡』が入る。院政期の歴史物語としては『大鏡』と『栄華物語』とがある。『大鏡』は、後の『今鏡』・『水鏡』・『増鏡』とあわせて「四鏡」とよばれ、その最初にあたる。『今昔物語集』は、院政期に成立した説話集である。

B 鎌倉幕府の正史である『吾妻鏡』の編纂を通じて、鎌倉時代の政治・文化について問うてみた。

問3 [16] ②

鎌倉時代の史書・軍記物に関する基本的な問題である。正しい組合せは②。Xは正しい。『平家物語』は、無常観を背景に平家の興亡を生き生きと描き出した軍記物で、琵琶法師が琵琶の演奏とともに語る平曲=口承文学により、文字の読めない庶民層にまで広く浸透した。Yは誤っている。「伊勢神道の影響を受けて」の部分が誤り。伊勢神道は、反本地垂迹説を唱える神道で、鎌倉後期(元寇後)に成立し

た。『愚管抄』は、天台座主である慈円(九条兼実の弟)が著した史書で、公家社会から武家社会への変転を、末法思想と「道理」とよばれる歴史観で描いている。後鳥羽上皇の討幕計画を諫めることが執筆目的の一つにあったとも言われる。

問4 [17] ②

近年のセンター試験でしばしば見られる史料の読み取り問題である。史料は守護・地頭の設置に関するもの。正しいのは②。史料に「東海道の内に於いては、御居所たるに依て、静謐せしむと雖も、奸濫定めて他方に起らんか」とあり、東海道は「静謐」(平穏)だが他の地方で「奸濫」(悪賢く、秩序を乱す)が起こるだろうと書かれている。①は誤っている。「因幡前司広元」、すなわち大江広元は、侍所の初代別当ではなく、公文所(のち政所)の初代別当である。侍所の初代別当は、和田義盛だった。③も誤っている。史料には「奸濫」を鎮めるために「毎度、東士を発遣せらるゝ」(その都度、東国武士を派遣すること)は、「人々の煩ひなり、國の費えなり」とある。④も誤っている。守護・地頭の設置が建議され、頼朝が朝廷から許可されたのは、平氏の滅亡後である。源頼朝は、平氏滅亡に功績のあった弟義経と対立するようになり、義経追討を名目として守護・地頭の設置を朝廷に要求したのである。

C 南北朝から室町中期までの政治・文化の動向を、軍記物を通じて追ってみた。

問5 [18] ③

南北朝期の史書・軍記物を問う問題である。正しい組合せは③。『神皇正統記』を著した北畠親房は、後醍醐天皇に仕えた南朝の人物であり、皇位継承のあり方を述べ、南朝の正統性を主張した。したがって、bが正しく、aが誤りとなる。また、『梅松論』は、南北朝の内乱を武家の立場から記述した書である。作者は不詳だが、室町幕府の関係者だと考えられている。『樵談治要』は、15世紀後半に公家の一条兼良が、日野富子の求めに応じて9代将軍足利義尚に献じた政治意見書であり、内容も時期も異なる。したがって、cが正しく、dが誤りとなる。

問6 [19] ④

正しい組合せは④。空欄[W]には、後醍醐天皇が入る。鎌倉後期になると、持明院統と大覚寺統が交互に皇位を継承する両統迭立の形式がとられたが、大覚寺統から出た後醍醐天皇は、両統迭立を支持した幕府の方針に不満を抱き、正中の変(1324年)・元弘の変(1331年)と2度の討幕計画を進めた。後鳥羽上皇は、鎌倉時代前期に承久の乱を起こした人物である。空欄[工]には、九州探題が入る。九

州では後醍醐天皇の皇子である懷良親王を中心とした南朝勢力が強かった。そのため、室町幕府は、今川了俊(貞世)を九州探題に任命して九州の南朝勢力を制圧させた。ちなみに、六波羅探題は、承久の乱後、鎌倉幕府が朝廷監視・西国御家人の統轄のために設置した機関である。

問7 [20] ⑥

室町時代の戦乱についての年代配列。正しい配列は⑥。年代順に説明していこう。Ⅲ足利義満は、將軍権力の確立をはかり、有力守護の勢力を削減した。まず、明徳の乱(1391年)で山名氏清を滅ぼし、さらに応永の乱(1399年)で大内義弘を滅ぼした。鎌倉公方と示し合わせたかどうかの知識がなくても、「大内義弘」で特定したい。Ⅰ 6代將軍足利義教は専制政治を行い、永享の乱(1438~39年)で、鎌倉公方足利持氏を滅ぼした。このとき、義教は、持氏と対立していた関東管領上杉憲実と結んだのだった。Ⅱ 8代將軍足利義政の後継問題(義視と義尚)と、細川勝元・山名持豊の実権争い、さらに斯波氏・畠山氏の家督争いが結びついて、応仁・文明の乱(1467~77年)が起こった。この戦乱で、幕府の権威は失墜し、戦国時代に移行していくことになる。以下に、室町時代のおもな戦乱についてまとめておいたので、参考にしてほしい。

◆室町時代の戦乱

観応の擾乱 (1350~52)

足利尊氏の執事高師直と足利直義との対立

明徳の乱 (1391)

足利義満が山名氏清を追討

応永の乱 (1399)

足利義満が大内義弘を和泉国の堺で追討

永享の乱 (1438~39)

足利義教が足利持氏(鎌倉公方)を追討

嘉吉の乱 (1441)

赤松満祐(播磨の守護)が足利義教を殺害

応仁・文明の乱 (1467~77)

足利義視と足利義尚の將軍後継争い

細川勝元と山名持豊(宗全)の幕府の実権争い

畠山氏・斯波氏それぞれの家督争い

第4問 近世の飢饉と幕府政治

【出題のねらい】

本問は江戸時代に起こった寛永の飢饉・天明の飢饉・天保の飢饉をとりあげ、それぞれの飢饉発生時の状況の相違と民衆の動向や幕府の対応に注目した。

【設問別解説】

A 寛永の飢饉を素材に、17世紀に確立した江戸幕府の農民支配について問うた。

問1 [21] ③

誤っているのは③。江戸時代には村請制がとられ、本年貢(本途物成)は、村ごとに徵収され、村ごとに納入された。①は正しい。村方三役(村役人)は名主(西では庄屋)・組頭・百姓代で構成され、本百姓による村の自治を主導した。②も正しい。村では独自の村法(村綱)が作られ、これに基づいて村の運営がなされた。村法に違反すると、交際を絶たれる村八分などの制裁が加えられた。④も正しい。宿場には公用に使用される人馬が準備されていた。しかし、その人馬が不足すると、街道周辺の村に人馬の提供が課され、この負担を助郷役といった。

問2 [22] ③

正しい組合せは③。Xは誤っている。田畠の売買が禁止されたのは田畠永代売買禁止令(1643年)であり、寛永の飢饉によって田畠を売却して没落する農民が増加したことを背景に出された。分地制限令(1673年)は、分割相続によって耕地が細分化されるのを防止する法令である。Yは正しい。田畠勝手作の禁令は、検地帳に記載されている本田畠で商品作物を栽培することを禁止する法令で、たびたび発令された。

B 18世紀後半には幕藩領主の財政難が深刻化とともに、農村も大きく変容した。ここでは天明の飢饉を素材として、百姓一揆や幕府・藩の諸政策について確認した。

問3 [23] ④

正しい組合せは④。aは誤っている。江戸時代初めから年ごとの収穫に応じて年貢率を決定する検見法がとられていたが、享保の改革で、一定期間、年貢率を固定する定免法に改められた。bは正しい。新田開発と年貢増徴の成果があらわれるまでの一時的な措置として上米の制がとられた。その代償として、大名の参勤交代が緩和された。cは誤っている。田沼意次は商人資本を利用して印旛沼・手賀沼の干拓に着手した。しかし、洪水のために失敗に終わる。dは正しい。田沼意次は特定の商品を幕府の専売制とした。田沼期には長崎貿易が拡大され、銅は主要な輸出品となった。朝鮮人参は高価な薬である。

問4 [24] ②

正しい組合せは②。空欄Aには、浅間山が入る。天明の飢饉は、1782年の東北・北陸地方を中心とした冷害によって始まっていたが、翌83年の浅間

山の噴火によって拍車がかかった。空欄 **[イ]** には、惣百姓一揆が入る。江戸前期の17世紀後半には、村役人など村を代表する者が領主に直訴する代表越訴型一揆が行われた。なお、命をかえりみず直訴した者は義民とよばれた。17世紀末以降、農民が広域に団結して大規模な一揆を起こすようになり、18世紀に一般化した。これが惣百姓一揆である。なお、幕末期には貧農・小作農らが社会変革を求める世直し一揆が多発した。

問5 **[25] ④**

誤っているのは④。佐賀藩における鍋島直正の改革は、19世紀半ばのことである。文章そのものに誤りはないが、設問文で問われている18世紀後半のことではない。①は正しい。寛政の改革では、大名に米などを備蓄させる圃米が命じられた。その他、農村にも義倉・社倉などの備荒貯蓄が命じられた。②も正しい。飢饉により貧農が江戸に流入し、無宿人・浮浪人となった。寛政の改革では旧里帰農令を出して、彼らの帰農を奨励した。③も正しい。18世紀後半には特産品の奨励や藩専売制によって財政再建をはかる藩があった。米沢藩の上杉治憲は、米沢織とよばれる絹織物を専売とするなどして、財政を再建した。

C 天保の飢饉を素材として、19世紀前半の政治・社会・文化などを幅広く確認した。

問6 **[26] ③**

史料の読み取り問題。水戸藩の徳川斉昭が1838年に著し、1839年に幕府に提出したこの意見書は「戊戌封事」とよばれている。誤っているのは③。清とイギリスが戦ったアヘン戦争は1840~42年に起り、清の敗北に衝撃を受けた幕府は、天保の薪水給与令(1842年)を出した。史料の「戊戌封事」の提出よりも後のことである。①は正しい。史料に「人の身にたとへ候得ば、甚だ不養生にて、種々さまざまの病症きざし居り」とあり、きわめて不健全な状態であるとされている。②も正しい。史料の「大坂の奸賊容易ならざる企て仕り」は、大塩平八郎の乱(1837年)をさしている。大塩平八郎の乱が天保の飢饉のさなかに起こったことから判断してほしい。④も正しい。一揆などが起こるのは「下々にて上を怨み候と上を恐れざるより」と書かれている。

問7 **[27] ④**

正しい組合せは④。Xは、読本作家の滝沢(曲亭)馬琴の作品『南総里見八犬伝』の挿絵である。図版から判断できなくても、aの『東海道中膝栗毛』が十返舎一九の滑稽本であり、洒落本作家の山東京伝の作品ではないので排除できる。Yは、図版中の

「東海道五拾三次之内 川崎」の文字から、歌川広重の「東海道五十三次」のなかの川崎宿を描いた作品と判断できる。喜多川歌麿の代表作品は「婦女人相十品」である。以上により、b・dが正しい組合せとなる。

問8 **[28] ③**

天保の改革での株仲間政策について問うた。正しいのは③。水野忠邦は、株仲間による流通独占が江戸の物価騰貴の原因であると判断して、株仲間解散令を発令した(1841年)。しかし、株仲間の解散は商品流通を混乱させ、かえって物価は上昇した。①は徳川吉宗の享保の改革の施策、②は田沼意次の政策である。④は、商品流通を円滑化し、幕府が商業統制をするために、③の株仲間解散の10年後にとられた施策である。以下に株仲間にに対する幕府の施策とその目的をまとめておいたので、参考にしてほしい。

◆幕府の株仲間にに対する施策

[時期]	[施策]	[目的]
享保の改革	公認	物価の統制
田沼時代	奨励	営業税の増徴
天保の改革	解散	物価の統制
1851年	再興	流通円滑化など

第5問 明治・大正時代の経済・社会

【出題のねらい】

明治・大正時代の経済・社会について、明治時代前期の殖産興業期、明治時代中・後期の松方財政から産業革命のころ、大正時代の大戦景気のころの3期に区分し、各時期を代表する働き手・労働者の様相を中心概観した。社会経済分野を苦手とする受験生も多いが、早めの攻略を期したい。

【設問別解説】

A 政府が群馬県に設立した官営模範工場の富岡製糸場とそこで働いた士族の娘をとりあげ、殖産興業政策と士族の動向について確認した。

問1 **[29] ①**

誤っているのは①。殖産興業政策は、政府主導ですすめられ、その推進機関となったのは工部省と内務省であった。しかし工部省は、岩倉使節団が出発する前の1870年に設置されている。一方、内務省は、岩倉使節団の副使として欧米各国を視察した大久保利通が、征韓論の政変後の1873年に新設したものである。②は正しい。明治初年には、政府発行の太政官札・民部省札のほか、江戸時代以来の万延小判や藩札など雑多な貨幣が使用され、貨幣制度が混

乱していた。1871年、政府は新貨条例で十進法の円・銭・厘を単位とした統一的な貨幣制度を定めるとともに、金本位制の確立をはかった。③も正しい。江戸時代の飛脚に代わって導入されたのが郵便制度であり、前島密がその整備に尽力した。④も正しい。日本最初の鉄道は、1872年(明治5年)に開通した新橋(東京)・横浜間を結ぶ官営の鉄道で、イギリスの技術指導をうけて開業にいたった。

問2 [30] ④

正しい組合せは④。aは誤っている。小学校が新設されたのは、学制(1872年)によってであり、学制では国民皆学の理念が打ち出された。学校令は、国家主義的教育制度の確立をめざしたもので、1886年に出されている。なお、秩禄処分により経済的特権を廃止された士族は、官吏・軍人・警官や公立学校的教職員など、さまざまな仕事についたのである。bは正しい。屯田兵は国防と北海道の開墾を担い、最初は士族が多く移住した。cは誤っている。西郷隆盛・板垣退助・江藤新平らが主張したのが征韓論で、不平士族対策の意味もあり朝鮮への派兵も視野に入れていた。大久保利通らの内治優先派に対して、西郷らは士族中心の発想をしていた。dは正しい。征韓論争に敗れ下野した征韓派の元参議は、まず、西郷隆盛を除くメンバーが政府に対して民撰議院設立建白書を提出し議会開設を求めた。その後、それぞれの出身地へ戻り、板垣らは高知で立志社を設立し自由民権運動を本格化させた。一方、江藤新平は、佐賀の乱を起こしたが、敗北し処刑された。

B 松方財政から産業革命期にかけての労働者として、繊維産業で働く女工をとりあげた。彼女らの多くは貧しい小作農の娘であり、その背景には寄生地主制があった。ここでは、寄生地主制の起点となった松方財政、産業革命期の工場労働者の動向、社会運動と政府による政策について問うた。

問3 [31] ③

誤っているのは③。足尾銅山は、松方財政以前に古河市兵衛が買収し、経営していた。三井は、三池炭鉱や富岡製糸場などを手に入れている。官営事業の払い下げを優先的に受けた政商は、産業資本家へ転じていった。三井・三菱がその代表例。①は正しい。西南戦争の戦費などのために不換紙幣が濫発されたことによるインフレが問題となっていた。そこで、松方財政では酒税・たばこ税などの増税とともに緊縮財政が実施された。しかし、朝鮮をめぐる日清対立などにより、軍事費は削減されなかった。②も正しい。政府は、中央銀行として日本銀行を設立し、紙幣は日本銀行券のみとした。日本銀行券は銀

貨との兌換が保証され、貨幣価値が安定した。④も正しい。松方財政の進行によりデフレが進展し、米・蘭の価格が暴落した。これらを収入源としていた農民の多くは、増税もあって、定額金納の地租が払えず、没落することになった。土地を手放して小作農となるものが多く、地主への土地集中が進み、寄生地主制が成立した。産業革命のころの女工の多くは、こうした小作農の娘であった。

問4 [32] ②

正しい組合せは②。Xは正しい。紡績業は、明治初期には輸入綿糸に圧倒されていたが、機械紡績の発展により、1890年には生産高が輸入高を上回り、1897年には輸出高が輸入高を上回った。こうした発展を背景として、労働者数も大幅に増加している。グラフによると、紡績業の労働者数は、1886年には約3000人だが、1900年には約6万3000人となっており、20倍以上に増加していることがわかる。Yは誤っている。製糸業では明治時代を通じて座縫製糸にかわって器械製糸が普及していった。製品である生糸は最大の輸出品であり、製糸業も発展していく、労働者数も増加していく。製糸業の労働者数の割合は、35.7%(1886年)から30.6%(1900年)、さらに22.8%(1909年)と減少傾向にある。しかし、気をつけたいのは労働者の総数で、3期を通じて大幅に増加していることから、製糸業の労働者総数は約3万人(1886年)から約12万人(1900年)、約18万人(1909年)へと増加しており、減少してはいない。

問5 [33] ①

正しいのは①。日清戦争後、いっそう工業の発展が進行するなかで、アメリカで労働運動を学んだ高野房太郎は、片山潜らとともに労働組合期成会を結成した(1897年)。労働組合期成会は、労働者らに労働組合を結成させ、待遇改善要求などの運動を指導した。②は誤っている。社会民主党が結成されたのは日露戦争前である。社会民主党は、1901年に結成された日本で最初の社会主義政党であるが、前年に制定された治安警察法の適用を受けて、ただちに解散させられた。日露戦争後の1906年には日本社会党が結成され、最初の合法的な社会主義政党となつた。③も誤っている。社会主義運動をすすめ無政府主義者となった幸徳秋水らが死刑とされたのは、大逆事件(1910~11年)である。当時の内閣は、第2次山県有朋内閣ではなく、第2次桂太郎内閣であった。なお、第2次山県有朋内閣の時には前述した治安警察法が制定されている(1900年)。④も誤っている。第2次桂太郎内閣は、大逆事件で社会主義者を弾圧する一方で、最初の労働者保護法である工場法

も制定・公布し(1911年)，労働運動・社会主義運動に対処しようとした。しかし，その施行は5年後であり，第2次桂太郎内閣の時ではない(第2次大隈重信内閣の時)。また工場法は，労働者15人未満の工場には適用されず，内容にも多くの例外規定が設けられており，労働者保護は不十分だった。

C 大戦景気のころ，いわゆる京浜工業地帯が形成され，工場労働者数が増えた。一方，同じころ，東京丸の内にはオフィス街が形成され，サラリーマンが行き交った。ここでは，第一次世界大戦と日本の外交，サラリーマンなどを主たる担い手として新たに形成された大衆文化などについて確認した。

問6 [34] ④

誤っているのは④。朝鮮で起こったのは，五・四運動ではなく，三・一運動(三・一独立運動)である。三・一運動は，アメリカ大統領威尔ソンが唱えた「民族自決」に呼応して日本からの独立を求めていたもので，当時の原敬内閣は軍隊・憲兵によって鎮圧した。なお，五・四運動は，日本への山東省権益譲渡を規定したヴェルサイユ条約に対し，山東省権益返還などを求めた反日・反帝国主義運動である。

①は正しい。第一次世界大戦が勃発すると，当時の第2次大隈重信内閣(外相は加藤高明)は，日英同盟を理由にして，ドイツに対して宣戦布告した。②も正しい。参戦した日本は，中国におけるドイツの租借地である山東省の青島などを占領した。第2次大隈内閣は，中華民国の袁世凱政府に二十一カ条の要求を突きつけ，山東省の旧ドイツ権益の継承などを要求した。③も正しい。大隈内閣の次が寺内正毅内閣で，寺内首相は私設秘書の西原亀三を通じて中華民国の段祺瑞政府へ多額の資金を融資した。これを西原借款といった。日本は，二十一カ条の要求や西原借款により，大戦中に中国での権益を拡大しようとしたのである。

問7 [35] ②

正しい組合せは②。空欄[A]には，電気が入る。大戦景気のころから，工場の動力源は蒸気力から電力へと転換していった。それは，湖や河川の上流域に発電所が建設され，長距離の送電が可能となったためであった。とくに猪苗代(福島県)の水力発電所から東京への長距離送電によって，京浜工業地帯の電力事情が良くなった。以下に，大戦景気のころの変化について整理しておくので，参考にしてほしい。空欄[B]には，辰野金吾が入る。イギリス人コンドルは，お雇い外国人の一人で辰野金吾の師として知られる。活躍時期が異なることから排除したい。コンドルは鹿鳴館などの設計で有名。

◆大戦景気の状況

- ・輸入超過→輸出超過
- ・債務国→債権国
- ・農業国→工業国
- ・工業原動力で，電力が蒸気力を上まわる
- ・工場労働者(とくに男子労働者)が増加

問8 [36] ③

正しい組合せは③。Xは誤っている。大衆小説の『大菩薩峠』を書いたのは，中里介山である。夏目漱石は，明治期の日露戦争前後に盛んであった自然主義に反発し，『坊っちゃん』『それから』などで真の人間の生き方を求める作品群を残している。なお，大正時代には，永井荷風・谷崎潤一郎らの耽美派，芥川竜之介・菊池寛らの新思潮派，有島武郎・武者小路実篤・志賀直哉らの白樺派なども文壇で活躍した。Yは正しい。大正時代，文化が大衆化し，生活様式でも洋風化がみられるなど大きく変化した。都市では洋服や和洋折衷の食生活が普及し，都市郊外には庶民の住宅としてレンガ造やガラス戸などをもった文化住宅が建てられた。

●写真提供・協力

国立国会図書館(ホームページから転載)／国立歴史民俗博物館／

東京国立博物館 Image:TNM Image Archives／米沢市(上杉博物館) 「洛中洛外図屏風(右隻)」／

早稲田大学演劇博物館

地理 B

【解答・採点基準】 (100点満点)

問題番号	設問	解 番 答 号	正解	配点	自己採点
第1問	問 1	1	④	3	
	問 2	2	③	3	
	問 3	3	②	3	
	問 4	4	③	3	
	問 5	5	④	2	
	問 6	6	②	3	
第1問 自己採点小計			(17)		
第2問	問 1	7	①	2	
	問 2	8	③	3	
	問 3	9	①	3	
	問 4	10	②	3	
	問 5	11	④	3	
	問 6	12	④	3	
第2問 自己採点小計			(17)		
第3問	問 1	13	⑥	3	
	問 2	14	③	3	
	問 3	15	④	3	
	問 4	16	⑤	3	
	問 5	17	②	2	
	問 6	18	②	3	
第3問 自己採点小計			(17)		
第4問	問 1	19	⑤	3	
	問 2	20	⑤	3	
	問 3	21	①	3	
	問 4	22	②	2	
	問 5	23	⑥	3	
	問 6	24	②	3	
第4問 自己採点小計			(17)		
第5問	問 1	25	⑥	3	
	問 2	26	⑤	3	
	問 3	27	④	2	
	問 4	28	④	3	
	問 5	29	③	2	
	問 6	30	④	3	
第5問 自己採点小計			(16)		

問題番号	設問	解 番 答 号	正解	配点	自己採点
第6問	問 1	31	③	2	
	問 2	32	②	2	
	問 3	33	①	3	
	問 4	34	②	3	
	問 5	35	③	3	
	問 6	36	①	3	
第6問 自己採点小計			(16)		
自己採点合計			(100)		

【解説】

第1問 気候、植生、土壤、水

【出題のねらい】

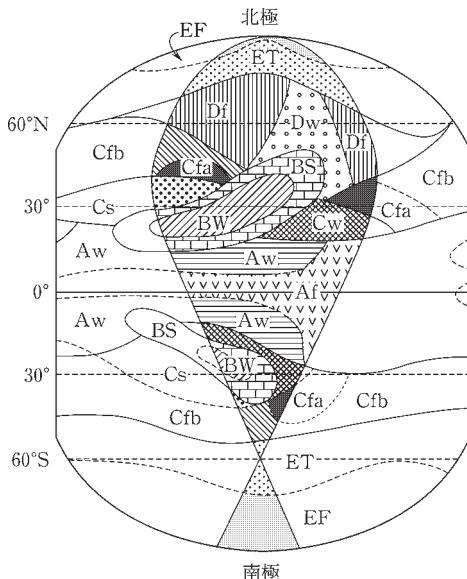
気候区の分布と植生、土壤、海洋と陸水について出題した。気候区の分布の特色を、仮想大陸を利用して理解するとともに、植生と土壤の分布も気候と対応させて覚えよう。

【設問別解説】

問 1 1 ④

図1は、ケッペンの気候区分の規則性を模式的に表した仮想大陸で、地図帳などに掲載されている世界の気候区分図と対照してみると、各気候区の分布の特徴が読み取れる。図1で温帯の四つの気候区を北半球についてみると、西岸の40～60度付近(ア)にはCfb(西岸海洋性気候)が、その低緯度側の30～40度付近(イ)にはCs(地中海性気候)が分布し、Csとほぼ同緯度の大陸東岸(ウ)にはCfa(温暖湿潤気候)が、その低緯度側(エ)にはCw(温暖冬季少雨気候)が分布する(図①参照)。①はCfbの説明で、暖流上を吹く偏西風の影響を受け年中湿潤で、冬季は緯度の割に温暖なため気温の年較差は小さい。②はCfaの説明で、Cfbより低緯度に位置するため夏季の気温は高い(最暖月平均気温22°C以上)が、冬季は大陸からの冷たい風の影響でCfbとほぼ同じ気温となることから、気温の年較差が大きく、四季が明瞭である。温帯と亜寒帯の境界は最寒月平均気温-3°Cであり、冬季の気温は西岸で高いことから、西岸では東岸より高緯度まで温帯が分布することに注意しておこう。なお、図1で西岸のアとイの間にCfaがみられるのは、内陸で夏季の気温が高くなり、最暖月平均気温が22°Cを上回るためで、イタリア北部やハンガリー付近がその例である。③はCsの説明で、夏季は亜熱帯高圧帯の影響を受けて乾燥し、冬季は亜寒帯低圧帯の影響を受けて湿潤と

なる。④はCwの説明で、モンスーンアジアに多くみられ、海洋から湿った季節風が吹く夏季が雨季、大陸からの乾燥した季節風が吹く冬季が乾季となる。ただし、気候区分図をみると、Cwはアフリカや南アメリカの内陸の高原にも分布している。これは、赤道低圧帯の影響による雨季と亜熱帯高圧帯の影響による乾季が明瞭なAw(サバナ気候)の分布地域では、標高が高くなると最寒月平均気温が18°Cを下回ってCwとなるためである。なお、Csは大陸西岸に限られるが、Cfbは、南半球ではニュージーランドやオーストラリア南東部のように西岸以外にも分布するので区分図をしっかりみておこう。



図① 仮想大陸上の気候区分

問2 [2] ③

図1中のXは、寒帯と亜寒帯・温帯との境界で(南半球には亜寒帯が分布しないことに注意)、最暖月平均気温10°Cが該当する。ケッペンの気候区分では、まず、樹林気候と無樹林気候に大別され、無樹林気候は、蒸発量が降水量を上回って樹林が生育しない乾燥帯と、夏季低温で樹林が生育しない寒帯に分けられる。一方、樹林気候は、冬季の気温が下がるにつれて常緑広葉樹、落葉広葉樹、針葉樹と変化することから、最寒月平均気温が18°C以上の熱帯、-3~18°Cの温帯、-3°C未満の亜寒帯に分けられる。Yは、寒帯と温帯の境界なので、最寒月平均気温18°Cが該当する。

問3 [3] ②

図①からもわかるように、亜寒帯は北半球にのみ分布し、南半球にはみられない。これは、南緯50~60度付近に大きな陸地がなく、冬季寒冷な地域

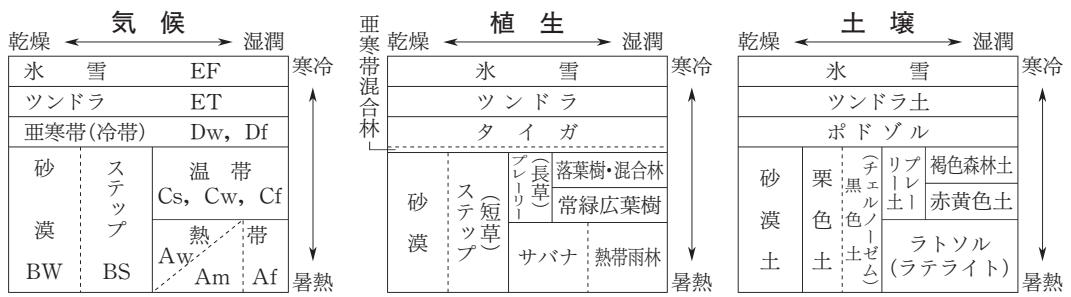
がみられないためである。また、亜寒帯はDf(亜寒帯湿潤気候)とDw(亜寒帯冬季少雨気候)に分類されるが、Dwは冬季にシベリア高気圧の影響を強く受けるユーラシア大陸北東部にしか分布しない。よって、表1で、ユーラシアのみにみられるクはDwで、ユーラシアと北アメリカにみられるカはDfである。キはアフリカとオーストラリアで割合が高く、BWと同じ傾向を示している。これはBSで、オーストラリアは南回帰線が大陸の中央部を通るため、乾燥帯の占める割合が最も高い。アフリカは熱帯の分布する赤道付近より、回帰線付近の大半幅が大きいため、熱帯より乾燥帯の占める割合の方が高い。一方、南アメリカは赤道付近の大半幅が大きいため、熱帯の占める割合が最も高い。よって、ケはAwである。

問4 [4] ③

①正しい。Aの地中海付近では、夏の乾燥に耐えるため厚く硬い葉をもつオリーブやコルクガシなどの硬葉樹がみられる。②正しい。Bのカリマンタン島は赤道直下に位置し、年中高温多雨の熱帯雨林気候なので、多種の広葉樹からなる密林(東南アジアではジャングルとよばれる)がみられる。③誤り。Cはロッキー山脈東麓のグレートプレーンズで、ステップ気候のため背丈の低い草原が広がっている。グレートプレーンズの東側のCfa地域には、背丈の高い草の生える温帯草原のブレーリーが位置している。少数の樹種からなる針葉樹林(タイガ)は、カナダやシベリアなど亜寒帯の高緯度側の地域にみられる。④正しい。Dはオリノコ川流域で、サバナ気候に属しており、リヤノとよばれる熱帯草原(サバナ)が広がっている。サバナは東アフリカの草原の名称で、疎林と背丈の高い草原が特徴である。南アメリカのアマゾン盆地の熱帯雨林はセルバ、その高緯度側のサバナはリヤノとカンポ(プラジル高原)、さらに南部のラプラタ川流域の温帯草原はパンパとよばれるので、地図帳で確認しておこう。

問5 [5] ④

気候と植生、土壤は密接に関連して分布し、図②に示したように、気候、植生と対応して帶状に広く分布する土壤は成帯土壤とよばれる。①正しい。熱帯では、高温多雨の下で水溶性の物質が地下に流され、表層に残留した鉄とアルミニウムの酸化物によって赤色を呈するラトソルがみられる。②正しい。亜寒帯では、低温のため落葉枝が微生物によって分解されて生じる有機酸に鉄やアルミニウムが溶かされて地下に流され、表層に石英が残留して灰白色を呈するポドゾルがみられる。温帯の褐色森林土は落



図② 気候・植生・土壌の対応関係

葉が腐植となって肥沃であるが、ステップのチエルノーゼムや温帯草原のブレーイー土は、腐植層の厚い黒色土で、最も肥沃である。

特殊な岩石の風化などによって生成され、成帯土壌の間に局地的に分布する土壌を間帯土壌といふ。

③正しい。デカン高原には玄武岩が風化した黒色のレグールが分布し、肥沃なため綿花栽培に利用されてきた。ブラジル高原に分布する玄武岩などが風化した赤紫色のテラローシャも肥沃で、コーヒー栽培に利用されている。④誤り。石灰岩の風化した赤色土はテラロッサで、地中海周辺に広く分布している。他に、風で砂などの細粒物質が運ばれて堆積したレス(黄土)も間帯土壌である。

問6 [6] ②

①正しい。エルニーニョ現象は、太平洋東部の赤道付近の海面水温が上昇する現象である。この海域には、寒流のペルー海流が流れているが、平常時は、亜熱帯高圧帯から吹き出す貿易風によって表層の海水が西に運ばれ、それを補う湧昇流が生じて冷たい深層水が表層に運ばれるため、海面水温は低い。冷たい海水に接する下層の空気は冷やされて、上層の空気より低温となる気温の逆転が生じるため上昇気流が発生せず、雲ができないので沿岸部は少雨となり、海岸砂漠が形成される。しかし、貿易風が弱まると、湧昇流が弱まって海面水温が上昇するため、海面付近で上昇気流が生じて、砂漠に雨が降る。エルニーニョ現象が発生すると、東南アジアでは海面水温が低くなっている上昇気流が活発でなくなり少雨となるなど、各地で異常気象が生じる。②誤り。乾燥地域に塩湖がみられることからわかるように、陸水には淡水と塩水がある。陸水のうち27%は塩水で、その大部分は湖沼水ではなく地下水である。淡水の約7割は氷雪で、地下水がそれに次いでいる。③正しい。氷雪の90%は南極に、9%はグリーンランドに存在するため、この二つの大陸氷河で99%を占める。④正しい。ダム湖では、河川が運搬する土砂が堆積して堆砂が進むため、河口部に運ば

れる土砂が減少する。すると、河口付近の海岸では、海岸線が後退する海岸侵食が生じる。アスワンハイダムが建設されたナイル川など世界各地で海岸侵食は起こっており、日本でも第二次世界大戦後のダム建設によって海岸侵食が進行している。

第2問 地図の利用

【出題のねらい】

古地図、正距方位図法、地形図の読図、統計地図、ハザードマップについて問うた。地理学習では地図の利用は欠かせないため、地理的技能として地図の利用には習熟しておく必要がある。特に地形図読図は頻出なので、読図練習を重ねておきたい。なお、使用した地形図は、国土交通省国土地理院発行の2万5千分の1地形図「大菩薩峠」と「広尾」である。

【設問別解説】

問1 [7] ①

大航海時代以降、地理的視野が拡大し、世界地図もより正確さを増していく。よって、南アメリカ大陸がより正確に描かれていく順、すなわち、ア→イ→ウの順に並べればよいので、①が正解である。なお、アは1571年、イは1651年、ウは1794年発行の世界地図の一部である。

問2 [8] ③

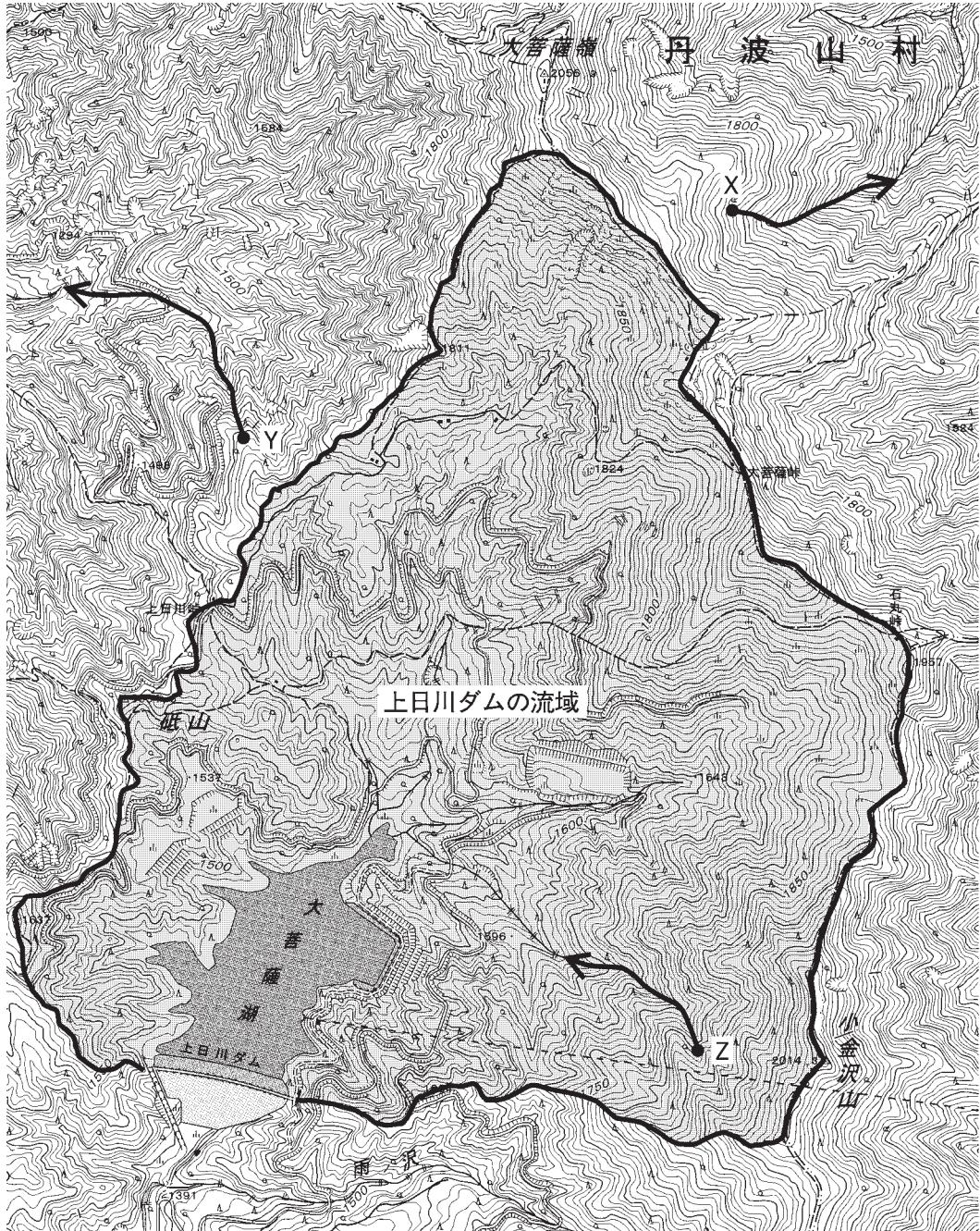
正距方位図法は、図の中心からの距離と方位が正しく、図の中心と任意の地点を結んだ直線は、2地点間の最短経路である大圈航路を示す。①正しい。地球1周は約4万kmで、正距方位図法による世界全図の円周は、中心の対蹠点(地球の真裏の地点)、すなわち約2万kmの地点にあたるため、半径は約2万kmとなる。シャンハイとマドリードを結ぶ直線を円周まで延ばすと、マドリードは半径のはば半分のあたりに位置するため、距離は約1万kmである。②正しい。ロサンゼルスは、シャンハイからみて北東の方位に当たり、マドリードは北西の方位に当たる。③誤り。正距方位図法では、中心以外の地点からの距離や方位、および最短経路を知るこ

とはできない。図2でマドリードとロサンゼルスを結ぶ直線はグリーンランドを通過するが、これは最短経路ではなく、実際の最短経路は、大西洋上を通る。④正しい。図2で、南アメリカ大陸は円周を取り巻いて描かれているので、対蹠点は南アメリカ大陸上にある。シャンハイは北緯31度、東経121度に位置しているので、対蹠点は南緯31度、西経59度(アルゼ

ンチン北東部)である。

問3 9 ①

①誤り。上日川ダムの堰堤は、地図上で2cmなので、実際の長さは500mである。2万5千分の1地形図では、1cmが250mであること覚えておくと便利である。ダムの高さは、堰堤の上が1480m前後、下が1400m前後なので、約80mで



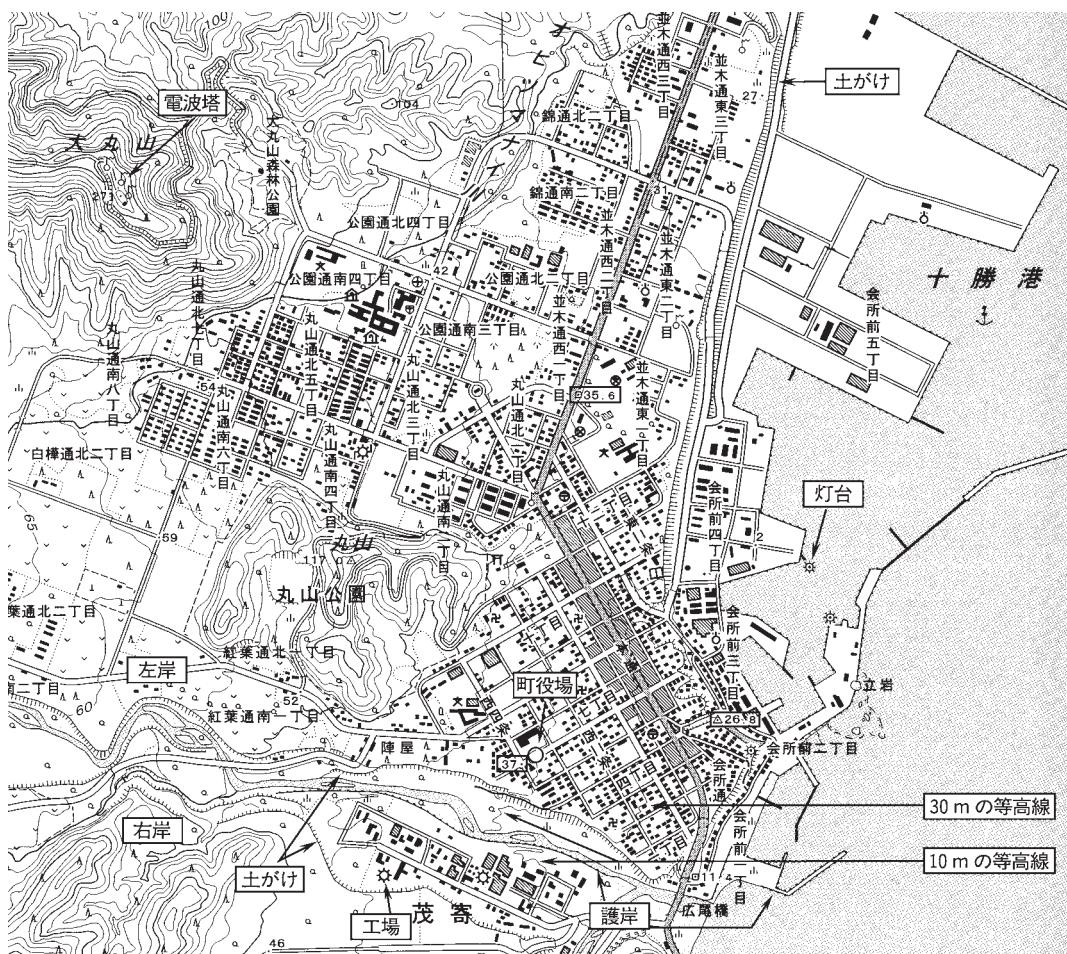
図③

ある。②正しい。図③に示したように、Z地点は大菩薩湖の流域に含まれるが、X、Y地点は別の流域に含まれる(矢印は流水方向を示す)。流域は集水域ともいわれ、河川に流れ込む水の集まる範囲をさし、地形図では尾根に囲まれた範囲で示すことができる。尾根線は、等高線が高い所から低い所に向けて凸になったところを結び、反対に谷線は等高線が低い所から高い所に向けて凸になったところを結べばよい。河川は谷を流れるので、河川は谷線を示している。③正しい。山岳部では、国境や県境などの境界線は一般に尾根に沿って引かれている。図3でも、郡・市界は、大菩薩嶺から大菩薩峠、石丸峠、小金沢山に至る尾根線に引かれている。④正しい。ある地点から目標物が見えるかどうかは、2地点を結ぶ直線を引き、その間にさえぎるものがあるかどうかを見ればわかる。大菩薩峠(約1900 m)と大菩薩嶺(2056.9 m)を結ぶ直線は、大菩薩峠の北側の1950 mの山の東側を通り、これにさえぎられるた

め峠から大菩薩嶺を見ることはできない。

問4 [10] ②

①正しい。図④に示したように、右岸、左岸は、河川の上流から下流をみたときの右側、左側を指す。南部を西から東へ流れる河川の下流部の右岸に位置する茂寄には工場がみられる。②誤り。南部を流れる河川の両岸には土がけの記号がみられ、本通付近の市街地は、30 mの等高線、あるいは町役場付近の37 mの標高点や海岸近くの26.8 mの三角点から標高が30 m前後とわかるので、台地上に位置していることが読み取れる。沖積平野は、河川の堆積作用によって河川沿いに形成され、下流部には氾濫原が広がるが、南部の河川は台地を侵食して流れている。右岸の茂寄はがけの下に位置し、河川には護岸がみられるが、等高線から標高は10~20 m程度と読み取れる。③正しい。北西部の大丸山の山頂付近には、三つの電波塔がみられる。④正しい。十勝港の西側には土がけがあり、以前は、会所前一



図④

丁目～三丁目付近と同じように台地の端ががけとなって海に臨んでいた。十勝港は、台地の前面の海を埋め立てて造成されたものである。

問5 [11] ④

①正しい。等值線図は、等しい値のところを線で結んだもので、桜の開花日が同じ地点を結ぶことで、桜前線の図を描くことができる。②正しい。階級区分図は、統計値をいくつかの階級に区分し、色分けあるいは網目の濃淡などで違いを示すものである。使用する統計値は、面積とともに増加する傾向のあるGNI(国民総所得)のような絶対値ではなく、1人当たりGNIのような相対値が適している。③正しい。ドットマップは、対象となるものが分布するところにその数値に対応する点(ドット)を打って表現し、家畜頭数や農産物の生産、人口などさまざまなもの分布図に利用される。④誤り。流線図は、物資や人の移動について、移動方向を矢印で、移動量をその幅で表すものである。空港の乗降客数を示すには、円など図形の大きさで表現する図形表現図が適している。空港間の旅客の移動を示すには流線図を用いればよい。

問6 [12] ④

①正しい。火山のハザードマップは、これまでの噴火に伴う被害例や地形を基にして、溶岩流や火碎流の危険地域、降灰の範囲を図示している。②正しい。地震についても同様に、過去の被害や地盤の条件を基にして、液状化の危険地域や震度分布などが図示される。③正しい。低平な沖積平野では、豪雨に伴う洪水時の浸水状況について、浸水の深さが図示される。④誤り。台風は移動経路や中心気圧によって、風向や風速、降水量が異なり、風や降水量の様子を表現することは難しいため、台風についてのハザードマップは作成されていない。

第3問 世界と日本の工業

【出題のねらい】

経済発展段階による製造業の地位、各種工業の立地、金属工業の生産統計、ロシアの工業都市、日本の工業の変化、日本の工業製品の輸出先について出題した。工業の分野では、工業立地、工業化、工業の種類などに関する用語を理解するとともに、各種工業製品の生産統計や各国の工業地域の特色なども含めて幅広く学習する必要がある。

【設問別解説】

問1 [13] ⑥

経済は、発展とともに農業中心から工業中心へと変化していく(工業化)が、工業化が進展した後は、

工業の成長は鈍化し、商業、サービス業、金融業などの第3次産業が中心となる(サービス経済化)。このため、国内総生産(GDP)に占める製造業の割合は、工業化が進展していく段階では、比較的速やかに上昇するが、ある程度工業が発展した後は、徐々に低下することになる。図1中で、1990年代にGDPに占める製造業の割合が急上昇し、現在はその割合が3か国中で最も高いアは、近年工業化が進展はじめたタイである。GDPに占める製造業の割合が1970年以降低下し、その割合が低いウは先進国のアメリカ合衆国で、現在は第3次産業が中心となっている。イは、1960年代後半以降輸出指向型工業化が進展し、現在も工業製品の輸出が盛んなアジアNIEsの韓国である。

問2 [14] ③

①正しい。セメントは石灰石を高温で焼成し、粉末にしたものである。製品重量に比べ主原料の石灰石の重量が大きいため、工場は輸送費を節約できる原料产地に立地する。日本では各地に石灰石产地があり、セメント工業も各地に分布するが、山口県と福岡県に比較的多い。②正しい。衣服の縫製業は典型的な労働集約型工業であり、労働力が安価で豊富な地域に立地するが、流行に敏感な高級品の製造は、それらの情報が得やすい大都市に立地する。③誤り。ビールや清涼飲料水の原料は水、穀物、砂糖などであり、腐敗しやすいものではない。主原料の水はどこでも得やすく、製品には原料に容器の重量が加わり重量が大きくなるので、これらの工業は輸送費を節約するため市場に立地することが多い。④正しい。石油精製や石油化学工業は、日本のように原料の原油の輸入国では輸入港付近に立地するが(臨海立地)、アメリカ合衆国、ロシア、サウジアラビアなど原油の産出国では油田付近に立地することが多い。

問3 [15] ④

金属の精錬業は、原料の鉱石が製品化されると重量が大きく減少する重量減損原料のため、一般に原料の产地に立地し、銅(精製銅)のように原料の鉱石産出国での生産が多いが、アルミニウム精錬業と鉄鋼業は必ずしも原料产地立地ではなく、原料の産出国以外の国でも生産が多い。アルミニウムの製造工程は、原料のボーキサイトからアルミナを製造し、それを電気分解してアルミニウムにする。アルミニウムの精錬には大量の電力が必要なため、水力発電などにより安価で豊富な電力が得られる地域や国に立地する。日本では、石油危機後、電力費が高騰したため、アルミニウム精錬から撤退した。した

がって、日本が世界の10位以内に入らず、カナダ、ノルウェーなど水力発電の盛んな国が10位以内に入っているクがアルミニウムである。西アジアで上位10位以内に入っている2か国はアラブ首長国連邦とバーレーンで、原油や天然ガスの産出国のため、それによる火力発電コストが安く、近年アルミニウム生産量が急増している。鉄鋼業には高度な技術と莫大な資本が必要なので、近代鉄鋼業はまず西ヨーロッパで始まり、アメリカ合衆国、日本、ロシア(旧ソ連)などで順次発展した。しかし、近年は中国、ブラジル、インドなどの新興国での粗鋼生産が伸び、西ヨーロッパ諸国のうち世界の生産上位10位以内に入るのはドイツだけになった。これらの国が上位10位以内に入っている力が粗鋼である。残りのキは、銅鉱石の世界第1位の生産国であるチリが唯一上位10位以内に入っていることから銅(精製銅)である。

問4 [16] ⑥

サは、「付近の森林資源」、「水力発電による豊富な電力」からシベリアのCと判定する。Cは、エニセイ川とシベリア鉄道の交点に位置するクラスノヤルスクで、付近にダムがあり、水力発電による電力を利用したアルミニウム精錬などの工業が盛んである。シは、「国内第二の大都市」からAのサンクトペテルブルクと判定する。サンクトペテルブルクは帝政ロシア時代の首都で、モスクワに次ぐロシア第二の都市である。ソ連時代から消費財などの工業が発達していたが、近年、日本やアメリカ合衆国の中自動車メーカーが進出し、操業を始めている。スは、「付近で鉄鉱石を産出」からBのマグニトゴルスクと判定する。マグニトゴルスクはウラル山脈南部に位置し、鉄鉱石の産地である。ソ連時代に、この鉄鉱石とシベリアのクズネツク炭田の石炭とを結びつけたコンビナート方式により製鉄所が建設された。

問5 [17] ②

①正しい。1955~1973年までの高度経済成長期に、日本では重化学工業化が進展したが、太平洋ベルトの大都市周辺に工業が集積し、地方との格差が拡大した。そこで、全国総合開発計画によって地方に新産業都市が指定され、工業の地方分散が図られたが、ほとんど立地は進まなかった。②誤り。高度経済成長期には繊維工業から鉄鋼や石油化学などの素材型重化学工業へと工業の中心が変化したが、1973年と1979年の二度の石油危機でこれらの工業は停滞し、その後は自動車工業や電気機械工業などの加工組立型工業が中心となって産業構造が変化した。③正しい。1980年代には、日本は自動車や半導

体の大生産国となり、輸出が急拡大したが、これにより欧米先進諸国、特にアメリカ合衆国との間で貿易摩擦が生じた。また1985年のプラザ合意後には円高が進んだ。これらに対応するため、日本の自動車メーカーはアメリカ合衆国での現地生産を始めた。④正しい。1990年代初めにバブル経済が崩壊すると日本経済は長期の不況に入った。この間、海外市場や安価な労働力を求めて工場の海外移転が進み、2000年代に入ると、1990年頃に比べて、日本全体で工場数、製造業の従業者数とも減少し、基幹産業の製造業が衰退する産業の空洞化が問題になった。

問6 [18] ②

日本は、先進国の中では経済全体に占める製造業の地位が高く、現在でも工業製品の輸出が日本経済を支えている。輸出額の多い工業製品は、自動車、集積回路を含む半導体等電子部品、鉄鋼、自動車部品などである。集積回路は電気製品などの部品として使われるため、電気製品の組立工業が盛んな中国などの東・東南アジア諸国向けの輸出が多い。したがって②が集積回路である。船舶の輸出先は船籍の置かれた国となるので、商船保有量の多いパナマ、リベリアなどの国が上位に入る③が該当する。自動車は最も輸出額が多いことから①であり、医薬品はこれらの工業製品に比べると輸出額が少ないので④が該当する。

第4問 人口

【出題のねらい】

世界と日本の人口や人口問題について幅広く問うた。人口は統計を利用した問題が多いので、出生率や死亡率、産業別人口構成などの統計数値が、経済発展とともにどのように変化するのかを理解し、先進国と発展途上国との違いを判定できるようにしよう。日本については、都道府県別の統計数値から地域的特色を理解しよう。

【設問別解説】

問1 [19] ⑤

経済発展とともに医療が普及していくので、乳児死亡率は低下する。合計特殊出生率も経済発展とともに低下するが、これは、女性の地位向上や社会進出、晩婚化、子どもを多く持たないといった価値観の変化などによるものである。よって、3地域のうち、最も経済発展が遅れたアフリカは、両者ともに高いCが該当する。アジアでは、日本のように合計特殊出生率、乳児死亡率ともに世界最低レベルの国もあれば、1人当たりGNI(国民総所得)が1000ドル未満で両者ともに高いバングラデシュなどの発展

途上国もあるように格差が大きいので、Bが該当する。Aはラテンアメリカで、1人当たりGNIが1000ドル未満の国はほとんどなく、乳児死亡率はアジアより全般に低いが、合計特殊出生率は、日本や韓国のように特に低い国を含むアジアよりも高めになっている。

問2 [20] ⑤

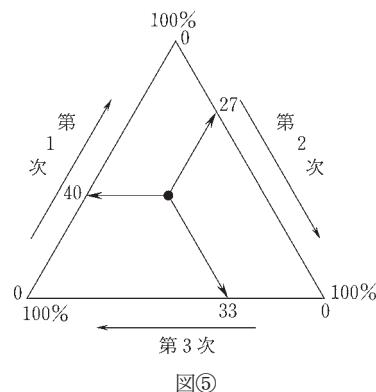
人口動態は、経済発展とともに多産多死型から多産少死型、少産少死型へと移行し(人口転換といふ)，人口増加率は、多産少死型で最大となる。欧米先進国では、産業革命後に人口転換を経て、20世紀前半には少産少死型となったため、人口増加率は低くなっている。一方、発展途上国では、第二次世界大戦後に多産少死型へと移行して人口が爆発的に増え、近年、増加率は低下しつつあるが、依然として人口増加は続いている。よって、図2で人口増加が著しいEはナイジェリアである。先進国では、少子・高齢化が進行し、人口が停滞している国が多いが、新大陸の先進国では移民の流入が現在も続き、若年層の占める割合が高く、一方で老人人口率は低いため、ヨーロッパ諸国に比べると出生率は高く死亡率は低い。したがって、人口増加率は、新大陸のアメリカ合衆国の方がヨーロッパのデンマークよりも高いので、Fがアメリカ合衆国、Gがデンマークである。

人口ピラミッドは、人口転換とともに変化し、出生率の高い多産多死型や多産少死型では底辺の広い富士山型(ピラミッド型)になる。よって、図3のWはナイジェリアである。少産少死型になると、高齢者のみが少ないのがね型になるが、少子・高齢化が進むと底辺が狭くなり、高齢者の多いつぼ型へと変化するので、イよりも底辺が狭く、高齢者が多いアがデンマークで、イはアメリカ合衆国である。

問3 [21] ①

第3問で触れたように、経済の発展段階は、工業化を経てサービス経済化へ至るので、第1次産業人口率は低下を続けるが、第2次産業人口率は上昇した後低下し、第3次産業人口率は伸び続ける。問題の4か国の1人当たりGNI(2009年)は、低い順に、中国(3,692ドル)、ブラジル(7,949ドル)、チェコ(17,258ドル)、オーストラリア(45,402ドル)で、図4中の①～④の順に対応する。ブラジルなどのラテンアメリカ諸国は、ヨーロッパ人が都市を開拓点として入植し、大規模農業が行われたため、発展途上国の中では例外的に都市人口率が高く、経済水準に比べて第1次産業人口率が低い。産業別人口構成は図4のような三角グラフで示されるが、センター

試験でも出題されるので、必ず読みとれるようにしておこう。たとえば、図4中の①は、図⑤のように、第1次40%，第2次27%，第3次33%と読み取る。



問4 [22] ②

①正しい。世界第二の人口を有するインドでは、人口抑制策が提唱されてきたが、乳児死亡率が高く、貧困な家庭では働き手として子どもが必要とされることから家族計画の実施も困難で、近年の経済発展で出生率は低下しているものの人口は増加を続けている。中国では、一人っ子政策の実施で人口増加率が先進国並みに低下しているため、インドの人口は、2020年代に中国を抜いて世界一になると予想されている。②誤り。日本は、工業化が欧米先進国より遅れたものの第二次世界大戦後に急速に進み、人口転換に要した期間も短かったため、少子・高齢化も短期間で進行した。韓国は、日本よりもさらに短期間で工業化、人口転換が進行し、合計特殊出生率(2009年)は1.2で、日本(1.3)より低い。このような少子化の進行で出生率は0.9%と低いが、高齢化の進行は少子化より遅れるため、死亡率は0.5%と低く、人口は減少していない(韓国の老人人口率は10.7%(2009年)で日本(23.1%, 2010年)よりかなり低い)。③早くから少子・高齢化が進んだスウェーデンでは、出生率を高めるために、育児施設や育児休業制度などを充実させ、子どもを生みやすく育てやすい環境を整えてきた。その結果、1980年代には合計特殊出生率が2を超えたが、その後やや低下したが、2009年は1.9でヨーロッパ最高水準となっている。④正しい。中南アフリカでは、HIV(エイズウイルス)の感染者が多い。南アフリカ共和国では、15～49歳の感染割合が17.8%(2009年)と非常に高いため、アフリカで最大の工業国であるにもかかわらず、平均寿命は54歳(2009年)と短い(1990年代には60歳を超えていた)。

問5 [23] ⑥

人口増加率は、経済活動が活発で雇用の多い首都圏で高いことからRが該当する。表①に示したように、東京が1位で、4位の沖縄は合計特殊出生率が1位であることが影響している。下位は、東北に多く、最下位の秋田は、老人人口率が29.6%と1位で高齢化が深刻である(最下位は沖縄で17.4%)。合計特殊出生率は、大都市で低く、地方で高い傾向がみられるのでQが該当する。沖縄が1位で、東京が最下位である。第2次産業就業者率は、製造品出荷額(2010年)1位の愛知を含む中部地方で高いことからPが該当する。表①では、第1次産業就業者率は人口増加率の低い県で高いこと、第3次産業就業者率は、首都圏のほか、観光業などが盛んな沖縄、九州経済の中心である福岡でも高いことなどをみておこう。

問6 [24] ②

日本では、バブル経済期に労働力不足を補うため、日系人の入国を認めたことから、1990年以降、ブラジルやペルーなどからの労働者が増加し、主に自動車工業などの製造業に従事した。よって、製造業の割合の高い②がブラジルである。④は、教育、学習支援業の割合が高いことから、英会話講師などに従事することの多いアメリカ合衆国と判定する。①は総数が最大であることから、近年流入の多い中国で、ブラジルに次いで製造業の割合が高い。③は韓国で、この表では特別永住者を含まないため、総数が少ない。

第5問 西アジア・アフリカ地誌**【出題のねらい】**

西アジアとアフリカの地形、気候、農業、貿易、人種・民族、旧宗主国などについて幅広く出題した。西アジアと北アフリカは乾燥地域で、人種・民族的な共通性が大きく、中・南アフリカとの差異が大きい。また、今回は出題しなかったが、旧宗主国は、貿易などの面で現在でも関係が深いので注意しておこう。

【設問別解説】**問1 [25] ⑥**

西アジアとアフリカを大地形からみると、アラビア半島とアフリカ大陸の大部分は安定陸塊で、アフリカ大陸北部には新期造山帯のアトラス山脈、南部には古期造山帯のドラケンスバーグ山脈が位置している。しかし、アフリカ大陸で最も標高が高いのは、紅海とともにプレートの広がる境界にあたる東部のアフリカ大地溝帯付近で、最高峰のキリマンジャロ山など5000mを超える火山がみられる。また、トルコからイラン付近にかけてはアルプス・ヒマラヤ造山帯が走り、高原や山脈がみられる。よって、Aは安定陸塊に位置するサハラ砂漠を縦断し、最も標高が低いことからウが該当する。Bはアフリカ大地溝帯を通るので、標高の高い地域の多いイが該当する。Cは、新期造山帯に位置するトルコ付近には高原や山脈がみられるが、安定陸塊のアラビア半島東部は標高が低いためアが該当する。

問2 [26] ⑤

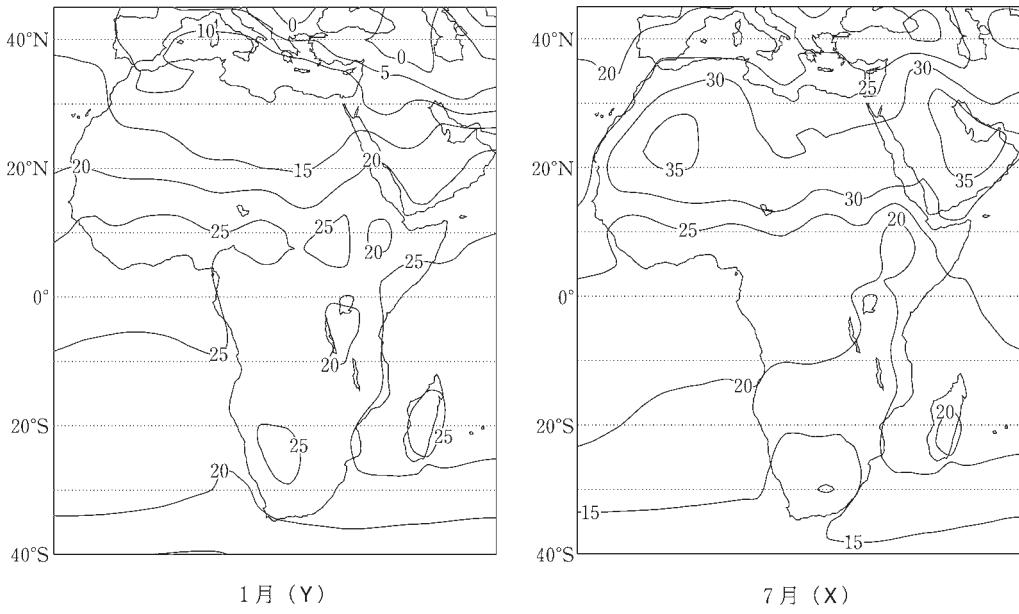
図3に赤道を入れてみればわかるように、赤道付近を通る等温線Tは、Xでは北半球側に、Yでは主

表①

	人口増加率(%)	合計特殊出生率	第1次産業就業者率(%)	第2次産業就業者率(%)	第3次産業就業者率(%)	
1位	東京 4.6	沖縄 1.87	青森 12.7	富山 33.4	東京 84.5	
2位	神奈川 2.9	島根 1.68	高知 12.1	静岡 32.8	沖縄 81.0	
3位	千葉 2.6	宮崎 1.68	岩手 12.0	滋賀 32.7	千葉 77.9	
4位	沖縄 2.3	鹿児島 1.62	宮崎 11.4	岐阜 32.5	神奈川 77.6	
5位	滋賀 2.2	熊本 1.62	熊本 10.2	愛知 31.4	福岡 77.3	
43位	山形 -3.9	宮城 1.30	兵庫 2.0	鹿児島 18.8	福島 63.2	
44位	岩手 -4.0	奈良 1.29	埼玉 1.7	北海道 17.1	富山 63.2	
45位	高知 -4.0	京都 1.28	神奈川 0.8	高知 17.1	静岡 63.1	
46位	青森 -4.4	北海道 1.26	大阪 0.5	東京 15.2	長野 62.0	
47位	秋田 -5.2	東京 1.12	東京 0.4	沖縄 14.0	山形 61.2	

統計年次は、人口増加率が2005～2010年、その他は2010年。

国勢調査などにより作成。



図⑥ 1月と7月の平均気温

に南半球側に位置している。赤道付近は年中高温であるが、北半球の夏である7月には北半球側が、南半球の夏である1月には南半球側がより高温となるので、Xは7月、Yは1月と判定できる。赤道付近の熱帯低地の年平均気温は一般に25~28°C前後で、月平均気温が30°Cを超えるのは低緯度の乾燥地域にほぼ限られ、サハラ砂漠やアラビア半島では夏季に30°C以上となるという知識があれば、Tは25°Cと判定できるが、ここでは消去法で解いててもよい。Tが20°Cであるとすれば、X(7月)の、赤道付近でTより南を通る等温線は15°Cとなり、熱帯気候の限界である最寒月18°Cを下回ってしまう。また、30°Cであるとすれば、Y(1月)で、地中海付近は15°C前後となって熱帯に近い気候となるので、どちらも該当しない。

問3 [27] ④

①はカが該当する。乾燥したイラン高原では、山麓の地下水を集落や耕地に導くためにカナートとよばれる地下水路が利用され、同じ地下水路はサハラ砂漠ではフォガラとよばれる。オアシス農業は、他にナイル川やティグリス・ユーフラテス川などの外来河川沿いや湧水地で行われ、自給用作物としてナツメヤシや小麦などが、商品作物として綿花などが栽培される。②はクが該当する。熱帯では、森林に火入れして得られる草木灰を肥料として作物を栽培する焼畑が広く行われ、クのコンゴ盆地など熱帯雨林気候地域ではキャッサバやタロイモ、ヤムイモなどのイモ類が栽培される。乾季のあるサバナ気候地

域では、モロコシやアワなどの雑穀が栽培される。③はキが該当する。キのコートジボワールはカカオ豆の生産が世界一で、東隣のガーナは3位である。熱帯・亜熱帯で商品作物を栽培するプランテーション農業は単一耕作(モノカルチャー)が特色で、ギニア湾岸のカカオや東南アジアの天然ゴムのように地域によって栽培される作物が特化しているが、原産地は異なることが多いので注意しておこう。カカオは熱帯アメリカ、天然ゴムはアマゾン盆地が原産地で、アフリカのエチオピア高原原産のコーヒーは、ブラジルなど南アメリカが主産地である。④はケが該当する。マダガスカルの主要民族は、インドネシアやマレーシアと同じオーストロネシア語族に属し、稻作はアジアから伝播したものである。マダガスカル島は南東貿易風の影響で風上側の東部は多雨となり、稻作や焼畑が行われるが、風下側の西部は乾燥し、遊牧が行われている。

問4 [28] ④

①は、ダイヤモンドが2位に入ることからイスラエル(F)と判定する。イスラエルはダイヤモンド加工業が盛んで、原石を輸入し、研磨して輸出している。インドも同様で、ダイヤモンドが輸出上位に入っている。イスラエルは工業国で、1人当たりGNIは26,462ドル(2009年)あり、1人当たり輸出額も多い。②は工業製品が上位を占めることから、ヨーロッパに近く、近年工業化が進展しているトルコ(E)である。トルコはEU加盟を申請しているが、EUとは関税同盟を結んでいるため、先進国との

企業進出が盛んで、経済成長が続いている(1人当たりGNIは8,172ドル)。③は白金族が1位であることから、世界一の白金族(プラチナなど)の生産国である南アフリカ共和国(H)と判定する。アフリカ最大の工業国でもあり、機械類、鉄鋼に続く4位には自動車が入っている。特に1991年のアパルトヘイト撤廃以降、海外からの投資が増加して工業化が進んでいる(1人当たりGNIは5,581ドル)。④は残ったモロッコ(G)で、軽工業製品の衣類が1位で、3位に魚介類が入ることから、工業化は他の3か国に比べて遅れ、経済水準も低いことがわかる(1人当たりGNIは2,877ドル)。

問5 [29] ⑧

①正しい。アフリカでは、サハラ砂漠が人種・民族の大きな境界となっており、北アフリカにはコーカソイド(白色人種)が、中南アフリカにはネグロイド(黒色人種)が分布している。コーカソイドは西アジアから南アジアにも分布するので、地図帳で確認しておこう。②正しい。北アフリカからアラビア半島にかけての地域の言語はアフリカ・アジア語族に属し、多数の国で公用語とされるアラビア語のほか、イスラエルでアラビア語とともに公用語とされるヘブライ語も含まれる。③誤り。イランのペルシヤ語はインド・ヨーロッパ語族に含まれるが、トルコ語は、中央アジアの言語やモンゴル語と同じアルタイ語族に属している。④正しい。西アジア、北アフリカではイスラーム(イスラム教)が広く信仰され、スンナ(スンニ)派が多数を占めるが、イランなどでは少数派のシーア派が中心である。また、イスラエルではユダヤ教が、エチオピアではキリスト教が主に信仰されている。

問6 [30] ④

①正しい。第二次世界大戦前からのアフリカの独立国は4か国で、図5からエジプト、エチオピア、リベリア、南アフリカであることがわかる。②正しい。アフリカではイギリスとフランスの植民地は広かつたが、イタリアが植民地としたのは、リビアとソマリア南部(北部はイギリス領)、エリトリア(1991年にエチオピアから分離独立)で、図5からリビアは1950年代に独立していることがわかる。③正しい。ベルギーの植民地から独立したのはコンゴ民主共和国で、図5から1960年代に独立したことがわかる。ベルギーの公用語はオランダ語、フランス語、ドイツ語であるが、植民地時代はフランス語圏が優位であったため、コンゴ民主共和国の公用語はフランス語となっている。④誤り。イギリスとフランスの植民地はほとんどが1950~60年代に独立して

おり、1970年以降の独立国は、ポルトガル領であったアンゴラやモザンビーク、南アフリカ領(1914年まではドイツ領)であったナミビアのほか、上述したエリトリアや、2011年にスーダン(旧イギリス領)から分離独立した南スーダンなどがある。

第6問 オセアニア地誌

【出題のねらい】

オーストラリアを中心として、オセアニアの自然環境、都市、農業、貿易、民族・社会について問うた。オーストラリアの鉱産資源は大地形、農業地域は気候との関係が深いので、地図を利用した学習を進めるとともに、先住民や移民の変化についても理解しておこう。

【設問別解説】

問1 [31] ③

①正しい。オーストラリアは東部のグレートディヴァイディング山脈(B)が古期造山帯に属するほかは安定陸塊に属している。北西部のAは楯状地で、南回帰線付近に位置し、年中亜熱帯高圧帯の影響を受けて乾燥するため、グレートサンディ砂漠やギブソン砂漠が広がっている。Aの西側には、国内最大の鉄鉱石産出地であるピルバラ地区があり、鉄鉱石は鉄道で海岸まで運ばれて中国や日本に輸出されている。②正しい。Bのグレートディヴァイディング山脈は、南部に国内最高峰(2230 m)があるが、大部分は1000 m前後のなだらかな山々が連なっている。東側の沿岸部は海からの湿った空気の影響で湿潤であるが、西側の内陸は乾燥しており、山脈は気候の境界となっている。また、古期造山帯なので石炭の産出が多く、いくつもの炭田がみられる。③誤り。Cのタスマニア島は、グレートディヴァイディング山脈の延長にあたり、古期造山帯に属しているので、火山はみられない。④正しい。Dのニュージーランド南島は、太平洋プレートとインド・オーストラリアプレートの境界に位置し、環太平洋造山帯に属している。高峻なサザンアルプス山脈(最高峰は3754m)には氷河が発達し、南西部の海岸にはフィヨルドもみられる。

問2 [32] ②

①誤り。オーストラリアの旧首都は、南東部の国内第2の都市メルボルンである。アは、ウェスタンオーストラリア州の州都パースで、シドニー、メルボルン、ブリズベンに次ぐ第四の都市である。②正しい。オーストラリア北東部には世界最大のサンゴ礁であるグレートバリアリーフ(大堡礁)があり、国内有数の観光地となっている。イ(ケアンズ)は、北

東部の観光の拠点で、熱帯林など自然に恵まれ、海外からの観光客も多い。③誤り。ウは、オーストラリア最大都市のシドニーで、首都のキャンベラはシドニーとメルボルンの中間地点付近の山間部に位置している。キャンベラは、計画都市としても有名であるが、格子状街路網ではなく、放射環状路型の街路網である。④誤り。エは、クック海峡に臨むニュージーランドの首都ウェリントンであるが、最大都市は北部のオークランドで、都市圏人口133万人は国内人口(440万人)の3割を占める。

問3 [33] ①

図2中のPはプランテーション農業、Qは企業的牧畜、Rは企業的穀物農業を示している。オーストラリアは、内陸ほど降水量が少なく、年降水量が250～500 mm前後の乾燥地域では、主に羊の放牧が行われている。グレートアーテジアン(大鑽井)盆地では、被圧地下水を掘り抜き井戸で汲み上げているが、塩分を含むため作物栽培には適さず、家畜の給水に利用している。Qの北部はサバナ気候で年降水量は500～1000 mmあり、牧草が豊富なため牛が放牧されている。よって、Qはキが該当する。Pは、年降水量が1000 mm前後のサバナ気候や温暖冬季少雨気候で、生育期に多雨、収穫期に乾燥する気候に適したサトウキビが栽培されている。よって、文はカが該当する。Rは南西部と南東部に位置し、両地域とも年降水量が500 mm前後で小麦栽培が盛んである。南東部のマリーダーリング盆地では、グレートディヴィアイディング山脈南部の融雪水を利用するスノーウィーマウンテンズ計画による灌漑も行われているが、干ばつが発生することが多く、生産量の変動が大きい。よって、文はクが該当する。なお、南東部の沿岸の大都市周辺では、酪農が行われている。

問4 [34] ②

オーストラリアはイギリスの流刑植民地として開拓が始まり、羊毛産地として発展した。19世紀後半のゴールドラッシュで中国系移民が流入したが、白人の職を奪ったため反発を招き、1901年の独立とともに有色人種の移民を制限する白豪主義政策がとられた。しかし、1973年のイギリスのEC加盟や植民地の独立とともに経済的地位の低下、日本などアジア諸国との経済関係の深まりなどによって、1970年代には白豪主義は撤廃されたため、東南アジアや中国などヨーロッパ以外からの移民が増加した。よって、1961年以降最も多いXは、イギリス・アイルランドである。1981年から2001年にかけて急増したZは、白豪主義撤廃後に流入が増えた中国である。

Yは隣国のニュージーランドで、オーストラリアと同じ旧イギリス領でイギリス人が多く、賃金水準が高いオーストラリアへの流入が多い。

問5 [35] ③

オーストラリアの割合が最も高い①は石炭である。オーストラリアからは、鉄鋼業に利用する高品質の原料炭の輸入が多く、2位のインドネシアからは発電用の燃料炭の輸入が多い。オーストラリアとブラジルで約9割を占める②は鉄鉱石で、両国は鉄鉱石輸出の上位2か国である。③は液化天然ガスで、東南アジアのマレーシアやインドネシアからの輸入が多いが、オーストラリアからの輸入も増加している。ガス田は北西部や南東部に多い。日本の原油輸入先はサウジアラビアやアラブ首長国連邦、イランなど中東に偏っているが、液化天然ガスは東南アジアとオーストラリアからの輸入が多いことに注意しよう。④はアメリカ合衆国が1位であることから肉類と判定する。かつて肉類はアメリカ合衆国からの輸入が中心であったが、2003年にアメリカ合衆国でBSE(狂牛病)に感染した牛が見つかってアメリカ産牛肉の輸入が一時禁止されたため、代わってオーストラリアからの輸入が増加した。2011年現在、牛肉はオーストラリア(65.5%)、アメリカ合衆国(23.3%)、豚肉はアメリカ合衆国(40.8%)、カナダ(21.9%)、鶏肉はブラジル(87.5%)、アメリカ合衆国(9.8%)からの輸入が多い。

問6 [36] ①

①誤り。オセアニアの島々は、民族の違いによってグアム島などが含まれるミクロネシア、パプアニューギニアなどが含まれるメラネシア、フランス領のタヒチなどが含まれるポリネシアに分けられる。ポリネシアはニュージーランド、ミッドウェー諸島、巨石文化で有名なラパヌイ(イースター島)を結ぶ三角形の範囲で、ハワイも含まれることを地図帳で確認しておこう。②正しい。問4でも述べたように、オーストラリアでは1970年代に白豪主義が撤廃され、各民族の文化を尊重する多文化主義に転換した。先住民のアボリジニーの保護政策もとられ、人口が回復するとともに(現在約50万人)、保留地も内陸や北部に設定されている。③ニュージーランドの先住民であるマオリはポリネシア系で、アボリジニーと同様にイギリスの植民地化によって人口が減少したが、保護政策によって人口は増加し、約15%を占めている。また、1987年にはマオリ語も英語とともに公用語とされた。④正しい。APEC(アジア太平洋経済協力会議)は、1989年にオーストラリアの提唱によって結成された。これは、かつてオースト

ラリアはイギリスを第一の貿易相手国としたようにヨーロッパとの結びつきが強かったが、アメリカ合衆国や日本、中国などの環太平洋地域の国々との貿

易が中心となったためである。APECは、参加国の経済格差が大きく、結束は緩やかである。

●写真・図版提供

© orion / amanaimages / PPS 通信社 / 帝国書院

【公 民】

■ 現代社会 ■

【解答・採点基準】 (100点満点)

問題番号	設問	解番号	正解	配点	自己採点
第1問	問1	1	①	3	
	問2	2	④	3	
	問3	3	②	3	
	問4	4	②	3	
	問5	5	①	3	
	問6	6	②	3	
	問7	7	③	2	
	問8	8	①	2	
第1問 自己採点小計			(22)		
第2問	問1	9	②	3	
	問2	10	④	3	
	問3	11	⑦	3	
	問4	12	①	3	
	問5	13	①	2	
第2問 自己採点小計			(14)		
第3問	問1	14	①	2	
	問2	15	①	3	
	問3	16	④	3	
	問4	17	③	3	
	問5	18	③	2	
	問6	19	②	3	
	問7	20	④	3	
	問8	21	②	3	
第3問 自己採点小計			(22)		
第4問	問1	22	④	3	
	問2	23	④	2	
	問3	24	②	3	
	問4	25	③	3	
	問5	26	①	3	
第4問 自己採点小計			(14)		

問題番号	設問	解番号	正解	配点	自己採点
第5問	問1	27	⑥	3	
	問2	28	②	2	
	問3	29	①	3	
	問4	30	①	3	
	問5	31	②	3	
第5問 自己採点小計			(14)		
第6問	問1	32	③	3	
	問2	33	⑤	3	
	問3	34	③	3	
	問4	35	②	2	
	問5	36	④	3	
第6問 自己採点小計			(14)		
自己採点合計			(100)		

【解説】

第1問 国民主権と議会制民主主義

【出題のねらい】

本問は、「政党の役割」に焦点をあてた問題文を素材として、社会契約説、利益集団、政党と選挙、各国の政治、直接民主制と間接民主制、主権の概念などの民主主義の原理と制度を問おうとするものである。

【設問別解説】

問1 1 ①

これは、霍ップズ(1588～1679)ではなくルソー(1712～78)の主張内容に関する記述である。イギリスの哲学者ホップズは、主著『リヴァイアサン』で、「万人の万人に対する闘争」状態となった自然状態から脱して平和を実現するためには、人々は社会契約を結んで国家をつくり、主権者に全面的に自然権を譲渡すべきであるとする社会契約説を展開した。ホップズによれば、国家は絶大なる権力をもっており、原則として人民はそれに抵抗することができない。したがって、「政府は人民の単なる僕にすぎない」という考えはホップズにはない。

ロック(1632～1704)は、『市民政府二論』などを著したことで知られるイギリスの哲学者。彼によれば、自然状態でも自然法が支配しており、基本的に平和な状態である。しかし、自然権をより確実に保障するために、各人は社会契約を結び、各人がもっていた法の制定・実施の権力を政府に信託する。

そして、もし政府が信託に反して権力を濫用し、権利を侵害する場合には、各人は政府に対して抵抗権(革命権)を行使できる。⑧ルソーは、『社会契約論』などを著し、フランス革命に大きな思想的影響を与えたことで知られるフランスの思想家。彼によれば、自然状態において人間が有していた自由と平等を回復するためには、人々は社会契約を結び新たな共同社会を形成する必要がある。この新たな共同社会では、主権は、人民にあり立法権も人民が有している(人民主権)。そして、この共同社会は、全人民の参加により(直接民主制)、共同の利益を追求する全人民の意志である一般意志に従って運営されなくてはならない。④J.S.ミル(1806~73)は、個人の自由をできる限り尊重し、多数者の専制から個人の自由を守ろうとする立場から『自由論』を著したことでも知られるイギリスの哲学者。彼は、他者に危害を及ぼさない限り自由は制約されず、特に意見表明の自由や自由な討論は尊重されなければならないと説いた。

問2 [2] ④

社会主義諸国では一般に、共産党などによる一党支配の体制が敷かれる。冷戦期のソ連や東欧の社会主义国もそうであった。

①小党分立制の下では、議会において過半数を超える議席をもつ政党が現れにくく、連立政権も成立しやすい。このことから、二大政党制に比べて政権は不安定になりやすい。②欧米諸国では、制限選挙制度の時代には「財産と教養」のある階層の人々が運営する名望家政党が政党の一般的な組織形態であった。しかし、普通選挙制度の確立とともに、政党は名望家政党から大衆政党(組織政党)へと変貌を遂げていった。③イギリスでは長年にわたり保守党か労働党のいずれかが単独で政権を担う状況が続いていた。しかし、2010年に行われた下院の総選挙の結果、いずれの政党も下院の過半数の議席を確保することができない状態となった。こうした状況の下、第一党となった保守党は、自由民主党と連立を組み、保守党のキャメロンを首班とする連立内閣が成立了。したがって、「第二次世界大戦後、単独政権が続き、連立が組まれたことはない」という記述は誤り。また、多党制となっているドイツでは、連立政権が続いているが、この点でも誤り。

問3 [3] ②

利益集団などが、自己の利益の擁護や実現を目指して政治に影響力を及ぼそうとするケースはしばしばみられる。このように、自己の特殊利益の実現を目指して政治家や官僚などに働きかける集団は、一

般に圧力団体と呼ばれる。このような利益集団(圧力団体)の活動は、選挙や議会制度を通じてでは汲み上げにくい職能上の利益などを国政に反映させる役割を果たしている。その点から、圧力団体は両院に次ぐ「第三院」の役割をもつと言われている。その一方で、有力な圧力団体に加入している人と加入していない人との間で政治的不平等が生じたり、ある特定の利益が優先され、国民的利益を損ねるなどの問題が指摘されている。なお、利益集団の中には、自然環境の保護や消費者保護、人権の擁護といった公共の利益の促進を目指して活動するものもある。

①上で述べたように利益集団は、公共の利益の実現を求めて圧力活動を行うものもあるが、多くは自己の特殊利益の実現を求めて圧力活動を行う。③死刑の廃止など人権擁護活動を行っているアムネティ・インターナショナルや、対人地雷全面禁止条約の採択に寄与した地雷禁止国際キャンペーンなどのNGO(非政府組織)やそのNGOの連合体のように、国境を越えて公共政策に影響を与えようとする(公益)利益集団もある。④審議会とは、特定の政策立案に関して、専門知識を有する者や利害関係者の意見を反映させるために設置される合議制の諮問機関を言う。審議会の委員は、大学教授や文化人のほか、業界団体の代表者であることが少なくない。したがって、「利益集団の代表者が国の審議会の委員となることはできない」とする記述は誤り。

問4 [4] ②

ロシアの大統領は、国民による直接選挙によって選出され、首相の任免権や下院の解散権、議会が可決した法律案の再議要求権など、国政に関する強大な実質的権能を有している。具体的な権限を知らないとしても、ニュース報道などでロシア大統領が実質的な行政権を有していることは分かるであろう。したがって、「儀礼的な権能しかもたず、政治的な権能はほとんどもない」とする記述は誤り。

①アメリカの政治制度は厳格な三権分立制と特徴づけることができる。すなわち、連邦議会には大統領に対する不信任決議権がなく、大統領には議会解散権がない。また、行政府の首長である大統領には、連邦議会に立法を要請する教書を送付する権限があるが、法案を提出する権限はない。③2009年に発効したEU(欧州連合)の基本条約である里斯ボン条約では、加盟各国の首脳で構成される欧州理事会の常任議長のポストが新設された。このポストはEU大統領とも呼ばれている。2012年7月現在、ファン=ロンパイ(1947~)が務めている。④フランス

の大統領は、国民による直接選挙によって選出され、首相の任免権や国民議会の解散権、議会が可決した法律案の再議要求権など、国政に関する強大な実質的権能を有している。

問5 [5] ①

任意投票制とは、投票を棄権しても罰金、公民権停止、氏名の公表などの制裁を受けないとする制度を言う。なお、投票行為を強制し、棄権した有権者に制裁を加える制度は強制投票制と呼ばれる。

②秘密選挙(秘密投票)とは、誰に投票したかを秘密にする制度を言う。秘密投票の制度は、選挙の自由と公正を確保する上で不可欠の条件として、選挙の基本原則の一つに数えられており、日本国憲法も第15条4項においてこれを保障している。したがって、「選挙の自由と公正を妨げる制度であるため、日本国憲法はこれを禁止している」とする記述は誤り。③「大選挙区制」と「小選挙区制」を入れ替えれば、適当な記述となる。選挙区選挙の中で、1選挙区の定数が2名以上の制度を大選挙区制と言い、定数が1名の制度を小選挙区制と言う。小選挙区制は、1名の当選者以外への投票はすべて議席に結びつかない死票となるから、大選挙区制に比べて死票が多くなりやすい。④「小選挙区制」と「大選挙区制」を入れ替えれば、適当な記述となる。小選挙区制では、各選挙区から最も多くの支持を集めめた議員が選出されるため、多数党有利となり、少数政党が議席を獲得することが困難である。そのため、小選挙区制は、少数政党でも代表者を議会に送り込むことができる大選挙区制と比べて、多様な意見を議会に反映させるのは難しい。

問6 [6] ②

A：イギリスの制度であるクエスチョンタイムを参考にして日本の国会に導入されたのが党首討論制である。日本では、1999年に制定された国会審議活性化法に基づいて党首討論制が導入された。これは、国会の国家基本政策委員会で、内閣総理大臣と野党の党首が一対一で討論するというものである。

B：国会運営などについて他党と折衝するために各政党が党内に設置している機関は、イの国会対策委員会(国対)である。議院運営に関する事柄が、国会に設置されている常任委員会である議院運営委員会という公式の場ではなく、各政党の国会対策委員会関係者の折衝を通じて決定されるような政治は、国対政治と呼ばれる。

C：野党第一党が政権交代に備えて閣僚候補をおくというイギリスの政治的慣行は、ウのシャドー・キャビネット(影の内閣)と呼ばれる。

D：アメリカでは、ロビイスト(圧力団体の代理人)として登録されている人が利益集団の要請を受けて、議員などに対してその利益の実現を図るために圧力活動を行う。したがって、才が対応する。

語群中にある両院協議会とは、日本国憲法において定められている機関で、国会の議決を必要とする案件について、衆参両議院で議決が異なる場合に、その意見を調整するため、両院の代表者が集まって開催される協議会を言う。また、レファレンダム(国民投票、住民投票)とは、議会の議決を最終決定とせずに、国民や住民が行う投票を最終的な決定とする仕組みを言う。日本国憲法上の地方特別法の住民投票はこの例である。

問7 [7] ③

1930年代のドイツでは、世界に先駆けて社会権を保障し男女の普通選挙制度を盛り込むなど、当時最も民主的な憲法と言われたワイマール憲法の下で、民主的価値理念を否定するナチスの独裁政権が誕生したことを想起すれば、この記述が正しいと判断できるであろう。なお、社会学者フロム(1900~80)は、ナチスを支持するに至ったドイツ国民の心情には、権威主義的パーソナリティがみられると指摘した。これは、ナチスの党首ヒトラー(1889~1945)のように権威をもった者には従順に従い、当時のユダヤ人のように弱い立場におかれている者に対しては暴力的にふるまう社会的性格を言う。そこには、個人の尊厳を確保しようとする価値理念がみられない。民主主義を維持発展させていくためには、民主的制度の整備だけでなく、民主的な価値理念の共有が不可欠であると言えるであろう。

①民主主義は、基本的に、統治する者(治者)と統治される者(被治者)の一一致(自同性)を原則とする。すべての有権者が直接決定権を行使する直接民主制は言うまでもなく、間接民主制においても、代表という一種の擬制を通じて、両者の間に同一性があると考えるのである。したがって、「統治する者と統治される者とを一致させようとするものではなく、統治する者と統治される者の分離を目指す」とする記述は誤り。②地方自治法は、住民の直接請求権として、条例の制定・改廃請求というイニシアティブ(住民発案)だけでなく、首長・議員の解職請求、議会の解散請求、主要公務員の解職請求というリコール(住民解職)の制度も定めている。④日本国憲法は、前文の冒頭で「日本国民は、正当に選挙された国会における代表者を通じて行動し」と、代表民主制を採用する旨を宣言している。その一方で、最高裁判所裁判官の国民審査でリコール(国民解職)の仕

組みを、地方特別法の住民投票、憲法改正の国民投票でレファレンダム(住民・国民投票)の仕組みを採用している。これらは、直接民主制的な手続きなので、「国民投票など国民の直接的な政治的意思決定の仕組みを採用していない」という記述は誤りである。

問8 [8] ①

「主権」という言葉には、(1)国家の統治権としての主権、(2)最高権力性・独立性としての主権、(3)国政の最終決定権としての主権、という三つの意味がある。「天皇主権」や設問文に言う「主権者国民」という場合の主権は、(3)の意味での主権である。

②ポツダム宣言の第8項は、「日本国の主権は本州、北海道、九州及四国並に吾等の決定する諸小島に局限せらるべし」と規定しているが、この場合の「主権」は、(1)の国家の統治権としての主権を意味する。③日本国憲法の前文は、「政治道德の法則は、普遍的なものであり、この法則に従ふことは、自国の主権を維持し、他国と対等関係に立たうとする各國の責務であると信ずる」と規定しているが、この場合の「主権」は、(2)の(対外的)独立性としての主権を意味する。④国際連合憲章(国連憲章)の第2条1項は、「この機構は、そのすべての加盟国の主権平等の原則に基づいておいてはいる」と規定しているが、この場合の「主権」は、(2)の(対外的)独立性としての主権を意味する。

第2問 現代に生きる青年の課題

【出題のねらい】

本問は、現代社会に生きる青年の課題をテーマに、青年期の特徴、葛藤、青年文化、若者を取り巻く就職状況、調べ学習などに関して出題し、この分野の基本事項が理解できているかどうかをためすことをねらいとしている。

【設問別解説】

問1 [9] ②

アメリカの精神分析学者エリクソン(1902~94)は、青年期を、大人としての責任や義務が猶予された大人への準備期間であるとし、この時期をモラトリアム(猶予期間)と呼んだ。この間に大人として必要な知識や技術を習得するとともに、アイデンティティを確立することが課題となる。

①フランスの思想家ルソーは、『エミール』の中で、「われわれはいわば、二度生まれる。一度は生存するため、二度目は生きるために」と述べ、精神的・身体的に著しい発達を遂げる青年期を「第二の誕生」と特徴づけた。したがって、レヴィンはルソ

ーの誤り。レヴィン(1890~1947)は、青年は大人集団に完全に帰属するわけでも、また、子ども集団に完全に帰属するわけでもない中間的な存在であることから、青年をマージナルマン(境界人・周辺人)と呼んだことで知られる。③青田買いとは、企業が卒業予定の学生に対して早くから内定を出し、優秀な人材を確保しようとすること。大学在学中のあまり早い時期から就職活動が実施されると、大学での学業に支障が生じるおそれがあるため、大学側と企業側との間で、定められた日以後でなければ、採用内定を出してはいけないとする協定(就職協定)が結ばれたことがある。しかし、この協定は、1996年に廃止されたため、就職活動の時期は年々早まる傾向にある。また、青田買いが法律により全面禁止されたという事実はない。④有効求人倍率とは、有効求職者数に対する有効求人数の割合(有効求人数÷有効求職者数)を示すものである。2011年平均の有効求人倍率は、0.65倍で、近年は1を下回る状況が続いている。したがって、「有効求人倍率が大幅に1を上回る」という記述は誤り。有効求人倍率が1を下回るということは、求人よりも仕事を探している人の数が多いことを表している。

問2 [10] ④

引用など、著作物からの利用は、著作権者の許諾なく著作物を利用することが法的に認められている場合を除き、無断で行うことはできないが、著作権者から許諾を得れば、その侵害にはあたらない。したがって、引用を「一切行うことができない」という記述は誤り。

①検索エンジンとはインターネット上にある情報検索システムのこと、Yahoo! Japan や Google などによって提供されているものが知られている。情報をインターネットで入手する場合には、検索エンジンを使用することが多い。検索エンジンを利用する際に、ヒットカウンター(アクセスカウンター)の数値の大きいサイトが必ずしも信頼できる情報を提供しているとは限らないことに注意しなければならない。②図書館で本を探す場合に、本の背表紙にある番号・記号のついたラベルを手がかりにすることができます。日本の図書館では、通常、図書を「類」「綱」「目」からなる日本十進分類法(NDC)を用いて分類している。③プレゼンテーションなどでは、グラフを用いると分かりやすくなる場合がある。グラフには時系列の変化を示すのに適したものや、全体の構成比を示すのに適したものなど、それぞれ適性がある。それを踏まえてグラフを選択することが大切である。

問3 [11] ⑦

A：これはエの二重接近一回避型に当たる。二つの対象とは「地元の大学」と「離れた都市の大学」であり、叶えたい要素と避けたい要素は、地元の大学については「自宅から通える」が「第一志望ではない学部」ということであり、離れた都市の大学については「学費以外にも生活費が高額」だが「第一志望の学部」であるということである。その両方の狭間で悩んでいる。

B：これは、アの接近—接近型に当たる。叶えたいと思う複数の対象は、「小さいころからの夢であったプロサッカー選手」になることと、「労働条件が良くて安定した事務職」に就くことである。その両方の狭間で悩んでいる。

C：これは、イの回避一回避型に当たる。避けたいと思う複数の対象は、「スキーに行くことと、「友人の気持ちを損ねること」である。その両方の狭間で悩んでいる。

D：これはウの接近一回避型に当たる。叶えたい要素は「憧れている先輩」と一緒にクラブに入りたいということであり、避けたい要素は、「日曜日も休みなく練習し、練習内容もとても厳しい」ことである。その両方の狭間で悩んでいる。

以上のことから、最も適当な組合せは⑦となる。

問4 [12] ①

青年文化には、例えば、奇抜な音楽やファッショングにみられるように、既成の文化を否定しそれに対抗しようとする意図をもつ場合がある。こうした既成文化に対するいわばアンチテーゼとしての文化を、カウンターカルチャー(対抗文化)と呼ぶ。

②青年文化は、一般にサブカルチャー(下位文化)という特徴をもつが、青年文化の中にも、例えば漫画やアニメのように、世代を超えて受け容れられるようになるものがある。③若者に受け容れられている音楽やファッショングの中には、営利企業が意図的に作り出したものがある。このことは、企業にとって利益をもたらす市場となるものがある、ということを示している。④これは青年文化の特質を述べたものではなく、地域文化の特質について述べたものである。青年文化の中には、国境を超えた広がりをもつものもある。

問5 [13] ①

全事業所合計をみると、フリーターを正社員として採用する場合があると答えた事業所は87.5%と、全体の8割を超えており、また、「どのような態度、能力を身につけていたときに採用するか」に関しては、「職業意識・勤労意欲」が最も重視され、62.4

%となっている。

②「フリーターであったことをマイナスに評価する事業所」では「マナー・社会常識」が身について時に採用すると答えた事業所は、5割を下回り、48.2%となっている。③「『フリーターであったことをマイナスに評価する事業所』は、全体の1割」を上回り、18.5%である。④「正社員として採用する場合がある」と答えている事業所の割合は、「プラスに評価する事業所」では92.0%、「ほとんど影響しないとする事業所」では93.0%となっており、1.0ポイントであるが、「ほとんど影響しないとする事業所」の方が上回っている。

第3問 市場経済と政府の役割

【出題のねらい】

資源分配などの経済活動を市場機構に委ねるのは、資本主義経済の基本的な仕組みである。しかし、市場機構が万能でないことも事実である。この問題は、こうした市場の役割と、その問題点を是正するための政府の役割を、ともに考察したものである。経済理論や時事問題も、あわせて取り上げられている。

【設問別解説】

問1 [14] ①

商品を買った者が代金を支払うように、一般に便益を得た者がそのコストを負担するのが市場の原則である。しかし、場合によっては便益を得た者がコスト負担を免れたり、逆に便益を得ていない者がコストを負担したりする事態が起こることがある。それらは市場の失敗(欠陥)の一つに数えられ、外部効果と呼ばれている。前者のようなプラスの外部効果は外部経済、後者のようなマイナスの外部効果は外部不経済と呼ばれている。この選択肢のように、公害や環境破壊が起こったり、その除去に費用がかかったりしても、それは生産者のコストとして意識されないことが多い、周辺の自治体や被害者がコスト負担を強いられることになりやすい。

②超過供給が生じると、売れ残りが生じるなどして価格は下落し、それに伴って需要量は増加して供給量は減少するというのが正しい。③「新規参入が容易なため独占市場が成立しにくい」は誤りで、正しくは、新規参入が困難なため独占市場が成立しやすい、である。一般に独占は非効率的であるとされるが、大きな設備が必要な産業では規模の経済が働くため、競争によって成立する市場価格では参入企業が赤字になってしまう。したがって、大きな鉄道や電力会社などでは独占の成立を容認し、その代わり政府が公共料金として価格を統制する方が社会的

な効率性を高めるとされる。④多数の生産者や消費者が存在する完全競争市場では、競争はあくまで価格競争が基本である。しかし、寡占市場では価格競争が弱まることがあり、その場合には製品の差別化を目指して**非価格競争**が起こりやすい。

問2 [15] ①

A：19世紀から20世紀の前半までは、ほぼ10年おきに深刻な恐慌が起こっていた。ソ連などが採用したマルクス主義に基づく社会主義では、企業の自由競争がこのような恐慌の原因だという考えに立ち、国家の作成した経済計画に基づいて生産をコントロールする経済体制が採用された。しかし、それは消費者の多様なニーズに応えることができないなど、大きな欠陥をもっていたため、社会主義経済崩壊の原因となった。

B：ケインズ(1883～1946)は、不況の原因は貨幣の支出を伴う需要、つまり**有効需要**が不足していることにあると考えた。そこで、財政政策や金融政策を通じて有効需要を拡大し、不況を克服して**完全雇用**を実現すべきだと主張した。しかし、問題本文で取り上げた「小さな政府」の立場からは、この政策が財政赤字やインフレーションなどの弊害を招いたと批判されている。

C：シュンペーター(1883～1950)は、企業家(起業者)の行うイノベーション(技術革新、新機軸、新結合)を通じた**創造的破壊**が、経済発展の原動力となると主張した。

以上のことから、最も適当な組合せは①となる。

問3 [16] ④

高校授業料の無償化や育児補助の手当(児童手当・子ども手当など)への支出増加は歳出削減に逆行するから、この選択肢が適当でない。本問は、説明されている制度が存在するかどうかではなく、選択肢の文の内容が設問文中にある「歳出削減を目指す…具体例」として適当か否かで判断しなければならない。

他の正しい内容の選択肢を具体的に解説すると、①日本電信電話公社が1985年に民営化されて日本電信電話株式会社(NTT)が発足し、87年からそれ以外の民間通信会社の電話事業などへの参入が開始された。②高度経済成長期に「公団住宅」と呼ばれた鉄筋の高層住宅団地を建設していた特殊法人の**日本住宅公団**は1981年に廃止され、その事業は大幅に縮小されて現在は独立行政法人の都市再生機構が既存住宅の管理を行っている。③政府がコメの流通を独占していた**食糧管理法**が1995年に廃止され、現在は**食糧法**(食糧需給価格安定法)の下でコメの流通は原則として市場原理に委ねられている。

問4 [17] ③

例えば、2012年度予算では、**地方財政関係費(地方交付税交付金等)**が一般会計歳出の18.4%になっている。小泉内閣から三位一体の改革(地方交付税交付金の見直し・国庫支出金の削減・国から地方への税源の移譲)が始まったが、依然として地方交付税交付金は国的一般会計歳出でも、地方財政の歳入においても大きな比重を占めている。

①2012年度予算では公共事業関係費は一般会計歳出の5.1%，文教及び科学振興費が6.0%で、合計しても1割程度にとどまる。**財政硬直化**の原因は、前述の地方財政関係費のほか、社会保障関係費が29.2%，国債費が24.3%にのぼっているためで、これらの支出を合わせると一般会計歳出の7割を占めて裁量的な歳出の余地を小さくしている。②郵便貯金は、郵政民営化によって現在は株式会社ゆうちょ銀行が扱っている。また、**財政投融資制度**も大きく変わり、現在の原資は財投債など金融市場で調達した資金を中心としている。④日本の国税は、シャウブ税制改革(1949年)以来、直接税の比率が間接税を上回っており、近年の国税の直接税と間接税の比率はほぼ6:4(2011年度予算における国税の直間比率は、56:44)となっている。

問5 [18] ③

例えば、1ドル=80円から1ドル=100円へと円安になれば、同じ1ドルの外国製品が円建てでは80円から100円に値上がりすることになる。したがって、円安は**インフレの原因**になるのでこの選択肢は適当でない。また、事実としても、近年の日本は円高となり、物価上昇抑制要因となっている。

①人件費などのコストが安いアジア諸国では、衣料品などの軽工業製品だけでなく、携帯電話やパソコンなど加工組立型のハイテク製品も生産され、それが日本にも輸入されて製品価格を引き下げている。②例えば、日本国内で生産される薄型テレビは、韓国・台湾などの新興国メーカーが供給する安くて性能の良い液晶パネルを使用し、製品価格を大幅に引き下げてきた。最近では、鉄鋼や自動車部品なども、輸入が増加しつつある。④価格下落の要因として、コスト削減に結び付く技術開発もあげることができる。

問6 [19] ②

この事例では、売り手の金融機関は金融商品のリスクの高さを知っているが、顧客はそれを知らされておらず、**情報の非対称性**(情報の格差)が生じている。その結果、収益性の高さだけを信じて買った顧

客が、大きな損失を被ることもありうる。このような問題を防ぐために、金融商品取引法では、顧客に対してリスクなどマイナス面も含めた説明を義務づけている。

①不動産会社も顧客も、ともに不況を予測できなかつたのだから、情報の格差は生じていない。③顧客は商品のマイナスの情報を知らされているのだから、情報の格差は生じていない。④劇場は座席の位置と値段を示し、観客はそれを知って座席を選択しているのだから、情報の格差は生じていない。

問7 [20] ④

2008年に改正された特定商取引法では、訪問販売で、通常必要とされる量を著しく超える商品などの購入契約をした場合、契約後1年間は消費者が一方的に契約を解除できることが定められた。判断力の衰えた高齢者に大量の商品を販売したり、住宅リフォームなどの契約を何件も重複して結ばせたりする事例が目立つようになつたために設けられた規定である。したがって、企業の不公正な行動を防ぐための規制にあたる。ただし、こうした法改正を知らないでも、設問の条件に合う内容はこの選択肢だけなので、論理的に判断できる。

①低所得者に自己責任を強いることは、格差是正のためのセーフティネットとは逆行するので、例として適当ではない。セーフティネットというのは、本来は転落防止のために張られる安全網のこと、これにたとえて生活困窮者や社会的弱者を支えたり、不測の事態に備えたりする制度のことをソーシャル・セーフティネット(あるいは単にセーフティネット)と呼ぶようになった。②自由競争の結果、海外製品との競争に負けた中小企業を何らかの政策的判断で救済するのがセーフティネットで、この事例はそれに逆行している。③企業同士が協定を結んで一斉に値上げをすることはカルテル行為にあたり、不公平な取引として独占禁止法で全面的に禁止されている。

問8 [21] ②

一般に財政の役割として、(1)公共財の供給による資源配分の調整、(2)所得の再分配、(3)景気の調整の三つがあげられる。この②の事例は(1)に当たり、道路を公共財として供給している。

①所得の再分配を図るために、所得の高いほど税率が高くなる累進課税制度を採り入れなければならない。③この政策の論理自体は正しいが、政策金利を誘導するのは財政政策ではなく、金融政策である。④この選択肢が前提にしているのは、ビルトイン・スタビライザー(景気の自動安定装置)で、累

進課税と社会保障を組み合わせて働く制度である。例えば、好況の時には所得が増えて税率が自動的に上がり、生活保護や失業給付などの社会保障支出が自動的に減少することで、景気の過熱を防ぐのである。

第4問 國際化と文化・伝統

【出題のねらい】

本問は、異文化理解をテーマとして、文化相対主義や文化摩擦などについて基礎的な理解を問うものである。あわせて、世界の主な宗教の特徴や日本文化の特徴などについても出題した。

【設問別解説】

問1 [22] ④

日本文化を紹介するだけでなく、異文化を積極的に学ぼうとする姿勢は、「異文化の価値を認め、自文化を多様な文化の中の一つとして位置づけようとする考え方」である文化相対主義に基づくものと言える。

①外来の宗教の「世界觀を認めず」、「日本の伝統的宗教を重視する」姿勢は、「異文化の価値を認めずおらず、自文化を絶対視するエスノセントリズム(自文化中心主義、自民族中心主義、問5を参照のこと)につながり、文化相対主義の対極に位置する姿勢と言える。②他国に対して、「近代的な日本文化を広く移植」しようとしても、「異文化の価値を認めずおらず、エスノセントリズムにつながる。③「日本に在住する外国人の母國の文化を認めず、日本文化に同化」するよう指導していくことも、「異文化の価値を認めず」る態度とは言えない。

問2 [23] ④

アメリカの文化人類学者ベネディクト(1887~1948)は、日本研究の書『菊と刀』において、西洋が内面的な「罪」の意識を行為の道徳的規準とする「罪の文化」であるのに対して、日本は自分の行行為が他人にどうみられているかを道徳的規準とする「恥の文化」であると特徴づけた。

①他者や、自己が帰属する集団などから受けた「恩義」に報いて、「義理」を立てることが人としての美德であるとされることがある。②帰属する集団内部では、個人倫理よりも集団倫理が優先され、集団的・共同体的秩序の維持が優先されることがしばしばみられる。③帰属する集団内では、先輩・後輩、上司・部下など上下の秩序が重視され、その関係性を言葉や態度に反映することが求められる。こうした日本社会の特徴を、文化人類学者中根千枝(1926~)は「タテ社会」と評した。

問3 [24] ②

イスラム教(イスラーム)は、ムハンマド(マホメット)(570頃～632)が開いた宗教であるが、ムハンマドは唯一絶対の神なのではなく、神が啓示する言葉を預かりそれを人々に伝えるために神によって遣わされた人間、すなわち、預言者である。唯一絶対神として信仰されるのはアッラーである。

①キリスト教は、イエス(前4頃～後30頃)をキリスト(救世主)と信じる宗教で、カトリックやプロテント、東方正教会などの宗派に分かれる。③ユダヤ教は、唯一絶対神ヤハウェを信仰する宗教であり、ユダヤ民族(イスラエル民族)がヤハウェから救済対象として選ばれた民とする選民思想をその特徴の一つとする。④仏教は、ブッダ(シャカ、ゴータマ・シッダールタ、前463頃～前383頃〔前563～前483とする説もある〕)によって開かれた宗教で、自己の悟りを重視する上座部仏教(小乗仏教)や、自己だけでなく一切衆生の悟りを目指す大乗仏教などに分かれる。

問4 [25] ③

「ある行為が他国に比べ極めて重い刑罰に処せられる犯罪であること」を知っている国民が、それを知りながら「罪を犯して」いるので、異なる文化圏に属する人々の間で生じた摩擦ではない。

①公共交通機関を利用する際に列をつくる慣習があるかないかは、文化の違いによるものと言える。したがって、この事例は文化摩擦である。②宗教上の教義がその国の文化に大きな影響を及ぼすことは少なくなく、文化摩擦に発展することも多い。この事例は、豚肉を食べてはいけないという宗教上の教義をめぐるトラブルであり、そうした文化摩擦の例である。④育児を母親の仕事とするなどの性別役割分業のあり方は、それぞれの国の社会通念の違いの影響を受けやすい。したがって、これも文化摩擦の例である。

問5 [26] ①

A：ステレオタイプとは、元来は印刷用の鉛板のことであるが、リップマン(1889～1974)は、これを、一定の社会集団に共有されている観念で、対象のもの多様性を捨象して、過度に単純化し、しばしば偏見を伴っている観念の意味で用い、マスメディアが提供する情報を通じて形成されることが多いと指摘した。アフリカについて抱く「灼熱の大地」や「野生の王国」などのイメージも、一種のステレオタイプと言える。なお、セクショナリズム(縛り主義)とは、官僚制の問題点を指摘する用語であり、相互の職務権限を越えて協力しなければならな

い場合であっても、職務権限をもたない職員を排除したり、逆に、他の職員の職務権限には関与しようとなしかったりすることを言う。

B：エスノセントリズムは、自分たちの世界観や価値観を絶対視して、異文化を自文化より劣ったものとみなしたり、さらには自文化を他民族に押し付けてしまう考え方や態度のことと言う。日本のような文化的な同質性が高い社会では、こうした傾向に陥りやすいことがしばしば指摘されてきた。なお、マルチカルチャリズム(多文化主義)は、一つの国家・社会の中に、複数の人種や民族の文化が共存することを認める考え方であり、その中で行われる文化交流によって、文化間の相互理解を進めようとするものである。

C：フランスの文化人類学者レヴィ＝ストロース(1908～2009)は、アマゾン流域などの無文字社会にも、西洋の科学などと同様の精緻な論理が存在していることを指摘することによって、「進歩」した西洋に対して、無文字社会を「未開」とみるような、西洋中心主義を批判した。その意味において、「異文化をステレオタイプで捉える姿勢」や「エスノセントリズムの独善性」を批判したと言える。なお、ホルクハイマー(1895～1973)は、ナチズムの批判的研究を行ったフランクフルト学派の中心的存在であり、人間の「理性」は、近代以降、人間の主観的な目的を効率的に実現するための「道具体的理性」になりきがってしまったとしている。

以上のことから、最も適当な組合せは①となる。

第5問 国際政治の動向

【出題のねらい】

軍備管理と信頼醸成措置という近年の安全保障協力をテーマに、冷戦後の国際情勢、近年の国連改革、軍縮問題、民主化運動、人間の安全保障などについて出題した。

【設問別解説】

問1 [27] ⑥

A：2003年に、アメリカなどから大量殺りく兵器を保有しているという疑惑をかけられた国はイラクである。この疑惑からイラク戦争が勃発した。

B：アメリカやイギリスなどは、国連安全保障理事会においてイラクに対する武力行使を容認する決議の採択を目指したが、フランスが拒否権の行使の可能性を示唆するなど、武力行使容認決議の採択に強く反対した。この事実を知らないても、フランスは拒否権の発動が認められている国連安全保障理事会の常任理事国であるが、ドイツはそうではないと

いうことから、フランスと確定できる。

C：フランスが反対した背景には、ユニラテラリズム（単独行動主義）へと走るアメリカへの警戒があった。ユニラテラリズムの特徴は「他国との協力より自国の力に依存する傾向。…自国の理念・国益を国際社会全体の目標と強弁する独善性。…外交交渉・多国間の決定枠組みからの制約を嫌い、単独行動する傾向」（Web版『知恵蔵2011』）があるとされる。冷戦終結後、特に2001年の9.11同時多発テロ以降のアメリカの行動はこの考えに沿うものだと言われている。こうしたアメリカのあり方を批判し、フランスは、マルチラテラリズム（多国間主義）に基づく政策を主張した。

以上のことから、最も適当な組合せは⑥となる。

問2 [28] ②

2012年の国連通常予算分担金の国別割合をみると、日本が12.530%，ドイツが8.018%なので、両国の分担金を合わせても、2分の1には遠く及ばない。ちなみに、1位がアメリカで、22.000%であるが、分担金の滞納問題が生じている。

①安全保障理事会の常任理事国は米英仏ロ中の5か国であるが、国連加盟国が、現在、193か国（2011年に南スーダン共和国が加盟）となるなど、国連は世界のほぼすべての国を含む普遍的国際組織の性格を帯びるようになった。安全保障理事会にもこうした現状を反映させるために、常任理事国や非常任理事国との枠を増やすことが検討されている。日本、ドイツ、インド、ブラジルが常任理事国入りに強い意欲を示している。③2006年に国連総会は、従来の国連人権委員会に代わる組織として、人権理事会を創設した。これは大規模かつ組織的な侵害を含む人権侵害状況への対処及び勧告を行うことを任務とする。④日本、ドイツなど第二次世界大戦時の連合国にとっての敵国に対して、加盟国や地域的国際組織が安全保障理事会の承認を得ずに武力行使を行うことなどを認める「旧敵国条項」は、日本などから削除する提案がなされ、国連総会は削除の決議を採択したものの、削除に必要な国連憲章の改正は成立しておらず、旧敵国条項は依然として国連憲章に残っている。

問3 [29] ①

1968年に採択（作成）された核拡散防止条約（NPT）は、「核兵器国」（核兵器保有国）に核拡散防止義務を課し、「非核兵器国」（核兵器非保有国）には核兵器を受領しないこと、製造しないことなどの拡散回避義務を課すとともに、国際原子力機関（IAEA）の査察を受け入れることを義務づけた。な

お、同条約は1995年に無期限延長が決定された。

②包括的核実験禁止条約（CTBT）が採択されたのは1996のことなので、2009年に現職に就任したオバマ大統領がその採択に貢献したという記述は誤り。また、アメリカが現在もCTBTを批准していないこともあり、同条約の発効のめどは立っていない。③化学兵器禁止条約は1993年に署名式が開催され、97年に発効している。同条約は、化学兵器の開発・生産・貯蔵・使用を全面的に禁止し、その廃棄を定めている。④核兵器の保有が、対立する国の大規模な核攻撃の抑止になるとする核抑止論は現在でも廢れていない。

問4 [30] ①

A：アのエストニアについての記述である。「ソ連を構成していた国」がヒントになる。バルト三国の一つであるエストニアは、ソ連の解体後に創設された独立国家共同体（CIS）には加盟せず、2004年に北大西洋条約機構（NATO）、欧州連合（EU）への加盟を果たし、2011年にはEUの共通通貨であるユーロを導入した。

B：イの東ティモールについての記述である。「インドネシアからの独立」がヒントになる。東ティモールでは、1970年代からインドネシアからの独立をめぐる紛争が続いていたが、1999年に独立の是非を問う住民投票が実施され、独立派が多数を占め、インドネシアも独立を承認し、2002年に東ティモールとして独立を果たした。

C：ウのチュニジアについての記述である。2010年12月にチュニジアで反政府運動が起こり、翌年ベニアリ大統領が国外逃亡して、23年間の独裁体制が終わった。これをチュニジアの国花になぞらえて、「ジャスミン革命」と呼ぶ。これをきっかけに、エジプトでは30年間続いたムバラク政権が崩壊し、リビアでは42年間続いたカダフィ政権が崩壊した。近年起きているこうした中東・アラブ諸国における民主化運動を総称して、アラブの春と呼ぶ。

以上のことから、最も適当な組合せは①となる。

問5 [31] ②

これは国連が設立当初から採用している集団安全保障方式について述べたものである。すなわち、従来型の「国家の安全保障」の考えに立つものである。

「人間の安全保障」とは、紛争、テロ、自然災害、環境破壊、人権侵害など地球的規模で起きる問題から人間一人ひとりの生命や安全を守ろうという理念である。①③④は、一人ひとりの生命や安全を守ろうとする考え方を述べているもので、「人間の安全保障

障」の考えにのっとったものである。なお、「人間の安全保障」の考えは、1994年の国連開発計画(UNDP)の『人間開発報告』で初めて示された。これに従って、1999年に国連は人間の安全保障基金をつくり、さらに2001年には人間の安全保障委員会を設置した。

第6問 貿易の拡大と経済摩擦

【出題のねらい】

国際経済のあり方は、国際貿易と国際金融の二つの側面から理解しておかねばならない。本問では、国際貿易の側面に焦点をあて、国際貿易体制の特徴や国際貿易の現状、国際分業と自由貿易の考え方、貿易摩擦問題などについて出題した。

【設問別解説】

問1 [32] ⑧

GATT(関税及び貿易に関する一般協定)や現在のWTO(世界貿易機関)では、セーフガード(緊急輸入制限)と呼ばれる措置が認められてきた。これは、ある商品の輸入が急増して国内産業が打撃を受けるおそれがある場合に、一時的にその商品の輸入数量を制限したり、関税を引き上げたりする措置のことである。日本は、2001年にシタケ、ネギ、イグサ製の畳^{たたみおもて}表に関して、セーフガードの暫定発動を行ったことがある。

①GATTでは多角的貿易交渉(ラウンド)と呼ばれる協議を通じて、関税の一括引下げなどが進められた。農産物の関税化がウルグアイ・ラウンドで合意され、日本は1995年からコメのミニマム・アクセスを受け入れ、1999年からはコメの関税化を実施した。しかし、関税の撤廃を含むようなコメの完全輸入自由化を受け入れたわけではないし、それを実施してもいい。②サービスの貿易取引の増加や、特許・著作権などの知的財産権の侵害をめぐる国際的なトラブルの発生の増加などを背景に、GATTのウルグアイ・ラウンドで、従来の物品の貿易取引だけでなく、サービス貿易のルールづくりや知的財産権の保護の問題が協議の対象となった。④GATT加盟国は、1947年の設立時には23か国であったが、ウルグアイ・ラウンドの時点では125か国になっていた。つまり、多くの開発途上国が参加しているので、「先進国に限られていた」という記述は誤りであるし、協議に開発途上国の意見が反映されなかつたとも言えない。

問2 [33] ⑥

A：日本が輸出の第2位を占めていることに注目しよう。コメ、原油、乗用車の中で、日本の主要な

輸出品目となっているのは乗用車である。

B：タイが最大の輸出国であることやアメリカも輸出国であることに注目しよう。また、金額をみると他の商品よりも輸出入額は少ない。これらのことから、コメであることが分かる。

C：以上のことからCは原油となる。これは、サウジアラビアやロシアが輸出国の上位にあること、輸入国では世界最大のエネルギー消費国であるアメリカが第1位であり、近年、資源輸入が増加している中国が第2位、日本が第3位であることからも確認できる。

以上のことから、最も適当な組合せは⑥となる。

問3 [34] ③

イギリスの経済学者リカード(1772～1823)が主張した比較生産費説についての出題である。設問文から、イギリスとポルトガルのそれぞれの商品1単位の生産に必要な労働者数とそれぞれの商品の合計生産量(特化前)は、次の表のように整理できる。

	イギリス	ポルトガル	合計生産量
毛織物	100人	90人	2単位
ぶどう酒	120人	80人	2単位

どちらの商品についても、商品1単位の生産に必要な労働者数はポルトガルの方が少ない。つまり、いずれの商品についてもポルトガルの方が生産性は高い。ゆえに、Aには「ポルトガル」が入る。しかし、ポルトガルでは毛織物に比べればぶどう酒の方がより生産性が高く、反対にイギリスではぶどう酒よりも毛織物の方が生産性は高い。そこで、ポルトガルが比較優位にあるぶどう酒の生産に特化し、イギリスが同じく毛織物の生産に特化するならば、イギリスは労働者220人を毛織物の生産に振り向け、ポルトガルは労働者170人をぶどう酒の生産に振り向けることになる。その結果、それぞれの商品の合計生産量(特化後)は次の表のようになる。

	イギリス	ポルトガル	合計生産量
毛織物	220人	0人 (=220÷100)	2.2単位
ぶどう酒	0人	170人 (=170÷80)	2.125単位

このように、イギリスでの毛織物の生産高は2.2単位となるので、Bには「2.2」が入り、ポルトガルでのぶどう酒の生産高は2.125単位となるので、Cには「2.125」が入る。以上のように、それぞれの商品の合計生産量は特化する前よりも増加する。そこで、両国が生産した商品を貿易して交換すれば、互いの利益となる。リカードは、国際分業と

自由貿易のメリットを、この比較生産費説に基づいて主張したのである。

問4 [35] ②

第二次世界大戦後の日本経済は、**輸出主導型経済成長**を遂げたと言われることがあるように、輸出を梃子に発展してきた。その主要な輸出先はアメリカであった。日本は対米輸出で大きな貿易黒字を生み出したが、他方で輸入超過のアメリカでは安価で良質な日本製品が大量に輸入されることによって深刻な打撃をこうむる国内産業もあった。そのため、日米間ではしばしば激しい**貿易摩擦**が発生した。日本経済の発展とともに、日本の主要輸出品目が変化したため、貿易摩擦の対象となった品目も時代によって変遷してきた。具体的には、1950年代半ばから始まった繊維製品、1970年前後から深刻化した鉄鋼、1970年代後半のテレビなどの家電製品、工作機械、1980年代の自動車、半導体というように、日米貿易摩擦の対象品目は変遷してきたのである。つまり、繊維のような**軽工業品**から鉄鋼などの**重化学工業品**、さらに家電や自動車などの**耐久消費財**、そして半導体などの**先端技術分野**へと移り変わってきたのである。

①日米間の貿易摩擦の激化に対して、日本企業はしばしば**輸出自主規制**によって対応した。例えば、繊維製品や鉄鋼、自動車などで輸出自主規制が行われた。③上記のように、アメリカが日本の主要な輸出市場であったが、アメリカと同様に経済発展の著しい西欧諸国も工業製品の有望な輸出市場であった。そのため、日本と西欧諸国との間でも激しい貿易摩擦が発生した。④貿易摩擦を解消するために、個々の品目別の交渉が行われ、先の輸出自主規制や為替調整などの対応がとられたものの、なかなか日

米間の貿易の不均衡は是正されなかった。そのため、アメリカは対日輸出の拡大を図ることを目指し、日本に市場の開放を要求するようになった。1989年に開始された**日米構造協議**では、日本の流通制度や**企業系列**の存在、**排他的な商慣行**など日本の諸制度や経済構造についてアメリカから厳しい批判が向けられた。

問5 [36] ④

サービス収支は、旅行、通信、建設、金融、情報などの様々なサービスの取引を記録する。外国からの旅行者が増えて、彼らの日本における宿泊費や土産物の代金、食事代などへの支出が増加することは、日本の観光業者などによるこれらのサービスの販売が増加することを意味している。そして、外国人旅行者は非居住者であり、日本の観光業者などは居住者であるため、この取引はサービスの国際取引となる。「旅行受入国」のサービス収支では、その売上分は、サービス収支にプラスで計上される。したがって、外国からの旅行客の増加は、その受入国のサービス収支の黒字の増加、あるいは赤字の減少の要因となる。

①国際収支は1か月、3か月(四半期)、6か月、1年といった一定の期間における国際取引を記録するフローの統計であって、過去から現在までの取引の累計額を記録するストックの統計ではない。②国際収支は居住者と非居住者との間での取引を記録する。日本に所在する**外資系企業**は日本の居住者であり、この企業と日本の企業(居住者)との間での取引は国内取引である。したがって、国際収支統計には記録されない。③**經常収支**は、貿易・サービス収支、所得収支、經常移転収支からなる。投資収支は資本収支の項目である。

倫 理

【解答・採点基準】 (100点満点)

問題番号	設問	解 答 番 号	正解	配点	自己採点
第1問	問1	1	②	3	
	問2	2	③	2	
	問3	3	④	3	
第1問 自己採点小計			(8)		
第2問	問1	4	①	2	
	問2	5	②	3	
	問3	6	①	2	
	問4	7	③	3	
	問5	8	②	2	
	問6	9	①	3	
	問7	10	④	3	
	問8	11	⑧	3	
	問9	12	③	3	
第2問 自己採点小計			(24)		
第3問	問1	13	④	3	
	問2	14	③	2	
	問3	15	②	3	
	問4	16	①	3	
	問5	17	②	2	
	問6	18	④	2	
	問7	19	③	3	
	問8	20	②	3	
	問9	21	③	3	
第3問 自己採点小計			(24)		
第4問	問1	22	④	2	
	問2	23	④	2	
	問3	24	③	3	
	問4	25	②	3	
	問5	26	②	2	
	問6	27	④	3	
	問7	28	②	3	
	問8	29	①	3	
	問9	30	③	3	
第4問 自己採点小計			(24)		

問題番号	設問	解 答 番 号	正解	配点	自己採点
第5問	問1	31	④	2	
	問2	32	④	3	
	問3	33	①	2	
	問4	34	①	2	
	問5	35	②	3	
	問6	36	④	3	
	問7	37	⑥	2	
	問8	38	④	3	
第5問 自己採点小計			(20)		
自己採点合計			(100)		

【解説】

第1問 青年期の特質と心理

【出題のねらい】

本問では、「人生の意味」をテーマとする本文のもとに、防衛機制の内容、人間性の特質に関する代表的な定義を取り上げるとともに、自殺率の国際比較に関する図の読み取り問題も出題した。問われている内容はいずれも教科書レベルの基本的事項であるから十分に復習しておこう。また、図の読み取り問題にも慣れていこう。

【設問別解説】

問1 ① ②

オーストリアの精神分析学者フロイト(1856~1939)は、人間の心には、欲求不満(フラストレーション)に陥ったとき、無意識のうちに心の安定を保ち自我を守ろうとする働きがあることを指摘した。このような無意識の働きは、防衛機制(防衛反応)と呼ばれ、抑圧、合理化、同一視(摂取・投射)、反動形成、退行、昇華など、様々なものがある。この設問では、合理化について説明した②の記述だけが正しい内容なので、これが正解となる。

①「抑圧」ではなく反動形成の説明である。③「反動形成」ではなく退行の説明である。④「退行」ではなく抑圧の説明である。

問2 ② ③

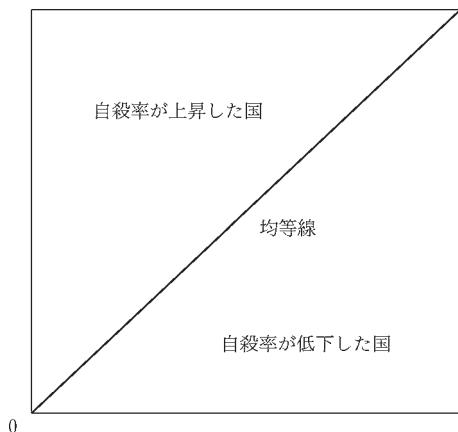
人間の特質をめぐって、これまで様々な定義が示されてきた。オランダの歴史家ホイジンガ(1872~1945)は、人間が自由な精神に基づく「遊び」の世界を持つことに注目した。そして彼は、人間が競争と表現を楽しむ「遊び」を通じて芸術・学問・宗教などの文化を生みだしたと考え、人間をホモ・ルー

デンス(遊戯人)と定義した。したがって、③が正解となる。

①人間をホモ・サピエンス(英知人)と定義したのは、スウェーデンの博物学者リンネ(1707~78)である。②人間をホモ・ファーベル(工作人)と定義したのは、フランスの哲学者ベルクソン(1859~1941)である。④人間を、アニマル・シンボリクム(象徴をあやつる動物)と定義したのは、ドイツの哲学者カッサーー(1874~1945)である。

問3 [3] ④

設問に掲げた図は、横軸に1995年の自殺率(人口10万人あたりの自殺者の数)をとり、縦軸に2005年の自殺率をとった座標上に、8か国の自殺率を点で示した散布図である(ただし、25歳から34歳までの男性のデータ)。したがって、この図に均等線(縦軸の数値と横軸の数値が同じになる点を結んだ45°線)を引けば、点が均等線より上方に位置する国は、両年を比較して自殺率が上昇したことを意味し、下方に位置する国は、逆に自殺率が低下したことを意味する(下の図を参照)。



1995年に比べて2005年の自殺率が低下した国は、ロシア、エストニア、フィンランド、ドイツ、スペインの5か国であり、上昇した国はガイアナ、日本、中国の3か国である。したがって、「1995年に比べて2005年の自殺率が低下した国のはうが、上昇した国より多い」という記述は正しい。

①両年を比較して、自殺率が上昇した国は、ガイアナ・日本・中国の3か国である。したがって、「1995年に自殺率の低かった日本と中国では、2005年には自殺率がさらに低下している」という記述は誤り。②1995年と2005年のいずれにおいても自殺率が最も高かった国はロシアである。したがって、「1995年と2005年のいずれにおいても、自殺率が最も高かった国はガイアナである」という記述は誤

り。③自殺率が高い順に並べると、フィンランドの順位は、1995年には、ロシア、エストニアに次いで第3位だが、2005年にはロシア、ガイアナ、エストニア、日本に次いで第5位となっている。したがって、「自殺率が高い順に並べると、フィンランドの順位は、1995年も2005年も同じ第3位である」という記述は誤り。

第2問 源流思想総合

【出題のねらい】

本問は、「愛」をテーマとする本文を素材として、古代ギリシア哲学、キリスト教、イスラーム教、インド思想と仏教、儒家・道家などの中国思想に関する基本事項を幅広く取り上げた。この分野は、入試で必ず出題される分野であるから、誤答したところは念入りに確認しておこう。

【設問別解説】

問1 [4] ①

莊子(生没年不詳)は、是非・善惡・生死・貴賤といった差別や対立は、人間が作り出した相対的なものにすぎず、ありのままの世界では、何らの差別も対立もなく、すべてが^{ひと}齊しい(万物齊同)と説いた。また、人為を超えた自然の働きに身を任せ、自由の境地に遊ぶこと(逍遙遊)を理想とし、そうした境地に達した理想の人間を真人と呼んだ。

②大丈夫とは、浩然の気をそなえた人を言い、孟子(前372?~前289?)が理想とした人間像である。孟子によれば、仁・義・礼・智の四徳をそなえた人間は、人生のいかなる局面にあっても、不動の道德的氣概である浩然の気が心身にみなぎってくるとされる。③聖人とは、一般に人格・徳行にすぐれた理想的な人物を言う。特に儒学では、堯・舜などの古代の理想的な支配者や孔子などを指す。④凡夫とは、仏教において、欲望や執着などの煩惱にまみれて生きている人間を言う。

問2 [5] ②

プラトン(前427~前347)は、人間の魂の働きを、理性・氣概(意志)・欲望の三つの部分に分け、理性の徳は知恵、氣概(意志)の徳は勇氣、欲望の徳は節制であるとし、氣概と欲望が理性によってコントロールされ、全体として調和ある秩序が保たれるとき、魂全体の徳である正義が実現されると説いた。

①アリストテレス(前384~前322)についての記述である。アリストテレスは、個々の事物から独立した普遍的なイデアが眞の実在であり、個々の事物をイデアの不完全な模像とするプラトンのイデア論を批判し、感覚で捉えられる具体的な個々の事物こそ

が実在であり、イデアにあたる事物の本質は個々の事物に内在するとし、この本質を形相(エイドス)と名づけた。そして、この形相(エイドス)は、事物の素材である質料(ヒュレー)の中に可能態(デュミナス)として内在しており、事物の生成変化を通じ、現実態(エネルゲイア)として自らを完成していくと考えた。^③プロタゴラス(前500?～前430?)についての記述である。プロタゴラスは、「人間は万物の尺度である」と述べて、あらゆる物事の真偽や善悪などの判断基準は判断を行うそれぞれの人間にあるとし、各人の判断基準を超えたところに客観的真理が存在するという考え方を否定する相対主義の立場をとった。^④アテネ郊外のリュケイオンに学園を開いたのは、プラトンではなくアリストテレスである。プラトンが開いた学園はアカデメイアである。また、後半の記述はピュタゴラス(前6世紀頃)に関する記述である。ピュタゴラスは、靈魂の不滅や輪廻などを信じる教団を組織し、魂を鎮める音楽と永遠不滅の真理を教える数学を重視した。そして、数を世界の秩序の根拠であると捉え、世界には数的比例に基づく調和があると説いた。

問3 [6] ①

アリストテレスは、人間の魂を理性的な領域と非理性的な感情・欲望の領域の二つに分け、その二つの領域に対応させて人間の徳を知性的徳と習性的(倫理的)徳とに分けた。そして、知性的徳で真理や中庸を知りえたとしても、人間は感情や欲望に左右されやすいから、日常生活の中でそれらを統御する訓練を繰り返すことによって習性的徳を身につければならないとし、習性的徳は、過不足のない調和のとれた状態である中庸(メソテース)を習慣づけることによって獲得することができると説いた。

②ロールズ(1921～2002)についての記述である。

ロールズは、幸福の最大化を説く功利主義を批判し、社会や国家がその構成員の自由意志に基づく契約によって成り立つとする社会契約説を援用しつつ正義を考察して、「公正としての正義」を説いた。そして、基本的自由の権利は平等に配分されるべきであること(平等な自由の原理)、また、最も不遇な立場にある人々の便益を最大化するよう配慮すること(格差原理)、公正な機会均等が確保されること(公正な機会均等原理)、という二つの条件を満たす場合にのみ、社会的・経済的不平等が許容されると説いた。^③エピクロス(前341?～前270?)についての記述である。エピクロスは、眞の快樂は、刹那的・享楽的なものではなく、永続的・精神的な心の安らかな状態であると考え、こうしたアタラクシア

(魂の平安)を得ることを賢者の理想とした。^④「調整的正義」ではなく配分的正義が正しい。アリストテレスによれば、正義は、法を守るという広義の正義である全体的正義と、人々の間に平等(公平)が実現するという狭義の正義である部分的正義に大別される。そして、部分的正義は、名誉や財貨などを各人の功績や働きの違いに応じて配分する配分的正義と、裁判や取引などで当事者たちの利害・得失が均等になるように調整する調整的正義からなるとされた。

問4 [7] ③

「民を治めるには、刑の支配が平治の元であり、賞の濫発が乱の元である」という資料文の記述から、^⑥が最も適当である。〔なお、資料文は、新釈漢文大系(2)『韓非子 下』(竹内照夫著)明治書院からの引用である〕

①聖人が法を定めて、民がきままにふるまわないようにするのは、「民に利を得させようと望んでのことである」から、「聖人は民の利益を考慮することなく」という記述は誤り。^②聖人が民に対して刑を加えるのは、「民を愛する」ゆえであるから、「民に対する愛の視点からではなく」という記述は誤り。^④「賞の濫発が乱の元である」から、「何ごとも賞を与えて民を励ませば、民の悪事は減り、国の政治は安定する」という記述は誤り。

問5 [8] ②

墨子(前470?～前390?)の説いた非攻・交利についての記述である。墨子は、孔子の仁は親子・兄弟など近親者間の愛を重視する点で差別の愛(別愛)であると批判し、天下の人がすべて平等に愛し合い(兼愛)、利益を与え合うこと(交利)を説いた。また、僕約を唱えたり(節用)、侵略戦争を否定した(非攻)。

①荀子(前298?～前235?)の説いた礼治主義についての記述である。荀子は、人間は生まれつき利をむさぼり人を憎む傾向があるとする性惡説を唱え、社会の秩序を保つためには、外面向的な規範としての礼によって人々の性質を矯正する必要があると説いた。^③老子の説いた小国寡民についての記述である。老子は、儒家の説く人倫の道を不自然な作為として否定し、天地自然の道に従うべきことを説いた。そして、人間が自然のままに生活できる自給自足の村落共同体のような、わずかな人々からなる小国家を理想とした。^④莊子の説いた万物齊同についての記述である。(問1 [4] ①の解説を参照。)

問6 [9] ①

「理性に基づく自然法の下に神の意志に基づく永

遠法を位置づけ」たのではなく、神の意志に基づく永遠法の下に理性に基づく自然法を位置づけたとするのが正しい。トマス・アクィナス(1226?~74)は、信仰と理性が調和するかどうかをめぐる論争に関して、自然是神によって秩序づけられているとし、理性による真理探究はこの神による自然の秩序の探求にはかならないと捉えて、信仰の優位を前提に**理性と信仰の調和**を図ろうとした。

②アウグスティヌス(354~430)の著書『神の国』において展開されている思想である。③パウロ(?)~64?)は、イエスの十字架上の死を人々の原罪を贖うもの(贖罪)と捉え、人は律法に形式的に従うことによってではなく、イエスによる贖罪を信じることによって義とされる(罪から救済される)と説き(信仰義認論)、**信仰・希望・愛**(キリスト教の三元徳)を唱えた。また、地中海世界をめぐり歩いて異邦人への伝道に努めた。④イエスはユダヤ教の律法主義を批判した。イエスの時代には、律法の遵守を厳しく求める法律学者(パリサイ派)や儀式を重んじる保守的な司祭(サドカイ派)の隆盛の下で、律法を守ることができない貧しい人々などが罪人として蔑視され、差別されていた。これに対して、イエスは、律法を守ることを強調しながらも、単に形式的にこれを守ればよいとする態度を避け、その根本精神に立ち返ってこれを完成させようとした。そして、「神への愛」と「隣人愛」を、律法のうち最も基本的なものと捉えた。

問7 [10] ④

イスラーム教では、「信者はみな兄弟である」とされ、民族の違いを超えた**信仰共同体**(ウンマ)が形成されている。

①イスラーム教では、多数派が「逊ニー派」で、少数派が「シーア派」である。シーア派は、ムハンマドのいとこであり娘婿であるアリーとその子孫が信徒の指導者(イマーム)であるとする宗派であり、逊ニー派と対立してきた。②『クルアーン(コーラン)』は、アッラー(神)の啓示を記したものである。ムハンマドの発言や行動(スンナ)についての伝承は、ハディースと呼ばれる。③イスラーム教でも「最後の審判」や「天国」の存在は認められており、神は歴史の終末に、すべての人間を甦らせ、生前のすべての行為の記録を読み上げ、審判を下すことになっている。そして、多くの人々は、裁きの日に神の許しを受け天国に行き、その他の人々は現世での行いを裁かれ、地獄に行くとされる。

問8 [11] ⑧

ア—D 無明とは、真理(ダルマ)についての根源

的な無知をいい、人間の欲望や執着心などの煩惱の根本にあるものである。十二因縁の第一である。

イ—A 集諦とは、ブッダが説いた四諦(四つの真理)の一つであり、人生の苦は煩惱から生じるという真理を言う。

ウ—C 唯識とは、この世の事物や現象は、それ自体で実在しているのではなく、人間の心の作用が生み出したものであるという考え方を言う。

エ—B 渴愛とは、のどがかわいて水を欲しがるように、凡夫が様々な欲望に執着することを言う。

問9 [12] ③

本文最終段落の「キリスト教などで説かれるような、民族や国家などの枠に縛られることのない普遍的な性格を持つ愛が必要となろう」という記述から、③が最も適当である。

①本文第3段落で、普遍的な愛を説く思想家として墨子が取り上げられ、孔子の説く仁を差別的愛であるとして厳しく批判したと述べられているから、「人間に対する無差別の愛を説く思想家は現れなかった」という記述は誤り。②古代ギリシアの思想家であるアリストテレスが説いた友愛(フィリア)は、ポリスにおける市民間の愛であるから、古代ギリシアで説かれた愛は「家族や国家の枠組みに囚われることはなかった」という記述は誤り。④仏教の慈悲の対象は、「生きとし生けるものすべて」であるから、「あらゆる生命の中心に位置する人間だけに向けられる仏の愛が重視される」という記述は誤り。

第3問 近代日本の思想

【出題のねらい】

本問では、夏目漱石の『吾輩は猫である』を題材とする本文のもとに、日本の近代化の特質と西洋思想の受容のあり方について取り上げた。本文にある仮名垣魯文は、江戸末期から明治初期に活躍した戯作者かつジャーナリストである。これを除けば、設問で取り上げた人物は、いずれもこの時代の主要な人物である。明治期以降の思想は、取り上げられる人物が多様で、混乱しがちである。まずは、啓蒙思想、自由民権運動、キリスト教の受容、国粹主義、社会主義、近代的自我をめぐる文学・哲学思想、大正期の政治思想や社会運動などに大別して、それぞれの重要人物とその思想を再確認しておこう。

【設問別解説】

問1 [13] ④

内村鑑三(1861~1930)は、日清戦争を支持したものの、日露戦争開戦に際しては、それまでの姿勢を反省し、「余は日露非開戦論者であるばかりではな

い。戦争絶対廃止論者である」(「戦争廃止論」)と述べ、戦争を支持する熱狂的世論に対し、キリスト教信仰に基づく非戦論を展開した。なお、内村に関しては、札幌農学校を卒業する際に、新渡戸稻造(1862~1933)らとともに、「二つのJ」、すなわちイエス(Jesus)と日本(Japan)に生涯を捧げることを誓ったこと、無教会主義の立場をとったこと、キリスト教信仰を武士道という日本の精神的土壤の上に根づかせようとしたことも確認しておこう。

①幸徳秋水(1871~1911)は、キリスト教徒ではない。彼は、中江兆民(1847~1901)の影響の下に急進的な自由主義者として出発し、のちに社会主義者となった。彼は堺利彦(1870~1933)とともに平民社を設立し、『平民新聞』を発刊して日露戦争反対などの論陣を張ったことでも知られている。なお、幸徳は後に平民社を解散して渡米し、帰国後は無政府主義を唱えたが、大逆事件に連座して刑死したこと(じじっせいき)覚えておこう。②帝国主義を批判した『廿世紀之怪物帝国主義』の著者は幸徳である。安部磯雄(1865~1949)は、日本社会主義運動の先駆者であり、キリスト教的な人道主義の立場から社会主義を活発に宣伝した。1901年には日本最初の社会主義政党である社会民主党の結成に参加した。ただし、同党は即日解散の処分を受けた。また、彼も日露戦争開戦に際しては非戦論を唱えた。③河上肇(1879~1946)ではなく片山潜(1859~1933)の説明である。京都帝国大学教授であった河上は『貧乏物語』を著し、人道主義的な立場から貧困問題の解決策を探ったが、後にマルクス主義に基づいた社会主義の思想と運動を展開した。なお、片山は、キリスト教徒であるとともに社会主義者であり、社会民主党の結成に参加している。

問2 [14] ③

福沢諭吉(1835~1901)は、1885年(明治18年)に新聞『時事新報』紙上において、日本は中国・朝鮮などのアジア諸国と絶縁して、西洋の文明国と行動をともにすべきであるとする脱亜論を主張したと言われており、この記事の中では「日本はアジア諸国と連帶する必要がある」とは說いていない。

①福沢は、封建的な秩序とこれを支える儒学思想を批判し(「門閥制度は親の敵で御座る」)，西洋近代の自然権思想に基づいて、人は皆生まれながらにして天から等しく人権が与えられているとする天賦人権論を主張した。②福沢は、「東洋の儒教主義と西洋の文明主義と比してみると、東洋になきものは、有形において数理学と、無形において独立心と、この二点である」と述べて、西洋から学ぶべきは、単

なる文明の外形ではなく、有形の数理学(合理的・実証的な西洋の学問)と無形の独立心であると説いた。そして、④福沢は、独立自尊の精神に基づいて生活を営むためには、実学、すなわち数理学をはじめ商業や工業など実業に役立つ西洋の学問を学ぶ必要があることを説き、それらを学んだ者と学ばない者との間には貧富の差が生まれるとした。

問3 [15] ②

和辻哲郎(1889~1960)は、「人間」は孤立した個人的な存在ではなく、また、社会に埋没した存在でもなく、常に人ととの関係においてのみ「人間」たりうる間柄的存在であると説いた。そして彼は、『人間の学としての倫理学』などの著作において、個人的であると同時に社会的であるという二重構造を有する存在として人間を捉え、個人と社会との相互作用において、倫理が成り立つと主張した(和辻哲郎については、第5問・問6の解説も参照)。

①西田幾多郎(1870~1945)は、『善の研究』において、眞の自己とそれに呼応したより深くより強い実在の統一力との合一に、人間の根本的なあり方を見いたした。西田は、その合一の場を主觀と客觀が未だ区別できない主客未分の経験であるとし、それを純粹経験(直接経験)と呼んだ。したがって、純粹経験は「主觀と客觀が分化した状態で生じる直接的・根本的経験」ではない。③鈴木大拙(1870~1966)の説明である。『日本的精神』などで知られる彼は、大乗仏教についての著作を英語で著し、特に日本の禪文化を海外に広く紹介した仏教学者である。④小林秀雄(1902~1983)の説明である。『無常といふ事』などで知られる彼は、日本の近代批評の確立者である。

問4 [16] ①

資料文は中江兆民の『一年有半・統一年有半』(岩波文庫)からの引用である。この資料文は漢学の素養を下地として書かれているため古めかしい文章に見えるが、脚注を参考に丁寧に読めば解答できるだろう。兆民は「己が學習せし所の泰西某々の論説をそのままに輸入し、いはゆる渾淵に箇の棗を呑めるもの、哲学者と称するに足らず」と述べております、①の内容と合致する。

②資料文から「早急にカントやデカルトの思想を輸入して」とは読み取れず、兆民は西洋思想を丸のみにすることを批判している。そもそも、兆民が『一年有半』を著したときには、カントやデカルトの思想は、兆民が「○○某」と名前を挙げて批判した井上哲次郎(1856~1944)や加藤弘之(1836~1916)等によって、すでに日本に紹介されている。③「カ

ントやデカルトや実に独仏の誇なり、…これ閑是非にして閑是非にあらず」と述べており、「その国民の品位と哲学の有無との間には何の関係も見いだせない」のではなく、一見すると無関係に見えるが関係性を見いだせると論じている。④前半部分は正しいが、資料文から「まずはカントやデカルトの思想を深く研究すべきである」とは読み取れず、むしろ兆民は西洋思想を丸のみにすることを批判している。

問5 [17] ②

西村茂樹(1828～1902)は、福沢諭吉らとともに明治初期に設立された日本最初の近代的な啓蒙学術団体である明六社の創設に参加したメンバーの一人である。しかし、後には国家主義的な思想傾向を示して、西洋の風俗の模倣に走る極端な欧化主義を批判し、『日本道德論』を著して儒学の道徳を基礎にした国民道徳の興隆に努めた。したがって、②が正解となる。

なお、『東洋の理想』は、「アジアは一つ」という有名な言葉で始まる岡倉天心(1862～1913)の著作である(天心の事績については、問7の④の解説を参照)。『国民之友』は、徳富蘇峰(1863～1957)によって創刊された日本初の総合雑誌である。蘇峰は当初、一般民衆の立場で西洋文化を受容し、下からの日本の近代化を推進しなければならないと主張したが(平民政義)，後には国家に最高の価値を置く国家主義を唱えた。また、国粹主義とは、広義には国家主義・排外主義のことを指す。しかし、狭義には、三宅雪嶺(1860～1945)や志賀重昂(1863～1927)らが唱えた国粹保存主義を指すこともある。国粹保存主義とは、日本の文化的伝統が持つ美点を生かしながら西洋文化を主体的に取捨選択すべきであるという考え方である。

問6 [18] ④

夏目漱石(1867～1916)は、ロンドン留学中に精神的な不安に苦しんだ体験から、他人のまねをし、他人に迎合する他人本位の生き方の空しさを痛感し、自分の内面的な要求に従って生きる自己本位の生き方が大切であると考えるようになった。そして、「自己の個性の発展を仕遂げようと思うならば、同時に他人の個性も尊重しなければならない」(『私の個人主義』)と述べて、自己本位の立場が単なる利己主義とは異なることを強調した。しかし、自己本位に根ざす個人主義の実現は容易ではなく、自己の確立とエゴイズムの克服との間で苦しんだ漱石は、最晩年には、小さな私を去り、大きな自然に従う則天去私の境地を求めるようになったと言われる。

①民本主義とは、吉野作造(1878～1933)が唱えたもので、主権が天皇にあることにはあえて異を唱えず、主権を運用する目的・方法について十分な民意の反映を求めようとする考え方である。この考えは多くの知識人からの支持を受け、普通選挙や政党政治を実現する原動力となった。②漱石は、他人本位ではなく自己本位を求めた。③文芸思潮における自然主義とは、人間の生の醜悪さや瑣末な相までをもありのままに描出すべきだとする主義主張である。日本においては、『破戒』などで知られる島崎藤村(1872～1943)が自然主義文学の代表的作家である。

問7 [19] ③

柳田国男(1875～1962)は、日本の社会に広く深く根を張っている生活習慣・しきたり・言い伝え・行事・祭祀・信仰・言葉などの由来と変遷に注目し、民間伝承や習俗の研究に取り組んで、日本文化の基層を形成してきた常民(名もない庶民)の生活の歴史を明らかにする民俗学を提唱した。具体的には、遠野盆地から遠野街道にまつわる民話を筆記・編纂し自費出版した『遠野物語』などによって、常民に受けつながれてきた生活の思想の中に日本人の文化の特質を探ろうとしたのである。

①折口信夫(1887～1953)の説明である。彼は柳田のもとで学び、国文学に民俗学を導入し、信仰と文芸の関係をめぐって、独創的な考察を開いた。折口によれば、日本における神の原形は、海のかなたの理想郷である常世國ときよのくにから、ときを定めて村落に訪れる存在(客人)である。②柳宗悦(1889～1961)の説明である。彼は生活に即した民芸品に注目して「用の美」を唱え、民芸運動を起こした。また、朝鮮美術に注目し、その関係もあって1919年の朝鮮半島で勃発した独立運動に際しては、「反抗する彼らよりも一層愚かなのは、圧迫する我々である」と述べ、当時、韓国を併合していた日本政府のエスノセントリズム的政策を批判した。③近代日本における美学研究の開拓者である岡倉天心についての説明である。フェノロサ(1853～1908)に大きな影響を受けた彼は、東京美術学校(現・東京芸術大学)や日本美術院の創設に関与し、日本美術の復興と美術家の養成に力を尽くした。また、美術史・美術評論家としても多岐にわたる啓蒙活動を行い、『東洋の理想』や『茶の本』など英文による著作によって、アジアや日本の思想や美術を海外に紹介した。

問8 [20] ②

日本の政治学を学問として確立し、第二次世界大戦後の民主主義思想を主導した丸山真男(1914～96)は、戦前の日本の政治のあり方を「無責任の体系」

と呼んで批判した。また、日本は明治の開国以来、西欧の学問の根底にあって学問を支えている思想や文化を切り捨て、個別化・専門化された近代学問を表面的に受容してきた結果、近代日本は、共通の言葉、共通の判断基準を失った「タコツボ型」化した社会となったと批判した。そして、「タコツボ型」化した各集団は、やがて少数者意識・被害者意識を持つという奇妙な状態に陥っていると論じた。そして、それらを乗り越え、日本が西洋近代の市民社会的な民主主義を真に実現するには、近代的な制度を支える自主独立の精神をそなえた個人を創造することが必要だと説いた。

①坂口安吾(1906～55)の説明である。彼は、純文学のみならず、歴史小説、推理小説、文芸から時代風俗にまで広範に材を探るエッセイなど、多彩な領域にわたって活躍した文筆家。彼は、終戦直後に発表した『墮落論』において、眼前の出来事にいたずらに惑わされず、安い逃げ道を作ることなく「墮ちよ」と説いた。すなわち、「まずは裸の自己を直視することから始めよ」と説いたのである。②宮沢賢治(1896～1933)の説明である。彼は、詩人・童話作家として知られているが、農業研究者・農村指導者としても活躍した。代表作は『銀河鉄道の夜』や『注文の多い料理店』など。「世界がぜんたい幸福にならないうちは個人の幸福はあり得ない」という言葉は、晩年の『農民藝術概論綱要』の序論の中の言葉。④北一輝(1883～1937)の説明である。彼は、『日本改造法案大綱』において、クーデターと軍部独裁によって、天皇と国民を直結させるべきであると主張した。この思想に影響を受けた青年将校がクーデター未遂事件(二・二六事件)を起こしたため、その理論的首謀者とされ、1937年に処刑された。

問9 [21] ③

本文を注意深く読めば、正解できる。特に[A]の直前にある「『西洋文明』へ仲間入りすることを願望しつつも、過去への郷愁を捨てられない日本人の戸惑い」や、最後の文にある「こうした戸惑いが、やがては日本社会を無謀な戦争の淵へと誘った」という記述に注目しよう。また、本文で論じた『吾輩は猫である』のテーマを考えると、明治の人々が西洋文明の急激な流入によって、どうすればよいのか戸惑っている状況も分かるだろう。それは、本文第4段落を見れば分かるように、西洋文明を批判する珍客に対して、西洋かぶれの苦沙弥先生が、あばたに象徴される西洋文明が流入する以前の過去に固執し、何も反論しなかったように、西洋主義者・崇拜者さえも例外ではなかった。

以上のことを考えると、①や②のように、「日本人の誰もが、今後進むべき道は西洋に追随して文明を発達させていく道だと考えていた」とは断定できない。漱石を始め明治の多くの人々には戸惑いがあったのである。また、苦沙弥先生(西洋思想を受け入れようとする漱石の分身)を冷ややかに見る「吾輩(西洋思想の受容を批判的に見る漱石の分身)」も、最後には、ビールに象徴される西洋の物質的な文明の波に愚弄されて、念佛を唱えながら何もできないまま死んでいくのであるから、②や④のように「吾輩だけは悟っていた」とは考えられない。したがって、③が正解となる。

第4問 西洋の現代思想

【出題のねらい】

本問は、科学技術の進歩がもたらした成果と問題点の双方を概観する本文を手がかりにしながら、実証主義・プラグマティズム・実存主義・社会主義など、主として西洋現代の思想について、基本的な知識・理解を試すことをねらいとしている。あわせて、センター試験の出題傾向を踏まえ、資料読解問題や本文の趣旨読み取り問題も出題した。

【設問別解説】

問1 [22] ④

空欄 [a] にはコント(1798～1857)が、また空欄 [b] には実証が入る。コントは、人間の知識・精神は神学的段階・形而上学的段階を経て実証的段階へと進歩し、それに応じて社会も、軍事的段階・法律的段階を経て産業的段階へと進歩するとした。また、社会学の創始者として知られるコントは、社会学を最も具体的で複雑な現象を扱う困難な学問であると位置付けつつ、先行する自然科学が実証的段階に達したように、社会学を実証的な学問にすべきであると説いた。なお、クーン(1922～96)はアメリカの科学史家・科学哲学者で、科学の歴史とは連続的な進歩ではなく、対象を考察する理論的枠組み(パラダイム)の転換として捉えられることを主張した人物。

空欄 [c] には、産業が入る。スペンサー(1820～1903)は、進化の法則を、宇宙から人間社会までのあらゆる分野・領域を貫くものと考え、社会進化論を提唱した。彼は、社会の進化を、全体優位で等質な軍事型社会から、機能分化して個人優位の産業型社会への移行として捉え、それは、個人が社会的権威から解放され自由を獲得していく過程でもあるとした。したがって、④が正解となる。

問2 [23] ④

アのジェームズの主張内容はBである。ジェームズ(1842～1910)は、知識や理論の真偽、行為の善悪などは、それらが現実の環境の下で実践されたときに生ずる結果が、私たちの生活に有用か否かによって決まると考えた(真理であるから有用、有用であるから真理)。ジェームズによれば、「神が存在する」という命題は、それを信じる人にとっては心に安らぎを与えてくれる点で有用であり、それゆえにこそ真であり善なのである。

イのパースの主張内容はCである。例えば、ある物体が「柔らかい」というのはどういうことなのかを実際的な「行為とその結果」というかたちで示すなら、「その物体に力を加えると簡単に変形する」と、その意味内容を明確にすることができるであろう。プラグマティズムの創始者として知られるパース(1839～1914)は、このように、ある物事についての観念の意味は、抽象的な思考ではなく、その観念の対象に向けて行動したときにもたらされる結果によって明らかにされると説いた。

ウのデューイの主張内容はAである。デューイ(1859～1952)は、人間の知識や理論を、実際の生活上において生ずる様々な困難を解決するための道具であると考えた(道具主義)。生活上の困難に直面した場合、人間の知性は、過去を振り返って従来の習慣を修正し、将来を見通して新たな習慣を打ち立てようとする。デューイによれば、人間の知性はこうした創造的な働きを持つものであり(創造的知性)、その働きを通じて新たな人間性を作り上げていくことが善なのである。したがって、④が正解となる。

問3 [24] ⑧

フーコー(1926～84)は、権力に従順な人間を生み出す近代社会のあり方を批判的に考察した。彼によれば、近代社会は、軍隊・学校・工場・裁判所・監獄・病院などの施設や制度を通じて人間を規格化し、様々な規律と訓練のもとに、自ら権力の統制に服する人間を作り上げてきた。真理や正常とされるものは、こうした仕組みの中で形成されたものであり、規格から外れたもの、権力の統制からはみ出するものは、非理性的な「異常」「狂気」を孕む存在として社会から排除されてしまうのである。

①「現実の社会や歴史の背後にあって、これらを生み出し支配するものが絶対精神」であると考え、世界史を絶対精神(世界精神)が自己展開する過程であると捉えたのはヘーゲル(1770～1831)である。②キルケゴール(1813～55)の実存の三段階のうち、第一の美的実存から第二の倫理的実存に至る過程を念頭に置いた記述である。④「繊細の精神」とは、パ

スカル(1623～62)の言葉。パスカルは、物事を客観的に分析し論理的に思考する幾何学の精神では人生の諸問題を取り扱うことはできず、人生についての考察を深めるためには、人間の微妙な心の動きを直観的に捉える繊細の精神が必要であると説いた。

問4 [25] ②

「『生命への畏敬』という理念を説き、自らが『生きようとする生命に取り囮まれた生きようとする生命』であるという真実に目を向け、あらゆる生命を価値あるものとして尊ぶべきことを説いた」のはレヴィナスではなく、シュヴァイツァー(1875～1965)である。レヴィナス(1906～95)は、リトニア出身のユダヤ系の哲学者で、人間は、他者の苦痛に対して無限の責任を引き受けることによってのみ、倫理的主体としての自己を見いだすことができると説いた。

①マザー・テレサ(1910～97)は、インドのコルカタ(カルカッタ)のスラム街などで、貧しい人、病気や障害に苦しむ人など、当時、一般社会から顧みられることのなかった人々のための奉仕活動を続けた。③ガンディー(1869～1948)は、自らの行動の目的を真理の把持(サティヤーグラハ)であるとし、その具体的実践として自己浄化(プラスマチャリアー)と非暴力・不殺生(アヒンサー)を掲げた。また彼は、アヒンサーに基づいて、非暴力主義によるインド独立運動を指導した。④キング牧師(1926～68)は、ガンディーの非暴力主義に感銘を受け、バス・ボイコット運動や公民権運動など、人種差別撤廃を目指す非暴力の運動を指導した。また彼は、1963年の「ワシントン大行進」において行われた演説(「私には夢がある」)で、人々が人種によって差別されることなく平等に取り扱われ、各人が人格によって評価される社会の到来を、困難を乗り越えて達成すべき夢として示した。

問5 [26] ②

マルクス(1818～83)は、人間を、孤立した存在ではなく他者との社会関係の中で生きる類的存在として捉えた。そして、労働を通じて他者と連帯しながら自己を実現していくところに類的存在としての人間の本質があると考えたのである。ところが、資本主義社会にあっては、生産手段を持たない労働者は自らの労働力を商品として資本家に売って生活するしかない。そこでは、労働は単に個人的な生存の手段となり、もはや類的存在としての人間の活動ではなくになっている、とマルクスは指摘した(類的存在からの疎外)。

①実存主義の哲学者であるサルトル(1905～80)

は、人間は、ナイフのような人間の製作物とは異なる、^{あらかじめ}その本質が定まった存在ではなく、「今ここにある」という具体的・現実的な存在がまず先にあって、自分がどのような人間であるか、自分の未来はどのようなものであるかは、各人が自由に選び取るのだと考えた(実存は本質に先立つ)。サルトルによれば、人間は、常に将来の可能性へと開かれ、自らの行動を企てる存在であるという意味で、**投射的**存在と呼ばれる。⑧実存主義の哲学者であるハイデッガー(1889～1976)は、人間について、存在するということを了解し、存在の意味について自ら問うことができる特別な存在であると考えた。こうした人間のあり方を、彼は現存在と呼んだ。④現存在としての人間は世界の内にあって、様々な事物と関わりながら存在している。こうした存在構造を、ハイデッガーは**世界-内-存在**と呼んだ。

問6 [27] ④

ヤスパース(1883～1969)は、死・苦しみ・争い・罪責などの限界状況に直面したとき、人間は自己の有限性に絶望し挫折するが、同時に、自己や世界のすべてを超える**包括者**に出会い、自らの生き方について決断する実存としての自己に目覚めると説いている(実存開明)。彼によれば、実存に目覚めた者どうしは、孤独と絶望に耐えながらも、互いに自己を率直にさらけ出し、愛を持って真剣に問い合わせ合う**実存的交わり**を取り結ぼうとする。それは愛しながらの鬭いであり、人間は、こうした他者との真剣な交わりを通じて、真の自己に達することができるという(「彼が彼自身でなければ、私は私自身になり得ない」)。

①キルケゴールの考え方。実存の三段階のうち、第三の宗教的実存の段階では、人間は神の前に**単独者**として立ち、自己を神の手に委ね信仰に生きることを決断することによって(信仰への飛躍)，眞の自己を回復する。②ニーチェ(1844～1900)の考え方。ニヒリズムの世界を愛し(運命愛)，力への意志をもってたくましく生きるのが、彼の理想とする超人の生き方である。⑧ハイデッガーの考え方。現存在としての人間は、日常生活の中で、周囲の状況に自分を合わせ主体性を失った「ひと(ダス・マン)」となっているが、死の自覚を通じて、はじめてかけがえのない本来の自己のあり方に立ち返るようになるといふ。

問7 [28] ②

「資本家や科学者や労働者などの**産業者**が自主的に管理・支配する社会を、合理的に経済が統制される**理想社会**として構想した」のは、フーリエではな

く、サン・シモン(1760～1825)である。フーリエ(1772～1837)が理想的な共同社会として構想したのは、ファランジュと呼ばれる、農業を基盤とした生活共同体である。

①オーウェン(1771～1858)についての記述として正しい。彼は、自ら経営するニューラナークの紡績工場で労働条件の改善など種々の改革に取り組み、後にアメリカに渡ってニューハーモニー村という自給自足の共同社会の建設に取り組んだ(この試みは結果として失敗に終わる)。なおサン・シモン、フーリエ、オーウェンらの構想は、後のエンゲルス(1820～95)によって、社会の科学的分析などに欠ける空想的社会主义であると批判された。③ウェップ夫妻(妻ベアトリス1858～1943・夫シドニー：1859～1947)、バーナード・ショウ(1856～1950)、④ベルンシュタイン(1850～1932)に関する記述として正しい。

問8 [29] ①

資料文では「自分の技能を活かすことで満足を得ることができれば」「仕事の喜びというものは、何らかの専門的な技能を伸ばせる人なら誰にでも感じられる」と説明されており、さらに、後半の植字工の例では「自分の技術を使用するという実際の楽しさから喜びを得た」とされていることから、①の記述が最も適当だと判断できる。

②資料文には、「他人との競争に勝つ」ことが「幸福をもたらす」ということを示す内容はない。③資料文には「世間から称賛され」ることや「自己の存在を承認される」ことが、人間の幸福のいちばん大きな要素であることを示す内容はない。むしろ逆に、「世間一般の称賛など考えず、自分の技能を活かすことで満足を得ることができれば」、専門的技能を伸ばすことができる人に仕事の喜びが感じられることに言及する部分がある。④「肉体を用いる職業では楽しみが得られないが、科学者が職業を通じて喜びを引き出せる」という記述は、資料文中の「仕事を通して喜びを引き出せるのは著名な科学者だけではない」という部分や、「上手なダンサーがダンスから得る楽しさ」に言及する部分と相容れない。

問9 [30] ③

本文は、科学技術の進歩がもたらした近代以降の動向について概観し、それが、生産技術の発展や資本主義経済の発達を通じて生活の豊かさと利便性をもたらしてきたという積極的側面と、人間を社会の単なる構成部品と化してしまったという負の側面を持つことを示しつつ、先人たちの思想によっても浮

き彫りにされているこの両面性について、しっかりと自覚すべきことを説く内容となっている。こうした全体の趣旨に合致する選択肢は③である。

①近代の歴史の積極的な意義のみを強調する点において、上述の趣旨に合致しない。②近代以降の動向について、負の側面のみを指摘していることに加え、行動的な進取の精神と科学的な思考とを基盤とするプラグマティズムを、人間の個別性や主体性の回復を説く実存主義と混同している点で、本文と喰い違う記述となっている。④「私たちにとってすでに過去となった近代の歴史を振り返ることは、私たちの現在の幸福を追求する条件とは言えない」という記述は、近代の両面性をしっかりと自覚することの上に「一人ひとりの幸福が目指されるべき」だとする、本文最終段落の内容に反する。

第5問 環境と生命をめぐる倫理

【出題のねらい】

本問では、技術の発展と倫理の関係について議論している高校生の会話を題材に、生命の尊厳を脅かしかねない技術の進展や、技術の活用によりもたらされた環境破壊の問題点、情報化社会の進展によりもたらされた恩恵と問題などについて出題した。近年のセンター試験では、臓器移植法や環境保全のための会議の内容などについてもよく問われる所以、知識を確実に習得しておきたい。また、センター試験で頻度の高い、本文の内容を読み取る問題や、論理的思考力で判断する問題も出題した。

【設問別解説】

問1 [31] ④

遺伝子操作の技術を農産物に応用して、病気に強い品種や多収穫が期待できる品種を作り出すことなどが試みられている。こうして作り出された遺伝子組換え作物に関して、その安全性が最終的に確認されていないことなどから、日本では、特定の遺伝子組換え作物や、遺伝子組換え作物を原料とする加工食品について、その旨を表示することが法律で義務づけられている。しかし、遺伝子組換え作物の「販売が一切禁止されている」ということはない。

①ある細胞あるいは個体から、それと遺伝的に全く同じ細胞・個体を増殖させる技術がクローン技術であり、クローン技術により生み出された細胞・個体をクローンと呼ぶ。クローン技術を人間に応用して、人間のクローンの作製も理論的には可能だとされるが、その作製には倫理上大きな問題があるため、日本では2000年に制定されたヒトクローン技術規制法により、人間のクローンの作製が禁止されて

いる。②代理出産は、第三者の女性が、依頼者の夫婦のために、自らの卵子と子宮あるいは子宮のみを提供して出産することである。アメリカでは、代理出産で生まれた子の養育権が、依頼者である女性にあるのか出産した女性にあるのかが裁判で争われたことがある。③胎児の段階や受精卵の段階で、遺伝子上の障害の有無や性別などを診断するものとして、出生前診断がある。この診断は、健康な子どもや特定の性別の子どもを望む親の願いをかなえるものと言える反面、例えば何らかの異常が発見された胎児の中絶を認めることは、障害のある子どもの存在を否定するという命の選別につながるという批判がある。

問2 [32] ④

ア 脳死とは、脳幹(呼吸など生命維持をつかさどる脳の中枢部分)を含むすべての脳の機能が、不可逆的に停止した状態を言う。脳幹以外の脳の機能が停止しているが、脳幹の機能は保たれている植物状態とは区別される。

イ 1997年に制定された臓器移植法により、脳死と判定された者からの臓器の摘出や移植ができるようになった。同法は2009年に改正されたが、改正後の現行法では、死後に移植に用いられる臓器を提供する意思を書面で示す際に、その臓器を親族に対し優先的に提供する意思を表示することができるようになった。

ウ 旧臓器移植法の下では、15歳未満の者から移植に用いられる臓器の摘出を行うことはできなかつた。しかし、現行法の下では、15歳未満の者から移植に用いる臓器を摘出することが認められている。

したがって、④が正解となる。

問3 [33] ①

アメリカの海洋生物学者レイチェル・カーソン(1907~64)は、その著書『沈黙の春』において、DDTなどの農薬の大量散布が生態系の破壊や生物の死滅をもたらすと警告した。

②「地球上空のオゾン層を破壊し」ているのは、二酸化炭素ではなくフロンである。噴霧剤や冷媒などで広く用いられてきた人工の気体であるフロンは、地球上空の成層圏にあるオゾン層を破壊する作用がある。オゾンには太陽から発せられる有害な紫外線を吸収する働きがあるが、オゾン層が破壊されることで、地表付近に届く紫外線の量が増加し、健康被害や自然環境への悪影響が懸念されている。③世代間倫理とは、現在の世代は未来の世代の生存に関して責任があるという考え方であり、地球環境の保全は、この観点からその重要性が説かれることが多

い。「将来の世代の利益よりも現在の世代の利益を重視」するのは、世代間倫理の考え方には合致するものとは言えない。④酸性雨は、化石燃料の燃焼などによって発生する窒素酸化物(NOx)や硫黄酸化物(SOx)などが、大気中で反応を起こすことでもたらされる。酸性雨は世界各地で観測され、建造物や自然環境に被害を与えており、「アジアでは発生していない」というのは事実に反する。

問4 [34] ①

ホスピスとは、末期患者に対して、その身体的苦痛を軽減したり、死までの期間を充実したものとするためのターミナルケア(終末期ケア)を行う施設や在宅ケアのことである。いたずらに延命措置を講じるよりも、患者に残された日々の生命の質(クオリティ・オブ・ライフ)を重視する観点から、ホスピスの重要性が指摘されている。

②死期が迫り回復の見込みがない患者を、その苦痛から解放するために、患者を死に至らせるのが安楽死である。安楽死には、治療を中止する消極的安楽死と、薬物を投与するなどして死期を早める積極的安楽死がある。このうち積極的安楽死については、オランダやベルギーなど、ごく一部の国では法律で認められているが、それ以外の先進国では「法律により容認されている」という事実はない。③上述の①の解説でも言及したクオリティ・オブ・ライフを重んじる観点からは、自分の望む生き方を全うし、自らの生きる意味を追求して死を迎えることが重視される。例えば、生命維持装置などの機器により不自然に「生かされている」ことを良しとしない人の意思が尊重され、自然な死を迎えるべく過剰な延命措置が避けられるということが考えられる。「クオリティ・オブ・ライフを尊重するために、あらゆる手段を尽くして患者の延命を図る医療」は、こうした患者の意思を無視するものであり、クオリティ・オブ・ライフを重視する立場から行われるものではない。④医師が病状や治療の内容などを患者に十分に説明し、それをもとに患者が治療方法などを自ら選択することをインフォームド・コンセントという。医療の場における患者の権利を守るためにも、重要な概念である。「治療の危険性や副作用についての説明は行うべきではない」というのは、患者に対して必要な情報を提示することを怠るものなので、インフォームド・コンセントに明らかに反する。

問5 [35] ②

1992年にブラジルのリオデジャネイロで開催された国連環境開発会議(地球サミット)では、「持続可

能な開発」が共通理念として掲げられ、地球環境の保全に関する取組みについて各国の協議が行われた。その成果として、「持続可能な開発」を進展させるための基本原則をうたうリオ宣言や、21世紀に向けての行動計画であるアジェンダ21などが採択された。

①1972年にスウェーデンのストックホルムで開催された国連人間環境会議のスローガンは、「かけがえのない地球」である。なお、「宇宙船地球号」は、アメリカの経済学者ポール・リヴィングなどが、地球は宇宙船のように有限で閉じた環境であることを指摘した言葉。②地球環境の保護について協議する場において、先進国は環境保全を優先する姿勢で望むことが多い一方、発展途上国は自国の経済水準を引き上げたいという意図から、環境保全よりも経済成長を優先する姿勢で臨むことが多い。③上述の①の解説でも触れたように、「かけがえのない地球」をスローガンに掲げたのは、国連人間環境会議である。なお、国連環境計画(UNEP)の設立が決められたのも国連人間環境会議である。

問6 [36] ④

「風土」について論じたのは石牟礼道子ではなく、和辻哲郎である。また、選択肢の記述は和辻の風土論についての説明としても誤っている。和辻哲郎は、地域により異なる文化や自然環境などから形成される「風土」の存在を指摘した。彼によれば、風土は、そこに住む人々の文化や慣習の形成に影響を及ぼすものであり、次の三つに類型化できると言う。一つめは、南アジアや東アジアで見られるもので、猛威をふるうと同時に豊かな恵みをもたらす自然の下で受容的・忍従的な性格が育つモンステーン型の風土である。二つめは、アラビアなどに見られるもので、死と隣り合わせの厳しい自然の下で対抗的・戦闘的な性格が育つ砂漠型の風土である。そして三つめが、ヨーロッパに見られるもので、おだやかで規則的な自然の下で合理的な精神が育つ牧場型の風土である。したがって、「『風土』は世界共通」であるという選択肢の記述は誤り。なお、石牟礼道子(1927~)は、『苦海浄土—わが水俣病』(1969年)を著して、方言を駆使した独特の文体で水俣病患者の声を代弁し、日本近代の文明病を浮き彫りにしようとした作家である。

①動植物や生態系を尊重する立場から、自然にも人間と同様の生存権(自然の生存権)があると主張されることがある。この考え方方が背景の一つとなつて、日本では、アマミノクロウサギを原告とし、人間をその代理人として訴訟が起こされたことがあ

る。②明治時代の政治家である田中正造(1841～1913)は、栃木県で起きた足尾銅山鉱毒事件に際し、帝国議会でその問題を取り上げたり天皇に直訴を試みるなど、鉱毒に反対する運動に住民とともに取り組んだ。③植物学者・民俗学者の南方熊楠(1867～1941)は、明治政府の神社合祀令に基づく森林伐採に反対した。神社合祀令は、地域共同体の中心であった神社を整理・統合し、神社を政府による支配の下に置くことを図るものであった。南方によれば、神社の森(鎮守の森)は、地域の人々により祀られる神が宿る聖なる森であり、統合により廃される鎮守の森を伐採することは、地域の文化や風習を破壊するものであり、また、貴重な生態系を守る観点からも、神社合祀を進めるべきでないと主張した。

問7 [37] ⑥

ア 「環境に配慮した活動をどの程度行ったか」についての報告書を公表することは、環境への取組みについての情報を提供することになるので、Cの情報的手法の例と言える。

イ 買い物袋の持参はレジ袋の使用を減らすことになり、環境保全につながることと言える。買い物袋を持参することで集めたポイントシールで景品と交換できるというのは、環境保全につながる行為を行った者に経済的利益を提供するものであるから、Bの情報的手法の例に当たる。

ウ 汚染物質を「一定量以上排出した企業」に罰則を科すのは、環境保全のための環境基準を設定しているものであるから、Aの規制的手法の例に当たる。

エ 「環境の保全に貢献する」製品であるというラベルをつけて販売するのは、消費者に環境についての情報を提示しているものなので、Cの情報的手法の例である。したがって、⑥が正解となる。

問8 [38] ④

Yさんは、「技術の進歩によって様々な延命措置が可能になった」、「技術は確かに医療の分野で大きく貢献した」などと、技術を肯定している一方、「技術の発展によって失われてしまうものもあるはず」と発言していることから、技術が何らかの問題を生み出すことがあると考えている。一方Xさんは、技術を活用することで「何か問題が起きたら、別の技術を開発することで対応」できるなどと、技術の進展で技術の問題は解決可能であると考えている。こうしたXさんの考えをYさんは、「技術が進歩するだけで、課題がクリアできるとは思わないけど」と批判している。

①Xさんは、「自分がかかった病気を治してもらって、できるだけ長生きしたいなあ」と発言しているところから、医療技術の進展で様々な治療が可能になってきている現状を好意的に捉え、それが自分の延命を実現してくれることに期待をかけている。しかし、この選択肢にある、「技術さえあれば、人類に悪影響を及ぼすような問題はまったく生じない」という趣旨の発言を、Xさんがしていることは読み取れない。②Yさんは技術のもたらす問題点を意識している。しかし、その問題を解決するために、「古くからの人間の生活様式を復活させることが重要である」という内容の発言は、本文にない。③Xさんは、「『新たな技術を活用することによる不利益よりも、利益のほうが大きい』ってことだってあるはずだよ」と発言していることから、技術が何らかの不利益をもたらすことを認識していると考えられる。しかし④の解説でも触れたように、そうした不利益はさらなる技術の発展で解決ができるとXさんは考えているのであって、「人間の尊厳の確保や環境保全を図るための理念を全人類が共有」することで解決ができると考えているわけではない。

＝＝＝ 政治・経済 ＝＝＝

【解答・採点基準】

(100点満点)

問題番号	設問	解番 答号	正解	配点	自己採点
第1問	問1	1 ④	3		
	問2	2 ④	2		
	問3	3 ②	2		
	問4	4 ②	3		
	問5	5 ④	2		
	問6	6 ②	2		
	問7	7 ②	3		
	問8	8 ④	2		
	問9	9 ②	2		
	問10	10 ⑥	3		
第1問 自己採点小計		(24)			
第2問	問1	11 ②	3		
	問2	12 ②	2		
	問3	13 ④	3		
	問4	14 ②	3		
	問5	15 ①	3		
	問6	16 ②	3		
	問7	17 ④	2		
第2問 自己採点小計		(19)			
第3問	問1	18 ④	3		
	問2	19 ①	3		
	問3	20 ③	2		
	問4	21 ③	3		
	問5	22 ④	3		
	問6	23 ①	3		
	問7	24 ④	2		
第3問 自己採点小計		(19)			
第4問	問1	25 ④	2		
	問2	26 ③	3		
	問3	27 ④	3		
	問4	28 ④	3		
	問5	29 ④	3		
	問6	30 ②	2		
	問7	31 ②	3		
第4問 自己採点小計		(19)			

問題番号	設問	解番 答号	正解	配点	自己採点
第5問	問1	32 ②	2		
	問2	33 ④	2		
	問3	34 ⑦	3		
	問4	35 ④	3		
	問5	36 ③	3		
	問6	37 ④	3		
	問7	38 ③	3		
第5問 自己採点小計				(19)	
自己採点合計				(100)	

【解説】

第1問 今日の国際社会の課題

【出題のねらい】

本問は、国際法や国際機構、地域紛争や軍縮、地球環境問題や人口・食料問題など、現代の国際社会が直面する諸問題をめぐる事柄について、基本的な知識と理解を試すことをねらいとしている。

【設問別解説】

問1 1 ④

まず、今日の世界においてエネルギー供給量が群を抜いて大きいのは、アメリカと中国である。このことから、アメリカと中国はAあるいはBに当たると判断でき、残るCが日本であるとわかる。次に、中国はとりわけ1990年代以降、著しい経済成長を遂げており、これに伴ってエネルギー供給量も増加してきている。このことから、この期間の増加がBよりも著しいAが中国であると判断でき、したがってBがアメリカであるとわかる。

問2 2 ④

国連の主要六機関の一つである信託統治理事会は、信託統治地域の独立を支援してきたが、最後の信託統治地域であったパラオが1994年に独立したことによって、現在は活動を停止している。

①安全保障理事会は、平和と安全の維持・回復のために、軍事的強制措置の実施を決定することができるが、非軍事的強制措置などその他の決定をすることもできるので、「軍事的強制措置の実施を直ちに決定しなければならない」という記述は、不適当。②「大国一致の原則がとられ」ているのは、「総会」ではなく安全保障理事会における実質事項の決議。総会では一国一票による多数決制がとられている。③経済社会理事会では、「一定の資格を満たしたNGO(非政府組織)」に協議資格が認められ

ているものの、国家ではないNGOが「議決権行使」することはできない。

問3 [3] ②

「国際法の統一的立法機関」、すなわちそれぞれの国家を超えて国際法を新たに制定できる機関は存在しない。国連総会で採択された条約であっても、それが拘束力をもつのはその条約を批准した国に対してのみである(したがって④は適当)。

残る選択肢は、いずれも適当である。①国際法は、国際慣習法と条約から構成される。③国際慣習法の条約化が進められている。たとえば、公海自由の原則は国際慣習法の典型であったが、1982年に採択された国連海洋法条約(海洋法に関する国際連合条約)で明文化された。

問4 [4] ②

国際司法裁判所は、国家のみが裁判の当事者となることができる。すなわち、国家以外の個人や団体・機関は、その当事者となることはできない。

①国際刑事裁判所は個人の罪を裁く常設の国際裁判所であるが、扱う犯罪は条約によって、集団殺害犯罪・人道に対する犯罪・戦争犯罪・侵略犯罪に限定されている(ただし侵略犯罪は当分の間は扱われない)。したがって、「ハイジャックや国際的なテロなど、二か国以上にまたがる刑事事件」を扱うものではない。③国際司法裁判所の判決には、法的拘束力がある。④国際刑事裁判所は、1998年に採択された国際刑事裁判所設立条約(ローマ規程)に基づいて、2003年に設置された。したがって、同裁判所は「国際連盟の時代」には存在していない。

問5 [5] ④

南オセチア自治州はグルジアからの分離・独立を求めており、ロシアはこの独立を支援しているが、グルジアはこれを認めていない。そうした中、2008年には、グルジア軍が南オセチアに侵入したことから、南オセチアに駐留するロシア軍との間で軍事衝突が発生した。

①冷戦期、アメリカとソ連が直接に戦火を交えたことは一度もない。ベトナム戦争についても、アメリカは直接これに介入したが、ソ連は直接の介入は行わなかった。②イラクのフセイン政権が崩壊したのは、「1980年に発生したイラン・イラク戦争」によってではなく、2003年のイラク戦争によってである。③「インドとパキスタンとの間での武力衝突」は、カシミールの領有権問題を背景に、すでに1948年には発生しており、その後も1965年、1971年に発生している。したがって、1990年代以前に武力衝突が生じなかっとする趣旨の記述は、不適当。

問6 [6] ②

生物兵器禁止条約は、1971年に国連総会で採択され、1975年に発効した。正式名称を「細菌兵器(生物兵器)及び毒素兵器の開発、生産及び貯蔵の禁止並びに廃棄に関する条約」というように、「生物兵器の生産の禁止や廃棄などを定めている」。

①クラスター弾禁止条約は、2008年に採択されたもので、クラスター弾(内蔵する子爆弾を空中で広範囲に散布し投下する爆弾)の使用や生産などの禁止、貯蔵されたクラスター弾の廃棄などについて定めている。アメリカやロシアがこの条約に参加していないことは事実だが(2012年7月現在)、同条約は2010年にすでに発効しており、日本も批准している。③1963年に調印された部分的核実験禁止条約は、地下以外での核実験を禁止するものである。すなわち、地下核実験は禁止されていない。なお、1996年に採択された包括的核実験禁止条約(CTBT)は、核爆発を伴う核実験を、地下でのものも含めてすべて禁止している。ただし、この条約はまだ発効していない(2012年7月現在)。④第一次戦略兵器削減条約(START I)は、1991年にアメリカとソ連との間で調印されたもので、両国が保有する戦略核兵器を削減することを目的とする条約である。日本はこの条約の当事国ではない。

問7 [7] ②

1997年に、タイの通貨であるバーツが大暴落したことをきっかけに、東南アジア諸国や韓国などが経済危機に陥った(アジア通貨危機)ように、「一国の経済危機が近隣諸国に悪影響を及ぼすことがある。このときも、国際通貨基金(IMF)が緊急融資を行うなど「国際機関によって危機の鎮静化が図られる」た。近年のギリシャの財政危機についても、ユーロ圏全体への影響拡散が懸念されており、やはりIMFなどによる各種支援が実施されている。

①「発展途上国に対する有償資金協力(借款)が禁止されている」という事実はない。実際、日本が発展途上国に供与している政府開発援助(ODA)にも、有償資金協力は相当程度含まれている。③世界の穀物生産量は、世界人口の約70億人を上回る100億人以上の人口を賄うのに十分な量があるとされている。したがって、「穀物生産量が世界人口に対して絶対的に不足している」とする記述は、不適当。④現在、アメリカと中国との間で経済摩擦(貿易摩擦)が激化しているように、「国家間の経済摩擦は現在では見られなくなった」という記述は、不適当。

問8 [8] ④

NIEO(新国際経済秩序)の樹立に関する宣言とは、

それまでの先進国優位のものに代わる新たな経済秩序の樹立をめざして発展途上国が主唱した宣言である。また、特恵関税とは、先進国が発展途上国から輸入をする場合に、通常よりも特別に関税率を低くしたり、あるいは関税を免除するなど、特定の国・地域からの輸入品に対して供与される関税上の優遇措置のこと。したがって、発展途上国は特恵関税の供与を求めるのであって「適用除外とすること」を求めるはずはないし、事実としてもこうした内容は盛り込まれていない。

残る選択肢は、いずれも適当である。①援助の拡大、②多国籍企業の規制、③天然資源に対する恒久主権は、この宣言の主要な内容であるから、確認しておこう。

問9 [9] ②

開発独裁とは、経済開発・経済成長を掲げて、強権的・独裁的な経済・政治運営を行う体制のこと。1960～70年代にかけて、アジアやラテンアメリカの発展途上国でしばしば見られるようになった。だが、経済が発展するにつれて倒れる開発独裁政権も多くなっている。

①発展途上国では人口が急増しているので、これを「減少傾向」としているのは不適当。人口動態が多産多死から多産少死へと移行してきたことが、人口爆発とも呼ばれるほどの人口急増の要因である。③OECD(経済協力開発機構)は、主に先進国によって構成される経済協力組織である。したがってこれを、先進国に対抗して発展途上国が結成したものとする趣旨の記述は、不適当。④「先進国によって構成され」、「加盟国間の開発援助政策の調整を主な任務としている」のは、OECD(経済協力開発機構)の委員会の一つであるDAC(開発援助委員会)。UNCTAD(国連貿易開発会議)は、南北問題解決に向けて先進国と発展途上国が協議を行う国連総会の常設機関。

問10 [10] ⑥

Aの京都議定書は、気候変動枠組み条約(地球温暖化防止条約)に基づいて、二酸化炭素などの温室効果ガスの排出削減目標値を定めたもので、1997年採択された。したがって、これはウと結びつく。

Bのラムサール条約とは、とくに水鳥の生息地として国際的に重要な湿地およびそこに生息・生育する動植物の保全を促し、湿地の適正な利用を進める目的とする条約で、1971年に採択された。したがって、これはイと結びつく。Cのモントリオール議定書は、オゾン層保護に関するウィーン条約に基づいて、オゾン層を破壊するおそれのある物質を特

定し、該当する物質の生産、消費および貿易を規制することをねらいとする条約で、1987年に採択された。したがって、これはアと結びつく。

第2問 現代における人権保障の課題

【出題のねらい】

本問は、第二次世界大戦後の人権保障をめぐる諸問題について扱った。とくに、第二次世界大戦後の国際的な人権保障の動向、日本国憲法の人権規定、日本における「新しい人権」に関する基本的な知識と理解を試すことをねらいとしている。

【設問別解説】

問1 [11] ②

障害者雇用促進法は、障害者雇用の安定と促進を目的として企業や国・地方公共団体に対し、従業者・職員の一定割合を障害者の雇用に充てることを義務づけている。事業者が障害者雇用比率を達成できないときは納付金が徴収され、この一部が一定比率以上の障害者を雇用する事業者に調整金として支給される仕組みになっている。

①現在、選挙権を行使できるのは、国政選挙・地方選挙とも、日本国籍をもつ者に限定されているので、「永住外国人に対して地方選挙権が与えられている」というのは不適当。なお、かつて最高裁判所は、永住外国人に地方選挙権を付与することは憲法上禁止されているわけではないという判断を示したことがある(1995年)。③最高裁判所は、死刑は憲法で禁じられている殘虐な刑罰には当たらないとする判断を示したことはあるが、「死刑は憲法が禁止している殘虐な刑罰に当たるとする判断」は示したことではない。このことは、現在でも死刑制度が存続されていることからも推測できるだろう。④日本国憲法は職業選択の自由を明記しており(第22条)，これには営業の自由も含まれていると解されている。しかし、営業の自由も「公共の福祉」によって制約され、企業が価格や生産量などについて他企業と協定を結ぶカルテルは、公正で自由な競争を阻害するものであることから、独占禁止法で全面的に禁止されている。

問2 [12] ②

アは「ローズベルト」、イは「恐怖からの自由」が入るので、それらの組合せである②が正しい。「四つの自由」は、1941年に当時のアメリカ大統領F.ローズベルト(在任1933～45)が一般教書において表明した民主主義の原則であり、ファシズム体制のドイツの侵略行為を批判したものでもあった。「言論と表現の自由」、「信仰の自由」、「欠乏からの

自由」、「恐怖からの自由」がその中身であり、これらはファシズム体制下で踏みにじられている自由でもあった。この「四つの自由」は、第二次世界大戦後、民主主義の基本理念として世界人権宣言(1948年採択)などに影響を与えた。

①③のうちのイにある職業選択の自由は、日本国憲法第22条で保障されている経済的自由権であるが、「四つの自由」には含まれていない。③④のうちのアにあるウィルソンは、第一次世界大戦期のアメリカ大統領(在任1913~21)であり、「平和原則14か条」において民族自決や国際連盟の設立を提唱したことで知られている。

問3 [13] ④

1989年に国連総会で採択された子ども(児童)の権利条約は、18歳未満のすべての子どもの人権を保障することをねらいとしている。子どもをたんに保護の対象としてではなく、権利行使の主体として認め、発達段階に応じての思想・良心の自由や意見表明権などを保障している。なお、日本は1994年に同条約を批准した。

①日本は、国連総会で採択された人権条約をすべて批准しているわけではない。たとえば、国際人権規約B規約の選択議定書については、個人通報制度を定めた第一選択議定書、死刑廃止条約とも呼ばれる第二選択議定書の、いずれも批准していない。この他、ジェノサイド条約(集団殺害の防止及び処罰に関する条約)やアパルトヘイト禁止条約なども未批准である。②難民条約(1951年採択、日本は1981年批准)は、人種、宗教、国籍、政治的信条などの理由で迫害を受け、または受けおそれがあるために祖国を逃れた、いわゆる政治難民に対する保護を加盟国に義務づけているものであり、生活困窮など経済的な理由で逃れてくる経済難民は保護の対象としていない。③世界人権宣言は自由権、平等権、参政権だけでなく、20世紀的人権である社会権も含めた幅広い人権を規定している。したがって、「自由権のみを規定している」という記述は不適当。また、国際人権規約は、世界人権宣言には法的拘束力がなかったので、これをより具体化して条約化し、法的拘束力をもたせたものである。

問4 [14] ②

1961年に設立されたアムネスティ・インターナショナルは、国際的な人権擁護活動を行っているNGO(非政府組織)である。世界人権宣言を行動指針として、思想・信条・宗教・民族などの理由で投獄されている政治犯(「良心の囚人」と呼ばれる)の釈放運動を展開するとともに、各国政府に死刑や拷

問の廃止を働きかけるなどの活動を行っている。

①地雷禁止国際キャンペーンは、対人地雷全面禁止条約の成立をめざして、多くの国々のNGOが集まってできたネットワークである。これによる国際世論づくりと各国政府への働きかけにより1997年に対人地雷全面禁止条約(オタワ条約)が調印された。しかし、条約は国家間で締結される国際的な取決めであって、民間団体であるNGOが条約締結の当事者となることはないので、「地雷禁止国際キャンペーンと各国政府との間で…調印された」という記述は不適当。③IFC(国際金融公社)、④UNICEF(国連児童基金)は、いずれも国際機関(政府間で組織される機関)であって、民間団体であるNGOではないので、ともに不適当。なお、④のIFCは、世界銀行グループの一つとして、発展途上国の民間企業の成長を助けるための融資などを行っている。また、フェアトレードとは、発展途上国の手工業品や農産物を公正な価格で取引し、経済的自立を支援する活動のことである。なお、④の選択肢の記述は、UNICEFの活動内容としては正しい。

問5 [15] ①

汚染者負担の原則(PPP)とは、公害防止や被害者救済のための費用は、政府(公費)ではなく公害の発生原因者である企業が負担すべきであるという原則のこと。この原則は1972年にOECD(経済協力開発機構)によって提唱され、日本では公害健康被害補償法などに導入されている。

②四大公害のうち、イタタイイタイ病の原因物質は「有機水銀」ではなくカドミウムなので誤り。有機水銀(メチル水銀)が原因となって起こった四大公害は、水俣病(熊本)と新潟水俣病である。なお、四大公害にはこれら三つの他に四日市ぜんそくがあるが、これは、亜硫酸ガスが原因となって起こったものである。③「開発事業に際し、その環境への影響を事前に調査・評価する仕組みを定める」法律は、「環境基本法」ではなく、1997年制定の環境アセメント法(環境影響評価法)である。環境基本法は、環境保全や地球環境問題を視野に入れた環境政策の基本を示すもので、1993年に制定された。この法律の制定に伴って、従来の公害対策基本法(1967年制定)は廃止された。④水質汚濁防止法や大気汚染防止法では当初、汚染物質の排出基準を一定の濃度以下とする濃度規制を採用していたが、濃度規制だけでは汚染物質の絶対量を規制できないので、一定地域における汚染物質の総排出量を規制する総量規制を新たに導入した。すなわち、この選択肢の記述は、「濃度規制」と「総量規制」が入れ替わってお

り不適当。

問6 [16] ②

1999年に制定された情報公開法は、中央省庁の保有する行政文書の開示請求権を保障した法律で、国会や裁判所の文書は対象とされていない。なお、情報公開法については、外国人や法人を含むすべての者が情報開示請求を行えること、政府の説明責任（アカウンタビリティ）が定められていること、「知る権利」は明記されていないことを、押さえておきたい。

①『宴のあと』事件は、原告の政治家が、三島由紀夫の小説『宴のあと』は自分をモデルにしたものであり、プライバシーを侵害されたとして訴えた事件。地方裁判所はこの事件の判決で、プライバシーの権利を「私生活をみだりに公開されないという法的保障ないし権利」と定義した上で、同小説によるこの権利の侵害を認め損害賠償を命じた。したがって、この事件の判決が「プライバシーの侵害があつても表現の自由は制限されるべきではないという判断を示した」としているのは、不適当。なお、この事件では、高等裁判所における控訴審の途中で原告が死亡し、また遺族との和解が成立したことから、高等裁判所や最高裁判所の判決は存在しない。③プライバシーの権利は一般に、憲法第13条の幸福追求権を根拠に主張されているので、その根拠を「表現の自由と生存権」としているのは不適当。なお、新しい人権のうち、環境権は幸福追求権や第25条の生存権を、知る権利は国民主権や第21条の表現の自由を根拠に、主張されている。④2002年から稼動を開始した住民基本台帳ネットワーク（住基ネット）は、住民の住所、氏名、性別、生年月日をコンピュータで一元管理するシステム。個人のプライバシーの漏えいの可能性があるという理由で反対する意見も見られる。したがって、「国民の知る権利を侵害するもの」だとする反対理由は、適当ではない。また、このネットワークへの接続をしていない地方公共団体は、2012年7月現在、一つの町だけであるから、「大多数の地方公共団体が参加していない」とする記述も不適当。

問7 [17] ④

冤罪を防止する観点から、日本国憲法では黙秘権を保障するとともに、「強制、拷問若しくは脅迫による自白又は不当に長く抑留若しくは拘禁された後の自白は、これを証拠とすることができない」（第38条2項）と規定し、また「何人も、自己に不利益な唯一の証拠が本人の自白である場合には、有罪とされ、又は刑罰を科せられない」（同条3項）として

いる。これは、本人の自白だけでは有罪にできないという原則であって、本人の自白がなければ有罪とされないわけではない。本人が犯行を否認していても、客観的な証拠によって有罪判決が下されることはある。

①憲法は、「何人も、公共の福祉に反しない限り、居住、移転及び職業選択の自由を有する」（第22条1項）と定めている。同じ経済的自由権に分類される財産権（第29条）についても、公共の福祉による制約が課せられている。②憲法は、「何人も、公務員の不法行為により、損害を受けたときは、法律の定めるところにより、国又は公共団体に、その賠償を求めることができる」（第17条）として国家賠償請求権を保障している。③信教の自由を保障するため、政教分離の原則がある。その内容の一つとして憲法は、「国及びその機関は、宗教教育その他いかなる宗教的活動もしてはならない」（第20条3項）と定めている。

第3問 日本の政党政治と選挙制度

【出題のねらい】

本問は、戦後日本の政党政治や現行の選挙制度を中心に、いわゆる55年体制の特徴や政治とカネをめぐる問題、55年体制崩壊以降の各政党の動向、政党助成制度や無党派層などについて出題した。

【設問別解説】

問1 [18] ④

選挙運動のために個々の有権者宅を訪問して回る戸別訪問は、公職選挙法によって禁止されている。なお、イギリスなど多くの先進国では、選挙運動として戸別訪問が認められている。

①政治資金規正法は、政治家個人や政治家個人の資金管理団体に対する企業・団体献金を禁止しているが、政党に対する企業・団体献金は一定の制限の下に認めている。したがって、これを「全面的に禁止している」という記述は不適当。②政治資金規正法は、政党や政治団体に対して、収入や支出についての政治資金収支報告書の提出を義務づけている。③公職選挙法は、選挙運動の総括主宰者や出納責任者などが選挙違反により一定以上の刑に処せられた場合、その当選人の当選を無効とする連座制を採用している。公設（公費で給与が支払われる秘書）であるか私設であるかを問わず、秘書も連座制の対象となっている。

問2 [19] ①

55年体制とは、与党である自由民主党（自民党）と野党第一党の日本社会党（社会党）の対抗を軸とする

政党政治の状況のこと。1955年、左右両派に分裂していた社会党が再統一を果たし、これに対抗して保守系の二つの政党(自由党と日本民主党)が合同して自民党を結成したこと、こうした状況が生れた。ただし、当時の社会党は衆議院の議席数で自民党の半分ほどの勢力にとどまったため、政権交代が可能なイギリスやアメリカの**二大政党制**とはほど遠い自民党一党優位の状況であり、「 $1\frac{1}{2}$ 政党制」などと揶揄された。そうした中、1960年代になると、社会党を離党した議員によって民主社会党(のちの民社党)が結成されたり、1964年には公明党が新たに結成されるなど、野党は多党化していった。

②55年体制の下、社会党は自衛隊を憲法違反だとするとともに、日米安全保障条約に反対する姿勢をとった。③1976年に、自民党を離党した国会議員によって、新しい保守政党である**新自由クラブ**が結成された(1986年に解党)。④自民党は、55年体制下である1983年に発足した第二次中曾根内閣において、新自由クラブと連立を組んだ。

問3 [20] ③

リクルート事件とは、値上がりが見込まれる企業の未公開株が多くの政官財関係者に安値で譲渡された事件である。1988年に発覚し、これを背景として、翌年には竹下内閣(1987~89)が退陣することになった。田中内閣は、1972年に成立し1974年まで続いた内閣なので、この事件とは関係ない。なお、55年体制下で自民党が野党となったことはない。

①1976年に発覚したロッキード事件とは、航空機の売り込みをめぐって発生した汚職事件である。この事件では、前首相であった田中角栄(首相在任1972~1974)が受託収賄罪で逮捕された。②派閥は党内の議員グループであり、55年体制下の自民党の場合、有力な党首候補者(首相候補者)を中心として組織されていた。派閥に属する議員には資金面での援助などもされており、そのため各派閥は多額の政治資金を集め、政治とカネをめぐる数々の問題を引き起こしたとする批判もある。④族議員とは、特定の省庁の政策について十分な知識と影響力をもち、場合によつてはその省庁の政策によって利益を得る業界団体の利益を代弁する議員のことをいう。こうした族議員と官僚や財界(業界)^{ゆきわく}との癒着構造が批判されることが多い。

問4 [21] ⑧

衆議院議員総選挙では、定数480のうち300を小選区制で、180を比例代表制で選出する、小選挙区比例代表並立制が採用されている(2012年7月現

在)。なお、議員定数については現在、その削減が議論されている。

①衆議院の比例代表選挙においては、政党が事前に順位を付けた候補者名簿を提出し、それに従って当選者が決まる**拘束名簿式比例代表制**が採用されている。これに対し参議院の比例代表選挙では、候補者名簿には順位が付けられておらず、有権者は候補者個人名または政党名のいずれかで投票し、候補者名の得票数の多い順に当選者が決まる、**非拘束名簿式比例代表制**が採用されている。②衆議院議員総選挙では、小選挙区に立候補した候補者を、同時に比例代表の候補者名簿に登載する**重複立候補**が認められている。これに対し参議院議員通常選挙では、選挙区と比例代表との重複立候補は認められていない。④外国に居住する有権者が大使館などで投票できる**在外投票**では、かつては、国政選挙のうち、衆参いずれについても比例代表選挙に投票が限られていた(すなわち小選挙区や選挙区選挙には投票できなかった)。しかし、最高裁判所がこれを憲法違反だと判断したことを受けた公職選挙法が改正され、現在では小選挙区や選挙区選挙についても在外投票が可能となっている。

問5 [22] ④

政党助成法により、5人以上の国会議員がいるかまたは国会議員が1人以上いて直近の国政選挙で有効投票総数の2%以上の票を得た政党に対して、議員数や得票率に応じて、申請により**政党交付金**が交付される。そのことを前提として表を見てみよう。郵政民営化が争点となった2005年の衆議院議員総選挙で自由民主党は圧倒的勝利を収め、2006年の時点では自由民主党が衆参両院で第一党であった。したがって、議員数も多く政党交付金を各党の中で最も多く交付されていた。そのため、この時期に最も多くの政党交付金を得ていたAが自由民主党であるとわかる。しかし、2007年の参議院議員通常選挙で自民党は大敗して議員数や得票率を減らし、さらには2009年の衆議院議員総選挙でも大敗を喫し、民主党が衆参両院で第一党の座を獲得し**政権交代**が起った。したがって、2012年に政党交付金の交付額の順位がAと逆転しているBが民主党であると判断できる。また、かつての社会党が名称を変更してできた社会民主党は、55年体制の崩壊以降、党勢を著しく衰退させ、現在は少数政党にとどまっている。したがって、A・Bに比べて交付額がかなり少ないCが社会民主党であるとわかる。

問6 [23] ①

橋本内閣(1996~98年)は、自民党・社会党(のち

社会民主党)・新党さきがけによる連立政権としてスタートした。この内閣の下で、消費税率の3%から5%への引き上げが実施された(1997年)。

②日本専売公社、日本電信電話公社、日本国有鉄道のいわゆる三公社の民営化を実施したのは、1980年代の中曾根内閣(1982~87年)である。③均衡財政をめざした「ドッジライン」は、戦後復興期の1949年から50年にかけて実施された。④電力会社の発電部門と送電部門を分離することを発送電分離という。近年の原子力発電所の運転停止に関わる電力問題を背景にクローズアップされているが、日本では2012年7月現在、実現していない。なお、発送電分離のメリットとしては、新規事業者の参入で競争が促進され電気料金の値下げが期待できる点があげられる。しかし一方で、電力会社による電力の安定供給が確保できなくなるおそれも指摘されている。

問7 [24] ④

1995年の第17回参議院議員通常選挙では投票率が44.52%(選挙区)と5割を下回った。なお衆議院議員総選挙では投票率が50%を下回ったことはないが、1996年の第41回選挙では59.65%(小選挙区)となり、衆議院議員総選挙の投票率としての戦後最低を記録した(以上は2012年7月現在)。

①地方選挙においては、候補者が無所属として立候補している場合がかなり多く見られる。また、地方の首長選挙では、「相乗り候補」と呼ばれる一人の無所属の候補者をいくつもの中央政党がともに推薦する例も少なくない。したがって、「ほとんどの場合、政党の公認候補が当選」という記述は、不適当。また、特定の支持政党をもたない有権者層は無党派層と呼ばれるが、近年はその動向が選挙結果に大きな影響を与えていることが指摘されており、地方選挙においても、とりわけ都市部の首長選挙での傾向が顕著である。したがって、「無党派層の影響は見られない」とする記述も適当ではない。②「政治的な知識を得る機会を制度上与えられていない」という選択肢の記述は、不適当。当然のことながら、現代社会では学校教育をはじめとするさまざまな制度によって、国民は政治的な知識を習得する機会を得ている。③無党派層は、上で解説したように、特定の支持政党をもたない有権者層をいうが、必ずしも無所属候補を支持するわけではない。むしろ、その時に応じて投票する政党を変えるのが、無党派層の特徴の一つといえる。したがって、「無所属で立候補した候補者の得票数」が「無党派層の動向」を把握するための判断材料となるわけではない。

第4問 国富と国民所得

【出題のねらい】

本問は、国富と国民所得の諸概念を中心に出題した。また、産業構造の変化や景気循環などについても出題している。この問題を参考に、国民所得の考え方について理解を深めておこう。

【設問別解説】

問1 [25] ④

国富とは、ある時点で一国が保有している資産の合計額であり、国内の非金融資産(在庫、建物、土地など)と対外純資産の合計で示される。したがって、地価が下落すれば、その分、国富も減少する。

①「社会資本は国富に含まれない」は誤り。道路や港湾などの社会資本は非金融資産であり、国富に算入される。②「含まれる」と「含まれない」を入れ替えれば、正しい記述になる。株式、預金、債券などの国内の金融資産は、一方にとってはプラスの資産(債権)でも、他方にとってはマイナスの資産(債務)となるので、国内の金融資産を合計しても相殺されてゼロになる。そのため、国内の金融資産は国富には算入されない。しかし、海外の資産はそうした相殺はされないので、対外資産から対外負債を差し引いた対外純資産については、金融資産を含めて国富に算入される。③「フロー」と「ストック」を入れ替えれば、正しい記述になる。ストックは、ある時点における経済量をあらわす概念である。国富は、一定時点に存在する正味の資産の合計額であるから、ストックの概念に当たる。これに対し、フローはある一定期間の経済量をあらわす概念である。国民所得は「1年間」といった一定期間に新たに生み出された付加価値の総額であるから、フローの概念に当たる。

問2 [26] ③

GDP(国内総生産)は、国内で生産された付加価値の合計額であるのに対し、GNP(国民総生産)は、国民(居住者)が生産した付加価値の合計額である。「非居住者である外国人」が国内で生み出した価値は、国内における生産であるからGDPには算入される。しかし、「国民」(居住者)が生み出したものではないので、GNPには算入されない。

①「どちらにも算入される」は誤り。土地や株式の売却益は、生産による付加価値ではないので、GDP・GNPのどちらにも算入されない。②輸出は国内で生産されたものなので、GDPとGNPのどちらにも算入される。しかし、輸入は外国で生産されたものなので、GDPとGNPのどちらにも算入されない。したがって、「輸出はGDP…にも算入さ

れない」や「輸入は…算入される」という記述は、不適当。④「GDP」と「GNP」を入れ替えれば正しい記述になる。GDPとGNPの関係は、
 $GDP = GNP - (\text{海外からの所得} - \text{海外に対する所得})$
 $= GNP - \text{海外からの純所得}$

としてあらわすことができる。「海外から受け取った利子・配当などの所得」すなわち海外からの所得が、「海外へ支払った利子・配当などの所得」すなわち海外に対する所得よりも「多い」ならば、海外からの純所得(上式の()内の値)はプラスとなるのだから、GDPの値はGNPの値よりも小さくなる。

問3 [27] ④

「多い」を「少ない」に代えれば、適當な記述となる。日本の国内総支出(GDE)を見ると、民間最終消費支出が約59%を占めているのに対して、総資本形成は約20%にすぎない。

①日本の産業別GDP構成比を見ると、第三次産業が約74%を占めている。②NIは、生産・分配・支出の三面から見ることができるが、理論上、それらの額はいずれも等しくなる。これを国民所得の三面等価の原則という。③分配国民所得は、雇用者報酬(賃金など)、財産所得(利子・配当など)、企業所得(利潤)からなる。日本の場合、雇用者報酬が約70%を占めている(以上の数値はいずれも2010年もしくは2010年度／内閣府経済社会総合研究所『平成22年度国民経済計算確報(フロー編)ポイント』による)。

問4 [28] ④

「加工組立型産業」と「素材型産業」を入れ替えれば、正しい記述になる。日本では、石油危機後に第二次産業の主力産業に変化が見られた。高度経済成長期は、鉄鋼・石油化学などの素材型産業が主力産業であった。だが、これらの産業は石油などのエネルギーを大量に消費するため、石油危機によって大きな打撃を受けた。そのため石油危機後は、これら素材型産業に代わって、自動車や家電(家庭電化製品)などの加工組立型産業が日本経済を牽引する産業となった。

残る選択肢は、いずれも適當である。①ペティ・クラークの法則は、経済の発展に伴って、第一次産業の経済に占める比重が低下し、第二次産業、そして第三次産業の比重が増していくことをいう。経済学者ペティ(1623~87)の指摘をもとにクラーク(1905~89)が実証したことから、2人の名前にちなみこのように呼ばれる。②日本は経済のサービス化・ソフト化が進み、2010年現在、就業者数に占める割合もGDPに占める割合も、第三次産業が7割

台(第三次産業の就業者数に占める割合は約70%, GDPに占める割合は約74%)を占めている(就業者数に占める割合は、経済産業省「就業状況を中心にみた第3次産業の動向」2011年,による)。③高度経済成長期には、製造業の中心が軽工業から重化学生産へ移行した。

問5 [29] ④

まず、実質経済成長率の算出式は次のようになる。

実質経済成長率(%)

$$= \frac{\text{今年の実質 GDP} - \text{前年の実質 GDP}}{\text{前年の実質 GDP}} \times 100$$

次に、実質GDPの算出式は次のようになる。

$$\text{実質 GDP} = \frac{\text{名目 GDP}}{\text{GDP デフレーター}} \times 100$$

以上の式に与えられた数値を代入することで、今年の実質GDPは420兆円、前年の実質GDPは400兆円と計算でき、そこから実質経済成長率は5%となる。

問6 [30] ②

資本主義経済の下では、好況→後退→不況→回復という景気の四局面が循環的に繰り返される。これを景気循環または景気変動という。図中のBの局面は、Aの局面(好況期)からCの局面(不況期)への過渡期で、景気の後退期である。好況期には、消費の拡大によって物価は上昇して生産が増加するが、やがて、消費が減退し始めると適正な水準を上回る在庫(売れ残り)が発生する。そのため物価は下落して生産が減少し、雇用が減少とともに、賃金や金利も下落する。したがって、②が正解となる。

問7 [31] ②

「算入されない」は誤り。GDPは支出面(GDE)から見ると次の式で表すことができる。

$$\text{GDP} = \text{民間消費} + \text{民間投資} + \text{政府支出}$$

$$+ (\text{輸出} - \text{輸入})$$

政府の提供する公共サービスは国民が直接対価を支払って購入しているわけではないが、政府支出としてGDPに計上される。公共サービスの提供に要した費用によって、計上するのである。

残る選択肢は、いずれも適當である。①無償のボランティア活動、③家事労働、④余暇時間など、市場で取引されないもの(対価を伴わない取引)は、原則としてGDPに算入されない。一方、公害防除費用は、社会的に望ましい支出ではない(そもそも公害が発生しないことが望まれる)がGDPに算入されるなど、GDPには国民の福祉を示す指標としては限界がある。そのため、その限界を補う指標とし

てNNW(国民純福祉)などが提唱されてきた。

第5問 日本の労働問題

【出題のねらい】

本問は、日本の労働問題をテーマとして、それらに関する基本的な知識を問うものである。この分野は、労働三権や労働三法などの法制面のみならず、日本の経営の内容や近年の就労形態の変化など、日本の労働をめぐる現状についても押さえておく必要があるので、これを機会に理解を深めておこう。

【設問別解説】

問1 [32] ②

ワークシェアリングの説明が不適当。ワークシェアリングとは、雇用の維持・創出を図るために、労働者一人当たりの労働時間を短縮して仕事を分かち合うことであり、「非正規従業員を削減して企業の総人件費を抑制しようとするもの」ではない。就業機会を奪われていた労働者に就業機会を提供するなどの効果があることから、ヨーロッパなどでは取り入れられているところもある。日本では一部で導入について議論されてきたものの、普及しているとはいえない。

残る選択肢は、いずれも適当である。①の裁量労働制、④のフレックスタイム制は、近年普及しつつある。③の年俸制は、能力給・成果給の例の一つである。

問2 [33] ④

派遣労働者は、派遣元企業と雇用契約を結び、派遣元企業と労働者派遣契約を結んだ派遣先企業に向いて労働する。雇用関係は派遣元企業である派遣会社との間で成立しているので、賃金は派遣元企業が労働者に対して支払い(この点から②は不適当)、社会保険も派遣元企業において加入する(したがって④は適当)。一方、実際の労働について、派遣労働者は派遣先企業から指揮命令を受け仕事を行う(この点から③は不適当)。

①「労働組合を結成することができない」は誤り。労働者は、職業の種類を問わず、賃金、給料その他これに準ずる収入によって生活する者をいう(労働組合法第3条)。したがって、派遣労働者はもちろん、パートタイマーやアルバイトも、労働者として労働三権(団結権・団体交渉権・争議権)が保障される。すなわち、派遣労働者にも団結権が保障され、労働組合を結成することができる。

問3 [34] ⑦

A:SOHOとは、英語の「Small Office Home Office」の略語。小さな事務所や自宅を仕事場と

し、情報通信ネットワークを駆使しながら事業を営む個人事業主、あるいは会社と自宅や小さな事務所を情報通信ネットワークで結んで仕事場とする就労・勤務形態をいう。したがって、工がこれについての記述となる。B:ワーカーズ・コレクティブとは、市民が生活者の視点から、地域に必要なものやサービスを事業化するために、資金をもち寄り、経営に責任をもち、労働を担うことをいう。したがって、アがこれについての記述となる。C:ワーク・ライフ・バランスとは、仕事と仕事以外の生活との調和、つまり、老若男女の誰もが、仕事、家庭生活、地域生活、個人の自己啓発など、さまざまな活動を自ら希望するバランスで展開できる状態のことをいう。したがって、イがこれについての記述となる。以上のことから、最も適当な組合せは⑦となる。なお、ウはジョブカフェ(若年者就職支援センターなどとも称される)についての説明である。

問4 [35] ④

労働者の賃金の最低基準に関しては、労働基準法ではなく、最低賃金法で規定されている。ただし最低賃金法も、具体的な金額を定めているのではなく、その決定方法が定められている。労働基準法では、賃金の支払方法(通貨で労働者に直接全額を月1回以上支払うことなど)が定められている。

①労働基準法は休日について、「使用者は、労働者に対して、毎週少くとも一回の休日を与えなければならない」(第35条)と規定しており、「1週間当たりの最低休日日数」を「2日」ではなく1日と定めている。②労働基準法は解雇について、たとえば「使用者は、労働者を解雇しようとする場合においては、少くとも三十日前にその予告をしなければならない」(第20条)と規定している。したがって、使用者は労働者を「いつでも自由に解雇できる」は、不適当。なお、労働契約法には「解雇は、客観的に合理的な理由を欠き、社会通念上相当であると認められない場合は、その権利を濫用したものとして、無効とする」(第16条)との規定があることも、知っておこう。③「妊娠婦の深夜業や時間外労働を制限する規定がない」は誤り。妊娠中の女性および産後一年を経過しない女性を妊娠婦というが、労働基準法は妊娠婦の労働について、「使用者は、妊娠婦が請求した場合においては、…時間外労働をさせてはならず、又は休日に労働させてはならない」(第66条2項)、「使用者は、妊娠婦が請求した場合においては、深夜業をさせてはならない」(同3項)と規定し、制限を設けている。1997年の労働基準法改正によって削除された女子保護規定(女子労働者の深夜

業などを制限していた規定)と混同しないように注意しよう。

問5 [36] ⑧

不当労働行為とは、労働組合の結成やその正当な活動に対する使用者の不当な干渉や妨害行為のことをいい、**労働組合法**第7条で禁止されている。労使協定(三六協定)がないにもかかわらず「使用者が、労働者に法定労働時間を超えて時間外労働を命じる行為は、労働基準法には違反するが、労働組合法にいう不当労働行為には当たらない。労働基準法違反などの行為と不当労働行為とを混同しないように、注意しよう。

残る選択肢は、いずれも労働組合の正当な活動に対する干渉・妨害に相当するので、不当労働行為に当たる。なお、使用者によって不当労働行為がなされ、当事者のみで解決が困難な場合、労働組合または労働組合員は、**労働委員会**に救済申し立てを行うことができる。

問6 [37] ④

日本の女性労働者の**労働力率**(15歳以上人口に占める労働力人口の割合)を年齢階級別にグラフにあらわすと、グラフの形状がアルファベットの「M」に似ていることから、しばしば**M字型曲線**とも呼ばれる。これは、女性の労働力率が20歳代後半あたりまでは上昇していくが、出産・育児期にあたる30歳代になると下降し、その後は再び上昇に転じるた

め、このような形を描く。韓国も同様の形が見られるが、必ずしも世界的に広く見られるわけではなく、たとえば保育施設の整備などが進んでいる北欧諸国などでは、M字型の落ち込みは見られない。図の中でM字型曲線となっているのは**D**のみなので、これが日本だと判断できる。

なお、**A**はスウェーデン、**B**はドイツ、**C**はアメリカのグラフである。

問7 [38] ⑧

日本国憲法第28条は労働者に対して労働三権を保障しているが、各種の法律によって**公務員は労働三権が制限**されている。すべての公務員には**争議権**が一律に認められておらず、警察職員・海上保安庁職員・自衛隊員などは労働三権すべてが認められていない。

①「**団結権が保障されていない**」は誤り。市役所職員は公務員であるが、労働三権がすべて認められていない職種ではない(争議権のみが認められていない職種である)ので、団結権は保障されている。
②「**争議権が保障されていない**」は誤り。「電力会社の従業員」は公務員ではなく民間企業従業員であり、労働三権は(電気の正常な供給を停止する電源ストなど特別なものを例外として)すべて認められている。
④警察職員は労働三権をすべて認められていないのであるから、「警察職員には…**団体交渉権が保障されている**」という記述は不適当。

倫理、政治・経済

【解答・採点基準】

(100点満点)

問題番号	設問	解番	答号	正解	配点	自己採点
第1問	問1	1	②	2		
	問2	2	②	2		
	問3	3	②	2		
	問4	4	③	3		
	問5	5	④	3		
	問6	6	⑧	3		
	問7	7	③	3		
第1問 自己採点小計				(18)		
第2問	問1	8	④	2		
	問2	9	④	3		
	問3	10	③	3		
	問4	11	④	3		
	問5	12	⑥	2		
	問6	13	①	3		
	問7	14	③	2		
第2問 自己採点小計				(18)		
第3問	問1	15	②	3		
	問2	16	③	3		
	問3	17	④	3		
	問4	18	③	2		
	問5	19	④	3		
第3問 自己採点小計				(14)		
第4問	問1	20	②	2		
	問2	21	④	3		
	問3	22	②	2		
	問4	23	④	2		
	問5	24	④	3		
	問6	25	⑥	2		
第4問 自己採点小計				(14)		

問題番号	設問	解番	答号	正解	配点	自己採点
第5問	問1	26	④	3		
	問2	27	①	3		
	問3	28	③	2		
	問4	29	③	3		
	問5	30	④	3		
	問6	31	①	2		
	問7	32	④	2		
第5問 自己採点小計				(18)		
第6問	問1	33	④	3		
	問2	34	③	2		
	問3	35	④	3		
	問4	36	④	2		
	問5	37	④	2		
	問6	38	②	3		
	問7	39	②	3		
第6問 自己採点小計				(18)		
自己採点合計				(100)		

【解説】

第1問 東西の源流思想と日本の近代思想

【出題のねらい】

本問は、「愛」をテーマとする本文の下に、古代ギリシア哲学、イスラーム教、仏教、儒家思想に関する基本事項を幅広く取り上げるとともに、近代日本思想についても出題した。誤答したところは念入りに確認しておこう。

【設問別解説】

問1 ① ②

和辻哲郎(1889～1960)は、「人間」は孤立した個人的な存在ではなく、また、社会に埋没した存在でもなく、常に人ととの関係においてのみ「人間」たりうる間柄的存在であると説いた。そして彼は、『人間の学としての倫理学』などの著作において、個人的であると同時に社会的であるという二重構造を有する存在として人間を捉え、個人と社会との相互作用において、倫理が成り立つと主張した。

①西田幾多郎(1870～1945)は、『善の研究』において、眞の自己とそれに呼応したより深くより強い実在の統一力との合一に、人間の根本的なあり方を見いだした。西田は、その合一の場を主観と客觀が未だ区別できない主客未分の経験であるとし、それ

を純粹経験(直接経験)と呼んだ。したがって、純粹経験は「主觀と客觀が分化した状態で生じる直接的・根本的経験」ではない。^③鈴木大拙(1870～1966)の説明である。『日本的靈性』などで知られる彼は、大乗仏教についての著作を英語で著し、特に日本の禪文化を海外に広く紹介した仏教学者である。^④小林秀雄(1902～1983)の説明である。『無常といふ事』などで知られる彼は、日本の近代批評の確立者である。

問2 [2] ②

西村茂樹(1828～1902)は、福沢諭吉らとともに明治初期に設立された日本最初の近代的な啓蒙学術団体である明六社の創設に参加したメンバーの一人である。しかし、後には国家主義的な思想傾向を示して、西洋の風俗の模倣に走る極端な欧化主義を批判し、『日本道德論』を著して儒学の道徳を基礎にした国民道徳の興隆に努めた。したがって、②が正解となる。

なお、『東洋の理想』は、「アジアは一つ」という有名な言葉で始まる岡倉天心(1862～1913)の著作である(天心の事績については、第3問・問4の④の解説を参照)。『国民之友』は、徳富蘇峰(1863～1957)によって創刊された日本初の総合雑誌である。蘇峰は当初、一般民衆の立場で西洋文化を受容し、下からの日本の近代化を推進しなければならないと主張したが(平民主義)，後には国家に最高の価値を置く国家主義を唱えた。また、国粹主義とは、広義には国家主義・排外主義のことを指す。しかし、狭義には、三宅雪嶺(1860～1945)や志賀重昂(1863～1927)らが唱えた国粹保存主義を指すこともある。国粹保存主義とは、日本の文化的伝統が持つ美点を生かしながら西洋文化を主体的に取捨選択すべきであるという考え方。

問3 [3] ②

プラトン(前427～前347)は、人間の魂の働きを、理性・気概(意志)・欲望の三個の部分に分け、理性の徳は知恵、気概(意志)の徳は勇氣、欲望の徳は節制であるとし、気概と欲望が理性によってコントロールされ、全体として調和ある秩序が保たれると、魂全体の徳である正義が実現されると説いた。

①アリストテレス(前384～前322)についての記述である。アリストテレスは、個々の事物から独立した普遍的なイデアが真の実在であり、個々の事物をイデアの不完全な模像とするプラトンのイデア論を批判し、感覚で捉えられる具体的な個々の事物こそが実在であり、イデアにあたる事物の本質は個々の事物に内在するとし、この本質を形相(エイドス)と

名づけた。そして、この形相(エイドス)は、事物の素材である質料(ヒュレー)の中に可能態(デュミナス)として内在しており、事物の生成変化を通じ、現実態(エネルゲイア)として自らを完成していくと考えた。^⑧プロタゴラス(前500?～前430?)についての記述である。プロタゴラスは、「人間は万物の尺度である」と述べて、あらゆる物事の真偽や善惡などの判断基準は判断を行うそれぞれの人間にありとし、各人の判断基準を超えたところに客觀的真理が存在するという考えを否定する相對主義の立場をとった。^④まず、アテネ郊外のリュケイオンに学園を開いたのは、プラトンではなくアリストテレスである。プラトンが開いた学園はアカデメイアである。また、後半の記述はピュタゴラス(前6世紀頃)に関する記述である。ピュタゴラスは、靈魂の不滅や輪廻などを信じる教団を組織し、魂を鎮める音楽と永遠不滅の真理を教える数学を重視した。そして、数を世界の秩序の根拠であると捉え、世界には数的比例に基づく調和があると説いた。

問4 [4] ③

「民を治めるには、刑の支配が平治の元であり、賞の濫発が乱の元である」という資料文の記述から、③が最も適当である〔なお、資料文は、新釈漢文体系(12)『韓非子 下』(竹内照夫著)明治書院からの引用である〕。

①聖人が法を定めて、民がきままにふるまわないようにするには、「民に利を得させようと望んでのことである」から、「聖人は民の利益を考慮することなく」という記述は誤り。②聖人が民に対して刑を加えるのは、「民を愛する」ゆえであるから、「民に対する愛の視点からではなく」という記述は誤り。④「賞の濫発が乱の元である」から、「何ごとも賞を与えて民を励ませば、民の悪事は減り、国の政治は安定する」という記述は誤り。

問5 [5] ④

イスラーム教では、「信者はみな兄弟である」とされ、民族の違いを超えた信仰共同体(ウンマ)が形成されている。

①イスラーム教では、多数派が「逊ニー派」で、少数派が「シーア派」である。シーア派は、ムハンマド(570?～632)のいとこであり娘婿であるアリーとその子孫が信徒の指導者(イマーム)であるとする宗派であり、逊ニー派と対立してきた。②『クルアーン(コーラン)』は、アッラー(神)の啓示を記したものである。③イスラーム教でも「最後の審判」や「天国」の存在は認められており、神は歴史の終末に、すべての人間を甦らせ、生前のすべて

の行為の記録を読み上げ、審判を下すことになっている。そして、多くの人々は、裁きの日に神の許しを受け天国に行き、その他の人々は現世での行いを裁かれ、地獄に行くとされる。

問6 [6] ⑧

ア—D 無明とは、真理(ダルマ)についての根源的な無知をいい、人間の欲望や執着心などの煩惱の根本にあるものである。十二因縁の第一である。

イ—A 集諦とは、ブッダ(前463?~前383?)が説いた四諦(四つの真理)の一つであり、人生の苦は煩惱から生じるという真理を言う。

ウ—C 唯識とは、この世の事物や現象は、それ自体で実在しているのではなく、人間の心の作用が生み出したものであるという考え方を言う。

エ—B 渴愛とは、のどがかわいて水を欲しがるように、凡夫が様々な欲望に執着することを言う。

問7 [7] ③

本文最終段落の「キリスト教などで説かれるような、民族や国家などの枠に縛られることのない普遍的な性格を持つ愛が必要となろう」という記述から、③が最も適当である。

①本文第3段落で、普遍的な愛を説く思想家として墨子(前470?~前390?)が取り上げられ、孔子(前551?~前479)の説く仁を差別的愛であるとして厳しく批判したと述べられているから、「人間にに対する無差別の愛を説く思想家は現れなかった」という記述は誤り。②古代ギリシアの思想家であるアリストテレスが説いた友愛(フィリア)は、ボリスにおける市民間の愛であるから、古代ギリシアで説かれた愛は「家族や国家の枠組みに囚われることはなかった」という記述は誤り。④仏教の慈悲の対象は、「生きとし生けるものすべて」であるから、「あらゆる生命の中心に位置する人間だけに向けられる仏の愛が重視される」という記述は誤り。

第2問 西洋の現代思想と環境・生命倫理

【出題のねらい】

本問は、科学技術の進歩がもたらした成果と問題点の双方を概観する本文を手がかりにしながら、プラグマティズムや実存主義・社会主義などの西洋現代の思想について、基本的な知識・理解を試すことをねらいとしている。あわせて、センター試験本試験の出題傾向を踏まえ、資料読解問題や本文の趣旨読み取り問題、現代の諸課題にかかる論理判断問題も出題した。

【設問別解説】

問1 [8] ④

遺伝子操作の技術を農産物に応用して、病気に強い品種や多収穫が期待できる品種を作り出すことなどが試みられている。こうして作り出された遺伝子組換え作物に関して、その安全性が最終的に確認されていないことなどから、日本では、特定の遺伝子組換え作物や、遺伝子組換え作物を原料とする加工食品について、その旨を表示することが法律で義務づけられている。しかし、遺伝子組換え作物の「販売が一切禁止されている」ということはない。

①ある細胞あるいは個体から、それと遺伝的に全く同じ細胞・個体を増殖させる技術がクローリン技術であり、クローリン技術により生み出された細胞・個体をクローリンと呼ぶ。クローリン技術を人間に応用して、人間のクローリンの作製も理論的には可能だとされるが、その作製には倫理上大きな問題があるため、日本では2000年に制定されたヒトクローリン技術規制法により、人間のクローリンの作製が禁止されている。②代理出産は、第三者の女性が、依頼者の夫婦のために、自らの卵子と子宮あるいは子宮のみを提供して出産することである。アメリカでは、代理出産で生まれた子の養育権が、依頼者である女性にあるのか出産した女性にあるのかが裁判で争われたことがある。③胎児の段階や受精卵の段階で、遺伝子上の障害の有無や性別などを診断するものとして、出生前診断がある。この診断は、健康な子どもや特定の性別の子どもを望む親の願いをかなえるものと言える反面、例えば何らかの異常が発見された胎児の中絶を認めることは、障害のある子どもの存在を否定するという命の選別につながるという批判がある。

問2 [9] ④

アのジェームズの主張内容はBである。ジェームズ(1842~1910)は、知識や理論の真偽、行為の善悪などは、それらが現実の環境の下で実践されたときに生ずる結果が、私たちの生活に有用か否かによって決まると考えた(真理であるから有用、有用であるから真理)。ジェームズによれば、「神が存在する」という命題は、それを信じる人にとっては心に安らぎを与えてくれる点で有用であり、それゆえにこそ真であり善なのである。

イのパースの主張内容はCである。例えば、ある物体が「柔らかい」というのはどういうことなのかを実際的な「行為とその結果」というかたちで示すなら、「その物体に力を加えると簡単に変形する」と、その意味内容を明確にできるであろう。プラグマティズムの創始者として知られるパース(1839~1914)は、このように、ある物事について

の観念の意味は、抽象的な思考ではなく、その観念の対象に向けて行動したときにもたらされる結果によって明らかにされると説いた。

ウのデューイの主張内容はAである。デューイ(1859～1952)は、人間の知識や理論を、実際の生活上において生ずる様々な困難を解決するための道具であると考えた(道具主義)。生活上の困難に直面した場合、人間の知性は、過去を振り返って從来の習慣を修正し、将来を見通して新たな習慣を打ち立てようとする。デューイによれば、人間の知性はこうした創造的な働きを持つものであり(創造的知性)、その働きを通じて新たな人間性を作り上げていくことが善なのである。したがって、④が正解となる。

問3 [10] ③

フーコー(1926～84)は、権力に従順な人間を生み出す近代社会のあり方を批判的に考察した。彼によれば、近代社会は、軍隊・学校・工場・裁判所・監獄・病院などの施設や制度を通じて人間を規格化し、様々な規律と訓練の下に、自ら権力の統制に服する人間を作り上げてきた。真理や正常とされるものは、こうした仕組みの中で形成されたものであり、規格から外れたもの、権力の統制からはみ出するものは、非理性的な「異常」「狂気」を孕む存在として社会から排除されてしまうのである。

①「現実の社会や歴史の背後にあって、これらを生み出し支配するものが絶対精神」であると考え、世界史を絶対精神(世界精神)が自己展開する過程であると捉えたのはヘーゲル(1770～1831)である。②キルケゴー(1813～55)の実存の三段階のうち、第一の美的実存から第二の倫理的実存に至る過程を念頭に置いた記述である。④「繊細の精神」とは、パスカル(1623～62)の言葉。パスカルは、物事を客観的に分析し論理的に思考する幾何学の精神では人生の諸問題を取り扱うことはできず、人生についての考察を深めるためには、人間の微妙な心の動きを直観的に捉える繊細の精神が必要であると説いた。

問4 [11] ④

ヤスバース(1883～1969)は、死・苦しみ・争い・罪責などの限界状況に直面したとき、人間は自己の有限性に絶望し挫折するが、同時に、自己や世界のすべてを超える包括者に出会い、自らの生き方について決断する実存としての自己に目覚めると説いている(実存開明)。彼によれば、実存に目覚めた者どうしは、孤独と絶望に耐えながらも、互いに自己を率直にさらけ出し、愛を持って真剣に問い合わせ合う実存的交わりを取り結ぼうとする。それは愛しながらの闘いであり、人間は、こうした他者との真剣な

交わりを通じて、眞の自己に達することができるという(「彼が彼自身でなければ、私は私自身になり得ない」)。

①キルケゴーの考え方。実存の三段階のうち、第三の宗教的実存の段階では、人間は神の前に単独者として立ち、自己を神の手に委ね信仰に生きることを決断することによって(信仰への飛躍)，眞の自己を回復する。②ニーチェ(1844～1900)の考え方。ニヒリズムの世界を愛し(運命愛)，力への意志をもってたくましく生きるのが、彼の理想とする超人の生き方である。③ハイデッガー(1889～1976)の考え方。現存在としての人間は、日常生活の中で、周囲の状況に自分を合わせ主体性を失った「ひと(ダス・マン)」となっているが、死の自覚を通じて、はじめてかけがえのない本来の自己のあり方に立ち返るようになるという。

問5 [12] ⑥

ア 「環境に配慮した活動をどの程度行ったか」についての報告書を公表することは、環境への取組みについての情報を提供することになるので、Cの情報的手法の例と言える。

イ 買い物袋の持参はレジ袋の使用を減らすことになり、環境保全につながることと言える。買い物袋を持参することで集めたポイントシールで景品と交換できるというのは、環境保全につながる行為を行った者に経済的利益を提供するものであるから、Bの経済的手法の例に当たる。

ウ 汚染物質を「一定量以上排出した企業」に罰則を科すのは、環境保全のための環境基準を設定しているものであるから、Aの規制的手法の例に当たる。

エ 「環境の保全に貢献する」製品であるというラベルをつけて販売するのは、消費者に環境についての情報を提示しているものなので、Cの情報的手法の例である。したがって、⑥が正解となる。

問6 [13] ①

資料文では「自分の技能を活かすことで満足を得ることができれば」「仕事の喜びというものは、何らかの専門的な技能を伸ばせる人なら誰にでも感じられる」と説明されており、さらに、後半の植字工の例では「自分の技術を行使するという実際の楽しさから喜びを得た」とされていることから、①の記述が最も適切だと判断できる。

②資料文には、「他人との競争に勝つ」ことが「幸福をもたらす」ということを示す内容はない。

③資料文には「世間から称賛されることや「自己の存在を承認される」ことが、人間の幸福のいちば

ん大きな要素であることを示す内容はない。むしろ逆に、「世間一般の称賛など考えず、自分の技能を活かすことで満足を得ることができれば」、専門的技能を伸ばすことができる人に仕事の喜びが感じられることに言及する部分がある。④「肉体を用いる職業では楽しみが得られないが、科学者が職業を通じて喜びを引き出せる」という記述は、資料文中の「仕事を通して喜びを引き出せるのは著名な科学者だけではない」という部分や、「上手なダンサーがダンスから得る楽しさ」に言及する部分と相容れない。

問7 [14] ③

本文は、科学技術の進歩がもたらした近代以降の動向について概観し、それが、生産技術の発展や資本主義経済の発達を通じて生活の豊かさと利便性をもたらしてきたという積極的側面と、人間を社会の単なる構成部品と化してしまったという負の側面を持つことを示している。そして、先人たちの思想によっても浮き彫りにされているこの両面性について、しっかりと自覚すべきことを説く内容となっている。こうした全体の趣旨に合致する選択肢は③である。

①近代の歴史の積極的な意義のみを強調する点において、上述の趣旨に合致しない。②近代以降の動向について、負の側面のみを指摘していることに加え、行動的な進取の精神と科学的な思考とを基盤とするプラグマティズムを、人間の個別性や主体性の回復を説く実存主義と混同している点で、本文と喰い違う記述となっている。④「私たちにとってすでに過去となった近代の歴史を振り返ることは、私たちの現在の幸福を追求する条件とは言えない」という記述は、近代の両面性をしっかりと自覚することの上に「一人ひとりの幸福が目指されるべき」だとする、本文最終段落の内容に反する。

第3問 倫理雑題

【出題のねらい】

本問は、防衛機制、ホモ・ルーデンスなど人についての代表的な定義、日露戦争に対する様々な思想家の反応、柳田国男の事績、日本における脳死や臓器移植をめぐる動向について出題した。本問を参考に、これらの分野の理解を深めておこう。

【設問別解説】

問1 [15] ②

オーストリアの精神分析学者フロイト(1856~1939)は、人間の心には、欲求不満(フラストレーション)に陥ったとき、無意識のうちに心の安定を保ち自我

を守ろうとする働きがあることを指摘した。このような無意識の働きは防衛機制(防衛反応)と呼ばれ、これには抑圧、合理化、同一視(摂取・投射)、反動形成、退行、昇華など、様々なものが含まれる。この設問では、合理化について説明した②の記述だけが正しい内容なので、これが正解となる。

①「抑圧」ではなく反動形成の説明である。③「反動形成」ではなく退行の説明である。④「退行」ではなく抑圧の説明である。

問2 [16] ③

人間の特質をめぐって、これまで様々な定義が示されてきた。オランダの歴史家ホイインガ(1872~1945)は、人間が自由な精神に基づく「遊び」の世界を持つことに注目した。そして彼は、人間が競争と表現を楽しむ「遊び」を通じて芸術・学問・宗教などの文化を生みだしたと考え、人間をホモ・ルーデンス(遊戯人)と定義した。したがって、③が正解となる。

①人間をホモ・サピエンス(英知人)と定義したのは、スウェーデンの博物学者リンネ(1707~78)である。②人間をホモ・ファーベル(工作人)と定義したのは、フランスの哲学者ベルクソン(1859~1941)である。④人間を、アニマル・シンボリクム(象徴をあやつる動物)と定義したのは、ドイツの哲学者カッシャー(1874~1945)である。

問3 [17] ④

内村鑑三(1861~1930)は、日清戦争を支持したものの、日露戦争開戦に際しては、それまでの姿勢を反省し、「余は日露非開戦論者であるばかりではない。戦争絶対廃止論者である」(「戦争廃止論」)と述べ、戦争を支持する熱狂的世論に対し、キリスト教信仰に基づく非戦論を展開した。なお、内村に関しては、札幌農学校を卒業する際に、新渡戸稟造(1862~1933)らとともに、「二つのJ」、すなわちイエス(Jesus)と日本(Japan)に生涯を捧げることを誓ったこと、無教会主義の立場をとったこと、キリスト教信仰を武士道という日本の精神的土壤の上に根づかせようとしたことも確認しておこう。

①幸徳秋水(1871~1911)は、キリスト教徒ではない。彼は、中江兆民(1847~1901)の影響の下に急進的な自由主義者として出発し、のちに社会主義者となった。彼は堺利彦(1870~1933)とともに平民社を設立し、『平民新聞』を発刊して日露戦争反対などの論陣を張ったことでも知られている。なお、幸徳は後に平民社を解散して渡米し、帰国後は無政府主義を唱えたが、大逆事件に連座して刑死したことでも覚えておこう。②帝国主義を批判した『廿世紀之

怪物帝国主義』の著者は幸徳秋水である。安部磯雄(1865～1949)は、日本社会主義運動の先駆者であり、キリスト教的な人道主義の立場から社会主義を活発に宣伝した。1901年には日本最初の社会主義政党である社会民主党の結成に参加した。ただし、同党は即日解散の処分を受けた。また、彼も日露戦争開戦に際しては非戦論を唱えた。③河上肇(1879～1946)ではなく片山潜(1859～1933)の説明である。京都帝国大学教授であった河上は『貧乏物語』を著し、人道主義的な立場から貧困問題の解決策を探ったが、後にマルクス主義に基づいた社会主義の思想と運動を展開した。なお、片山は、キリスト教徒であるとともに社会主義者であり、社会民主党の結成に参加している。

問4 [18] ③

柳田国男(1875～1962)は、日本の社会に広く深く根を張っている生活習慣・しきたり・言い伝え・行事・祭祀・信仰・言葉などの由来と変遷に注目し、民間伝承や習俗の研究に取り組んで、日本文化の基層を形成してきた常民(名もない庶民)の生活の歴史を明らかにする民俗学を提唱した。具体的には、遠野盆地から遠野街道にまつわる民話を筆記・編纂し自費出版した『遠野物語』などによって、常民に受けがれてきた生活の思想の中に日本人の文化の特質を探ろうとしたのである。

①折口信夫(1887～1953)の説明である。彼は柳田のもとで学び、国文学に民俗学を導入し、信仰と文芸の関係をめぐって、独創的な考察を展開した。折口によれば、日本における神の原形は、海のかなたの理想郷である常世國^{ところのくに}から、ときを定めて村落に訪れる存在(客人)^{まねびと}である。②柳宗悦(1889～1961)の説明である。彼は生活に即した民芸品に注目して「用の美」を唱え、民芸運動を起こした。また、朝鮮美術に注目し、その関係もあって1919年の朝鮮半島で勃発した独立運動に際しては、「反抗する彼らよりも一層愚かなのは、圧迫する我々である」と述べ、当時、韓国を併合していた日本政府のエスノセントリズム的政策を批判した。④近代日本における美学研究の開拓者である岡倉天心についての説明である。フェノロサ(1853～1908)に大きな影響を受けた彼は、東京美術学校(現・東京芸術大学)や日本美術院の創設に関与し、日本美術の復興と美術家の養成に力を尽くした。また、美術史・美術評論家としても多岐にわたる啓蒙活動を行い、『東洋の理想』や『茶の本』など英文による著作によって、アジアや日本の思想や美術を海外に紹介した。

問5 [19] ④

ア 脳死とは、脳幹(呼吸など生命維持をつかさどる脳の中権部分)を含むすべての脳の機能が、不可逆的に停止した状態を言う。脳幹以外の脳の機能が停止しているが、脳幹の機能は保たれている植物状態とは区別される。

イ 1997年に制定された臓器移植法により、脳死と判定された者からの臓器の摘出や移植ができるようになった。同法は2009年に改正されたが、改正後の現行法では、死後に移植に用いられる臓器を提供する意思を書面で示す際に、その臓器を親族に対し優先的に提供する意思を表示することができるようになった。

ウ 旧臓器移植法の下では、15歳未満の者から移植に用いられる臓器の摘出を行うことはできなかった。しかし、現行法の下では、15歳未満の者から移植に用いる臓器を摘出することが認められている。

したがって、④が正解となる。

第4問 国際社会の課題

【出題のねらい】

本問は、NGO(非政府組織)とその活動、第二次世界大戦後の地域紛争や対立、発展途上国をめぐる動向など、国際社会の課題についての基本的な知識を問おうとするものである。あわせて、各国における女性の年齢階級別労働力率の推移に関する図表問題も出題した。

【設問別解説】

問1 [20] ②

1961年に設立されたアムネスティ・インターナショナルは、国際的な人権擁護活動を行っているNGO(非政府組織)である。世界人権宣言を行動指針として、思想・信条・宗教・民族などの理由で投獄されている政治犯(「良心の囚人」と呼ばれる)の釈放運動を展開するとともに、各国政府に死刑や拷問の廃止を働きかけるなどの活動を行っている。

①地雷禁止国際キャンペーンは、対人地雷全面禁止条約の成立をめざして、多くの国々のNGOが集まってできたネットワークである。これによる国際世論づくりと各国政府への働きかけにより1997年に対人地雷全面禁止条約(オタワ条約)が調印された。しかし、条約は国家間で締結される国際的な取決めであって、民間団体であるNGOが条約締結の当事者となることはないので、「地雷禁止国際キャンペーンと各国政府との間で…調印された」という記述は不適当。③IFC(国際金融公社)、④UNICEF(国連児童基金)は、いずれも国際機関(政府間で組織される機関)であって、民間団体であるNGOではない

ので、「NGO…についての記述」を解答するという設問の条件に反しており、不適当。③のIFCは、世界銀行グループの一つとして、発展途上国の民間企業の成長を助けるための融資などを行っている。また、フェアトレードとは、発展途上国の手工業品や農産物を公正な価格で取引し、経済的自立を支援する活動のことである。なお、④の選択肢の記述は、UNICEFの活動内容としては正しい。

問2 [21] ④

南オセチア自治州はグルジアからの分離・独立を求めており、ロシアはこの独立を支援しているが、グルジアはこれを認めていない。そうした中、2008年には、グルジア軍が南オセチアに侵入したことから、南オセチアに駐留するロシア軍との間で軍事衝突が発生した。

①冷戦期、アメリカとソ連が直接に戦火を交えたことは一度もない。ベトナム戦争についても、アメリカは直接これに介入したが、ソ連は直接の介入は行わなかった。②イラクのフセイン政権が崩壊したのは、「1980年に発生したイラン・イラク戦争」によってではなく、2003年のイラク戦争によってである。③「インドとパキスタンとの間での武力衝突」は、カシミールの領有権問題を背景に、すでに1948年には発生しており、その後も1965年、1971年に発生している。したがって、1990年代以前に武力衝突が生じなかつたとする趣旨の記述は、不適当。

問3 [22] ②

開発独裁とは、経済開発・経済成長を掲げて、強権的・独裁的な経済・政治運営を行う体制のこと。1960～70年代にかけて、アジアやラテンアメリカの発展途上国でしばしば見られるようになった。だが、経済が発展するにつれて倒れる開発独裁政権も多くなっている。

①発展途上国では人口が急増しているので、これを「減少傾向」としているのは不適当。人口動態が多産多死から多産少死へと移行してきたことが、人口爆発とも呼ばれるほどの人口急増の要因である。③OECD(経済協力開発機構)は、主に先進国によって構成される経済協力組織である。したがってこれを、先進国に対抗して発展途上国が結成したものだとする趣旨の記述は、不適当。④「先進国によって構成され」、「加盟国間の開発援助政策の調整を主な任務としている」のは、OECDの委員会の一つであるDAC(開発援助委員会)。UNCTAD(国連貿易開発会議)は、南北問題解決に向けて先進国と発展途上国が協議を行う国連総会の常設機関。

問4 [23] ④

日本の女性労働者の労働力率(15歳以上人口に占める労働人口の割合)を年齢階級別にグラフにあらわすと、グラフの形状がアルファベットの「M」に似ていることから、しばしばM字型曲線とも呼ばれる。これは、女性の労働力率が20歳代後半あたりまでは上昇していくが、出産・育児期にあたる30歳代になると下降し、その後は再び上昇に転じるため、このような形を描く。韓国も同様の形が見られるが、必ずしも世界的に広く見られるわけではなく、例えば保育施設の整備などが進んでいる北欧諸国などでは、M字型の落ち込みは見られない。図の中でM字型曲線となっているのはDのみなので、これが日本だと判断できる。

なお、Aはスウェーデン、Bはドイツ、Cはアメリカのグラフである。

問5 [24] ④

1989年に国連総会で採択された子ども(児童)の権利条約は、18歳未満のすべての子どもの人権を保障することをねらいとしている。子どもをたんに保護の対象としてではなく、権利行使の主体として認め、発達段階に応じての思想・良心の自由や意見表明権などを保障している。なお、日本は1994年に同条約を批准した。

①日本は、国連総会で採択された人権条約をすべて批准しているわけではない。例えば、国際人権規約B規約の選択議定書について、個人通報制度を定めた第一選択議定書、死刑廃止条約とも呼ばれる第二選択議定書の、いずれも批准していない。この他、ジェノサイド条約(集団殺害の防止及び処罰に関する条約)やアパルトヘイト禁止条約なども未批准である。②難民条約(1951年採択、日本は1981年批准)は、人種、宗教、国籍、政治的信条などの理由で迫害を受け、または受けおそれがあるために祖国を逃れた、いわゆる政治難民に対する保護を加盟国に義務づけているものであり、生活困窮など経済的な理由で逃れてくる経済難民は保護の対象としていない。③世界人権宣言は自由権、平等権、参政権だけでなく、20世紀の人権である社会権も含めた幅広い人権を規定している。したがって、「自由権のみを規定している」という記述は不適当。また、国際人権規約は、世界人権宣言には法的拘束力がなかったので、これをより具体化して条約化し、法的拘束力をもたらせたものである。

問6 [25] ⑥

Aの京都議定書は、気候変動枠組み条約(地球温暖化防止条約)に基づいて、二酸化炭素などの温室効果ガスの排出削減目標値を定めたもので、1997年

に採択された。したがって、これはウと結びつく。**B**のラムサール条約とは、とくに水鳥の生息地として国際的に重要な湿地およびそこに生息・生育する動植物の保全を促し、湿地の適正な利用を進める目的とする条約で、1971年に採択された。したがって、これはイと結びつく。**C**のモントリオール議定書は、オゾン層保護に関するウィーン条約に基づいて、オゾン層を破壊するおそれのある物質を特定し、該当する物質の生産、消費および貿易を規制することをねらいとする条約で、1987年に採択された。したがって、これはアと結びつく。

第5問 日本の政党政治と選挙制度

【出題のねらい】

本問は、戦後日本の政党政治や現行の選挙制度を中心に、いわゆる55年体制の特徴や政治とカネをめぐる問題、55年体制崩壊以降の各政党の動向、政党助成制度や無党派層などについて出題した。

【設問別解説】

問1 [26] ④

選挙運動のために個々の有権者宅を訪問して回る戸別訪問は、**公職選挙法**によって禁止されている。なお、イギリスなど多くの先進国では、選挙運動として戸別訪問が認められている。

①政治資金規正法は、政治家個人や政治家個人の資金管理団体に対する企業・団体献金を禁止しているが、政党に対する企業・団体献金は一定の制限の下に認めている。したがって、これを「全面的に禁止している」という記述は不適当。②政治資金規正法は、政党や政治団体に対して、収入や支出についての**政治資金収支報告書**の提出を義務づけている。③公職選挙法は、選挙運動の総括主宰者や出納責任者などが選挙違反により一定以上の刑に処せられた場合、その当選人の当選を無効とする**連座制**を採用している。公設(公費で給与が支払われる秘書)であるか私設であるかを問わず、**秘書**も連座制の対象となっている。

問2 [27] ①

55年体制とは、与党である自由民主党(自民党)と野党第一党の日本社会党(社会党)の対抗を軸とする政党政治の状況のこと。1955年、左右両派に分裂していた社会党が再統一を果たし、これに対抗して保守系の二つの政党(自由党と日本民主党)が合同して自民党を結成したこと、こうした状況が生れた。ただし、当時の社会党は衆議院の議席数で自民党の半分ほどの勢力にとどまったため、政権交代が可能なイギリスやアメリカの**二大政党制**とはほど遠い自

民党一党優位の状況であり、「1 $\frac{1}{2}$ 政党制」などと揶揄された。そうした中、1960年代になると、社会党を離党した議員によって民主社会党(のちの民社党)が結成されたり、1964年には公明党が新たに結成されるなど、野党は多党化していった。

②55年体制の下、社会党は自衛隊を憲法違反だとするとともに、日米安全保障条約に反対する姿勢をとった。③1976年に、自民党を離党した国会議員によって、新しい保守政党である新自由クラブが結成された(1986年に解党)。④自民党は、55年体制下である1983年に発足した第二次中曾根内閣において、新自由クラブと連立を組んだ。

問3 [28] ③

リクルート事件とは、値上がりが見込まれる企業の未公開株が多くの政・官・財の関係者に安値で譲渡された事件である。1988年に発覚し、これを背景として、翌年には竹下内閣(1987~89)が退陣することになった。田中内閣は、1972年に成立し1974年まで続いた内閣なので、この事件とは関係ない。また、55年体制下で自民党が野党となったことはない。

①1976年に発覚したロッキー事件とは、航空機の売り込みをめぐって発生した汚職事件である。この事件では、前首相であった田中角栄(首相在任1972~74)が受託収賄罪で逮捕された。②派閥は党内の議員グループであり、55年体制下の自民党の場合、有力な党首候補者(首相候補者)を中心として組織されていた。派閥に属する議員には資金面での援助などもされており、そのため各派閥は多額の政治資金を集めねばならなかった。こうした資金集めが、政治とカネをめぐる数々の問題を引き起こしたとする批判もある。④族議員とは、特定の省庁の政策について十分な知識と影響力をもち、場合によってはその省庁の政策によって利益を得る業界団体の利益を代弁する議員のことをいう。こうした族議員と官僚や財界(業界)ゆきゅうとの癒着構造が批判されることも多い。

問4 [29] ③

衆議院議員総選挙では、定数480のうち300を小選挙区制で、180を比例代表制で選出する、小選挙区比例代表並立制が採用されている(2012年7月現在)。なお、議員定数については現在、その削減が議論されている。

①衆議院の比例代表選挙においては、政党が事前に順位を付けた候補者名簿を提出し、それに従って当選者が決まる拘束名簿式比例代表制が採用されている。これに対し参議院の比例代表選挙では、候補

者名簿には順位が付けられておらず、有権者は候補者個人名または政党名のいずれかで投票し、候補者名の得票数の多い順に当選者が決まる、**非拘束名簿式比例代表制**が採用されている。②衆議院議員総選挙では、小選挙区に立候補した候補者を、同時に比例代表の候補者名簿に登載する**重複立候補**が認められている。これに対し参議院議員通常選挙では、選挙区と比例代表との重複立候補は認められていない。④外国に居住する有権者が大使館などで投票できる**在外投票**では、かつては、国政選挙のうち、衆参いずれについても比例代表選挙に投票が限られていた(すなわち小選挙区選挙や選挙区選挙では投票できなかつた)。しかし、最高裁判所がこれを憲法違反だと判断したことを受け公職選挙法が改正され、現在では小選挙区選挙や選挙区選挙についても在外投票が可能となっている。

問5 [30] ④

政党助成法により、5人以上の国会議員がいるかまたは国会議員が1人以上いて直近の国政選挙で有効投票総数の2%以上の票を得た政党に対して、議員数や得票率に応じて、申請により政党交付金が交付される。そのことを前提として表を見てみよう。郵政民営化が争点となった2005年の衆議院議員総選挙で自由民主党は圧倒的勝利を収め、2006年の時点では自由民主党が衆参両院で第一党であった。したがって、議員数も多く政党交付金を各党の中で最も多く交付されていた。そのため、この時期に最も多くの政党交付金を得ていたAが自由民主党であるとわかる。しかし、2007年の参議院議員通常選挙で自民党は大敗して議員数や得票率を減らし、さらには2009年の衆議院議員総選挙でも大敗を喫し、民主党が衆参両院で第一党の座を獲得し**政権交代**が起こった。したがって、2012年に政党交付金の交付額の順位がAと逆転しているBが民主党であると判断できる。また、かつての社会党が名称を変更してできた社会民主党は、55年体制の崩壊以降、党勢を著しく衰退させ、現在は少数政党にとどまっている。したがって、A・Bに比べて交付額がかなり少ないCが社会民主党であるとわかる。

問6 [31] ①

橋本内閣(1996~98年)は、自民党・社会党(のち社会民主党)・新党さきがけによる連立政権としてスタートした。この内閣の下で、消費税率の3%から5%への引き上げが実施された(1997年)。

②日本専売公社、日本電信電話公社、日本国有鉄道のいわゆる三公社の民営化を実施したのは、1980年代の中曾根内閣(1982~87年)である。③均衡財政

をめざした「ドッジライン」は、戦後復興期の1949年から50年にかけて実施された。④電力会社の発電部門と送電部門を分離することを**発送電分離**という。近年の原子力発電所の運転停止に関わる電力問題を背景にクローズアップされているが、日本では2012年7月現在、実現していない。なお、発送電分離のメリットとしては、新規事業者の参入で競争が促進され電気料金の値下げが期待できる点があげられる。しかし一方で、電力会社による電力の安定供給が確保できなくなるおそれも指摘されている。

問7 [32] ④

1995年の第17回参議院議員通常選挙では投票率が44.52%(選挙区)と5割を下回った。なお衆議院議員総選挙では投票率が50%を下回ったことはないが、1996年の第41回選挙では59.65%(小選挙区)となり、衆議院議員総選挙の投票率としての戦後最低を記録した(以上は2012年7月現在)。

①**地方選挙**においては、候補者が無所属として立候補している場合がかなり多く見られる。また、地方の首長選挙では、「相乗り候補」と呼ばれる一人の無所属の候補者をいくつもの中央政党がともに推薦する例も少なくない。したがって、「ほとんどの場合、政党の公認候補が当選」という記述は、不適当。また、特定の支持政党をもたない有権者層は無党派層と呼ばれるが、近年はその動向が選挙結果に大きな影響を与えることが指摘されており、地方選挙においても、とりわけ都市部の首長選挙での傾向が顕著である。したがって、「無党派層の影響は見られない」とする記述も適当ではない。②「政治的な知識を得る機会を制度上与えられていない」という選択肢の記述は、不適当。当然のことながら、現代社会では学校教育をはじめとするさまざまな制度によって、国民は政治的な知識を習得する機会を得ている。③無党派層は、上で解説したように、特定の支持政党をもたない有権者層をいうが、必ずしも無所属候補を支持するわけではない。むしろ、その時に応じて投票する政党を変えるのが、無党派層の特徴の一つといえる。したがって、「無所属で立候補した候補者の得票数」が「無党派層の動向」を把握するための判断材料となるわけではない。

第6問 国富と国民所得

【出題のねらい】

本問は、国富と国民所得の諸概念を中心に出題した。また、産業構造の変化や景気循環などについても出題している。この問題を参考に、国民所得の考え方

について理解を深めておこう。

【設問別解説】

問1 [33] ④

国富とは、ある時点で一国が保有している資産の合計額であり、国内の非金融資産(在庫、建物、土地など)と对外純資産の合計で示される。したがって、地価が下落すれば、その分、国富も減少する。

①「社会資本は国富に含まれない」は誤り。道路や港湾などの社会資本は非金融資産であり、国富に算入される。②「含まれる」と「含まれない」を入れ替えれば、正しい記述になる。株式、預金、債券などの国内の金融資産は、一方にとってプラスの資産(債権)でも、他方にとってマイナスの資産(債務)となるので、国内の金融資産を合計しても相殺されてゼロになる。そのため、国内の金融資産は国富には算入されない。しかし、海外の資産はそうした相殺はされないので、对外資産から对外負債を差し引いた对外純資産については、金融資産を含めて国富に算入される。③「フロー」と「ストック」を入れ替えれば、正しい記述になる。ストックは、ある時点における経済量をあらわす概念である。国富は、一定時点に存在する正味の資産の合計額であるから、ストックの概念に当たる。これに対し、フローはある一定期間の経済量をあらわす概念である。国民所得は「1年間」といった一定期間に新たに生み出された付加価値の総額であるから、フローの概念に当たる。

問2 [34] ⑧

GDP(国内総生産)は、国内で生産された付加価値の合計額であるのに対し、GNP(国民総生産)は、国民(居住者)が生産した付加価値の合計額である。「非居住者である外国人」が国内で生み出した価値は、国内における生産であるからGDPには算入される。しかし、「国民」(居住者)が生み出したものではないので、GNPには算入されない。

①「どちらにも算入される」は誤り。土地や株式の売却益は、生産されたものではないので、GDP・GNPのどちらにも算入されない。②輸出は国内で生産されたものなので、GDPとGNPのどちらにも算入される。しかし、輸入は外国で生産されたものなので、GDPとGNPのどちらにも算入されない。したがって、「輸出は…算入されない」や「輸入は…算入される」という記述は、不適当。④「GDP」と「GNP」を入れ替えれば正しい記述になる。GDPとGNPの関係は、

$$\text{GDP} = \text{GNP} - (\text{海外からの所得} - \text{海外に対する所得}) \\ = \text{GNP} - \text{海外からの純所得}$$

としてあらわすことができる。「海外から受け取った利子・配当などの所得」すなわち海外からの所得が、「海外へ支払った利子・配当などの所得」すなわち海外に対する所得よりも「多い」ならば、海外からの純所得(上式の()内の値)はプラスとなるのだから、GDPの値はGNPの値よりも小さくなる。

問3 [35] ④

「多い」を「少ない」に代えれば、適當な記述となる。日本の国内総支出(GDE)を見ると、民間最終消費支出が約59%を占めているのに対して、総資本形成は約20%にすぎない。

①日本の産業別GDP構成比を見ると、第三次産業が約74%を占めている。②NIは、生産・分配・支出の三面から見ることができるが、理論上、それらの額はいずれも等しくなる。これを国民所得の三面等価の原則という。③分配国民所得は、雇用者報酬(賃金など)、財産所得(利子・配当など)、企業所得(利潤)からなる。日本の場合、雇用者報酬が約70%を占めている(以上の数値はいずれも2010年もしくは2010年度/内閣府経済社会総合研究所『平成22年度国民経済計算確報(フロー編)ポイント』による)。

問4 [36] ④

「加工組立型産業」と「素材型産業」を入れ替えれば、正しい記述になる。日本では、石油危機後に第二次産業の主力産業に変化が見られた。高度成長期は、鉄鋼・石油化学などの素材型産業が主力産業であった。だが、これらの産業は石油などのエネルギーを大量に消費するため、石油危機によって大きな打撃を受けた。そのため石油危機後は、これら素材型産業に代わって、自動車や家電(家庭電化製品)などの加工組立型産業が日本経済を牽引する産業となった。

残る選択肢は、いずれも適當である。①ペティ・クラークの法則は、経済の発展に伴って、第一次産業の経済に占める比重が低下し、第二次産業、そして第三次産業の比重が増していくことをいう。経済学者ペティ(1623~87)の指摘をもとにクラーク(1905~89)が実証したことから、2人の名前にちなみこのように呼ばれる。②日本は経済のサービス化・ソフト化が進み、2010年現在、就業者数に占める割合もGDPに占める割合も、第三次産業が7割台(第三次産業の就業者数に占める割合は約70%, GDPに占める割合は約74%)を占めている(就業者数に占める割合は、経済産業省「就業状況を中心にみた第3次産業の動向」2011年、による)。③高度成長期には、製造業の中心が軽工業から重化学

工業へ移行した。

問5 [37] ④

まず、実質経済成長率の算出式は次のようになる。

実質経済成長率(%)

$$= \frac{\text{今年の実質 GDP} - \text{前年の実質 GDP}}{\text{前年の実質 GDP}} \times 100$$

次に、実質GDPの算出式は次のようにになる。

$$\text{実質 GDP} = \frac{\text{名目 GDP}}{\text{GDP デフレーター}} \times 100$$

以上の式に与えられた数値を代入することで、今年の実質GDPは420兆円、前年の実質GDPは400兆円と計算でき、そこから実質経済成長率は5%となる。

問6 [38] ②

資本主義経済の下では、好況→後退→不況→回復という景気の四局面が循環的に繰り返される。これを景気循環または景気変動という。図中のBの局面は、Aの局面(好況期)からCの局面(不況期)への過渡期で、景気の後退期である。好況期には、消費の拡大によって物価は上昇して生産が増加するが、やがて、消費が減退し始めると適正な水準を上回る在

庫(売れ残り)が発生する。そのため物価は下落して生産が減少し、雇用が減少するとともに、賃金や金利も下落する。したがって、②が正解となる。

問7 [39] ②

「算入されない」は誤り。GDPは支出面から見ると次の式で表すことができる。

$$\text{GDP} = \text{民間消費} + \text{民間投資} + \text{政府支出}$$

$$+ (\text{輸出} - \text{輸入})$$

政府の提供する公共サービスは国民が直接に対価を支払って購入しているわけではないが、政府支出として、GDPに計上される。公共サービスの提供に要した費用によって計上するのである。

残る選択肢は、いずれも適当である。①無償のボランティア活動、③家事労働、④余暇時間など、市場で取引されないもの(対価を伴わない取引)は、原則としてGDPに算入されない。一方、公害防除費用は、社会的に望ましい支出ではない(そもそも公害が発生しないことが望まれる)がGDPに算入されるなど、GDPには国民の福祉を示す指標としては限界がある。そのため、その限界を補う指標としてNNW(国民純福祉)などが提唱されてきた。

MEMO

MEMO

MEMO

© Kawaijuku 2012 Printed in Japan

無断転載複写禁止・譲渡禁止

手引(国地公)